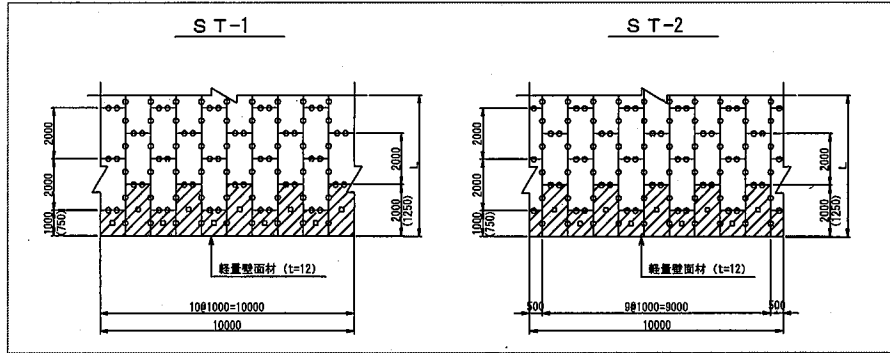


軽量盛土 (EPS) 工法 詳細図(その2)

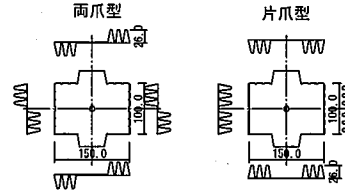
EPSブロック標準設置図 S=1:100
(緊結金具標準設置図)



- 緊結金具
- L型ピン、I型ピン
- ▨ 壁面一体型EPSブロック
- 一般ブロック

【注意事項】
※EPSブロックはEDO-EPS規格同等品以上を使用すること。
※ST-1とST-2を1段毎に交互に積み重ねることにより、ブロック交互の目地をずらすようにする。

緊結金具 S=1:5



品質と形状

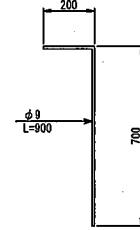
種類	記号	延綿の最小寸法	降伏点 N/mm ²	引張強さ N/mm ²
構造用	SG L C	AZ150 (150kg/m ²)	285以上	400以上

設置数

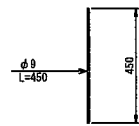
条件	個数	ブロックサイズ
EPSブロック 1m ² 当たり	4ヶ	2m x 1m x 0.5m

※積算上はロス込みで2、3ヶとなる。
※レベル2地盤動は通常の2倍設置となる。

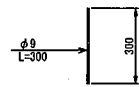
L型ピン S=1:10
(溶融亜鉛メッキ仕上げ)



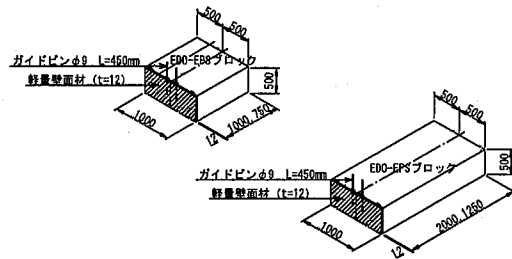
ガイドピン S=1:10
(SWM-B仕上げ)



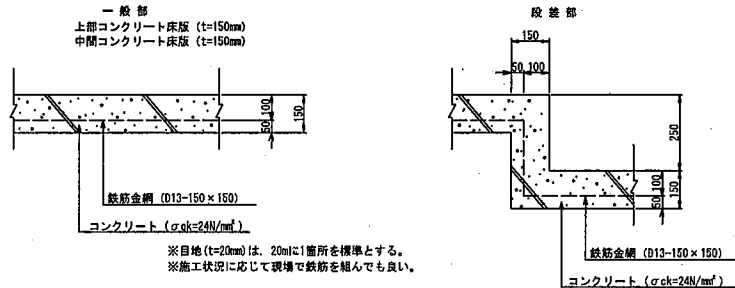
I型ピン S=1:10
(溶融亜鉛メッキ仕上げ)



壁面一体型EPSブロック定形品姿図 S=1:50

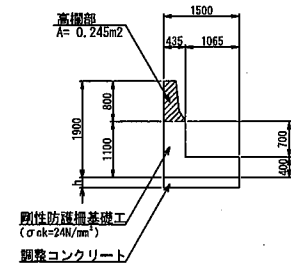


コンクリート床版工 S=1:10



※目地 (t=20mm) は、20mに1箇所を標準とする。
※施工状況に応じて現場で鉄筋を組んでも良い。

防護柵基礎工形状 S=1:50



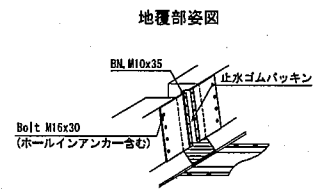
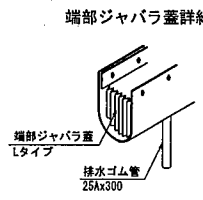
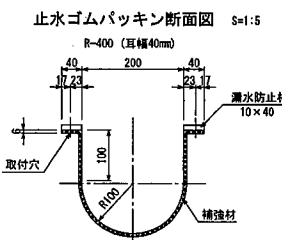
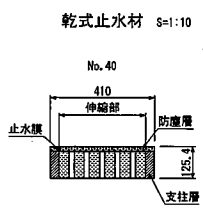
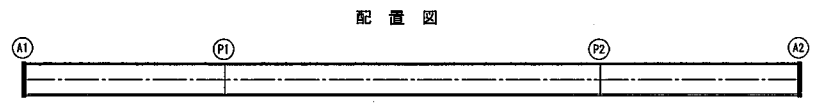
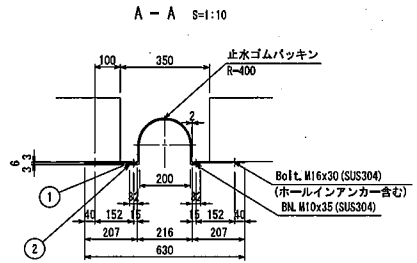
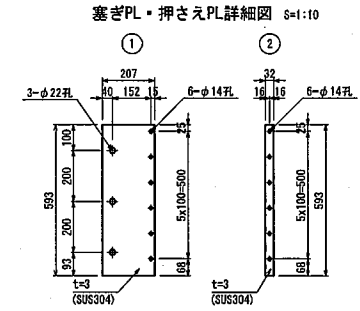
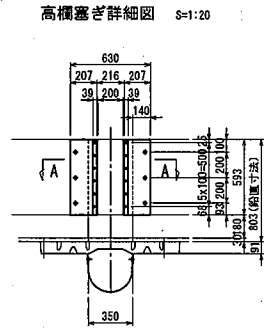
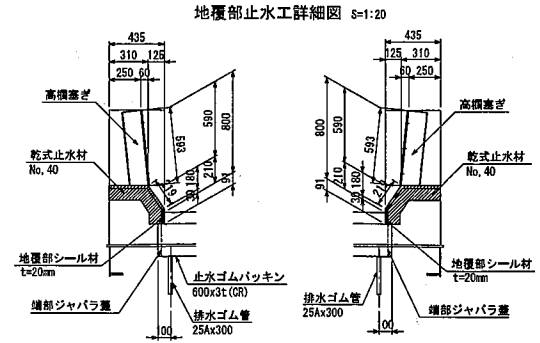
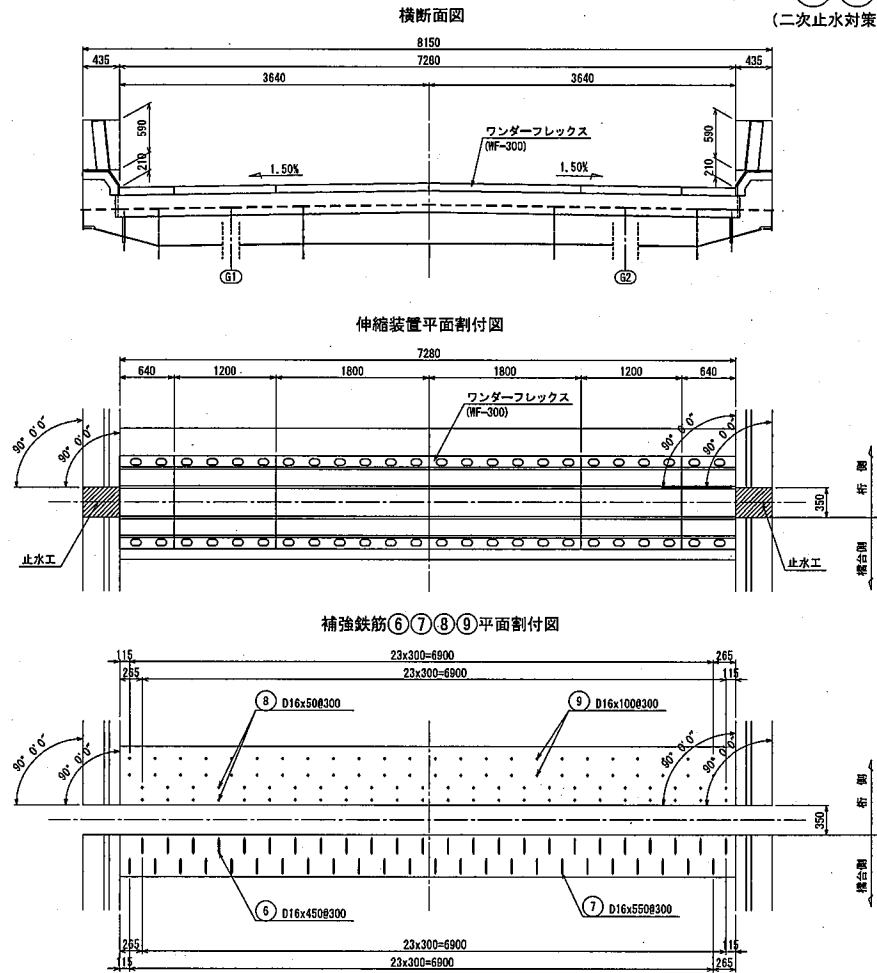
工事名	
図面名	
作成年月日	平成31年1月
縮尺	図示 図面番号 42/114
会社名	
専業者名	茨木土木事務所

伸縮装置詳細図 (その1)

S=1:30

Ⓐ1 Ⓐ2

(二次止水対策済)



注記
1. 各部詳細図及び材料表は、「伸縮装置詳細図(その2)参照。」

※漏水防止材の厚さ10mmは製作時の厚さであり、施工時には圧縮させる。

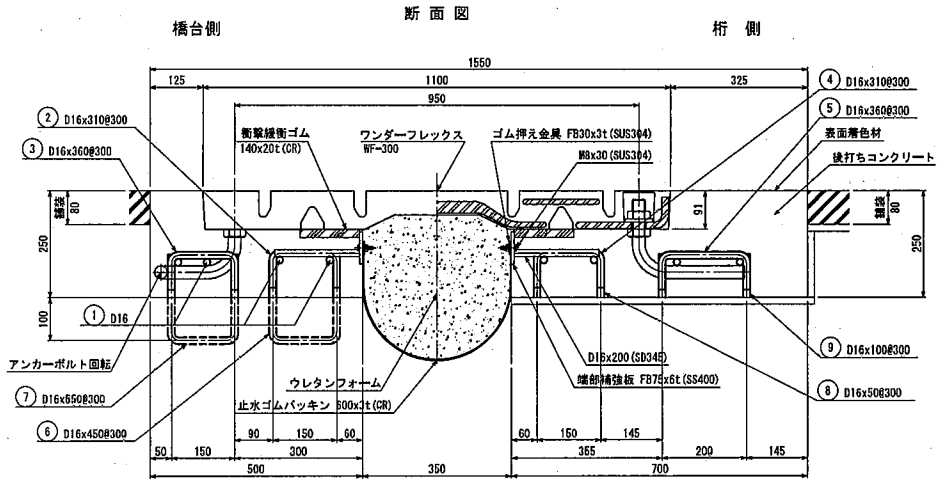
平成27年度	図面番号	66 / 130
路線名	[Redacted]	
業務名	[Redacted]	
場所	[Redacted]	
図面名	縮尺	S=1:30
大阪府茨木土木事務所		

伸縮装置詳細図 (その2) S=1:6

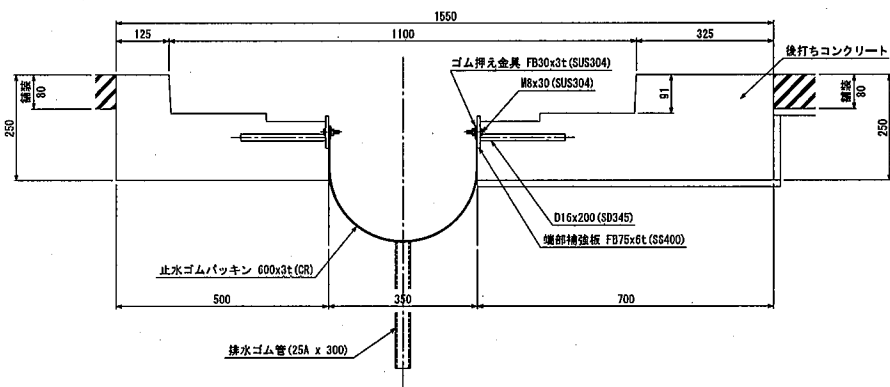
(A1) (A2)

材料表

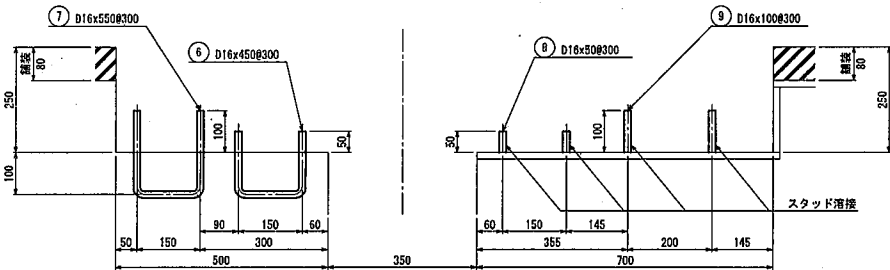
品名	仕様、規格	単位	A1	A2	備考	
ワンダーフレックス	WF-300(重量 452.6kg/L, Bn)	m	7.280	7.280	本体	
アンカーボルト	φ30	Set	48	48		
2液シーラント	ジョイント用	kg	63.6	63.6	2液シーラント 8.73kg/m	
補強鉄筋	①	8-D16x7230	kg	90	90	
	②	24-D16x 310	kg	12	12	
	③	24-D16x 360	kg	13	13	
	④	24-D16x 310	kg	12	12	
	⑤	24-D16x 360	kg	13	13	
	⑥	24-D16x 450	kg	17	17	下部工施工
	⑦	24-D16x 550	kg	21	21	下部工施工
	⑧	48-D16x 50	kg	4	4	上部工施工
	⑨	48-D16x 100	kg	7	7	上部工施工
	後打ちコンクリート	生コンクリート(早強)	m ³	1.7	1.7	σ _{ck} = 36/㎠(推奨)
表面着色剤	3.0kg/m ²	kg	9.8	9.8		
端部補強板	F, B 75 x 6t	m	14.580	14.580	D16アンカー付(ゴム押え金具含む)	
衝撃緩衝ゴム	140 x 20t	m	14.560	14.560		
止水ゴムパッキン	600 x 3t	m	7.380	7.380	補強材入り	
ウレタンフォーム	400 x 300	m	7.380	7.380		
端部ジャバラ蓋	Lタイプ	枚	2	2		
排水ゴム管	25A x 300	本	2	2		
地覆部シール工	乾式止水材	m	1.3	1.3	No. 40	
	シール材	L	2.5	2.5	t=20mm	
	止水ゴムパッキン	R-400	m	1.186	1.186	耳幅40mm
	蓋ぎPL	PL-207x3tx593	枚	4	4	SUS304
	押さえPL	PL-32x3tx593	枚	4	4	SUS304
高欄高さ	Bolt M16x30	本	12	12	SUS304, ホールインアンカー含む	
	B, N M10x35	Set	24	24	SUS304	



2次止水材取付詳細図

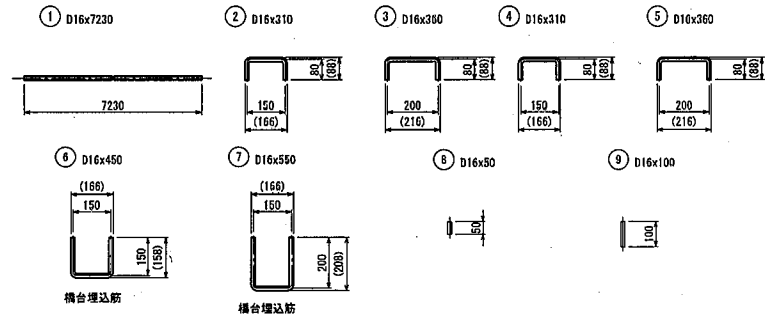


床版箱抜及び補強鉄筋 ⑥⑦⑧⑨ 設置図



※ スタッドボルトの平面配置は「伸縮装置詳細図(その1)」参照。

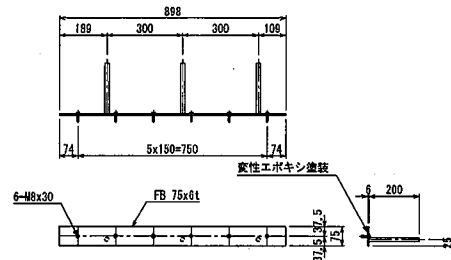
補強鉄筋加工図 S=1:10



注 記

1. 配置図は、「伸縮装置詳細図(その1)」参照。
2. 橋の変形の経時変化による影響を考慮して必要な初圧縮量を確保した状態で伸縮継手装置を設定する必要がある。(予備筋可能な伸縮継手装置を選定すること。)
3. 雨水等の浸水に対して水密性を有するものとする。(2次止水対策をした伸縮継手装置とする)
4. 施工、維持管理及び補修の容易さに配慮した構造とする。(伸縮継手本体のみ取替え可能なアンカーボルト、ナット、ワッシャー方式の伸縮継手装置とする。)

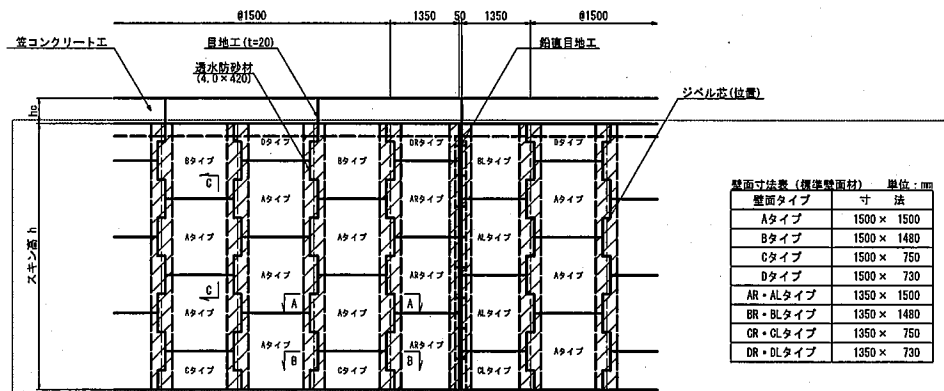
端部補強板 S=1:10



平成27年度	図面番号	67/130
路線名	[Redacted]	
業務名	[Redacted]	
場所	[Redacted]	
図面名	縮尺	S=1:30
大阪府茨木土木事務所		

補強土（テールアルメ）壁工 構造一般図 (1)

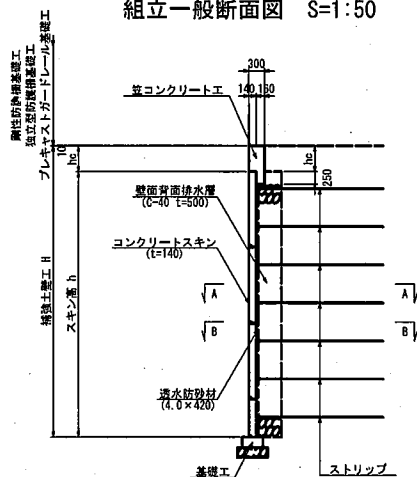
組立一般正面図 S=1:50



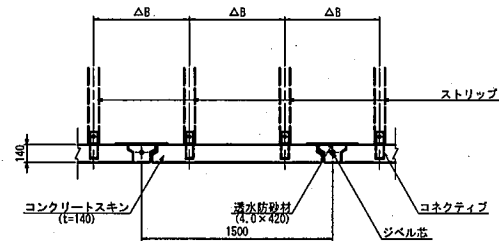
壁面タイプ	寸法
Aタイプ	1500 × 1500
Bタイプ	1500 × 1480
Cタイプ	1500 × 750
Dタイプ	1500 × 730
AR・ALタイプ	1350 × 1500
BR・BLタイプ	1350 × 1480
CR・CLタイプ	1350 × 750
DR・DLタイプ	1350 × 730

注記 1. 展開図の壁面材記号については、上表並びに以下を参照とする。
 L, Rは袖なしスキンを示し、Lは左袖なし、Rは右袖なしスキンとする。
 Mはコーナースキンを示す。
 Hは異形スキンを示す。
 Pは差し筋(13)付を示す。
 Kタイプ壁面材は、目地用スキンを示す。
 Oタイプ壁面材は、孔開きスキンを示す。
 2. 各目地位置については展開図を参照とする。

組立一般断面図 S=1:50

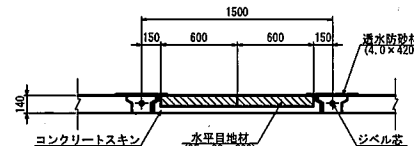


A-A断面 S=1:20



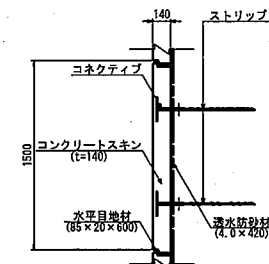
注記 1. ΔBはストリップの水平間隔を示す。

B-B断面 S=1:20



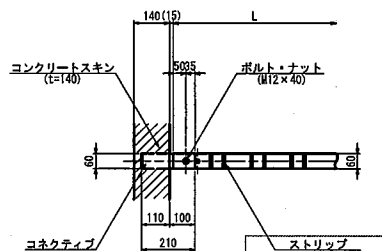
注記 1. 水平目地材は、目地1箇所当たり2枚を標準とし、隙間なく突き合わせて背面側の中央部に設置すること。
 2. 異形スキンの水平目地材は、L≦150mmの場合1枚とする。
 3. 目地用スキンの水平目地材は、1枚とする。

G-C断面 S=1:20

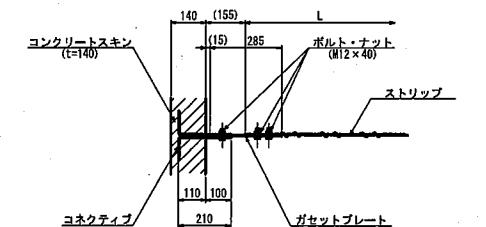
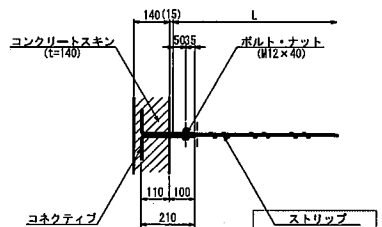
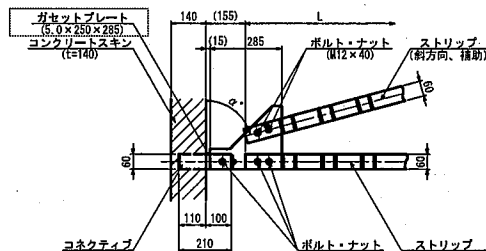


補強材取付詳細図 S=1:10

一般部 (L<8.50m)

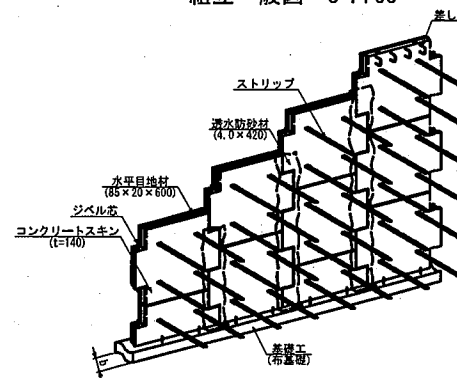


ガゼットプレート設置部



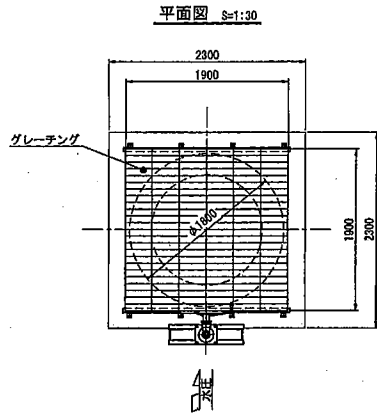
注記 1. 長さによるストリップの組み合わせ等については、一般部と同様とする。

組立一般図 S=Free

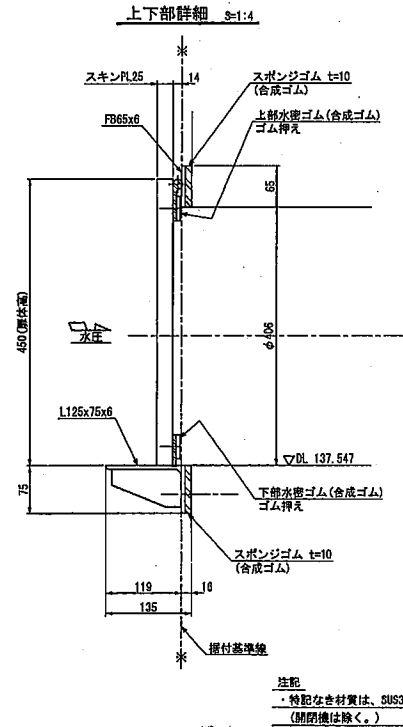
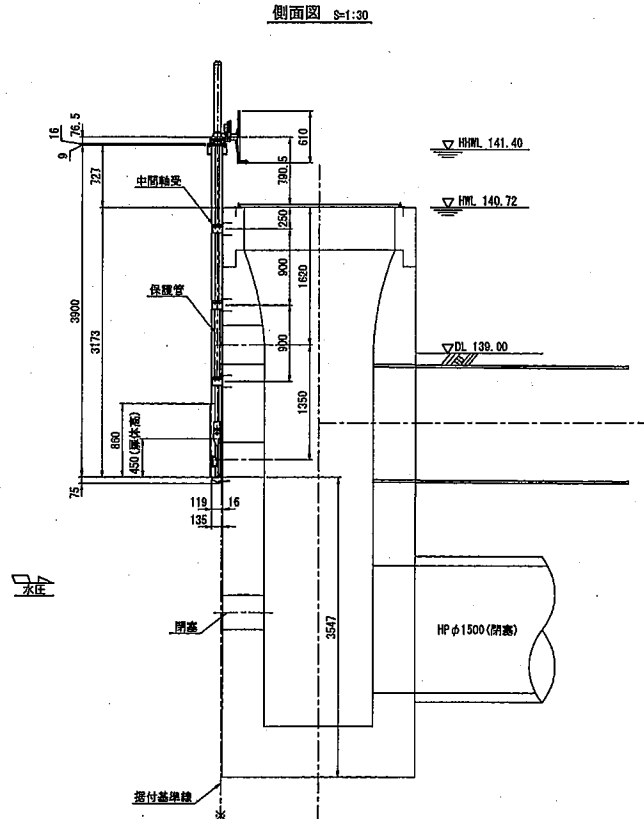
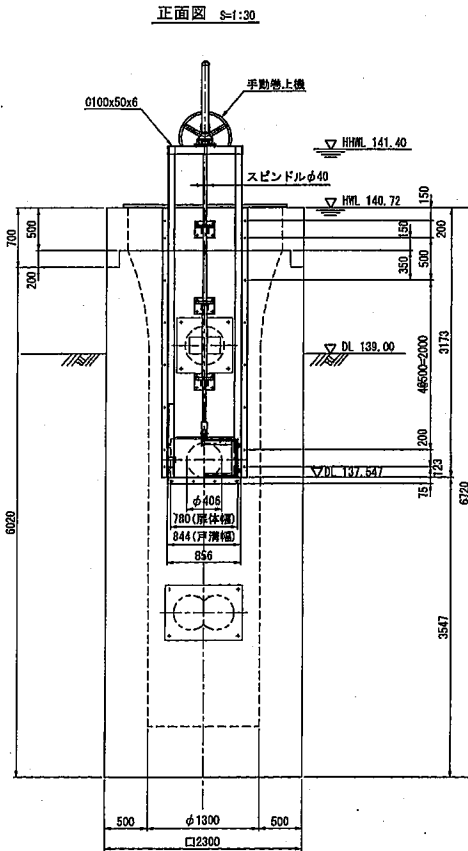
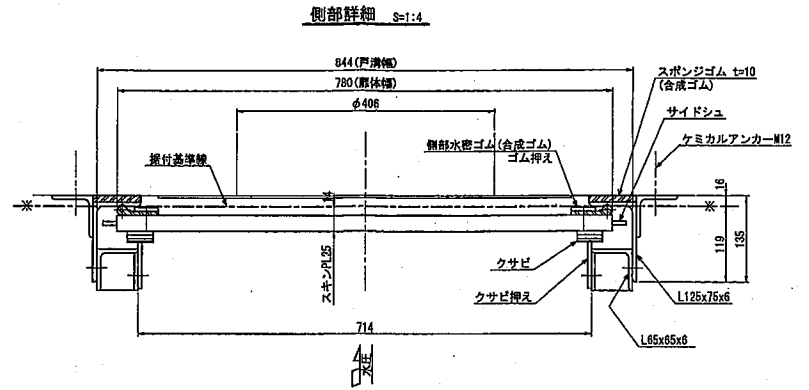


工事名	
図面名	
作成年月日	平成31年1月
縮尺	図示 図面番号 47/114
会社名	
事業者名	茨木土木事務所

余水吐工 締切ゲート一般図



設計条件	
型式	ステンレス鋼製スライドゲート
設置数	1門
純経間	0.406m
有効高	0.406m
設計水深 (前面)	3.173m (後面) 0m
操作水深 (前面)	3.173m (後面) 0m
水密方式	後面4方ゴム水密
開閉方式	手動スピンドル式(1本吊り)
操程	0.410m
操作方式	機械操作
開閉時間	4.88分 (ハンドル回転数30回/分)

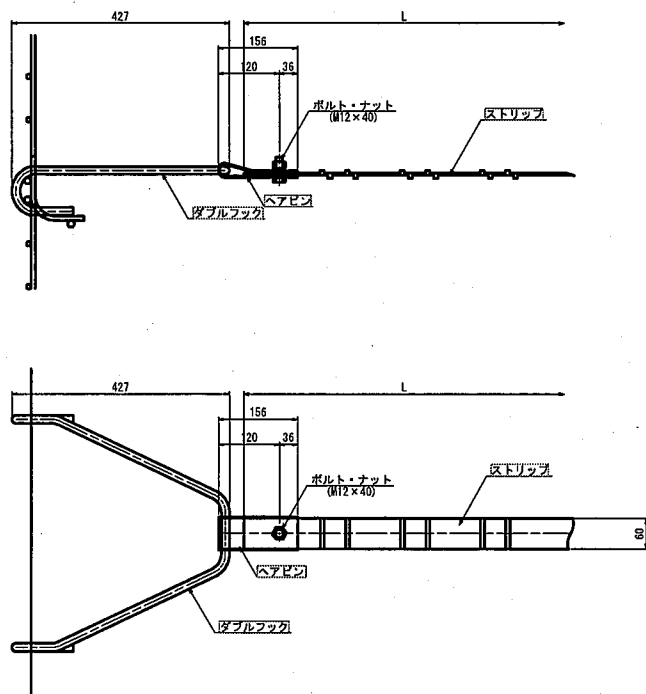


注記
 ・特記なき材質は、SUS304とする。
 (開閉機は除く。)

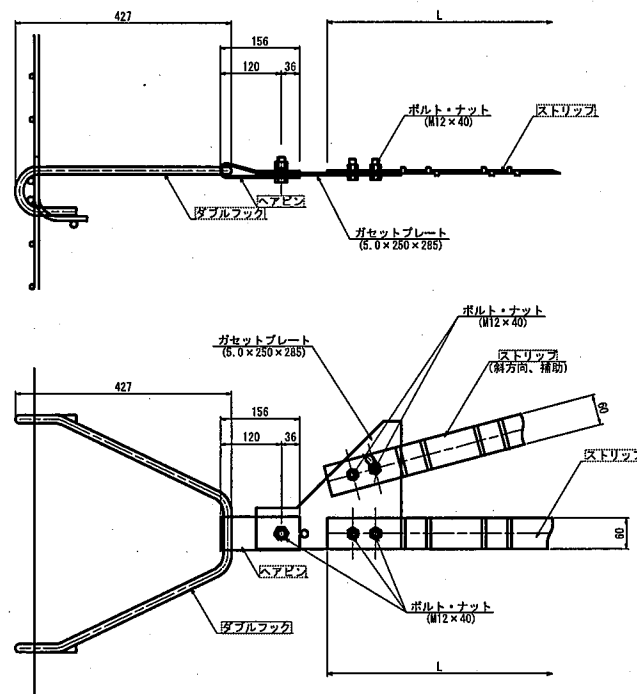
補強土（テラトレール）壁工 構造一般図（2）

ストリップ取付詳細図

通常部



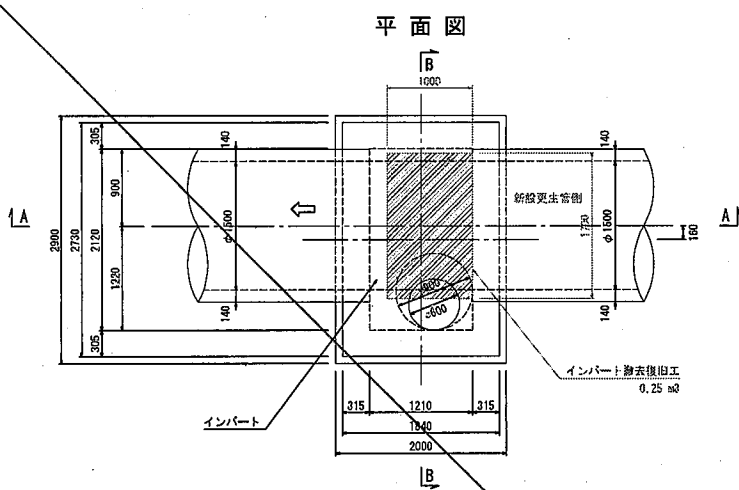
ガセットプレート設置部



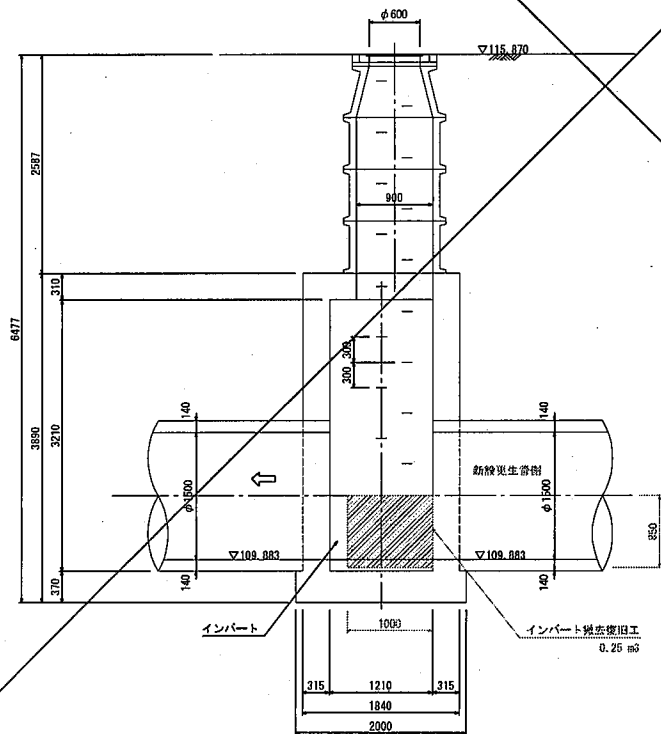
工事名	
図面名	
作成年月日	平成31年1月
縮尺	図示 図面番号 54/114
会社名	
事業者名	安木土木事務所

No. 330人孔インバート撤去復旧図 S=1:30

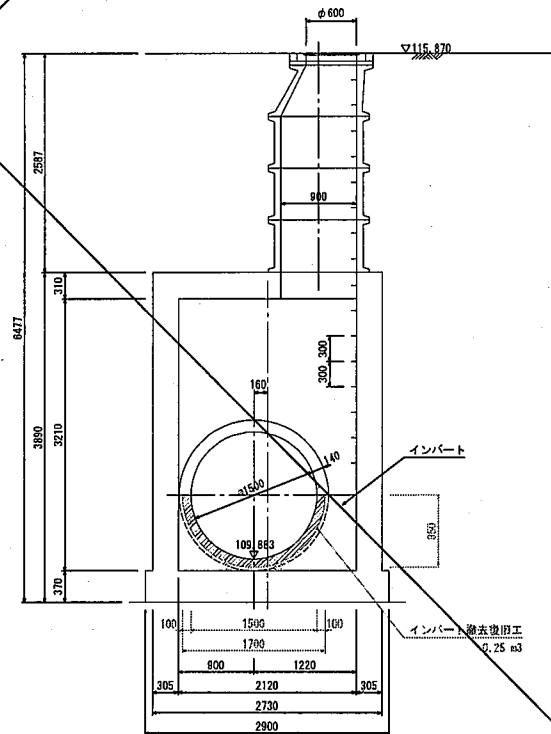
平面図



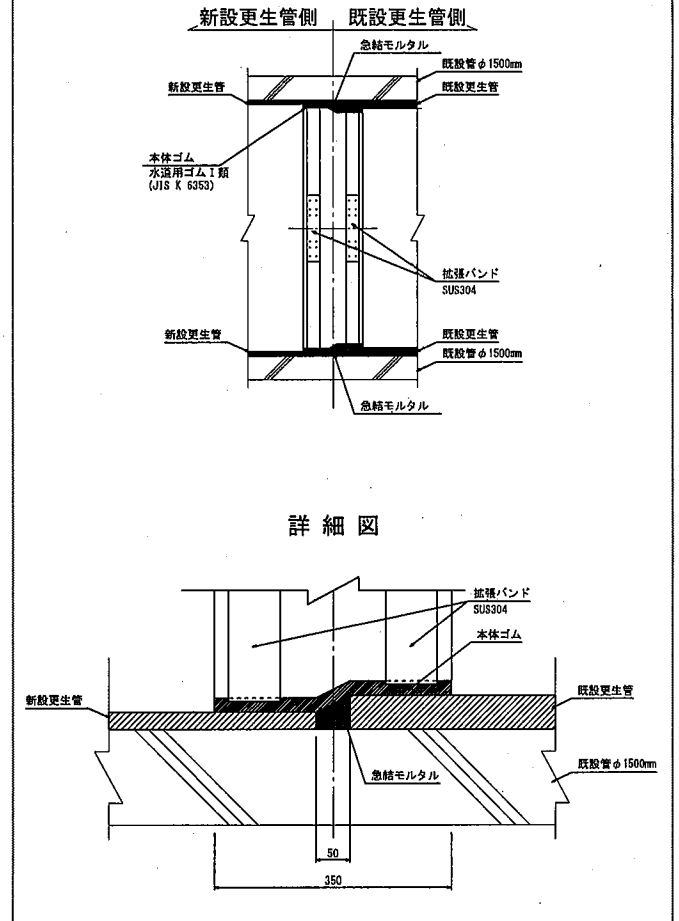
A-A 断面図



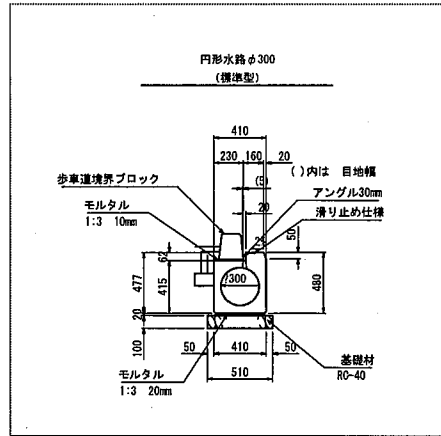
B-B 断面図



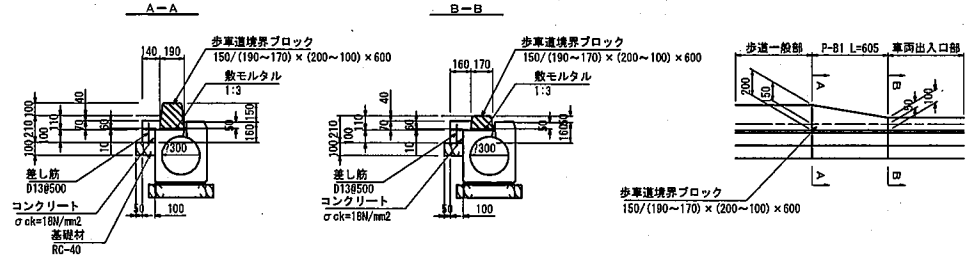
既設更生管接続図 S=1:NON



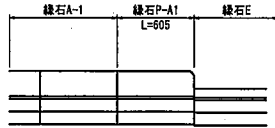
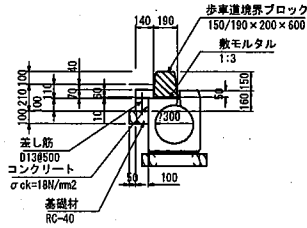
詳細図



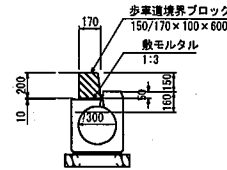
線石P-B1 (東西出入口部)
円形水路部



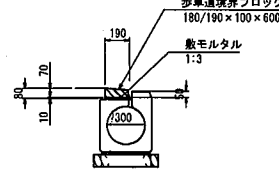
線石A-1
線石P-A1
円形水路部



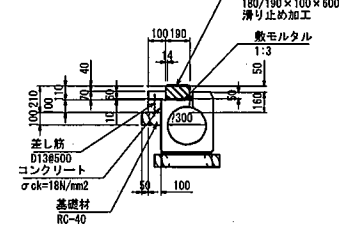
線石G-1
円形水路部



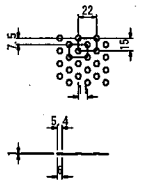
線石E-1
円形水路部



線石F-1
円形水路部

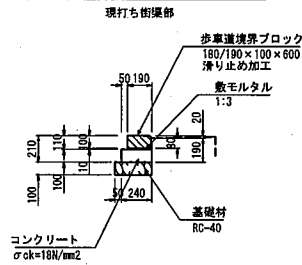


滑り止め加工詳細図

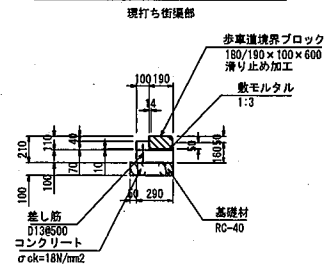


※線石A-1は5m当たり1箇所穴あきブロックを設置のこと。

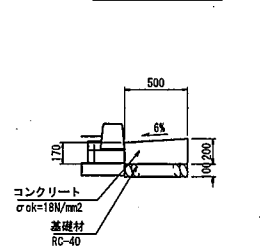
線石E型 (歩道切下げ部)



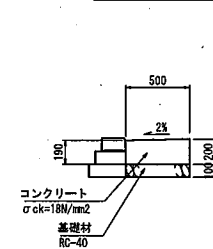
線石F型 (東西出入口部)



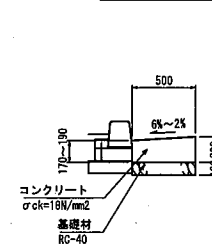
街渠A-2



街渠B-2



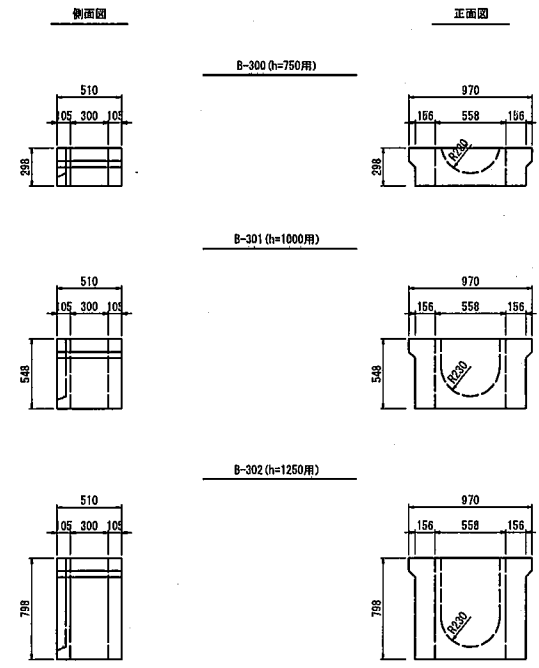
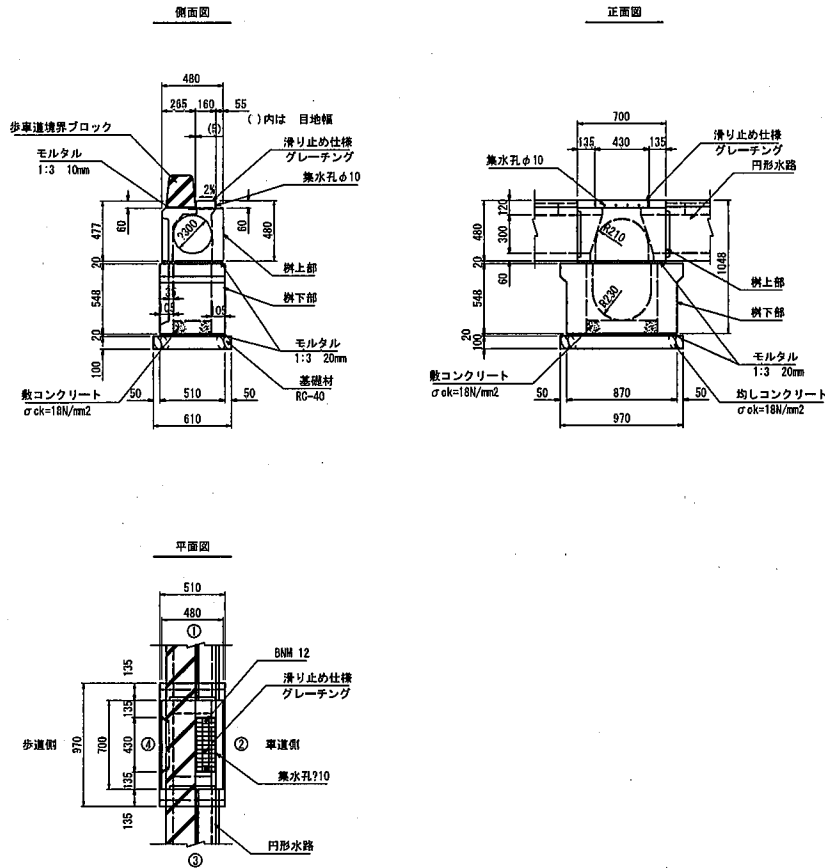
街渠C-2



平成 28年度	図面番号	18 / 56
路線名	[REDACTED]	
業務名	[REDACTED]	
場所	[REDACTED]	
図面名	構造図 (1)	縮尺 1:20
大阪府茨木土木事務所		

円形水路側

側下部材詳細図

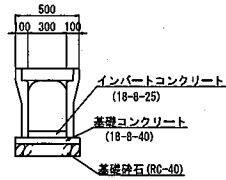


平成 28年度	図面番号	21 / 56
路線名	[REDACTED]	
業務名	[REDACTED]	
場所	[REDACTED]	
図面名	円形水路側構造図	図尺 1:20
大阪府土木事務所		

構造詳細図(1) S=1:20

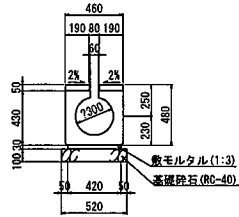
側溝工

自由勾配側溝 B300×H400



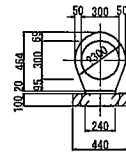
街渠工

円型水路 D300

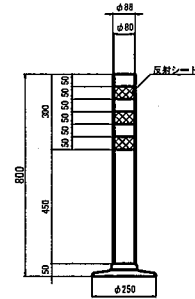


管渠工

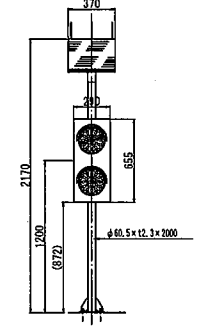
台付管D300



車線分離標 S=1:10 ポストコーン

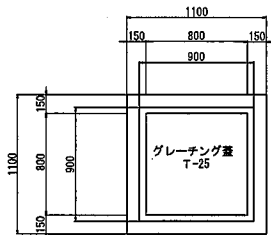


S=1:20 プリンカーライト

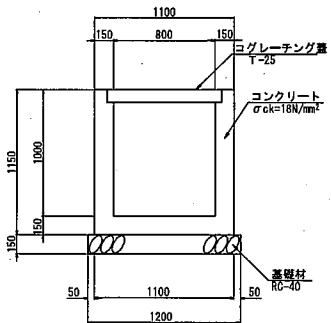
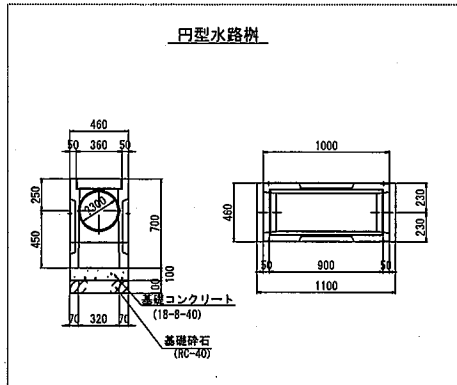


集水枡工

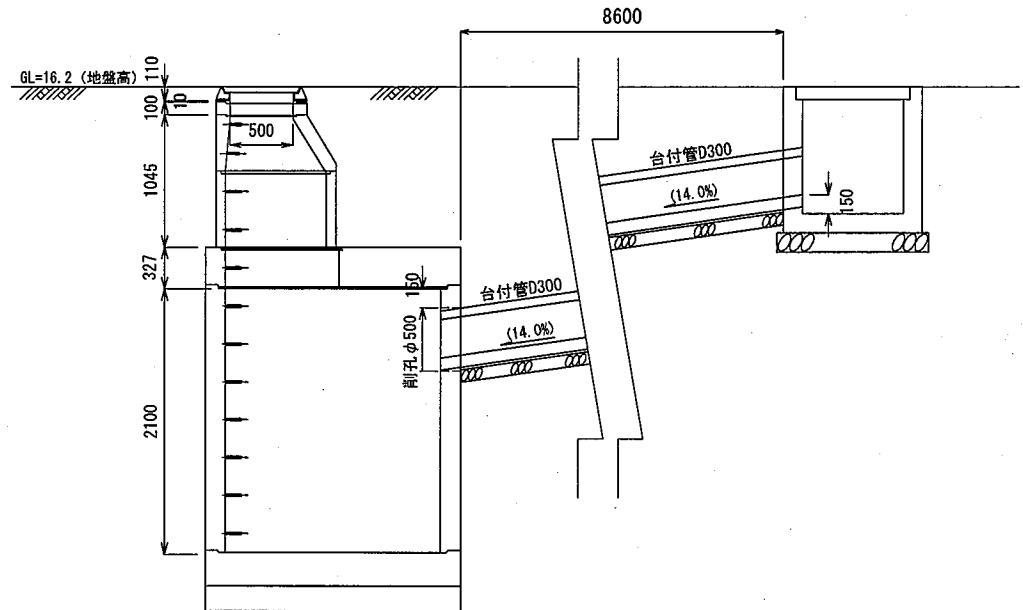
集水枡
800×800×1000



円型水路枡



下水接続工 (参考図)



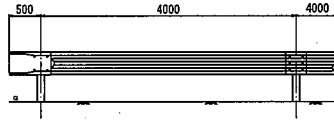
※人孔構造が不明な為上図は参考図である。施工時は現況直管部に削孔すること。

工事名	
図面名	構造詳細図(1)
作成年月日	平成31年1月
縮尺	S=1:20 図面番号 93/114
会社名	
事業者名	茨木土木事務所

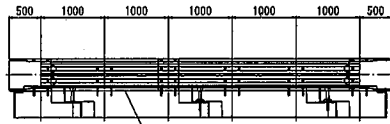
構造詳細図(3)

防護柵工

C種ガードレール S=1:40
Gr-C-4E

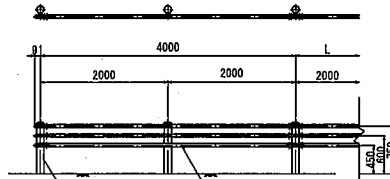


置式ガードレール S=1:40

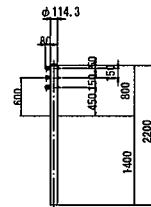
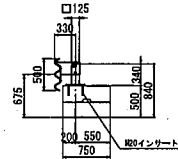
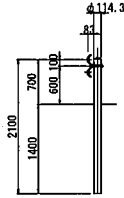


ビーム
4.0×500×85

C種ガードパイプ S=1:40
Gp-Cp-2E

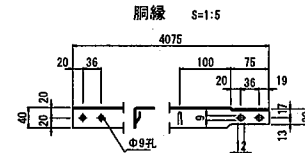
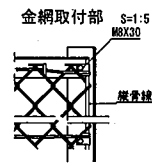
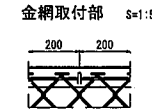
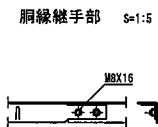
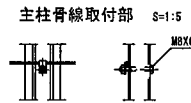
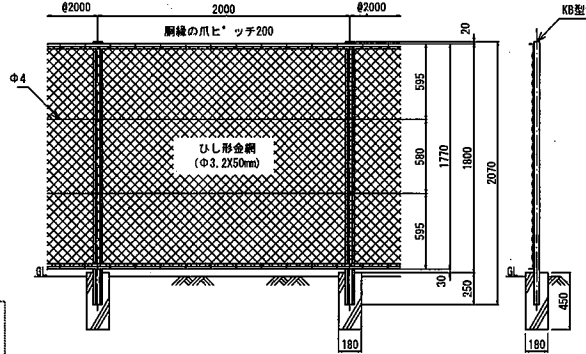


支柱(STK400) φ114.3X4.5
ビームパイプ(STK400) φ48.6X3.2X3936

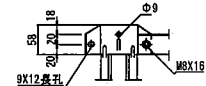
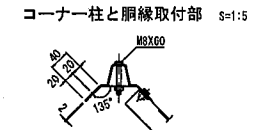
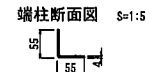
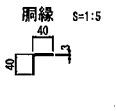
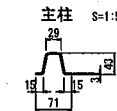
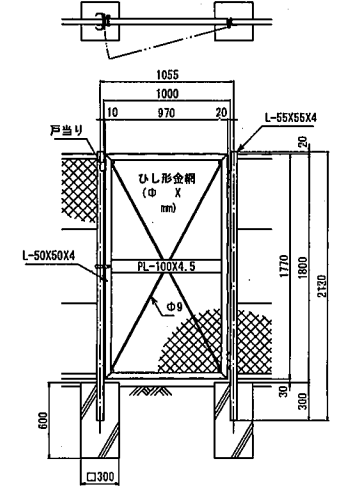


フェンス

フェンス 組立図 S=1:20

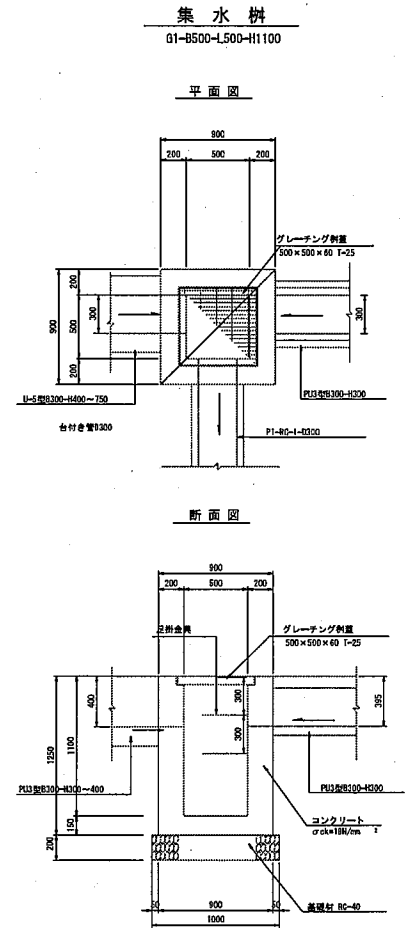
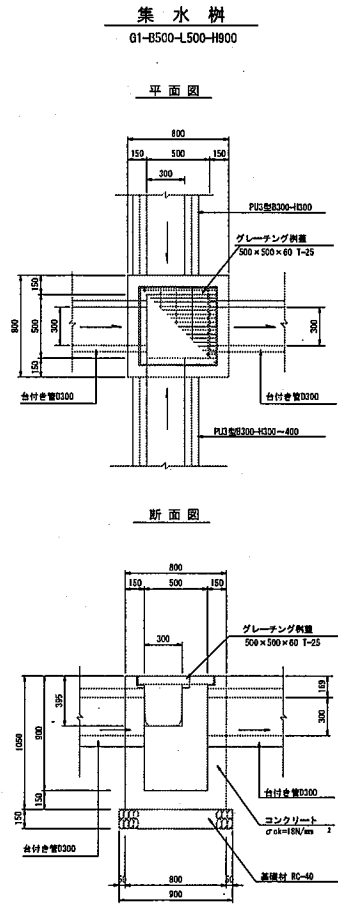
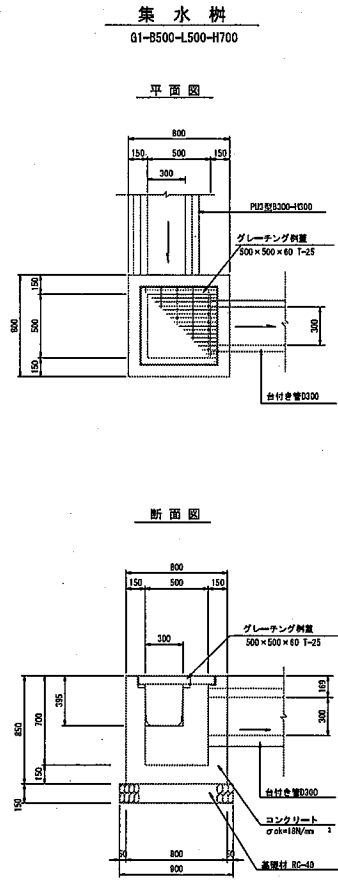
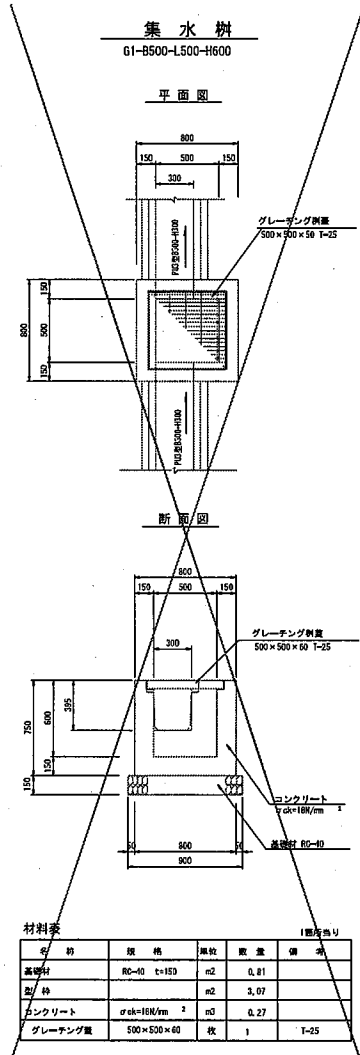


片開き門扉 S=1:20
KM門扉 H-180



工事名	
図面名	構造詳細図(3)
作成年月日	平成31年1月
縮尺	図示 図面番号 95/114
会社名	
事業所名	茨木土木事務所

排水工構造図(5) S=1:20

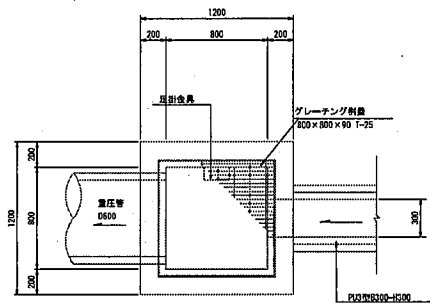


排水工構造図(6) S=1:20

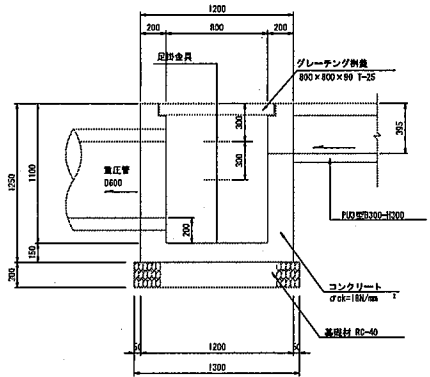
集水樹

G1-B800-L800-H1100

平面図



断面図



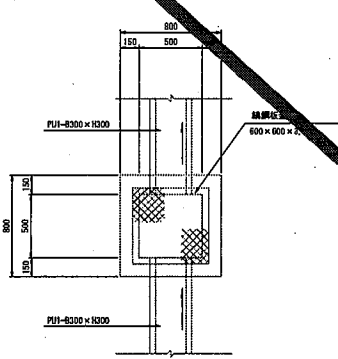
材料表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量	備考
基礎材	RC-40 t=200	m ²	1.69	
型枠		m ²	8.65	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	1.05	
圧入金具	D13	Kg	1.29	
グレーティング鋼板	800×800×99	枚	1	t=25

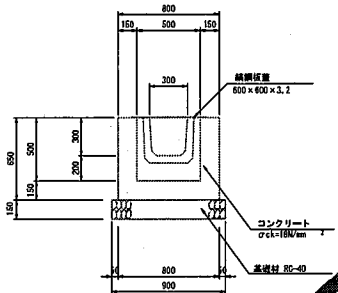
集水樹

G2-B500-L500-H500

平面図



断面図



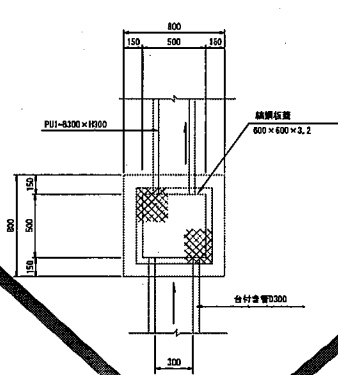
材料表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量	備考
基礎材	RC-40 t=150	m ²	0.81	
型枠		m ²	3.10	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.27	
鉄鋼板	t=3.2mm	Kg	9.64	
等辺山形鋼	L-50×50×6	Kg	1.77	
つり金具	φ13	Kg	1.25	

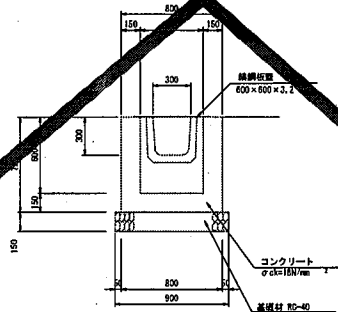
集水樹

G2-B500-L500-H600

平面図



断面図



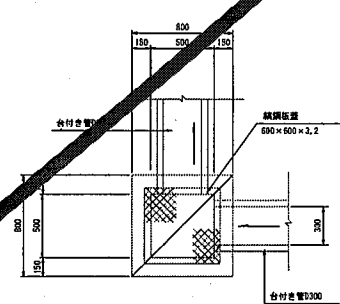
材料表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量	備考
基礎材	RC-40 t=150	m ²	0.81	
型枠		m ²	3.32	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.29	
鉄鋼板	t=3.2mm	Kg	9.64	
等辺山形鋼	L-50×50×6	Kg	1.77	
つり金具	φ13	Kg	1.25	

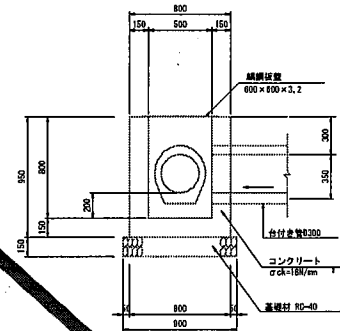
集水樹

G2-B500-L500-H900

平面図



断面図

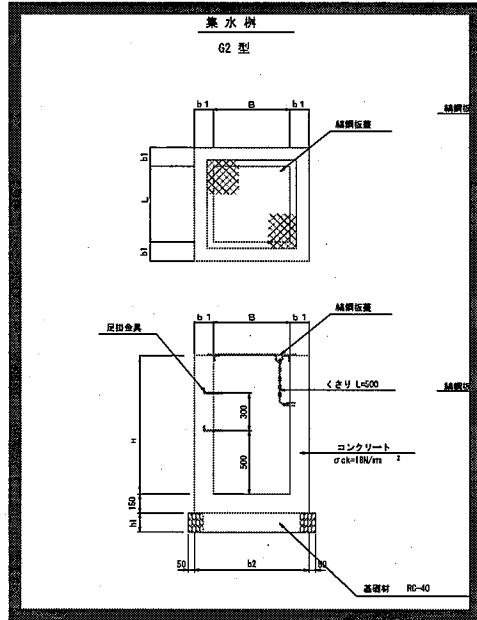


材料表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量	備考
基礎材	RC-40 t=150	m ²	0.81	
型枠		m ²	3.32	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.41	
鉄鋼板	t=3.2mm	Kg	9.64	
等辺山形鋼	L-50×50×6	Kg	1.77	
つり金具	φ13	Kg	1.25	

年度	令和2年度	番号	10 / 15
路線名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
工事場所	[Redacted]		
図面名	排水工構造図(6)		
縮尺	1:20	作成年月	平成30年3月
大阪府安威川ダム建設事務所			

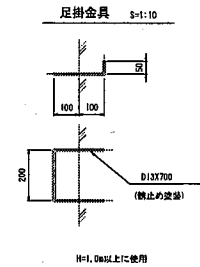
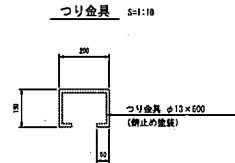
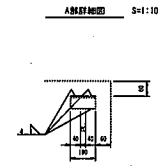
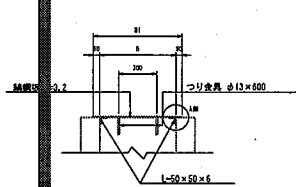
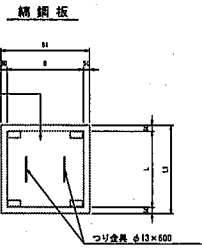
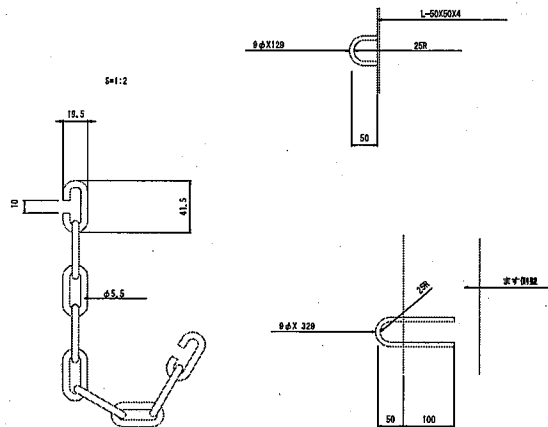
排水工構造図(8) S=1:20



鉄鋼板蓋寸法表

記号 (L-B)	B	L	B1	L1
G2-850G-L500-H	500	500	600	600
G2-880G-L800-H	800	800	900	900

くさりの詳細図 S=1:5



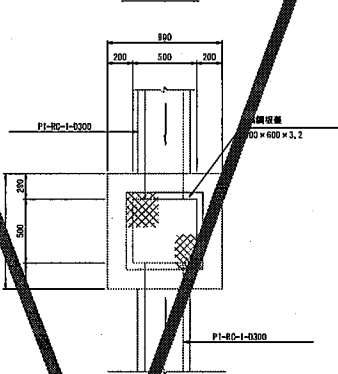
年度	令和2年度	巻号	12 / 15
路線名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
工事場所	[Redacted]		
図面名	排水工構造図(8)		
縮尺	1:20	作成 年月	平成 30年 3月

大阪府安威川ダム建設事務所

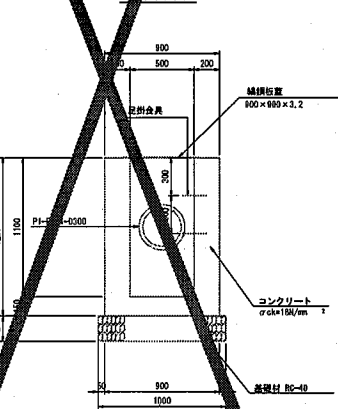
集水樹

G2-8500-L500-H1100

平面図



断面図



材料表 (箇所当り)

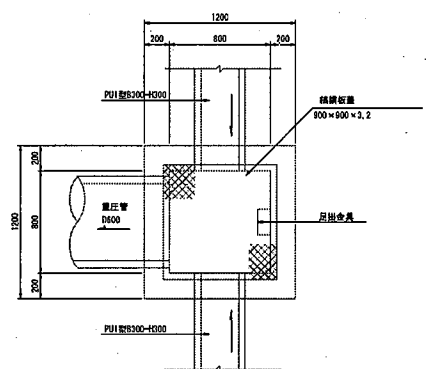
名称	規格	単位	数量	備考
基礎材	RC-40 t=200	m ²	1.00	
型枠		m ²	6.80	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.72	
鉄筋板金	t=3.2mm	Kg	9.64	
等辺山形鋼	L-50×50×6	Kg	1.77	
つり金具	φ13	Kg	1.25	
足掛金具	D13	Kg	1.30	

排水工構造図(7)

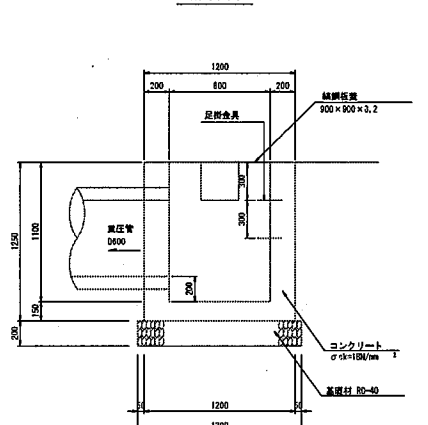
集水樹

G2-8800-L800-H1100

平面図



断面図



材料表 (箇所当り)

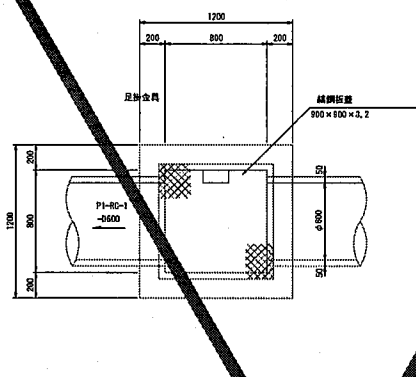
名称	規格	単位	数量	備考
基礎材	RC-40 t=200	m ²	1.69	
型枠		m ²	6.63	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.96	
鉄筋板金	t=3.2mm	Kg	21.70	
等辺山形鋼	L-50×50×6	Kg	1.77	
つり金具	φ13	Kg	1.25	
足掛金具	D13	Kg	1.30	

S=1:20

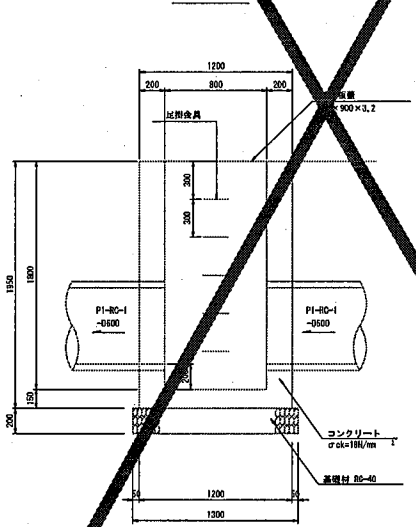
集水樹

G2-8800-L800-H1800

平面図



断面図



材料表 (箇所当り)

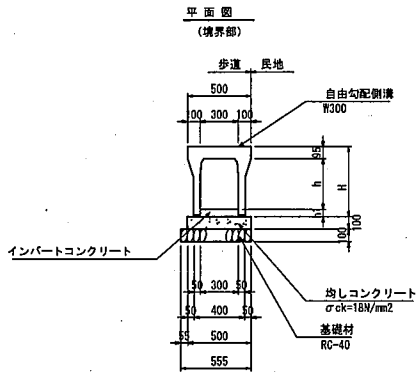
名称	規格	単位	数量	備考
基礎材	RC-40 t=200	m ²	1.69	
型枠		m ²	14.06	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	1.50	
鉄筋板金	t=3.2mm	Kg	21.70	
等辺山形鋼	L-50×50×6	Kg	1.77	
つり金具	φ13	Kg	1.25	
足掛金具	D13	Kg	3.48	

年度	令和2年度	図号	11 / 15
路線名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
工事場所	[Redacted]		
部署名	排水工構造図(7)		
縮尺	1:20	作成年月	平成30年3月

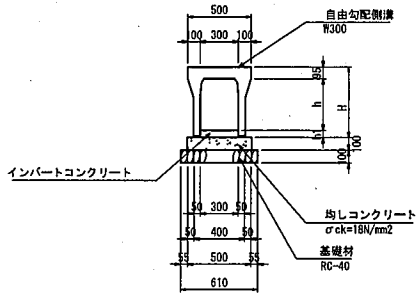
大阪府安威川ダム建設事務所

(境界部)

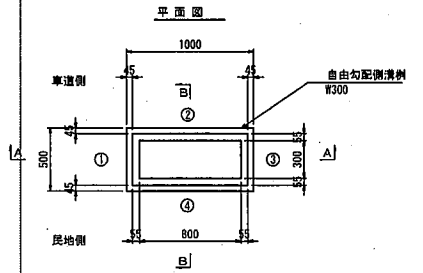
自由勾配側溝構造図



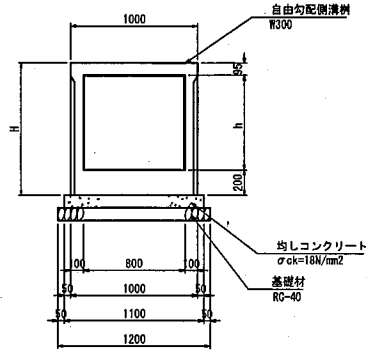
平面図 (No. 39付近)



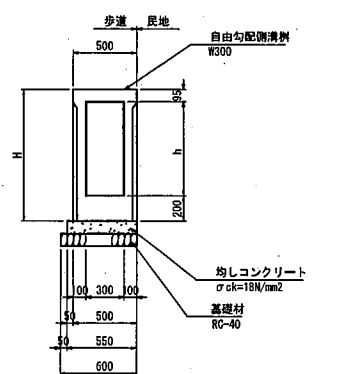
自由勾配側溝構造図



A-A断面図



B-B断面図



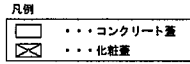
寸法表

番号	B	L	H	L1	①		②		③		④		天端高	養	摘要
					R1(φ)	h1	FH1	R2(φ)	h2	FH2	R3(φ)	h3			
1	300	1000	845	50	300	419	3.995	300	3.995				4.509	歩道用、細目	自由勾配側溝
2	300	1000	745	50	300	354	3.832	300	4.015	300	354	3.832	4.281	歩道用、細目	自由勾配側溝
3	300	1000	745	50	300	362	3.822		300			3.822	4.279	歩道用、細目	自由勾配側溝
4	300	1000	745	50	300	300	3.785	300	3.740	300	345	3.740	4.180	歩道用、細目	自由勾配側溝
5	300	1000	745	50	300	345	3.680		300			3.680	4.120	歩道用、細目	自由勾配側溝
6	300	1000	845	50	300	440	3.905	300	3.905	300	340	4.005	4.390	歩道用、細目	自由勾配側溝
7	300	1000	845	50	300	440	3.905	300	3.905	300	340	4.005	4.440	歩道用、細目	自由勾配側溝
8	300	1000	645	50	300	440	3.895		300	300	300	3.895	4.368	歩道用、細目	自由勾配側溝
9	300	1000	645	50	300	440	3.983	300	3.984	300	340	3.983	4.372	歩道用、細目	自由勾配側溝
10	300	1000	845	50	300	413	3.882	300	3.854	300	442	3.853	4.390	歩道用、細目	自由勾配側溝
11	300	1000	845	50	300	413	3.904		300		418	3.904	4.815	歩道用、細目	自由勾配側溝
12	300	1000	845	50	300	400	4.315	300	4.315	300	300	4.415	4.810	歩道用、細目	自由勾配側溝
13	300	1000	845	50	300	422	3.933		300			3.933	4.450	歩道用、細目	自由勾配側溝
14	300	1000	945	50	300	352	4.123	300	3.970	300	505	3.970	4.570	歩道用、細目	自由勾配側溝

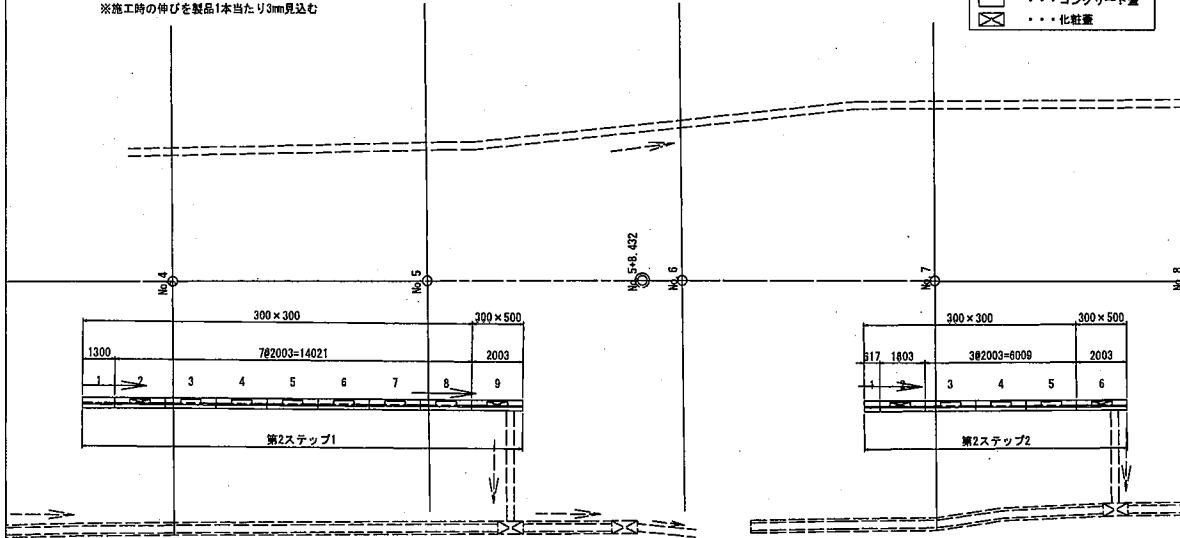
平成 28年度	図面番号	40 / 58
路線名	[REDACTED]	
業務名	[REDACTED]	
場所	[REDACTED]	
図面名	自由勾配側溝構造図 (境界部) 概尺 図示	
大阪府営土木事務所		

自由勾配水路制付図(街渠部)1.2

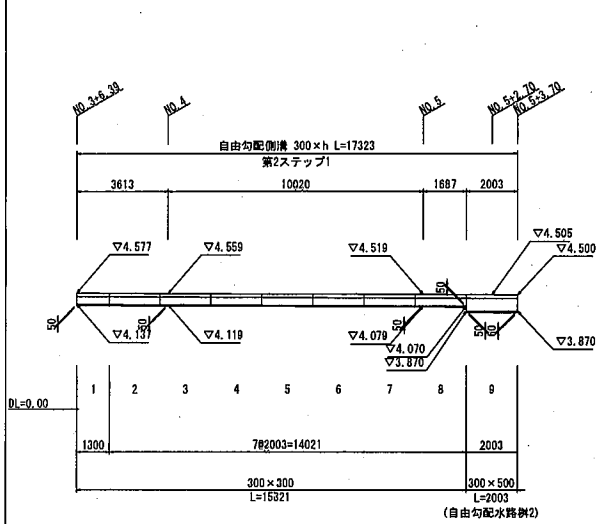
(参考図)



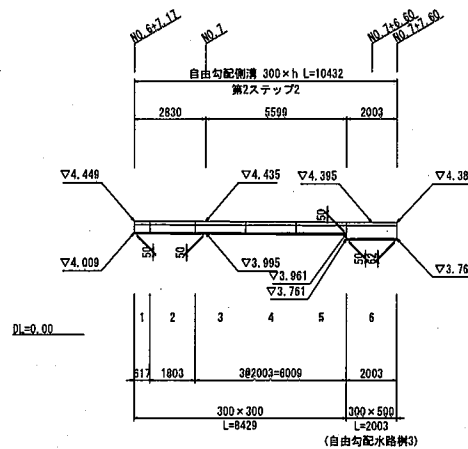
平面図 S=1:100
※施工時の伸びを製品1本当たり3mm見込む



縦断面図 S=1:100
※施工時の伸びを製品1本当たり3mm見込む

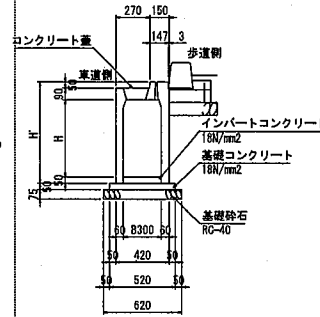


(自由勾配水路例2)



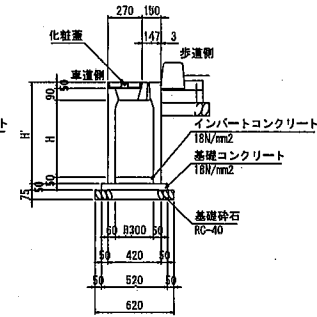
(自由勾配水路例3)

標準断面図 S=1:20
(コンクリート蓋)



※標準製品には、蓋掛がありません

標準断面図 S=1:20
(グレーチング)



規格	全寸
B300×H300	490
B300×H400	590
B300×H500	690
B300×H600	790
B300×H700	890
B300×H800	990
B300×H900	1090
B300×H1000	1190
B300×H1100	1290

スリット付自由勾配側溝数量表 (第2ステップ-1)

名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位	製品番号	備考
スリット付側溝	300×300	2000	標準	7	本		
		1297	標準(L)	1	本	1	短切
		2000	標準	1	本		
合計				9	本	1~9	
蓋版	300	800	車道	6	枚		
		900	車道	2	枚		

※製品 No. 1 ~ 9 を集計しています。
※施工の伸びを、3mm見込んでいます。
※斜切製品は、斜切角度の緩い方から見て、L=左側/右側とします。
※天端突起が右にあれば(R)、左にあれば(L)とします。

スリット付自由勾配側溝材料表 (第2ステップ-1)

名称	規格	数量	単位
インバートコンクリート	$\sigma_{sk}=18N/mm^2$	0.263	m ³
基礎コンクリート	$\sigma_{sk}=18N/mm^2$	0.450	m ³
間上型枠	均し基礎型枠	1.732	m ²
基礎砕石	RC-40	10.740	m ²

スリット付自由勾配側溝数量表 (第2ステップ-2)

名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位	製品番号	備考
スリット付側溝	300×300	2000	標準	3	本		
		1800	標準傾斜(L)	1	本	2	短切
		614	標準(L)	1	本	1	短切
		2000	標準	1	本		
合計				6	本	1~6	
蓋版	300	800	車道	3	枚		
		900	車道	2	枚		

※製品 No. 1 ~ 6 を集計しています。
※施工の伸びを、3mm見込んでいます。
※斜切製品は、斜切角度の緩い方から見て、L=左側/右側とします。
※天端突起が右にあれば(R)、左にあれば(L)とします。

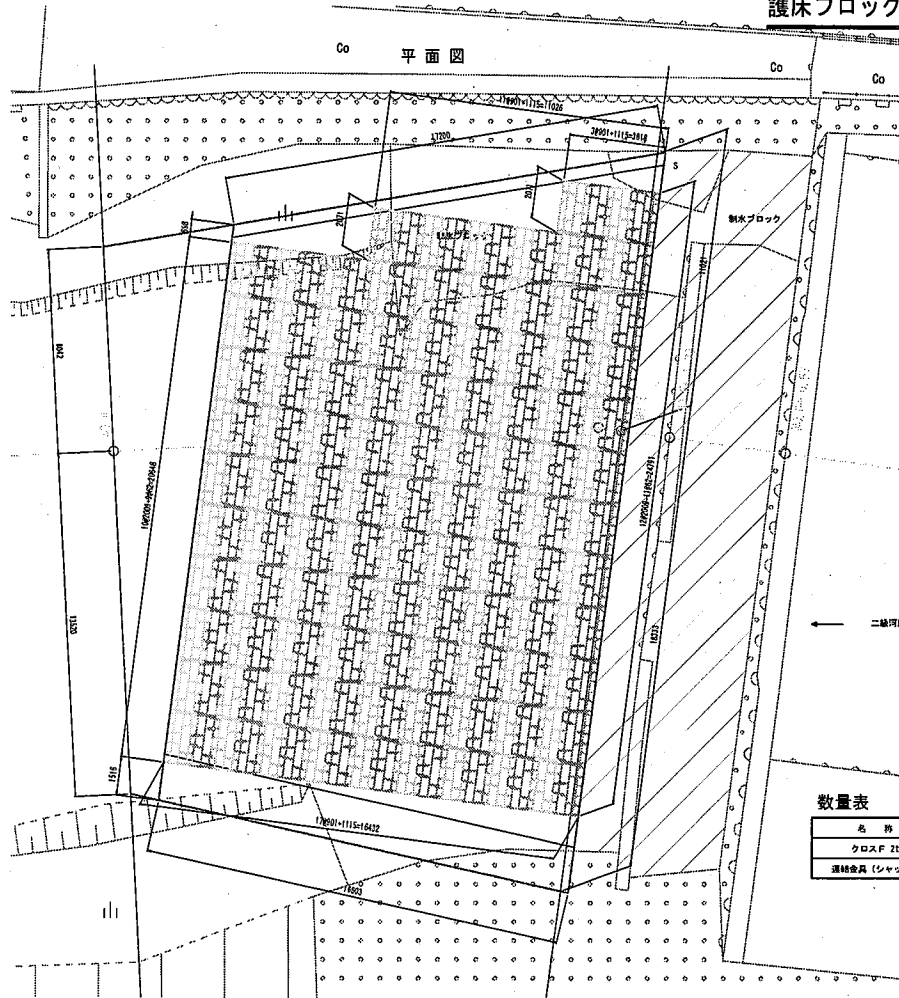
スリット付自由勾配側溝材料表 (第2ステップ-2)

名称	規格	数量	単位
インバートコンクリート	$\sigma_{sk}=18N/mm^2$	0.160	m ³
基礎コンクリート	$\sigma_{sk}=18N/mm^2$	0.271	m ³
間上型枠	均し基礎型枠	1.043	m ²
基礎砕石	RC-40	6.468	m ²

平成 28年度	図面番号	23 / 56
路線名	[REDACTED]	
業務名	[REDACTED]	
場所	[REDACTED]	
図面名	自由勾配水路制付図(街渠部)1.2	縮尺 1:100
大阪府茨木土木事務所		

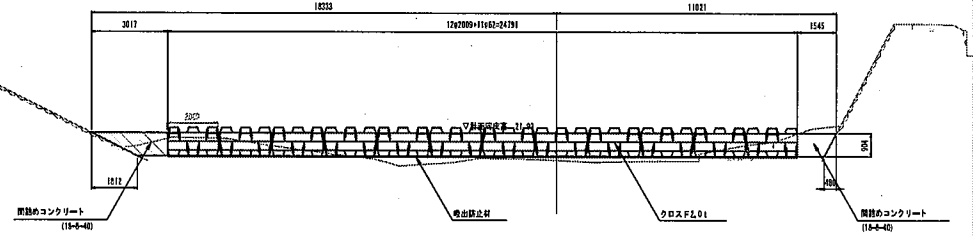
護床ブロック割付工構造図

S=1:100



横断面

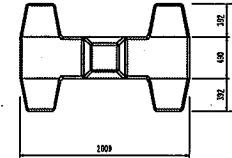
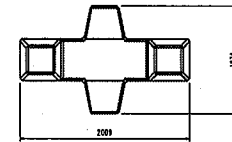
(NO.5)



製品詳細図

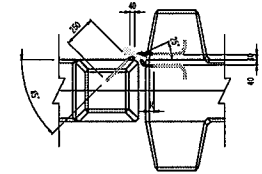
S=1:30

クロスF 2t



連結詳細図

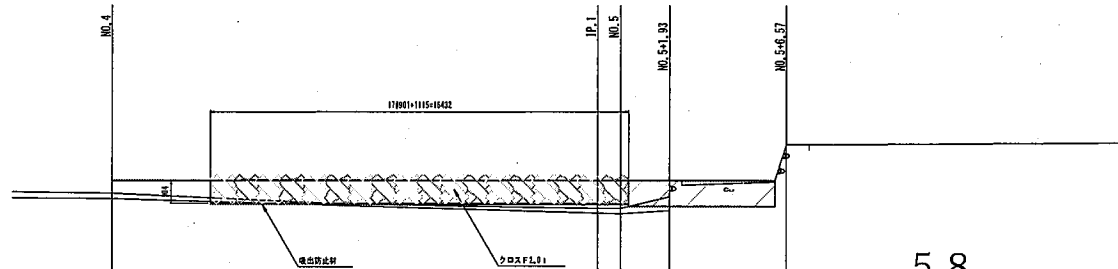
S=1:20



数量表

名称	単位	数量
クロスF 2t	個	196
連結金具 (シャックル)	個	178

縦断面



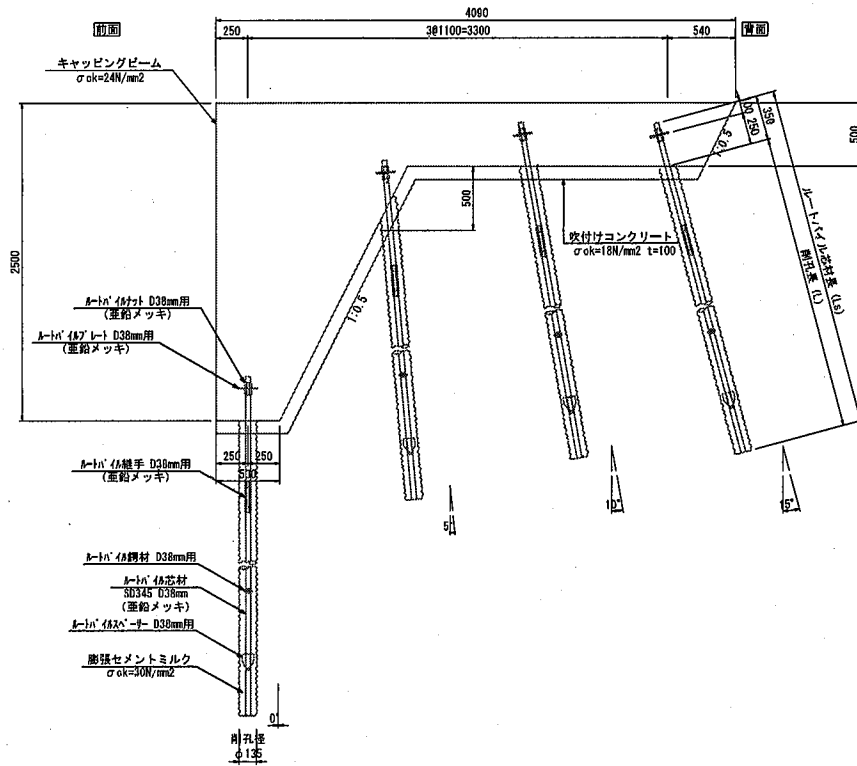
(参考図)

年度	令和5年度	作成 年月	令和2年2月
河川名			
委託名			
履行場所			
図面名	護床ブロック割付工構造図		
縮尺	1:100	冊数	3
大阪府農土木事務所			3

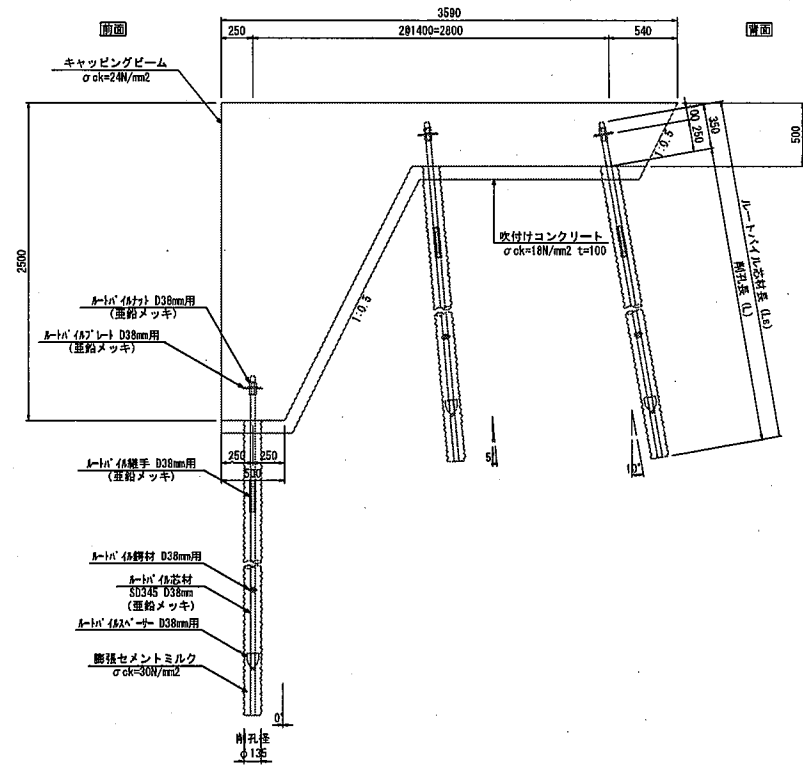
EPルートパイプ工詳細図(2) (参考図)

(テールアルメ区間)

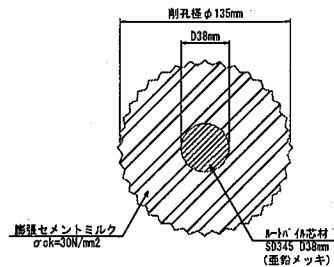
取付詳細図 S=1:20
TYPE-I



取付詳細図 S=1:20
TYPE-II



ハール断面図 S=1:2



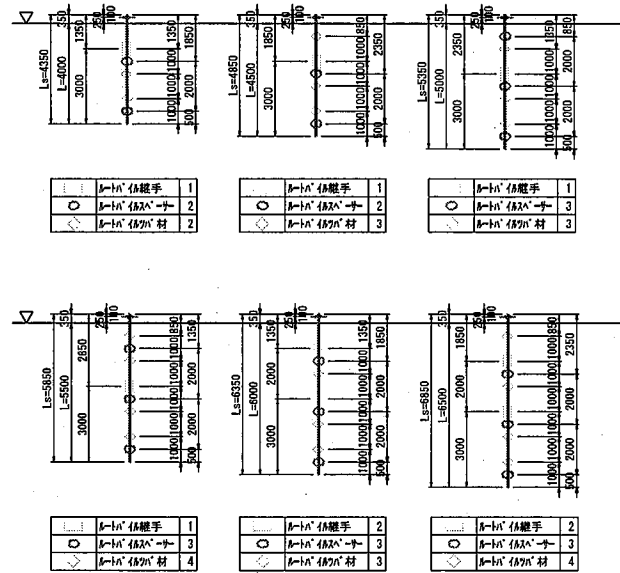
(参考図)

年度	番号
種別・別名	
工事名	
所属地名	
図面名	EPルートパイプ工詳細図(2)
縮尺	図示
作成年度	
大阪府鳳土木事務所	

EPルートパイル工詳細図(3) (参考図)

(テールアルメ区間)

芯材組立図 S=1:100

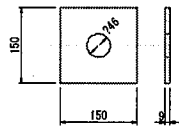


凡例

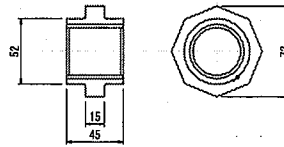
記号	説明
Ls	ルートパイル芯材長
L	削孔長
—	ルートパイル・ヘッド
---	ルートパイル継手
○	ルートパイル継手
◇	ルートパイル材
≡	削孔面

部品詳細図
(D38mm用)

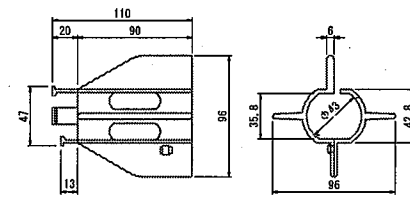
ルートパイルプレート S=1:5
(亜鉛メッキ)



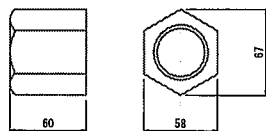
ルートパイル鍔材 S=1:2



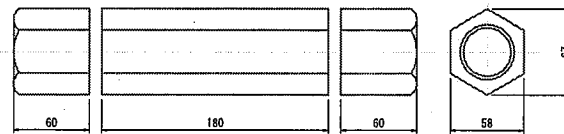
ルートパイルスペーサー S=1:2



ルートパイルナット S=1:2
(亜鉛メッキ)



ルートパイル継手 S=1:2
(亜鉛メッキ)

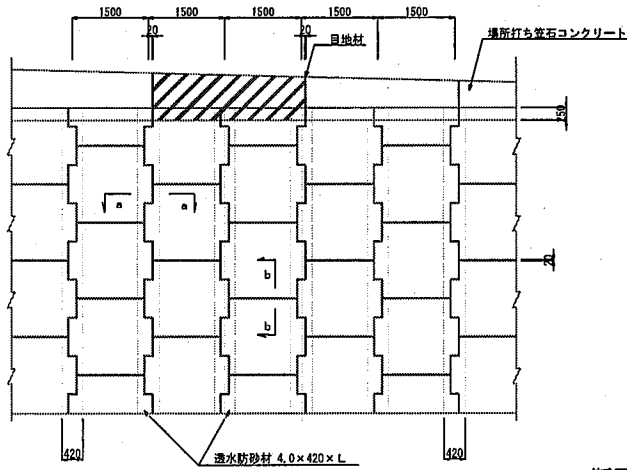


(参考図)

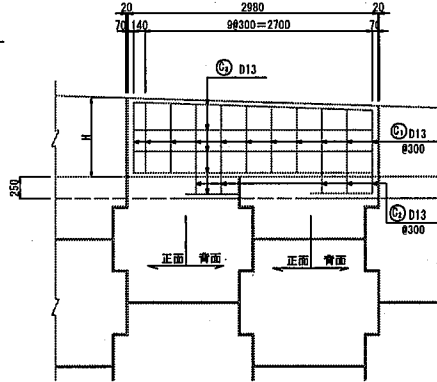
年度	番号
種類・規格	
工事名	
所属地名	
図面名	EPルートパイル工詳細図(3)
縮尺	図示 作成年度
大阪府鳳土木事務所	

補強土(テールアルメ)壁工 詳細図(1) (参考図)

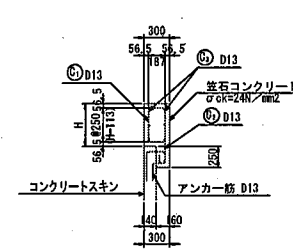
スキン組合せ一般図 S=1:50



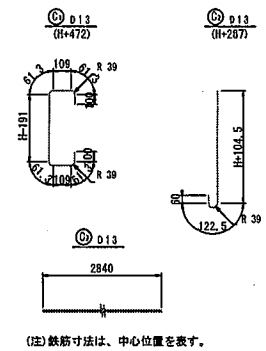
笠石コンクリート配筋図 S=1:30



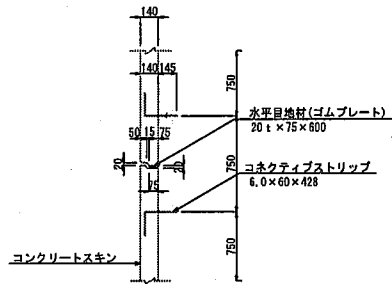
笠石コンクリート断面図 S=1:30



鉄筋加工図 S=1:20

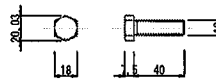


断面 b-b S=1:20



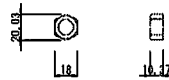
ボルト S=1:2

M12 x 40
ボルト 強度区分 8.8

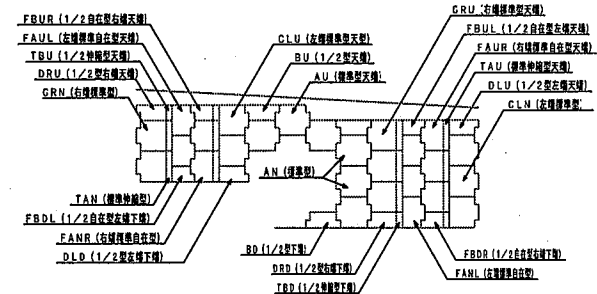


ナット S=1:2

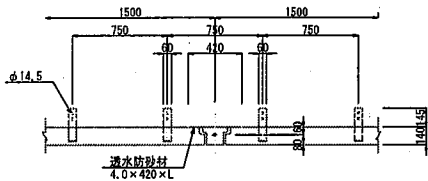
ナット 強度区分 8



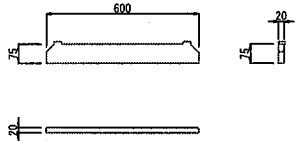
スキン記号説明 (正面図)



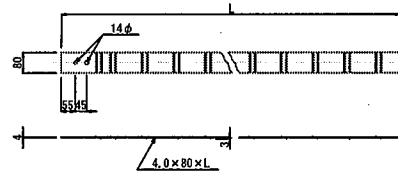
断面 a-a S=1:20



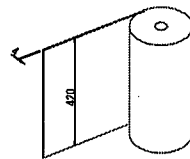
水平目地材(ゴムプレート) S=1:10



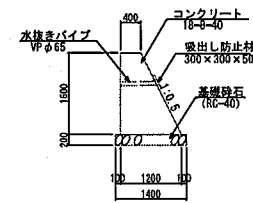
リブ付ストリップ S=1:10
材質SS400



透水防砂材 S=1:10



重力式擁壁工 構造図 S=1:50



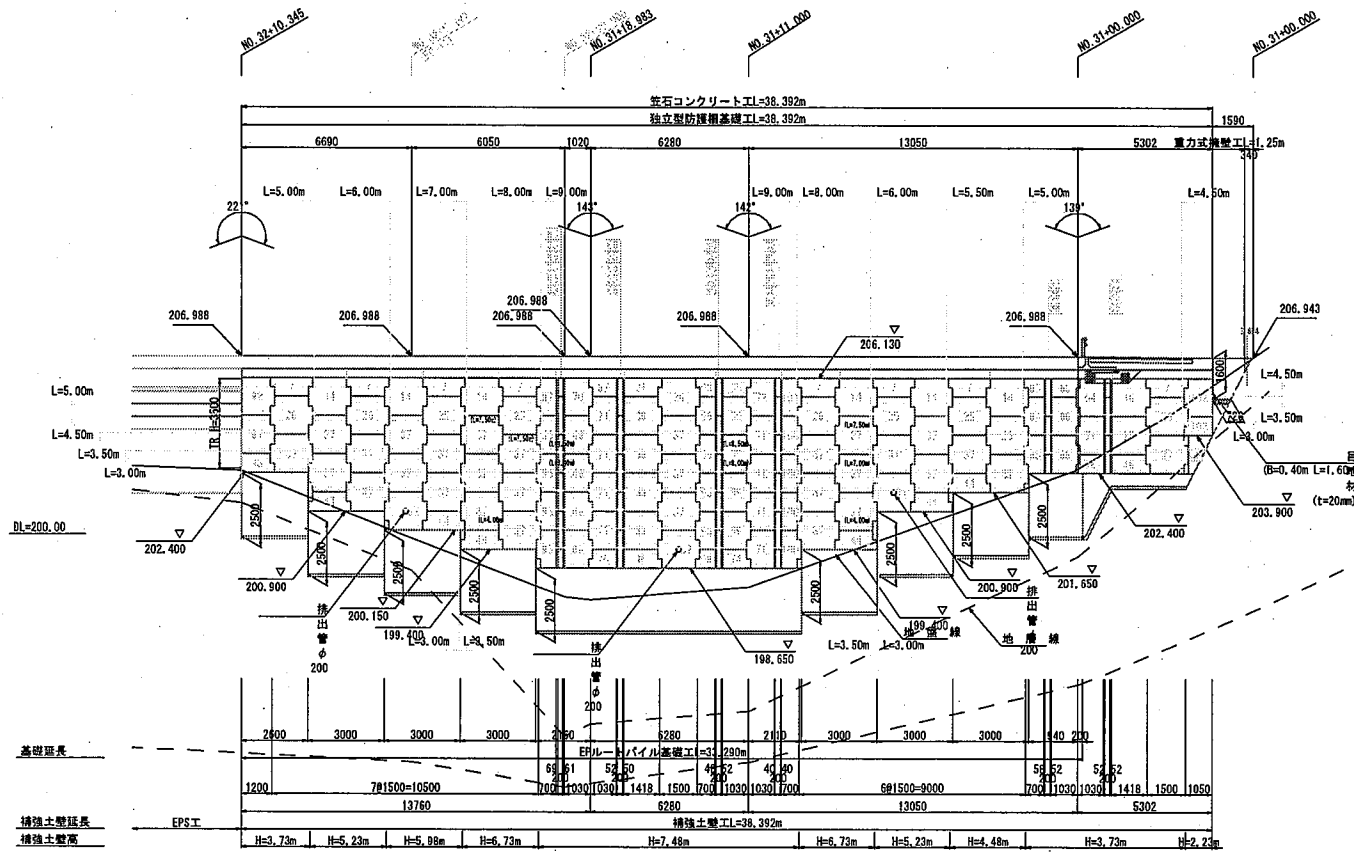
(参考図)

年度	番号
資料・用紙	
工事名	
所属地名	
図面名	補強土壁工 詳細図(1)
縮尺	図示
図示	作成年度
大阪府国土土木事務所	

補強土(テールアルメ)壁工 展開図(1) (参考図)

(NO. 31+00.000~NO. 32+10.345)

正面展開図 S=1/100



補強土壁構造物設計条件

補強土壁構造物の内訳設計条件

補強土壁高	$H_{max} = 7.48 \text{ m}$	$H_{min} = 2.23 \text{ m}$
盛土材の土質条件	$\gamma = 20 \text{ kN/m}^3$	$\phi = 35^\circ$
ストリップの摩擦係数	$f = 1.5 \sim 0.726$	
土 圧	受働土圧及び静止土圧	
設計水平震度	$K_h = 0.15$	
ストリップの引掛けに対する安全率	常時: 2.0	地震時: 1.2
ストリップの引張応力度	常時: 140 N/mm^2	地震時: 210 N/mm^2
ボルトのせん断応力度	常時: 200 N/mm^2	地震時: 300 N/mm^2
コンクリートの設計基準強度	$f'_{ck} = 35 \text{ N/mm}^2$	

補強土壁構造物の外訳設計条件

すべり検討の安全率	常時	地震時
転倒に対する安定条件 注1)	$F_s \geq 1.20$	$F_s \geq 1.00$
滑動に対する安全率	$e \leq 9/6$	$e \leq 9/3$
支持力に対する安全率	$F_s \geq 1.50$	$F_s \geq 1.20$
最大許容支持力度 (kN/m ²)	3.00	2.00
最大許容支持力度 (kN/m ²)	$348.0 \times 3.0 = 1044 \text{ kN/m}^2$	$336.9 \times 2.0 = 674 \text{ kN/m}^2$

注1) 転倒に関しては、良好な基礎地盤上に設置する場合は、合力作用点が所定の範囲の後方にはずれても安定と考える。

【盛土材の適用範囲】

盛土材は下記に示す範囲としなければならない。

[A1] 細粒分 (75μ以下) の含有量が25%以下の土質材料。

[A2] 25mmを超える大粒径のものを含まない岩石材料で、75mmふるい通過分中の細粒分の含有量が25%以下で、かつ大小粒径が適度に混合して締め固めのしやすいもの。

- 注) 施工時地下水等の湧水が認められる場合は、状況に応じて対策が必要。
 ・施工前において、必ず壁位置における原地盤線及び基礎地盤の確認を要する。
 ・使用盛土材料が設計条件と異なる場合は、補強材長さ及び水平間隔が変更となる場合があるため、別途協議を行う。
 ・壁前面の覆土については、十分な洗掘防止対策を行う事。

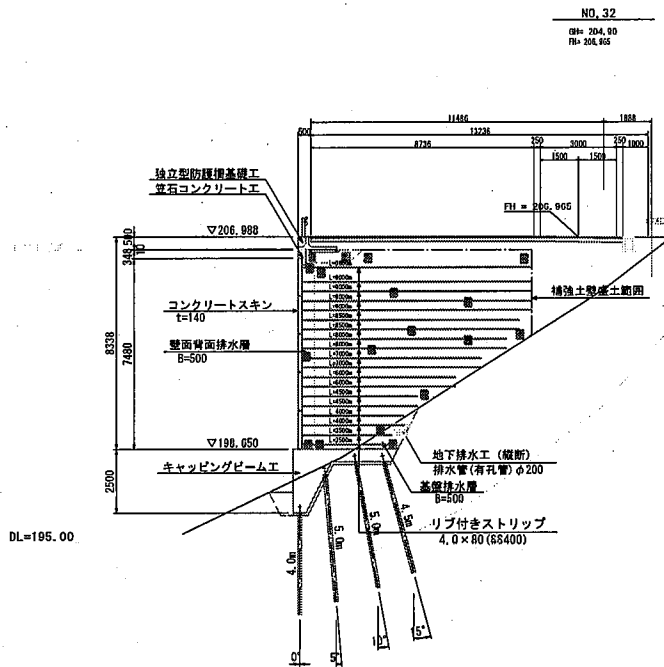
(参考図)

年度	番号
設計・別図	
工事名	
所属地名	
図面名	補強土壁工 展開図(1)
縮尺	1/100 作成年度
大阪府国土土木事務所	

補強土(テールアルメ)壁工 展開図(2) (参考図)

(NO. 31+00.000~NO. 32+10.345)

標準断面図 S=1/100



数量表

項目	番号	規格	単位	数量	摘要	
※1 コンクリートスキン	25	AN8	枚	9	t=140mm	
	37	AN12	''	33	''	
	14	AU6	''	6	''	
	26	AU8	''	1	''	
	27	CLN8	''	1	''	
	39	CLN12	''	4	''	
	16	CLU6	''	1	''	
	7	BU2	''	8	''	
	44	BD6	''	6	''	
	21	DLU3	''	1	''	
	46	DLU6	''	2	''	
	※19の部材の展開図を参照 フォームスキン	69	FAU8(L)	枚	10	(L=1000)
		70	FAU8(R)	''	1	''
		71	FAU8(R)	''	9	''
64		FAU4(R)	''	1	''	
65		FBU2(L)	''	2	''	
74		FBD4(L)	''	1	''	
67		FBU2(R)	''	1	''	
76		FBD4(R)	''	2	''	
※20の部材の展開図を参照 フォームスキン	85	T1AU4	枚	19	(θ=180°)	
	82	T1AU2	''	1	''	
	83	T1BU1	''	3	''	
	86	T1AU4	''	2	''	
	88	T1BD2	''	3	''	

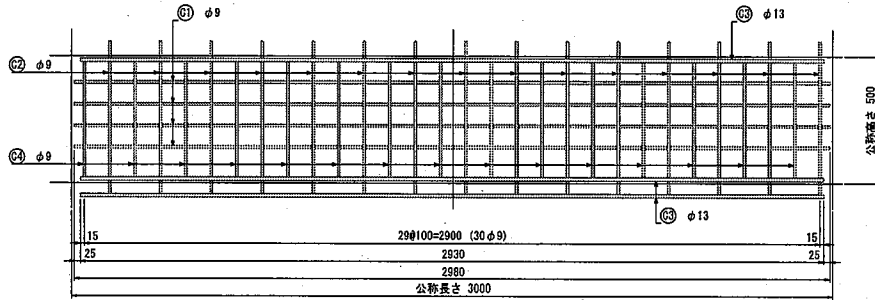
項目	番号	規格	単位	数量	摘要
異形スキン	91	CLN8	枚	1	t=140mm
	92	CLU6	''	1	t=140mm
	93	DLU6	''	1	''
	94	CRN4	''	1	t=140mm
	95	CRN8	''	9	t=140mm
	96	DRU1	''	1	''
	97	CRU4	''	1	''
	98	DRU4	''	1	''
	99	DRD4	''	1	''
	100	CLN8	''	4	''
	101	CLU4	''	1	''
	102	CRU6	''	1	t=140mm
	103	DRD4	''	1	''
総面積				m ²	211.440
リップ付 ストリップ (SS400材)	4.0×80	L=3.00 m	本	92	垂釣付付
	''	L=3.50 m	''	159	''
	''	L=4.00 m	''	72	''
	''	L=4.50 m	''	151	''
	''	L=5.00 m	''	42	''
	''	L=5.50 m	''	20	''
	''	L=6.00 m	''	152	''
	''	L=7.00 m	''	106	''
	''	L=7.50 m	''	44	''
	''	L=8.00 m	''	72	''
総延長				m	6214.66
SS400材					85400材
ボルトナット	M12×40	本	2408	垂釣付付	
透水防砂材	4 ¹ ×420×L	m	230		
水平目地材	20 ¹ ×75×600	枚	197	3'47'10"	

(参考図)

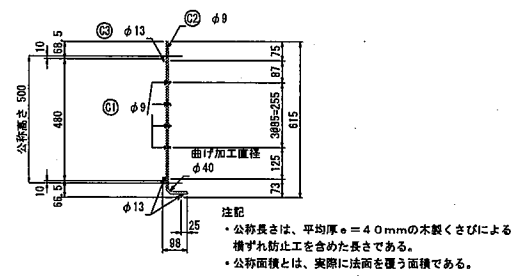
年度	番号
設計・別紙	
工事名	
所属地名	
図面名	補強土壁工 展開図(2)
縮尺	1/100 作成年度
大阪府国土本務所	

補強土(テラトール)壁工 詳細図(1) (参考図) (NO. 32+10. 345妻止め)

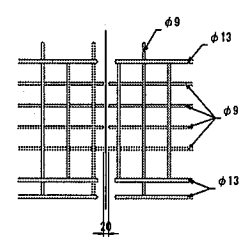
パネル立面図 S=1:10
TM



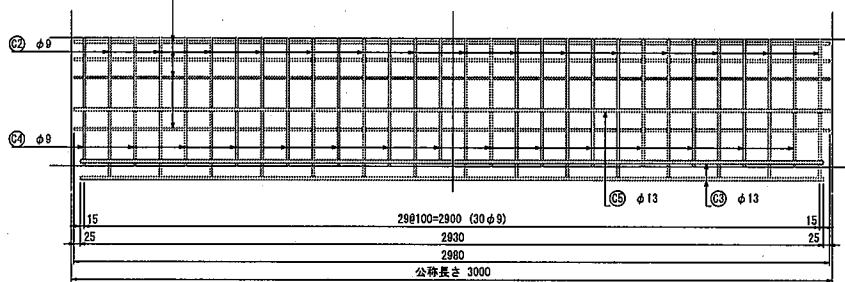
パネル断面図 S=1:10
TM



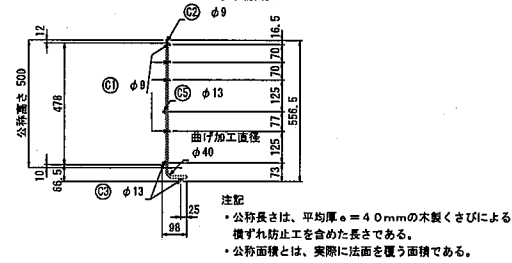
接合部詳細 S=1:10
TM



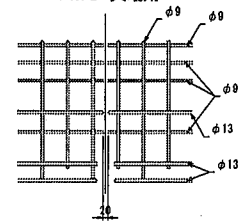
パネル立面図 S=1:10
TMU 天端用



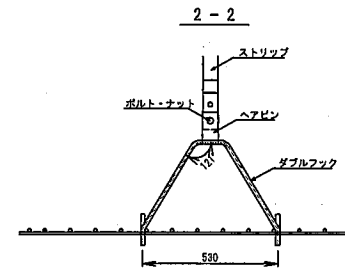
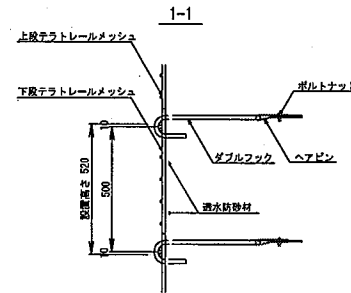
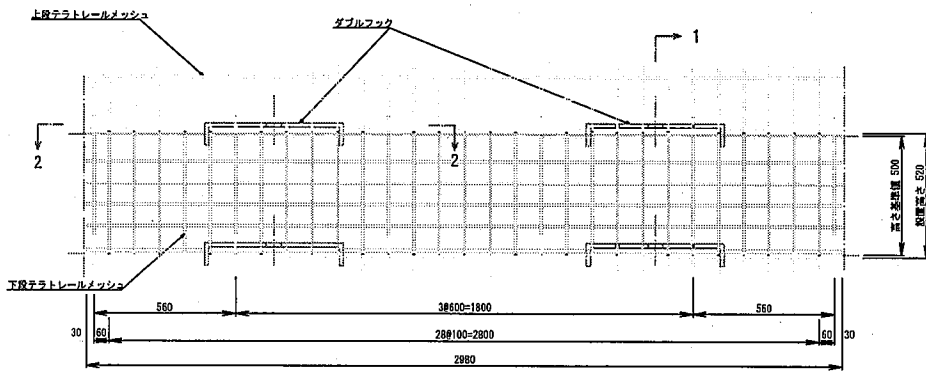
パネル断面図 S=1:10
TMU 天端用



接合部詳細 S=1:10
TMU 天端用



テラトールメッシュ 及びダブルフック取付け位置図 S=1:10



*高さ基準値は、鉄筋端部の寸法とする。

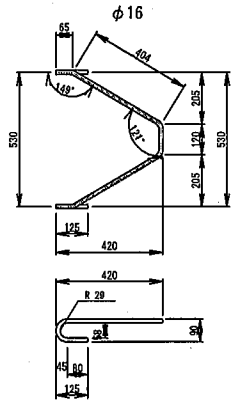
(参考図)

年度	番号
設計・図略	XXXXXXXXXX
工事名	
所属地名	
図面名	補強土壁工 詳細図(1)
縮尺	1/100 作成年度
大阪府風土木事務所	

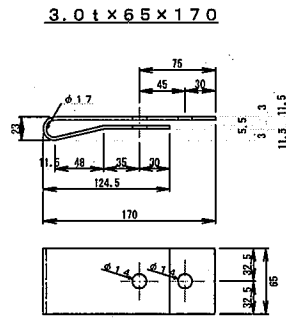
補強土(テラトレール)壁工 詳細図(2) (参考図)

(NO. 32+10.345妻止め)

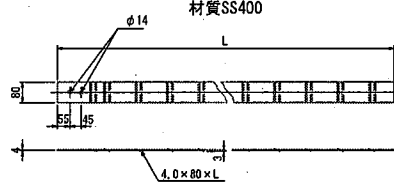
ダブルフック寸法図 S=1:10



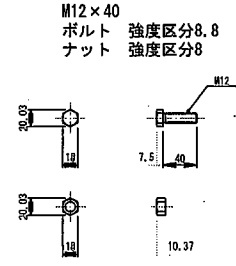
ヘアピン寸法図 S=1:2.5



リブ付ストリップ S=1:10

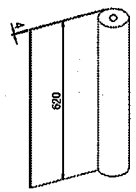


ボルトナット S=1:3

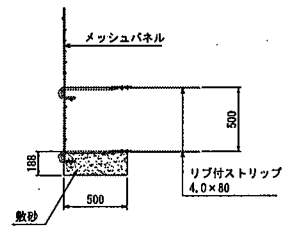


透水防砂材 S=1:10

4.0t × 620 × L



基礎詳細図 S=1:20

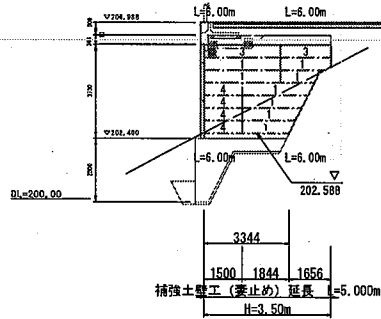


(参考図)

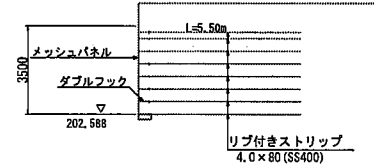
年度	番号	/
図・用紙	[REDACTED]	
工事名		
所属地名		
図面名	補強土壁工 詳細図(2)	
縮尺	1/100	作成年度
大阪府風土土木事務所		

補強土(テラトレール)壁工 展開図 (参考図) (NO. 32+10. 345妻止め)

正面展開図 S=1/100



正面展開図 S=1/100



補強土壁工 材料表

項目	番号	規格	単位	数量	摘要
メッシュパネル	1	TM (500×3000)	枚	8	
	3	TMJ (500×3000)	枚	2	
	4	TMH (500×1500)	枚	4	
パネル実面積			m ²	14,900	
4.0×80 L= 6.00m			本	37	リブ付き
リブ付ストリップ (SS400材) (亜鉛メッキ付き)					
補強材総延長			m	222.00	
ボルト、ナット		M12×40	本	37	(亜鉛メッキ材)
ダブルフック		φ16	本	37	(亜鉛メッキ材)
ヘアピン		φ5×3	本	37	(亜鉛メッキ材)
透水防砂材		4×620	m	30	
透水防砂材		4×250×250	枚	74	

補強土壁構造設計条件

補強土壁構造物的内的検討条件

補強土壁高	H= 2.00 m
盛土材の土質条件	$\gamma t=20kN/m^3$, $\phi=35^\circ$
ストリップの埋込係数	$f=1.5\sim 0.726$
土圧	受働土圧及び静止土圧
設計水平震度	$K_h=0.15$
ストリップの引抜げに対する安全率	常時 : 2.0 地震時 : 1.2
ストリップの引張応力度	常時 : $140N/mm^2$ 地震時 : $210N/mm^2$
ボルトのせん断応力度	常時 : $200N/mm^2$ 地震時 : $300N/mm^2$

補強土壁構造物的外的検討条件

すべり検討の安全率	常時	地震時
	$F_s \geq 1.20$	$F_s \geq 1.00$
転倒に対する安定条件 注1)	$e \leq B/6$	$e \leq B/3$
	$F_s \geq 1.50$	$F_s \geq 1.20$
浮動に対する安全率	3.00	2.00
支持力に対する安全率	3.00	2.00
最大極限支持力度 (kN/m ²)	103.2×3.0=310kN/m ²	93.6×2.0=188kN/m ²

注1) 転倒に関しては、良好な基礎地盤上に設置する場合は合力作用点が所定の範囲の後方にはずれても安定と考える。

【盛土材の適用範囲】

盛土材料は下記に示す範囲としなければならない。

【A1】 細粒分 (75 μ 以下) の含有量が25%以下の土質材料。

【A2】 250mmを超える大粒径のものを含まない岩石材料で、75mmふるい通過分中の細粒分の含有量が25%以下で、かつ大粒径が適度に混合して締め固めのしやすいもの。

注) 施工時地下水等の湧水が認められる場合は、状況に応じて対策が必要。

・ 施工前において、必ず壁位置における原地盤線及び基礎地盤の確認を要する。

・ 使用盛土材料が設計条件と異なる場合は、補強材長さ及び水平間隔が変更となる場合があるため、別途協議を行う。

・ 壁前面の埋戻しについては、十分な防砂防止対策を行う事。

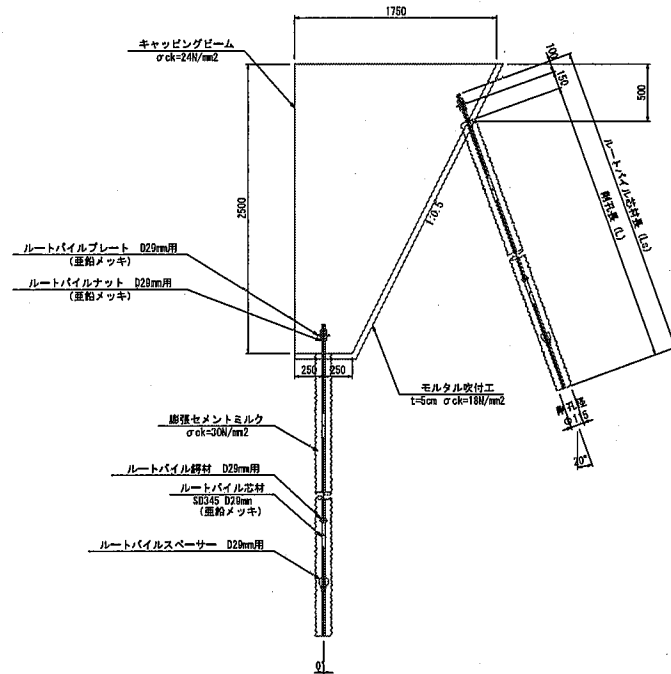
(参考図)

年度	番号
設計・図略	
工事名	
所属地名	
図面名	補強土壁工 展開図
縮尺	1/100 作成年度
大阪府風土土木事務所	

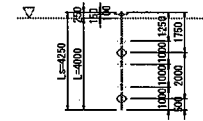
EPルートパイル工詳細図(1) (参考図)

EPS区間

取付詳細図 S=1:20



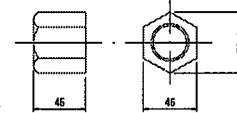
芯材組立図 S=1:100



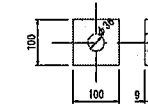
凡例	
記号	説明
La	b-h' 芯材材蓋
L	側孔蓋
—	b-h' 継手
—	b-h' 継手
○	b-h' 継手
◇	b-h' 継手
立	側孔面

部品詳細図 (D29mm用)

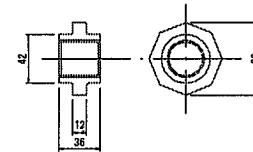
ルートパイルナット S=1:2 (亜鉛メッキ)



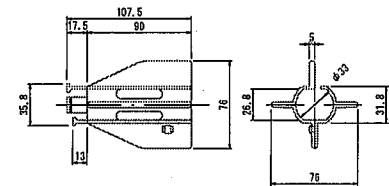
ルートパイルプレート S=1:5 (亜鉛メッキ)



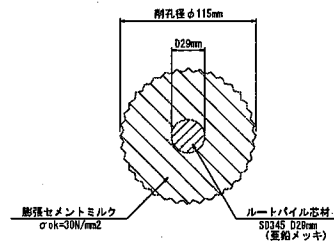
ルートパイル鍔材 S=1:2



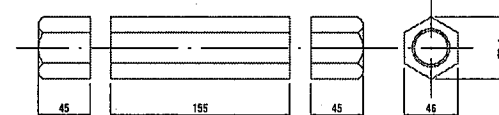
ルートパイルスペーサー S=1:2



パイル断面図 S=1:2



ルートパイル継手 S=1:2 (亜鉛メッキ)



(参考図)

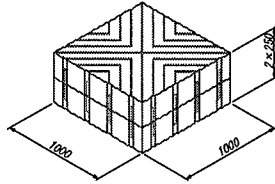
年度	番号
製図・年月日	
工事名	
所屬地名	
図面名	EPルートパイル工詳細図(1)
縮尺	図示 作成年度
大阪府風土土木事務所	

軽量盛土工構造図(1) (参考図)

(EPS工詳細図)

EPSブロックの基本形状・物性規格

S=1:25



浮力対策用 EPSブロック

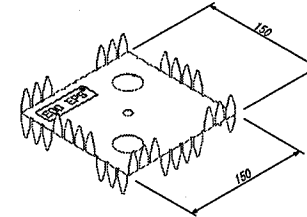
EPSブロック物性表

項目	単位	EPSブロック種別			試験方法
		浮力対策用			
		FBD-20	FBD-25	FBD-30	
単位体積重量	KN/m ³	0.20 ^{+0.020} -0.010	0.25 ^{+0.020} -0.015	0.30 ^{+0.030} -0.020	JIS K 7222
圧縮強度	KN/m ²	350以上	410以上	500以上	降伏ひずみ時もしくは10%ひずみ時
許容圧縮ひずみ	KN/m ²	50	70	90	圧縮弾性領域
弾性係数	KN/m ²	5000	7000	9000	

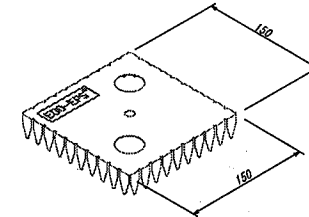
・発泡スチロール土木工法開発機構（EDO）の規格認定材料と同等品以上を使用するは、本設計で使用するEPSブロックを示す。

緊結金具詳細図

両爪型



片爪型



材料物性表

種類	記号	めっき付重量		引張試験値
		片面等圧めっきの最小付重量 (両面の合計 g/m ²)	引張強度 N/mm ²	
構造用	SGLC400相当	AZ150	150	295以上
			130	400以上

・発泡スチロール土木工法開発機構（EDO）が指定した金具と同等品以上を使用する

緊結金具の設置数

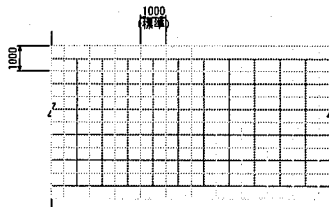
条件	ブロックサイズ	個数	摘要
1m ² あたり	1.0m×1.0m×0.5m (0.5m ³)	4.60	

- ・レベル2地震動対応の場合は、上記個数の倍の金具を使用する事。
- ・緊結金具の個数は、ロス分を含んだ数量とする。
- ・切断加工したブロックには、1ブロックあたり1個ないし2個使用とする。
- ・発泡スチロール土木工法開発機構（EDO）が指定した金具と同等品以上を使用する事。

EPSブロック配置の参考例

S=1:100

平面図



- : 上層ステージ
- : 下層ステージ

特記事項

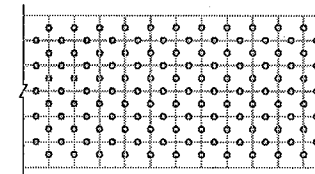
- 本工事の軽量盛土工法
 - 本工事における軽量盛土工法は、契約図書に示す構造条件等に対し、「EDO-EPS工法 設計・施工基準書（案）（2014年11月 発泡スチロール土木工法開発機構）（以下、「基準書（案）」と示す）」により決定している。
 - 本工事に施工に際し、上記1.（1）によらず別の軽量盛土工法を採用しようとする場合は、事前に監督職員の承認を得なければならない。
- 使用材料
 - 発泡スチロールブロックについては、「基準書（案）」第3章 材料 3.2 EDO-EPSブロックに示される材料特性を満足するものとする。
 - 緊結金具については、地震時における軽量盛土工法に作用する水平力に対し、発泡スチロールブロックの結合性能が金具のせん断抵抗力により確保できる機能を有するものとする。
- 施工管理方法

本工事における軽量盛土工法の施工管理については、「施工管理基準」の他、「基準書（案）」第6章 施工によるものとする。

緊結金具の設置例

S=1:100

平面図



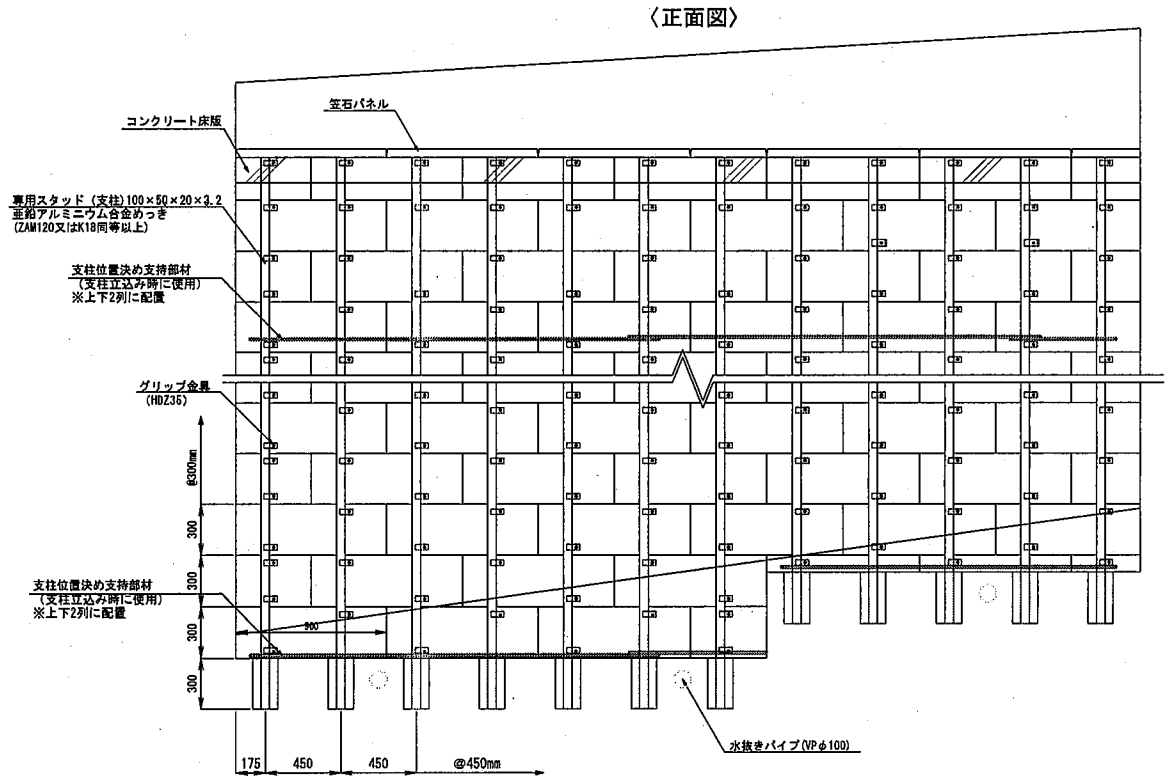
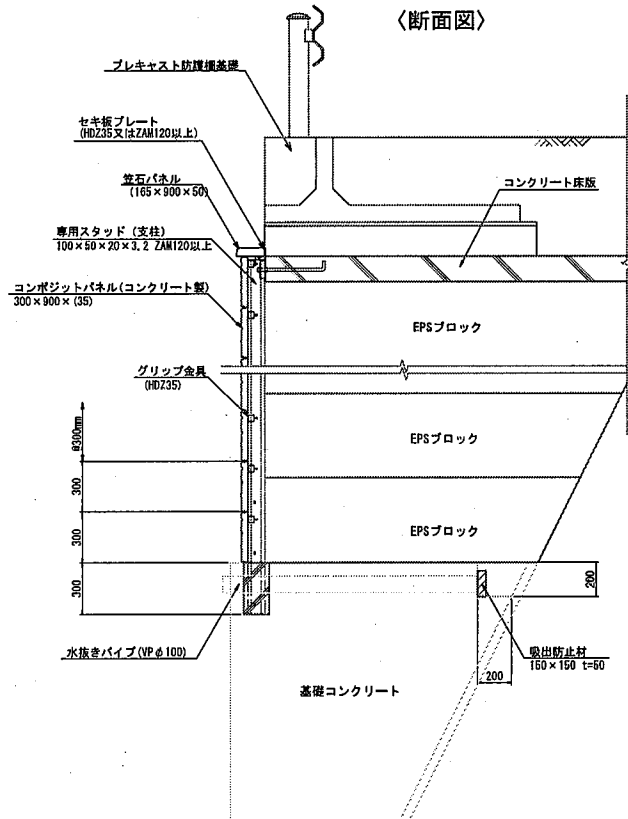
○ 緊結金具

(参考図)

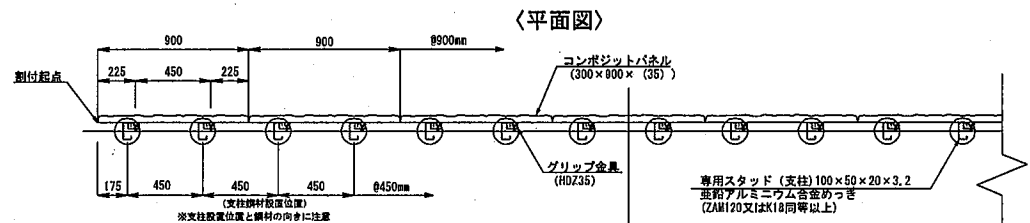
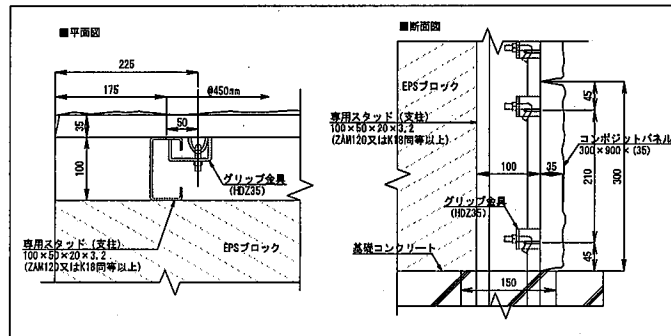
年度	番号
図説・項略	██████████
工事名	██████████
所属地名	██████████
図面名	軽量盛土工構造図(1)
縮尺	図示 作成年度
大阪府風土木事務所	

軽量盛土工構造図(2) (参考図)

(コンジットEPS壁体工標準図)



〈部分詳細図〉

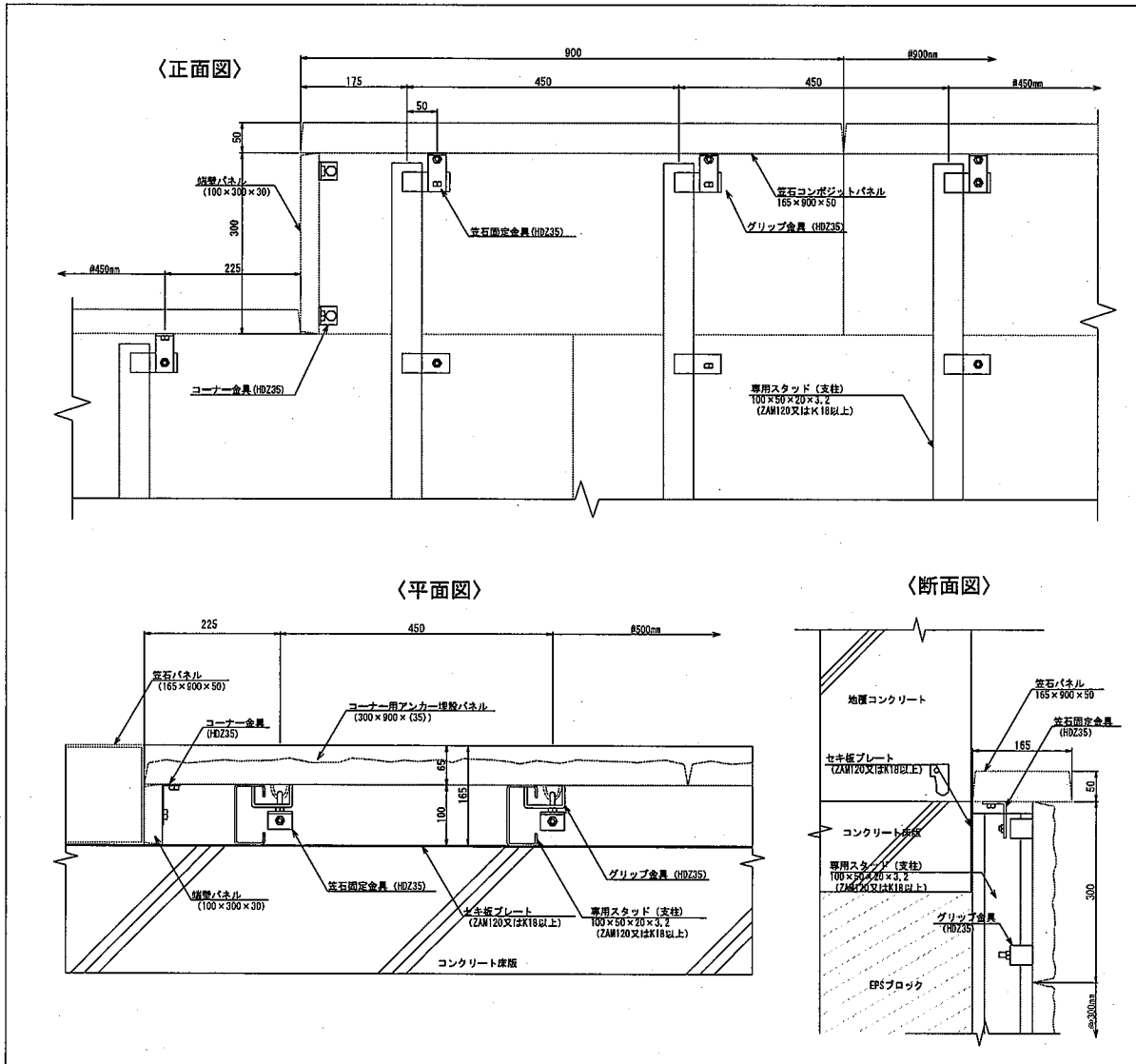


(参考図)

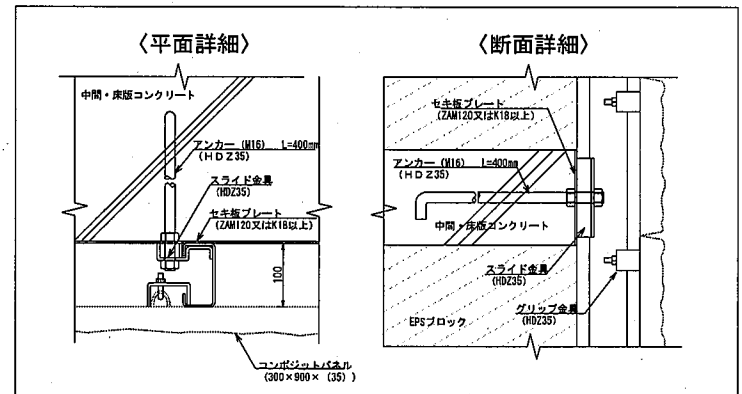
年度	番号
設計・別略	
工事名	
所属地名	
図面名	軽量盛土工構造図(2)
縮尺	図示 作成年度
大阪府国土事務所	

軽量盛土工構造図(3) (参考図)
 (コンジットEPS壁体工詳細図) S=1:4

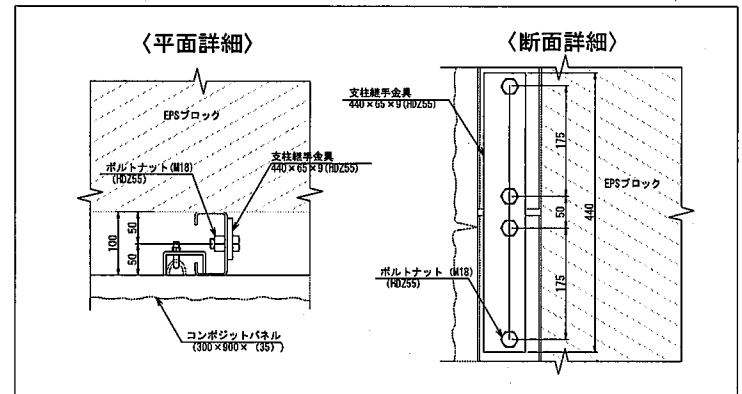
■笠石詳細図



■支柱固定ファスナー詳細図



■支柱継ぎ手詳細図

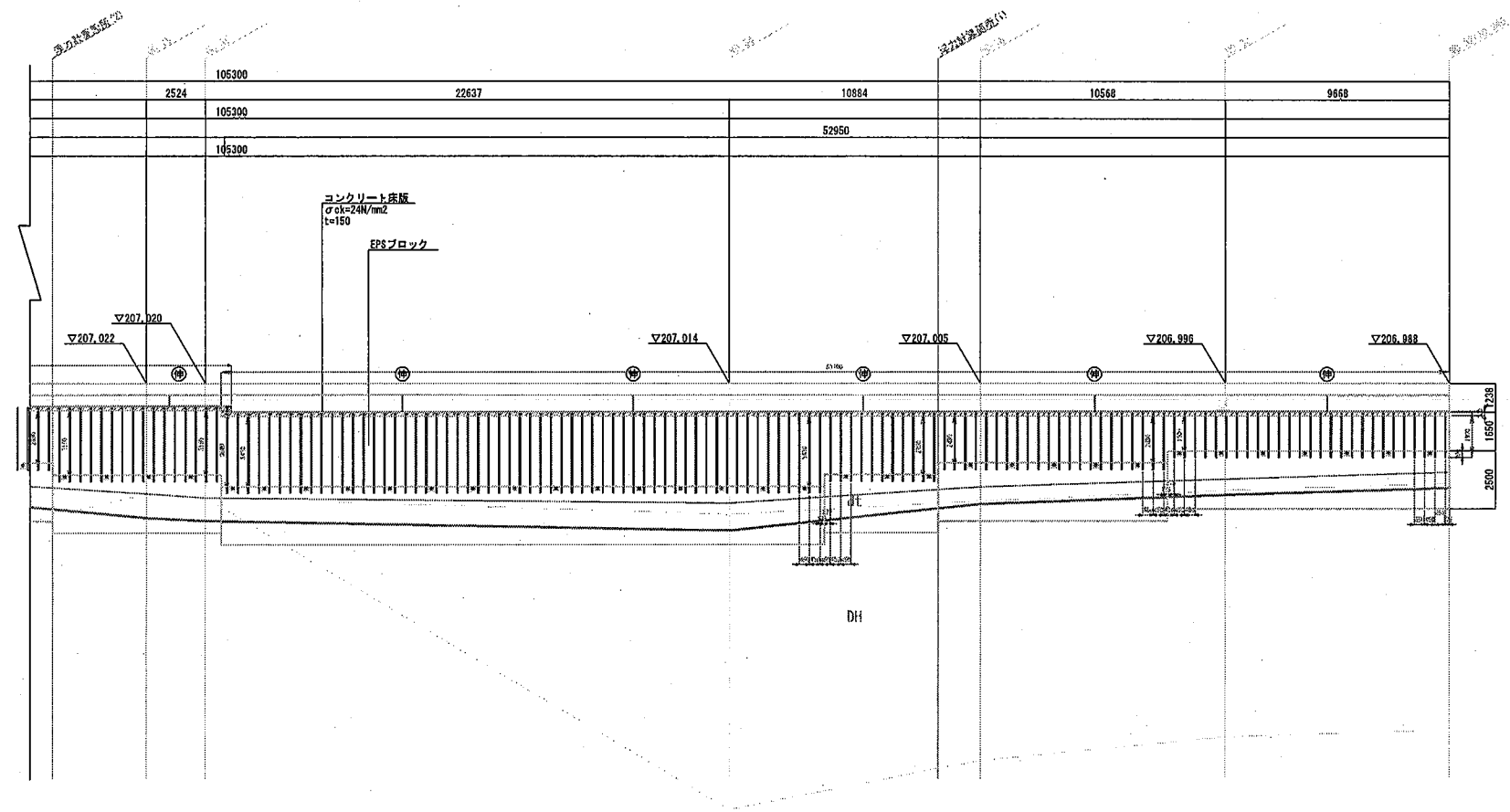


(参考図)

年度	番号
図録・別紙	
工事名	
所属地名	
図面名	軽量盛土工構造図(3)
縮尺	図示 作成年度
大阪府国土事務所	

軽量盛土支柱展開図 (参考図)

(コンポジットEPS壁体工) S=1:100



凡例	摘要	種別
	EPSブロック (D-20)	□
	EPSブロック (FBD-20)	▨

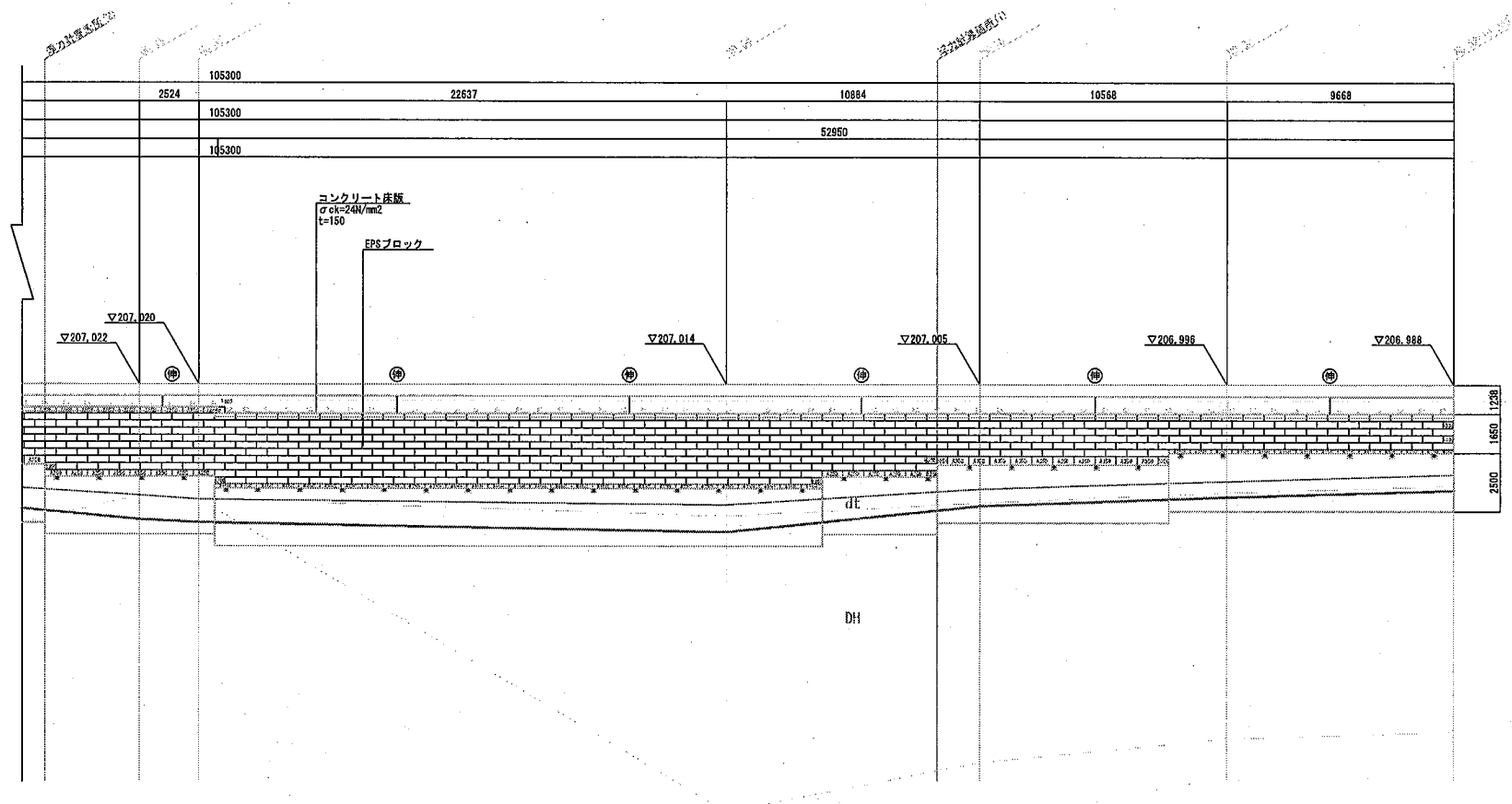
・発泡スチロール土工法開発機構 (EDO) の規格認定材料と同等品以上を使用すること。

(参考図)

年度	令和2年度	番号	
図名・図略	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
所属地名	[Redacted]		
図面名	軽量盛土支柱展開図(1)		
縮尺	1/100	作成年度	令和2年3月
大阪府風土木事務所			

軽量盛土壁面展開図 (参考図)

(コンポジットEPS壁体工) S=1:100



凡例	摘要	種別
	EPSブロック (D-20)	
	EPSブロック (FBD-20)	

・発泡スチロール土木工法開発機構 (EDO) の規格認定材料と同等品以上を使用すること。

(参考図)

年度	番号
路線・河川	
工事名	
所在地名	
図面名	軽量盛土壁面展開図(1)
縮尺	1/100 作成年度
大阪府国土事務所	

補強土（テラトレール）壁工 構造一般図（1）

（前面勾配 1 : 0.0）

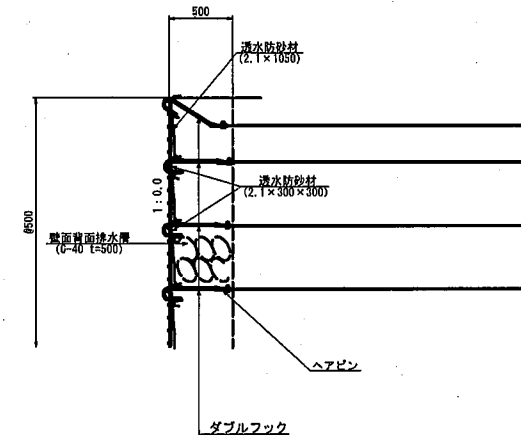
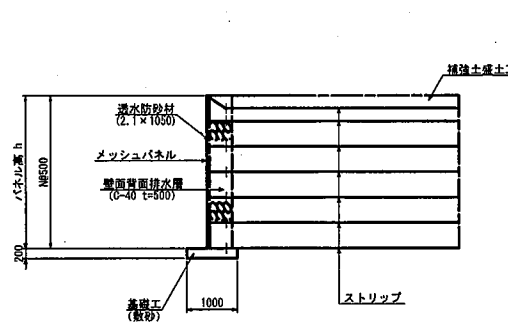
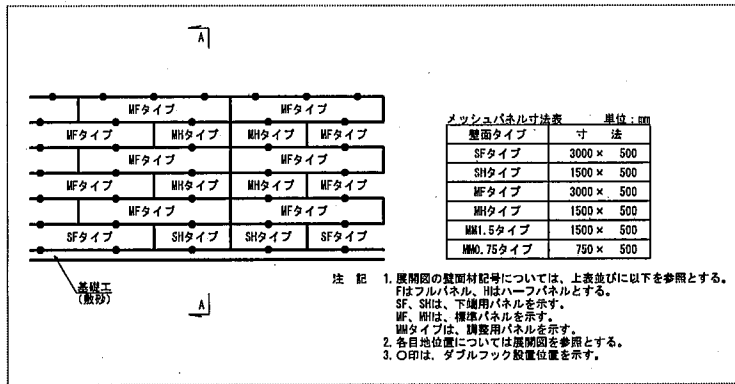
部材配置一般図 S=1:50

天端詳細図 S=1:20

正面図

断面図

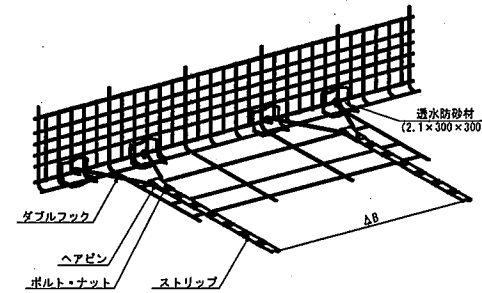
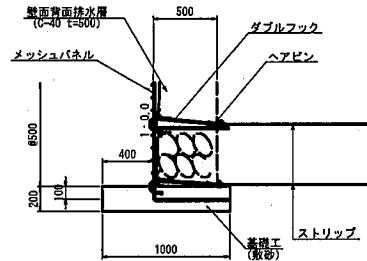
A-A断面



基礎工詳細図 S=1:20

補強材取付詳細図 S=1:Free

（前面勾配 1 : 0.0）



1. Δ Bは補強材(ストリップ)の水平間隔を示す。

工事名	補強土（テラトレール）壁工		
図面名	構造一般図 (1)		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	53/114
会社名	[Redacted]		
事業者名	[Redacted]		

函渠工 (3)

PRCボックスカルバート配置図=1/50
BOX 1500×1500×2000mm L=2,290m

形状寸法	標準質量(t)	標準吊上金具	設計荷重	土かぶり(m)
1500×1500×2000	5.175	吊上金具3-4点	T=2450	800~4.000

カルバート呼び名

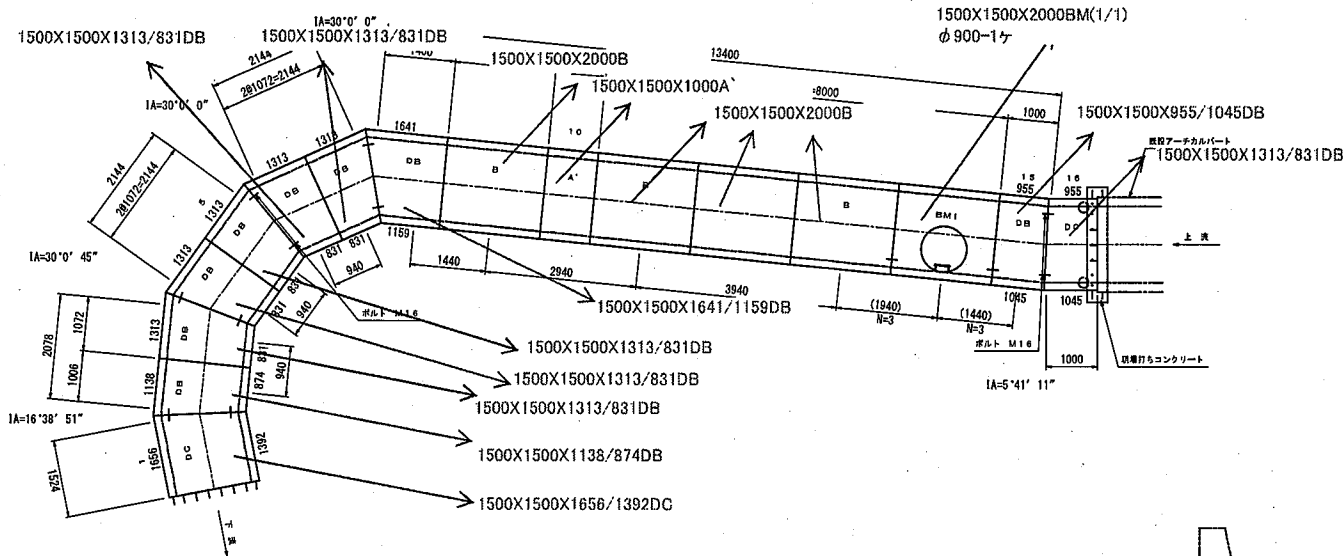
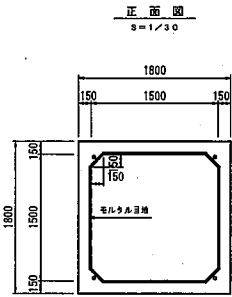
A	標準型・連結金具なし (配置図上は簡記入)
B	標準型・連結金具付
A'	短尺型
C	差し筋付
D	片側型
M	人孔型
I	インサート付

規格鋼材表

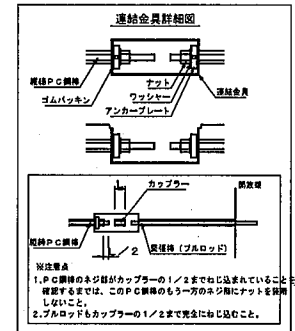
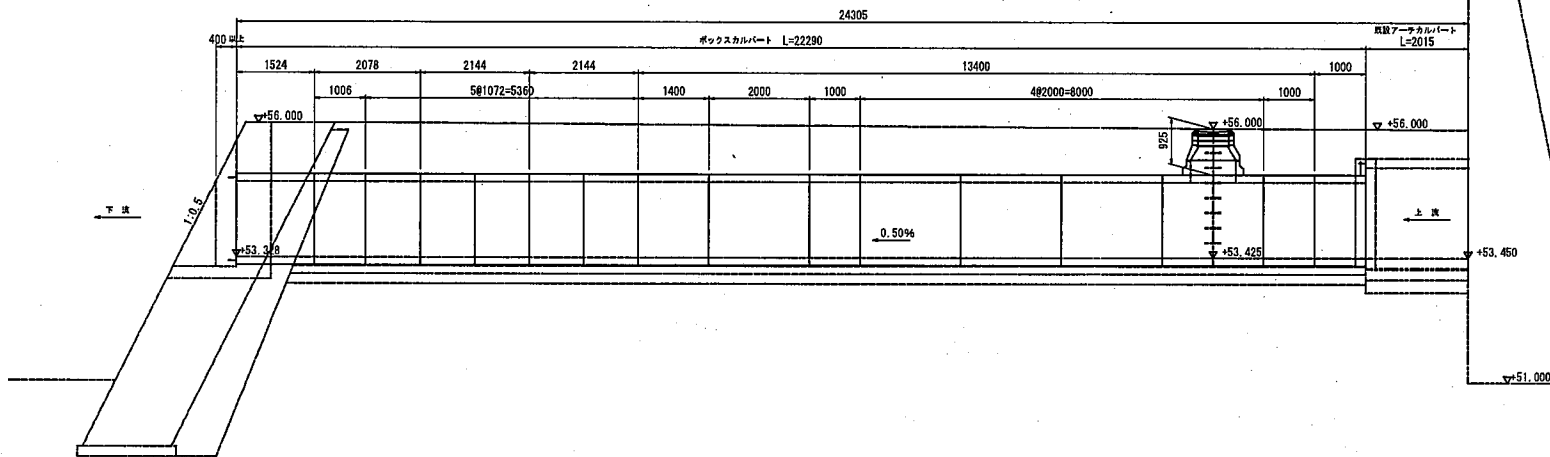
種別	細目	数量
縦筋PC鋼棒	L#940mm	4本
φ13	L#940mm	4本
SBPRD30/1080	L#940mm	3本
挿入: 100mm以下	L#940mm	7本
上記規格PC鋼棒用ボルト	L#940mm	12本
ナット、ワッシャー、アンカープレート	φ13	60組
ボルト M16		22組

製品数量表
BOX-1500×1500×2000

種別	呼び寸法 標準寸法(mm)	数量
A	2000	1
B	2000	2
A'	1000	1
BM (1/1)	φ900-1ヶ	1
DC	1656/1392	1
DB	1138/874	1
DB	1313/831	5
DB	1641/1159	1
DB	955/1045	1
DC	955/1045	1
合計		18



縦断面



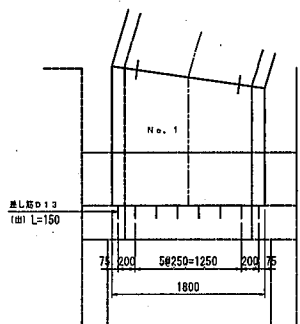
函渠工 (4)

PRCボックスカルバート詳細図=1/5.0

埋部差L筋図

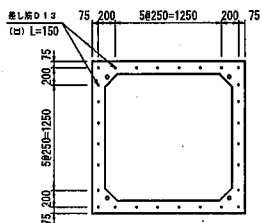
S=1/30

平面図



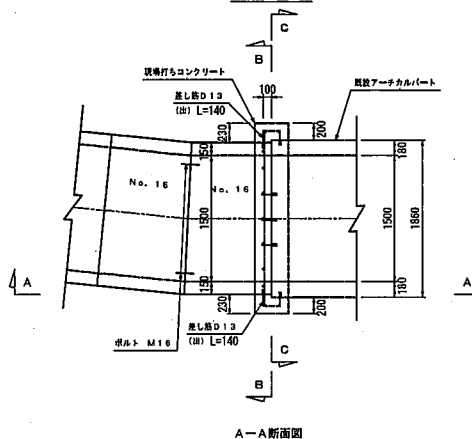
断面図

No. 1



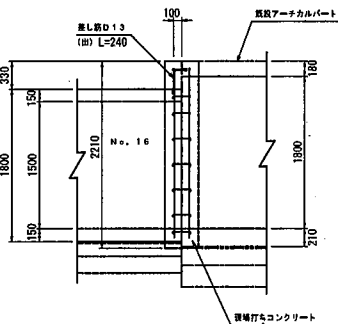
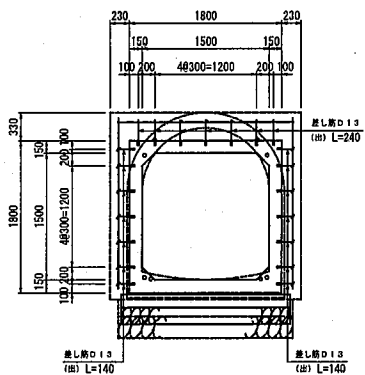
接続部詳細図 S=1/30

平面図

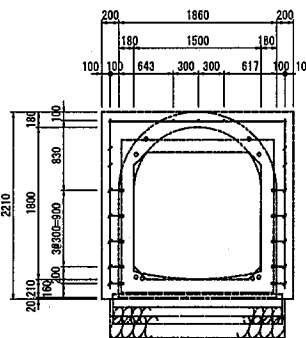


A-A断面図

B-B断面図



C-C断面図

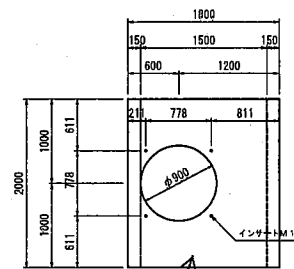


人孔部詳細図

S=1/30

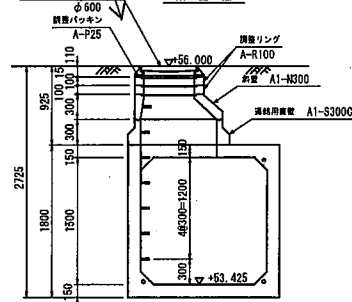
No. 14

平面図



1500X1500X2000BM(1/1)
φ900-1ヶ

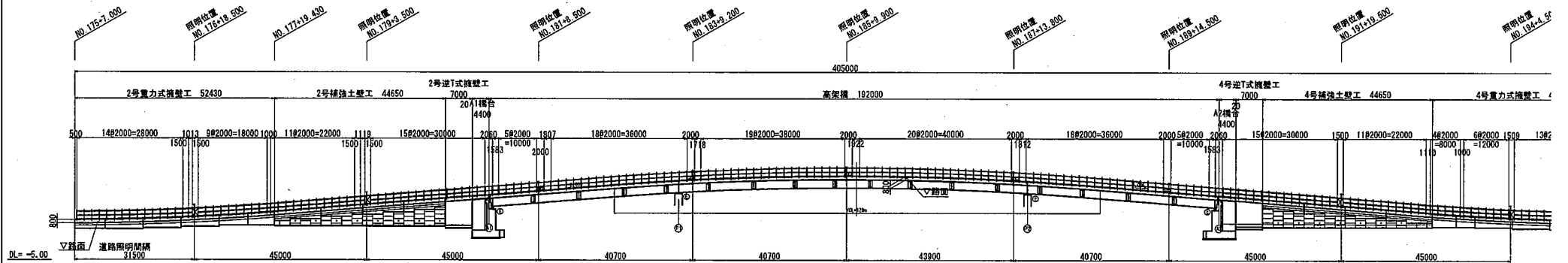
断面図



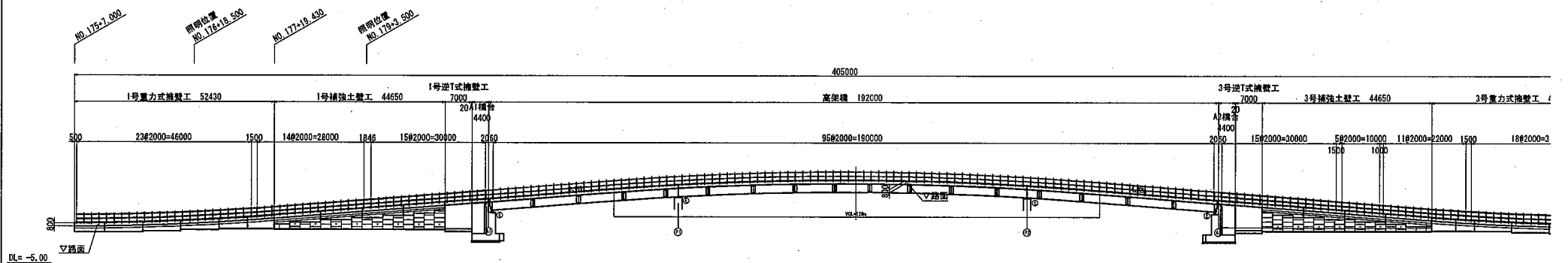
遮音壁全体一般図<参考図>

S = 1 : 500

左側側面図



右側側面図



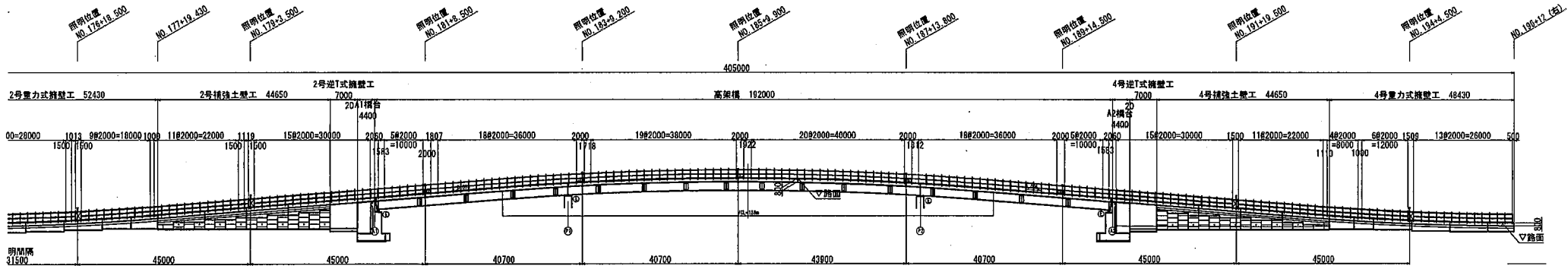
※支柱間隔は、壁高欄天端矣

本線アブローチ部	
平成 27年度	
路線名	
業務名	
場所	
図面名	遮音壁
大阪府茨	

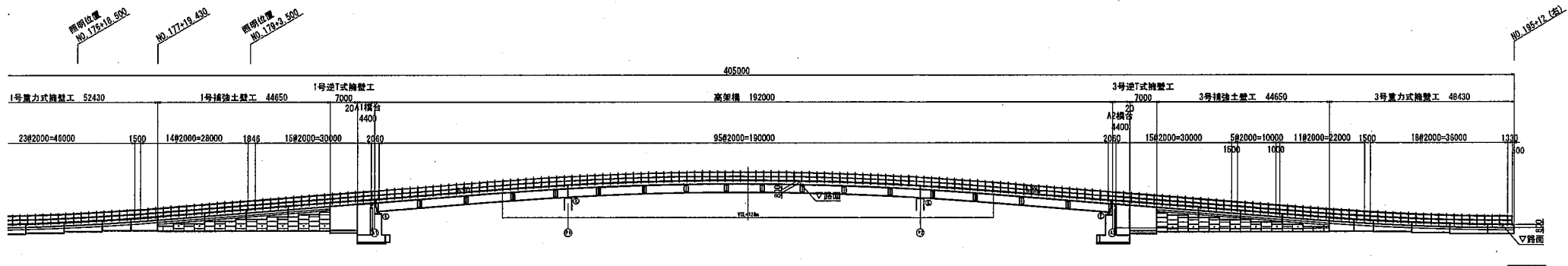
遮音壁全体一般図<参考図>

S = 1 : 500

左側側面図



右側側面図

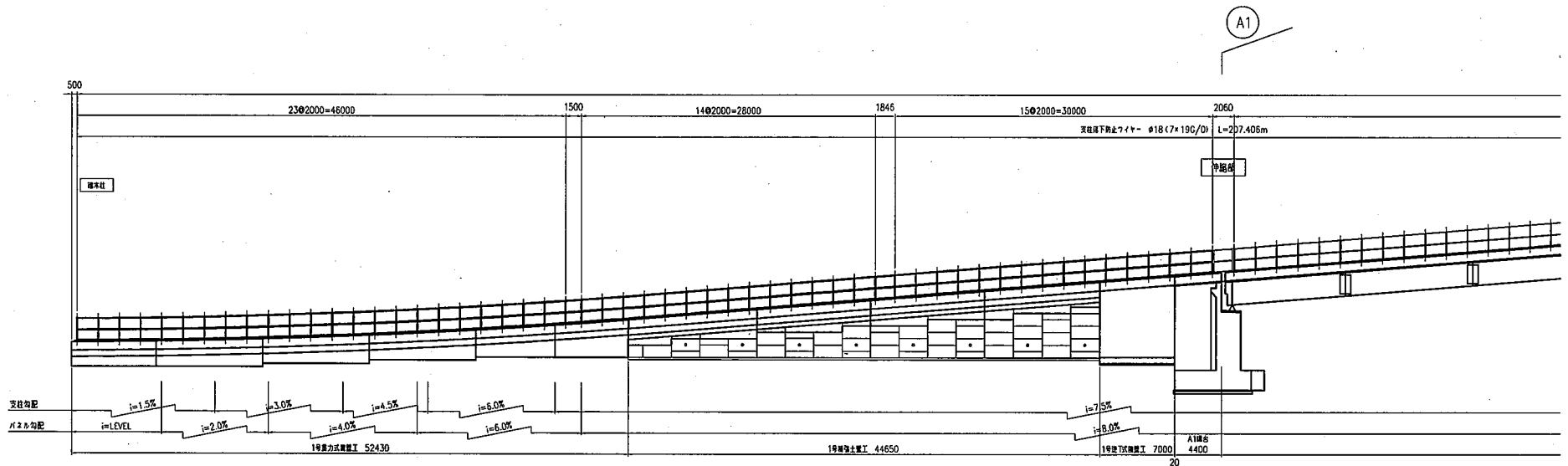
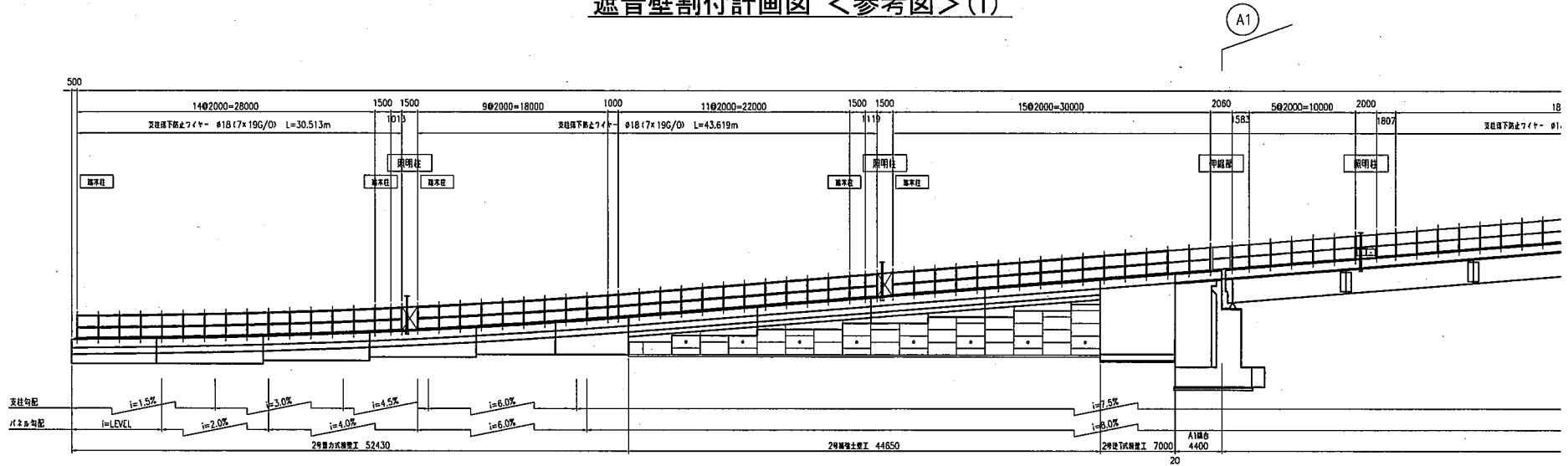


※支柱間隔は、壁高欄天端突距離を示す。

本線アプローチ部

平成 27年度	図面番号	117 / 130
路線名	[Redacted]	
業種名	[Redacted]	
場所	[Redacted]	
図面名	遮音壁全体一般図 縮尺 S=1:500	
大阪府茨木土木事務所		

遮音壁割付計画図 <参考図> (1)

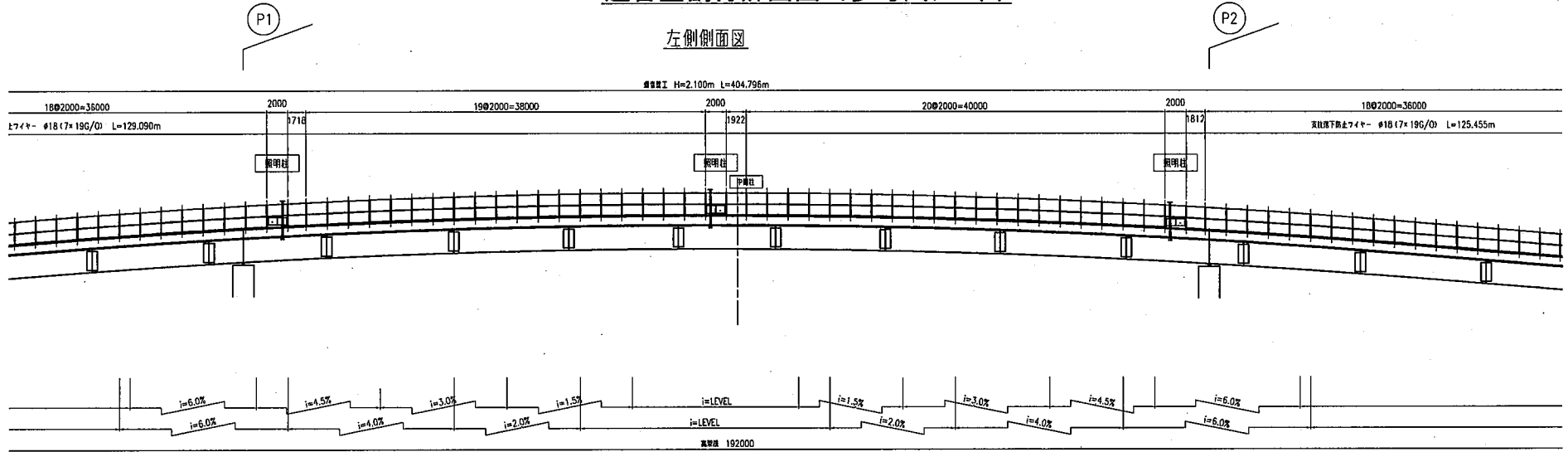


平成 27年度	図面番号	118 / 130
路線名	[REDACTED]	
業種名	[REDACTED]	
場所	[REDACTED]	
図面名	遮音壁割付計画図 (1)	縮尺 S=1:200
大阪府茨木土木事務所		

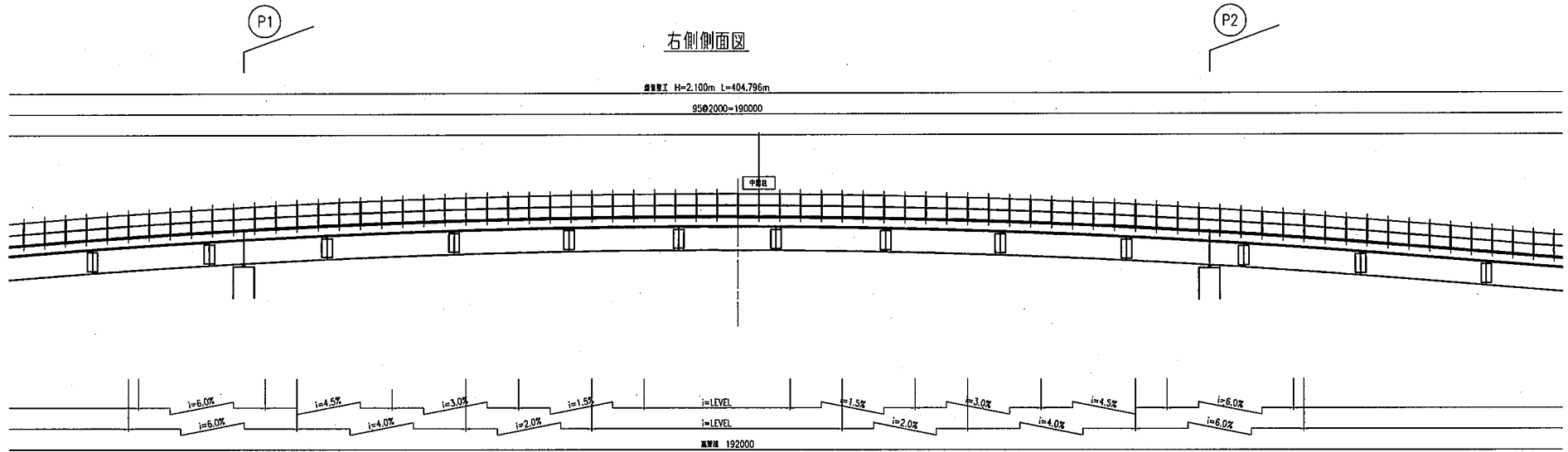
※支柱間隔は、壁高欄天端実距離を示す。

遮音壁割付計画図<参考図> (2)

左側側面図



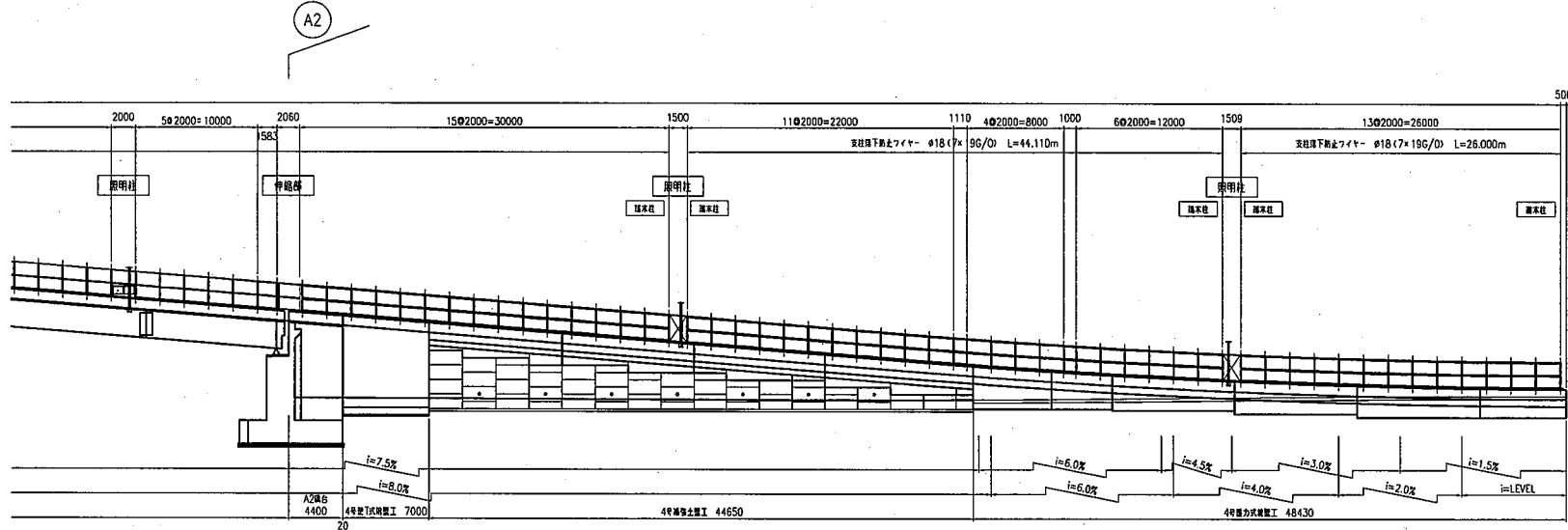
右側側面図



※支柱間隔は、壁高欄天端突距離を示す。

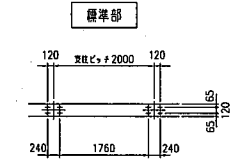
平成 21年度	図面番号	110 / 130
路線名	[REDACTED]	
業種名	[REDACTED]	
場所	[REDACTED]	
図面名	遮音壁割付計画図 (2) 縮尺 S=1:200	
大阪府茨木土木事務所		

遮音壁割付計画図 <参考図> (3)

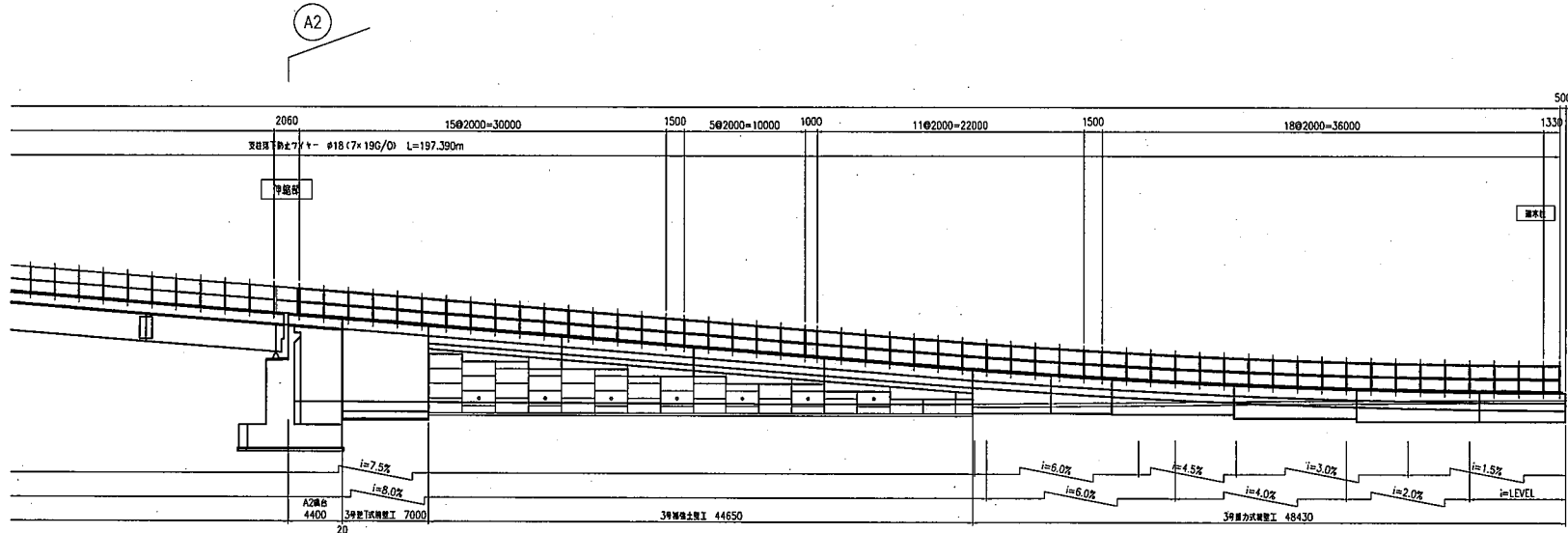
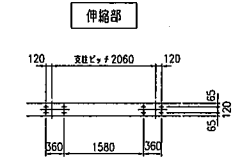


アンカー設置位置詳細図

S=1:50

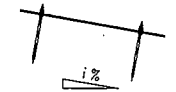


アンカー設置位置詳細図



アンカー設置詳細図

※アンカーは壁基礎に直角に設置する。



- ※目地にぶつからない様アンカー設置すること。
- ※端尺は2000mm以下とすること。
- ※遮音壁設置にはアンカーピッチを、
現地実測の上確認すること。

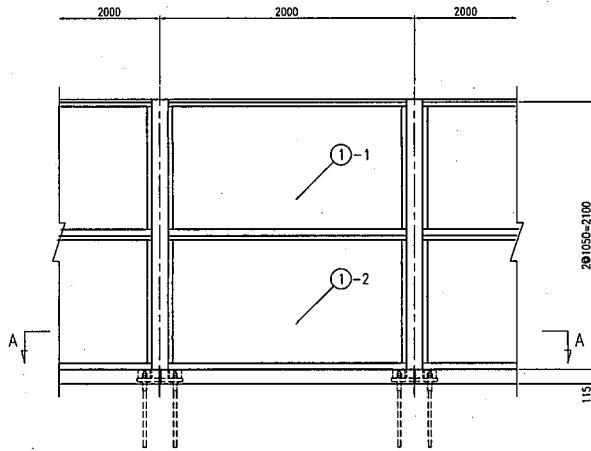
平成 27年度	図面番号	120 / 130
路線名	[REDACTED]	
業種名	[REDACTED]	
場所	[REDACTED]	
図面名	遮音壁割付計画図 (3)	縮尺 図示
大阪府茨木土木事務所		

※支柱間隔は、壁高欄天端実距離を示す。

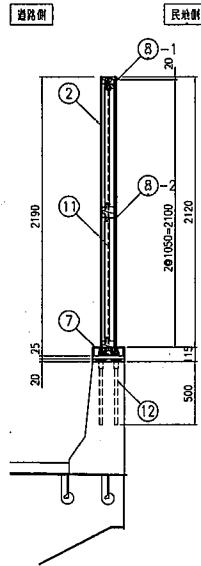
遮音壁詳細図<参考図> (1)

標準部

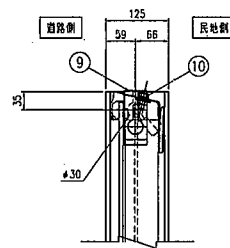
正面図 S=1/20



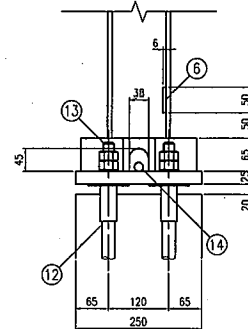
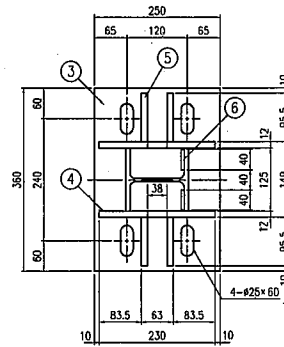
断面図 S=1/20



天端詳細図 S=1/5



ベースプレート詳細図 S=1/5



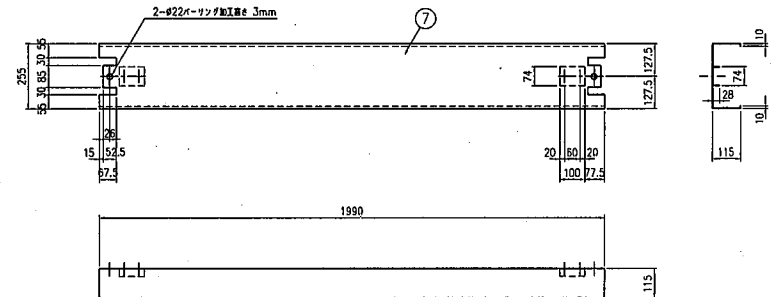
部材数量表

(1スパン当り)

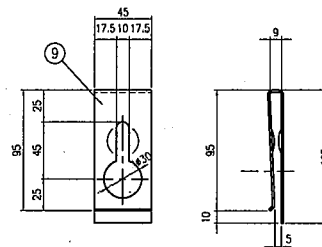
品番	名称	規格寸法	単位	数量	単重	重量 (kg)	備 考
①-1	アルミ押透明版	1050×95×1960 (ポリカ18)	枚	1			光線照射機及社処理 (7イオ1社)
①-2	アルミ押透明版	1050×95×1960 (ポリカ18)	枚	1			光線照射機及社処理 (7イオ1社)
②	支柱	H 125×125×6.5×9-2190	本	1	23.60kg/m	51.68	SS400 HDZ55
③	ベースプレート	PL 25×250×360	枚	1	196.25kg/m ²	17.66	SS400 HDZ55
④	リブプレート	PL 12×65×230	枚	2	94.20kg/m ²	2.82	SS400 HDZ55
⑤	リブプレート	PL 12×65×95.5	枚	4	94.20kg/m ²	2.34	SS400 HDZ55
⑥	固定金具	PL 6×40×50	枚	2	47.10kg/m ²	0.19	SS400 HDZ55
⑦	下段パネル	t=1.6 L=1990	枚	1			SGH400 Z27 鉄粉粉体塗料
⑧-1	固定バネ (露上段用)	t=1.5 (H=125mm)	ヶ	2			SUS301-CSP
⑧-2	固定バネ	t=1.5 (H=125mm)	ヶ	2			SUS301-CSP
⑨	ファイヤ止め金具	t=1.5	ヶ	1			SUS301-CSP
⑩	固定バネ固定ボルト	M10×25	組	2			SS400露上 HDZ35 (B1, 露上) UNH122露上専用
⑪	床下防止ワイヤー	φ6.3x4740	本	1			アイロン巻線 (4t以上)
⑫	アンカーボルト	D25 (4ヶ) 露上M22×520	組	4			SD345 キャスター-H
⑬	ボルト・ナット	M22×100	組	4			HDZ35 (B1, N2, W1)
⑭	支柱床下防止ワイヤー	φ18 (7ヶ) 19G/D	m	2			アイロン巻線

⑫⑬は、設置開始工時に設置すること。

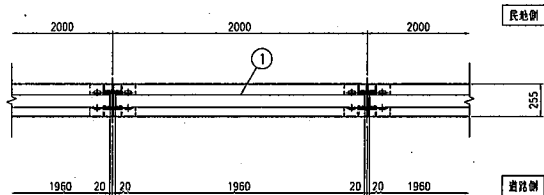
下段パネル詳細図 S=1/10



ファイヤ止め金具詳細図 S=1/2



A-A断面図 S=1/20

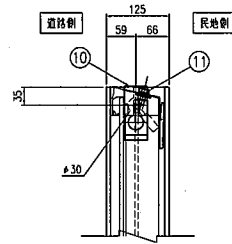


平成 27年度	図面番号	121 / 130
図面名	遮音壁詳細図 (1) 補図 図示	
設計者	大阪府茨木土木事務所	
業務名	[Redacted]	
場所	[Redacted]	

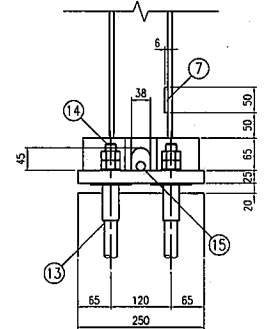
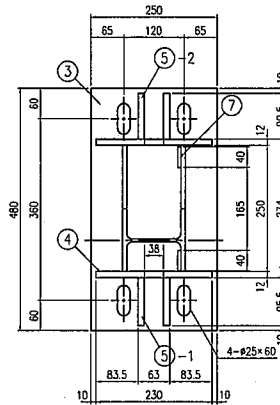
遮音壁詳細図 <参考図> (2)

伸縮部

天端詳細図 S=1/5



ベースプレート詳細図 S=1/5



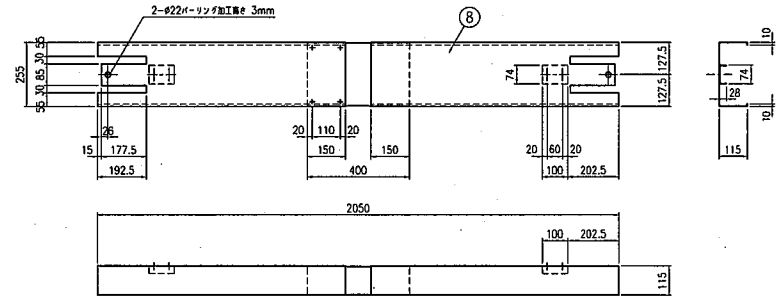
部材数量表

(1箇所当り)

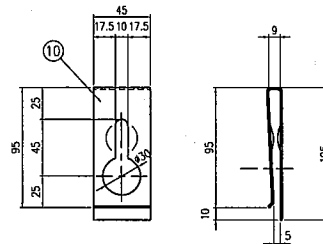
品番	名称	規格寸法	単位	数量	単重	重量 (kg)	備 考
①-1	アルミ幹通甲板	1050×95×1960 (ボリカ18)	枚	1			光触媒処理水性塗料 (7イボホ1付)
①-2	アルミ幹通甲板	1050×95×1960 (ボリカ18)	枚	1			光触媒処理水性塗料 (7イボホ1付)
②	支柱	H 125×125×6.5×9-2190	本	2	23.60kg/m	103.37	SS400 HDZ55
③	ベースプレート	PL 25×250×480	枚	2	196.25kg/m ²	47.10	SS400 HDZ55
④	リブプレート	PL 12×65×230	枚	4	94.20kg/m ²	5.64	SS400 HDZ55
⑤-1	リブプレート	PL 12×65×95.5	枚	4	94.20kg/m ²	2.34	SS400 HDZ55
⑤-2	リブプレート	PL 12×65×90.5	枚	4	94.20kg/m ²	2.22	SS400 HDZ55
⑥	伸縮プレート	PL 9×125×2190	枚	4	70.65kg/m ²	77.36	SS400 HDZ55
⑦	固定金具	PL 6×40×50	枚	4	47.10kg/m ²	0.38	SS400 HDZ55
⑧	下段パネル	t=1.6 L=2050 (伸縮部)	枚	1			SGH400 Z27 耐電磁波塗料
⑨-1	固定バネ (載上後用)	t=1.5 (H-125部)	ヶ	2			SUS301-CSP
⑨-2	固定バネ	t=1.5 (H-125部)	ヶ	2			SUS301-CSP
⑩	ワイヤー止め金具	t=1.5	ヶ	2			SUS301-CSP
⑪	固定バネ固定ボルト	M10×25	組	2			SS400HDZ55 (B1, W1) DM4118 樹脂付
⑫	落下防止ワイヤー	φ6×4740	本	2			アイロン巻線 (0ピッチ)
⑬	アンカーボルト	D25 (4ヶ所M22) ×520	組	8			SD345 キャップ付
⑭	ボルト・ナット	M22×100	組	8			HDZ35 (B1, N2, W1)
⑮	支柱落下防止ワイヤー	φ18 (7×19G/D)	m	2.06			アイロン巻線
⑯	目隠板	PL 4.5×1000×600	枚	1	35.32kg/m ²	21.20	SS400 HDZ55
⑰	アンカーボルト	M12×100	組	3			厚孔式埋込ボルト

⑬⑭は、設置職施工時に設置すること。

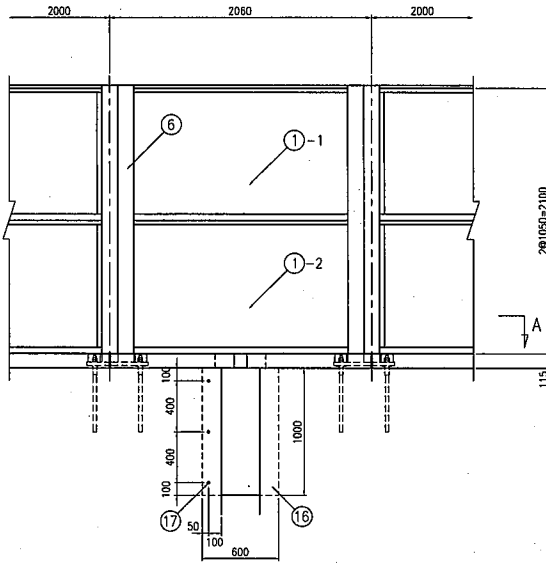
下段パネル詳細図 S=1/10



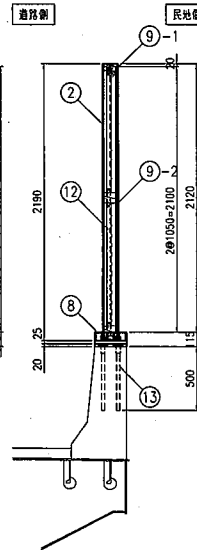
ワイヤー止め金具詳細図 S=1/2



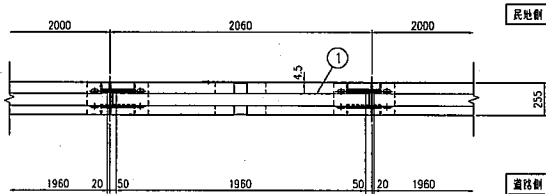
正面図 S=1/20



断面図 S=1/20



A-A断面図 S=1/20

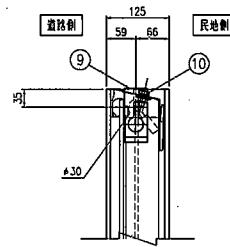


平成 27年度	図面番号	122 / 130
路線名	[Redacted]	
業種名	[Redacted]	
場所	[Redacted]	
図面名	遮音壁詳細図 (2)	縮尺 図示
大阪府茨木土木事務所		

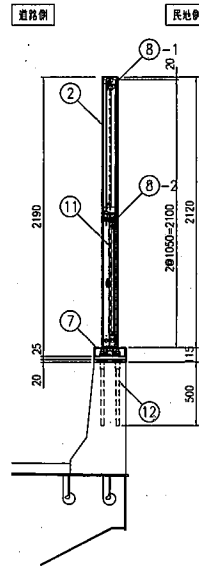
遮音壁詳細図 <参考図> (3)

照明柱部 L=2.0m

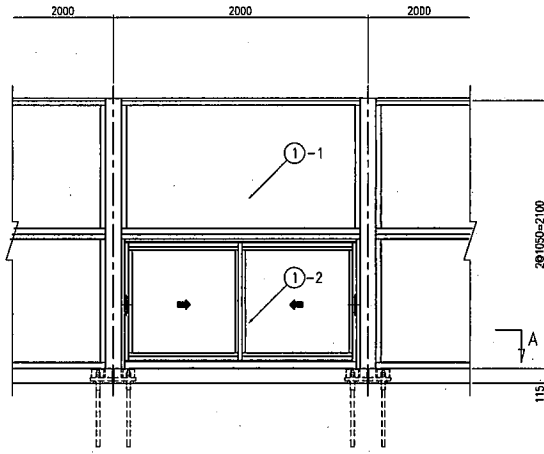
天端詳細図 S=1/5



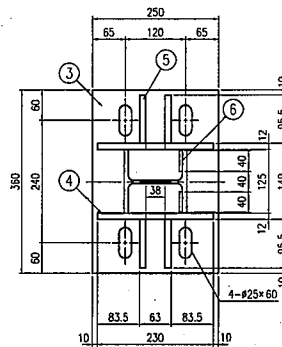
断面図 S=1/20



正面図 S=1/20



ベースプレート詳細図 S=1/5



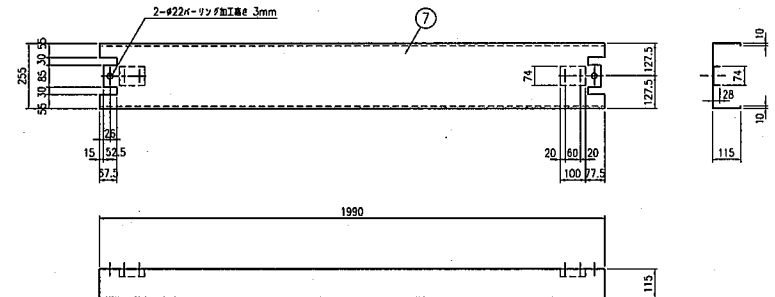
部材数量表

(1スパン当り)

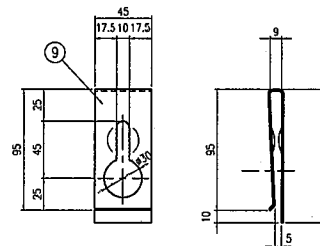
品番	名称	規格寸法	単位	数量	単重	重量 (kg)	備 考
①-1	アルミ種透明板	1050×95×1960 (ポリカ10)	枚	1			光線計測用透明板 (7イボ1付)
①-2	アルミ種管理用透明板	1050×95×1960 (ポリカ10)	枚	1			光線計測用透明板 (7イボ1付)
②	支柱	H 125×125×6.5×9-2190	本	1	23.60kg/m	51.68	SS400 HDZ55
③	ベースプレート	PL 25×250×360	枚	1	196.25kg/m ²	17.66	SS400 HDZ55
④	リブプレート	PL 12×65×230	枚	2	94.20kg/m ²	2.82	SS400 HDZ55
⑤	リブプレート	PL 12×65×95.5	枚	4	94.20kg/m ²	2.34	SS400 HDZ55
⑥	固定金具	PL 6×40×50	枚	2	47.10kg/m ²	0.19	SS400 HDZ55
⑦	下段パネル	t=1.6 L=1990	枚	1			SGH400 Z27 静電防塵板
⑧-1	固定バネ (最上段用)	t=1.5 (H=125mm)	ヶ	2			SUS301-CSP
⑧-2	固定バネ	t=1.5 (H=125mm)	ヶ	2			SUS301-CSP
⑨	ファイヤ止め金具	t=1.5	ヶ	1			SUS301-CSP
⑩	固定バネ固定ボルト	M10×25	組	2			SS40085 HDZ35 (B1, W1) UNHインボイス対応
⑪	落下防止ファイヤー	φ6.3x4740	本	1			ナイロン製 (カビ防止)
⑫	アンカーボルト	D25 (ナリ部M22) ×520	組	4			SD345 キャスター付
⑬	ボルト・ナット	M22×100	組	4			HDZ35 (B1, N2, W1)
⑭	支柱落下防止ファイヤー	φ18 (7×19G/D)	m	2			ナイロン製

⑫⑬は、設置開始工時に設置すること。

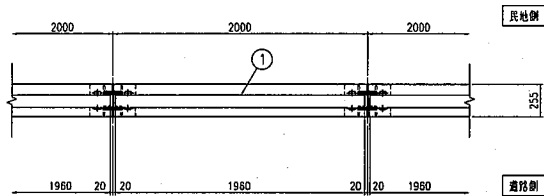
下段パネル詳細図 S=1/10



ファイヤ止め金具詳細図 S=1/2



A-A断面図 S=1/20



平成 27年度	図面番号	123 / 130
図面名	遮音壁詳細図 (3) 縮尺 図示	
設計者	大阪府茨木土木事務所	

遮音壁詳細図 <参考図> (4)

照明柱部 L=1.5m

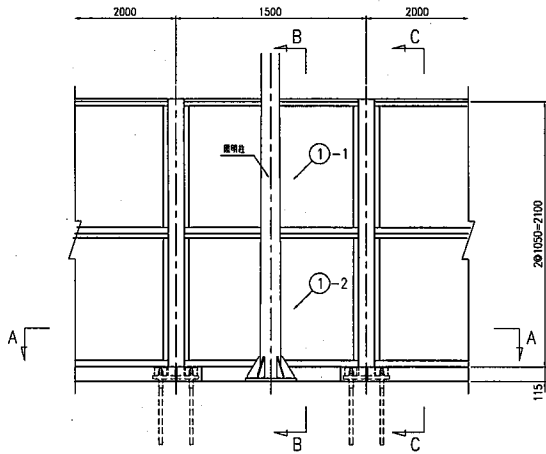
部材数量表

(1スパン当り)

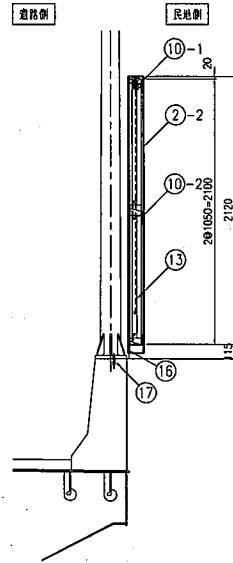
品番	名 称	規格寸法	単位	数量	単重	重量 (kg)	備 考
①-1	アルミ枠透明板	1050×95×1460 (ボリカ10)	枚	1			光線計測機定性処理 (7イボ1付)
①-2	アルミ枠透明板	1050×95×1460 (ボリカ10)	枚	1			光線計測機定性処理 (7イボ1付)
②-1	支 柱	H 125×125×6.5×9-2190	本	2	23.60kg/m	103.37	SS400 HDZ55
②-2	支 柱	C 125×65×6×8-2190	本	2	13.40kg/m	58.69	SS400 HDZ55
③	接続プレート	PL 9×190-2190	枚	2	70.65kg/m ²	58.79	SS400 HDZ55
④	ベースプレート	PL 25×250×360	枚	2	196.25kg/m ²	35.33	SS400 HDZ55
⑤	リアプレート	PL 12×65×230	枚	4	94.20kg/m ²	5.63	SS400 HDZ55
⑥	リブプレート	PL 12×65×95.5	枚	8	94.20kg/m ²	4.68	SS400 HDZ55
⑦	固定金具	PL 6×40×50	枚	2	47.10kg/m ²	0.19	SS400 HDZ55
⑧	パネル受けプレート	PL 6×60×171	枚	2	47.10kg/m ²	0.97	SS400 HDZ55
⑨	下段パネル	l=1.6 L=200	枚	2			SGH400 Z27 静電機付建築
⑩-1	固定バネ (露上段用)	l=1.5 (H=125mm)	ヶ	2			SUS301-CSP
⑩-2	固定バネ	l=1.5 (H=125mm)	ヶ	2			SUS301-CSP
⑪	ワイヤー止め金具	l=1.5	ヶ	4			SUS301-CSP
⑫	固定バネ固定ボルト	M10×25	組	2			SS400& HDZ35 (B1, W1) UNM47&鋼製鋼釘
⑬	落下防止ワイヤー	φ6.3×4740	本	4			ナイロン製線 (カベトシ)
⑭	アンカーボルト	D25 (4分) 鋼M22 ×520	組	8			SD345 ケーブル材
⑮	ボルト・ナット	M22×100	組	8			HDZ35 (B1, N2, W1)
⑯	水 切 板	PL 1.6×285-1090	枚	1	12.94kg/m ²	4.02	SGH400 Z27 静電機付建築
⑰	アンカーボルト	M10×70	組	2			異形固定ボルト HDZ35 (B1, N1, W1) 水切板用
⑱	サール材	2×15-1090	枚	1			鋼製固定材

⑭⑮は、壁面補修工事に設置すること。

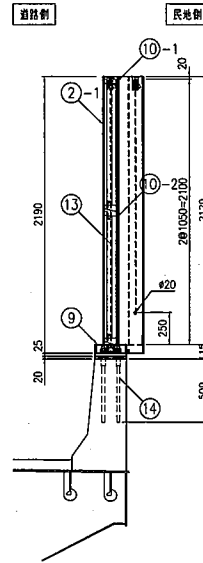
正面図 S=1/20



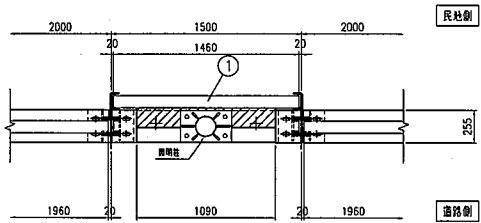
B-B断面図 S=1/20



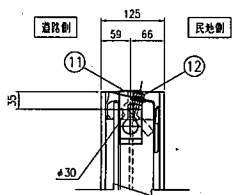
C-C断面図 S=1/20



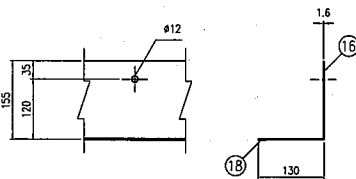
A-A断面図 S=1/20



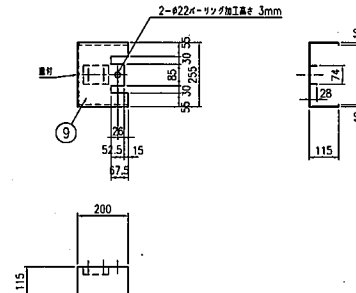
天端詳細図 S=1/5



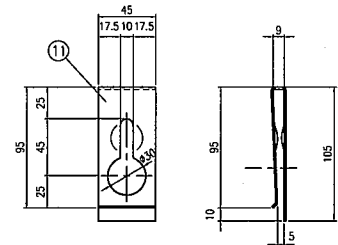
水切板図 S=1/5



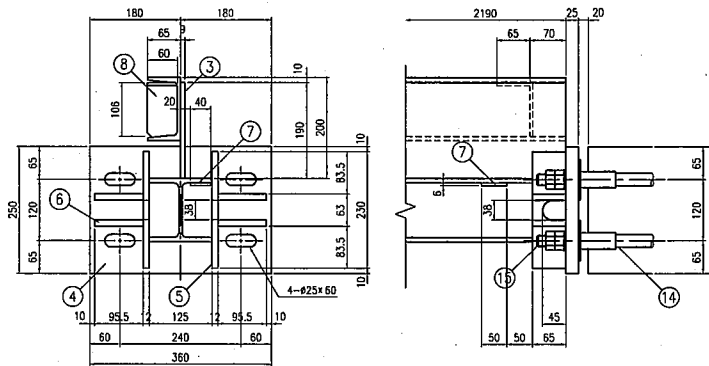
下段パネル詳細図 S=1/10



ワイヤー止め金具詳細図 S=1/2

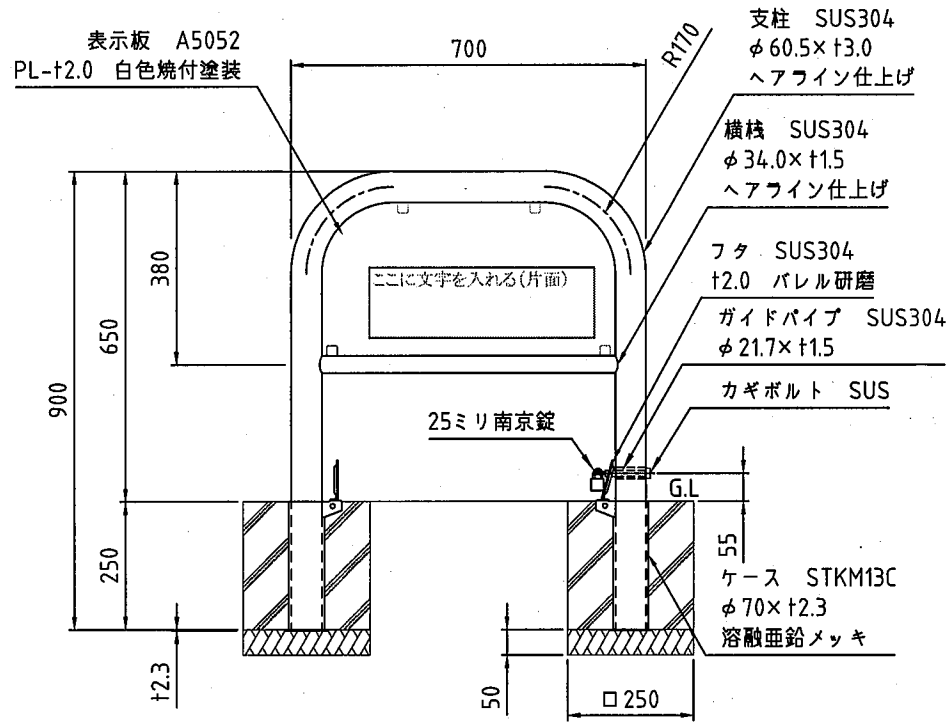


ベースプレート詳細図 S=1/5



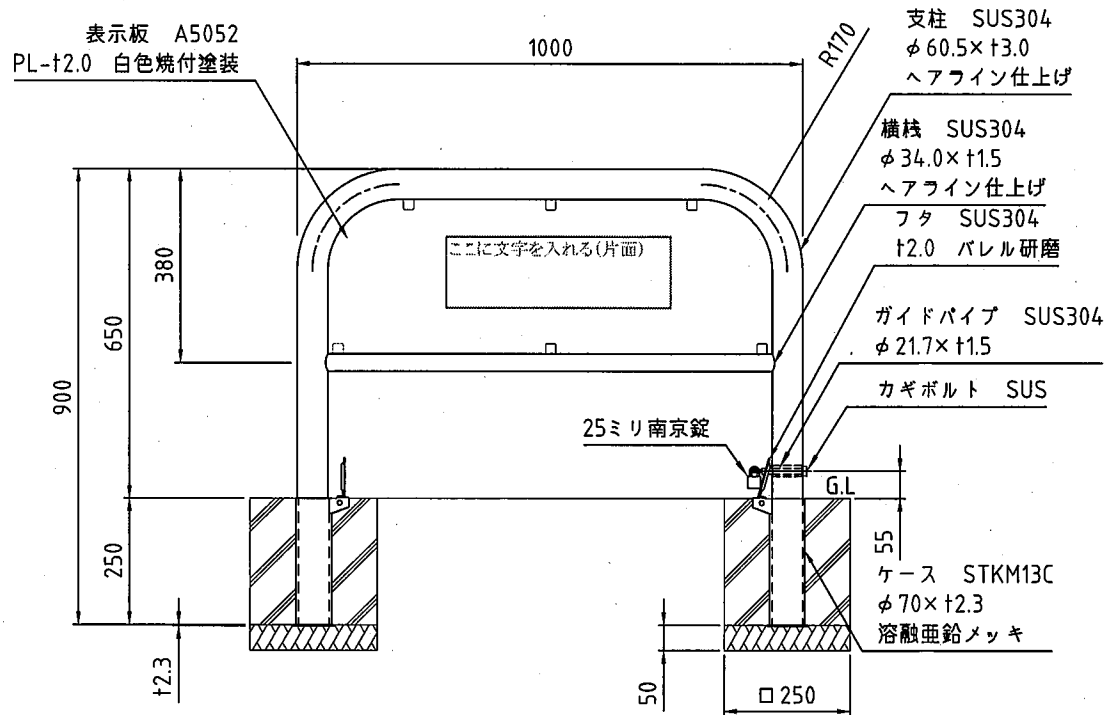
平成 27年度	図面番号	124 / 130
路線名	[Redacted]	
業種名	[Redacted]	
場 所	[Redacted]	
図面名	遮音壁詳細図 (4)	縮尺 図示
大阪府茨木土木事務所		

参考図



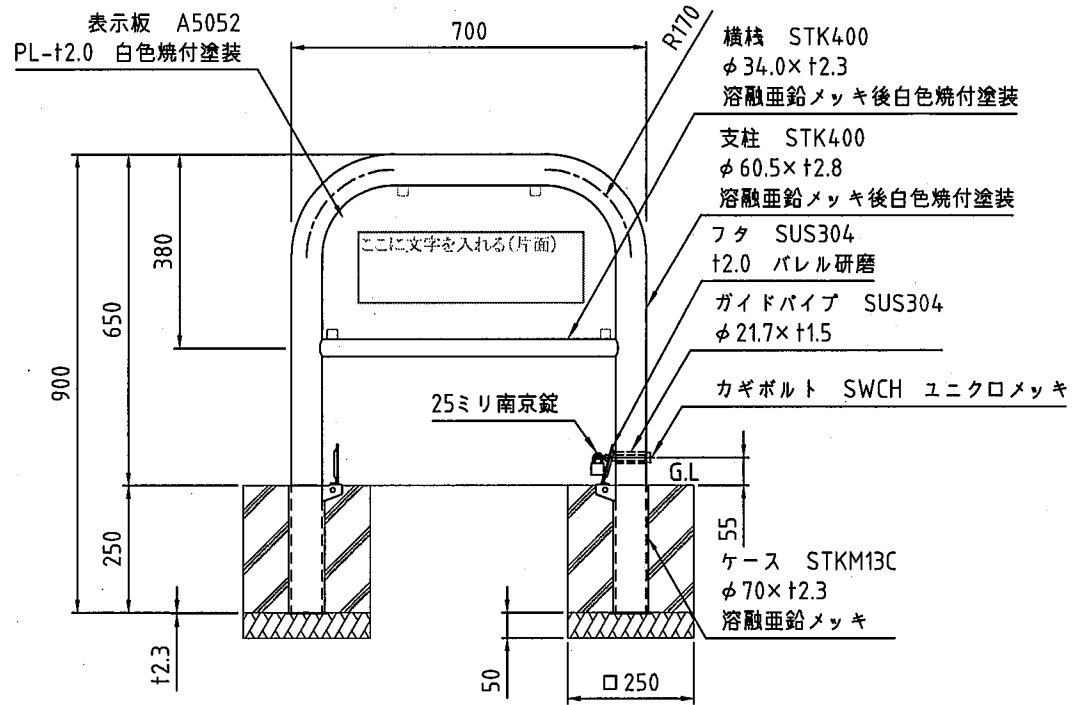
※ 片面インクジェット印刷費込み

参考図



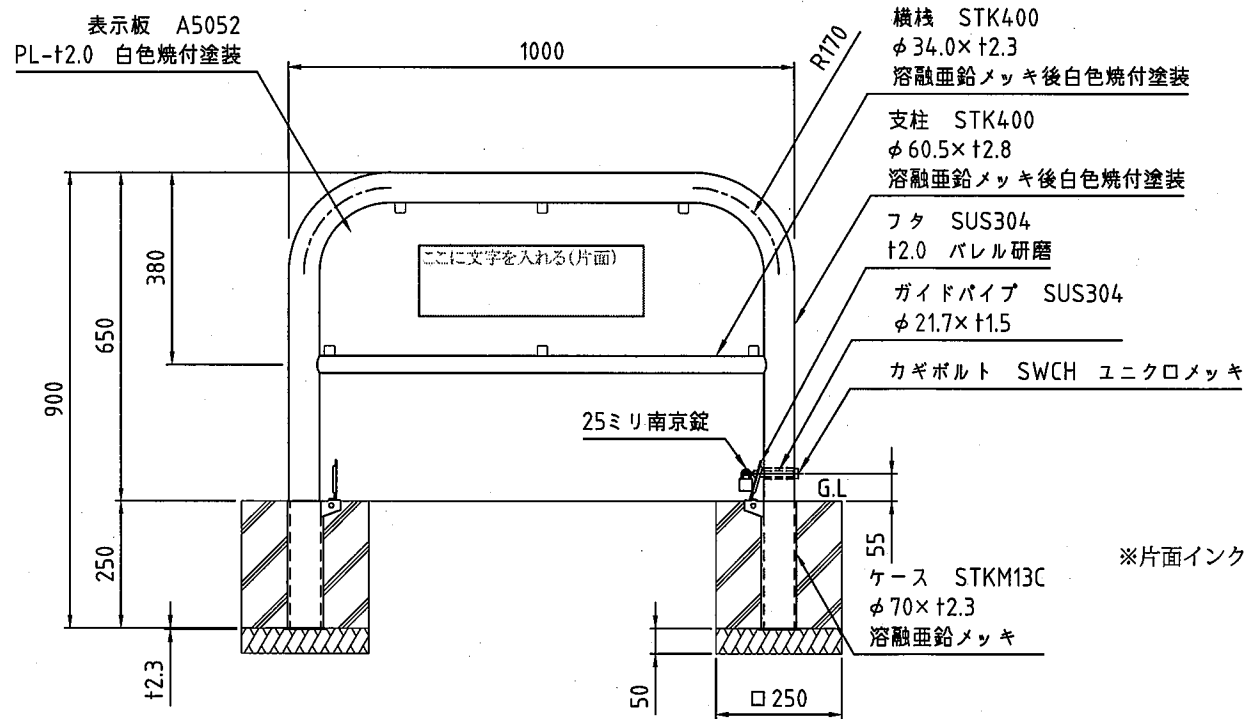
※片面インクジェット印刷費込み

参考図



※片面インクジェット印刷費込み

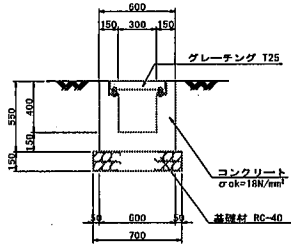
参考図



※片面インクジェット印刷費込み

構造図(1)

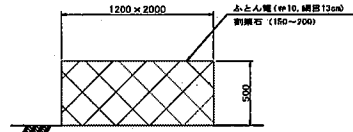
横断側溝U3-B300-H300 S=1:20
(グレーチング蓋付き)



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
基礎材	RC-40 t=150	m ²	7.00	
型枠		m ²	22.00	
コンクリート	σak=18N/mm ²	m ³	1.85	
グレーチングふた	T-25 並目	m	10.00	

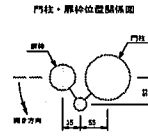
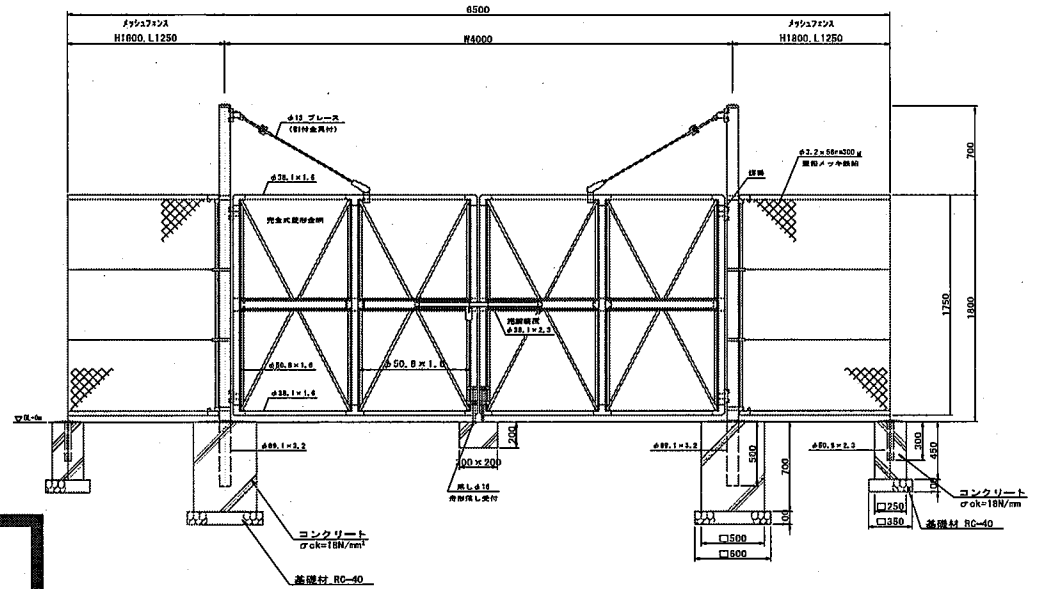
ふとん管 S=1:20



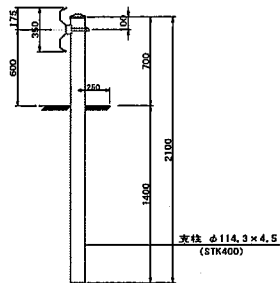
材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
ふとん管	500×1200 φ1200, 鋼筋12mm	m	2.00	
側溝石	180×200	m ²	1.20	

門扉 H1800×W4000
メッシュフェンス S=1:20



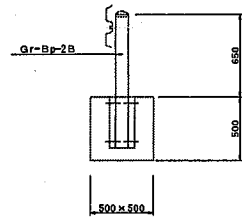
ガードレール (Gr-G-4E) S=1:20



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
ガードレール	Gr-G-4E	m	10.00	

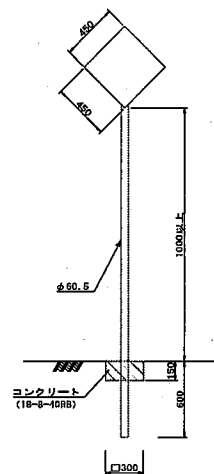
置き式ガードレール
(路側用一独立基礎) S=1:20



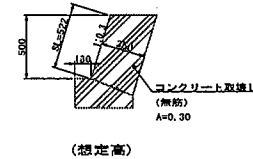
材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
置き式ガードレール	独立基礎	m	10.00	

路側式標識 S=1:20



ブロック積造り構造 S=1:20

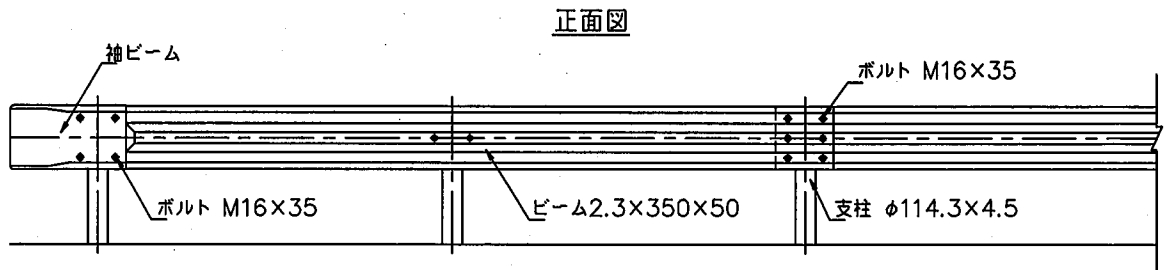
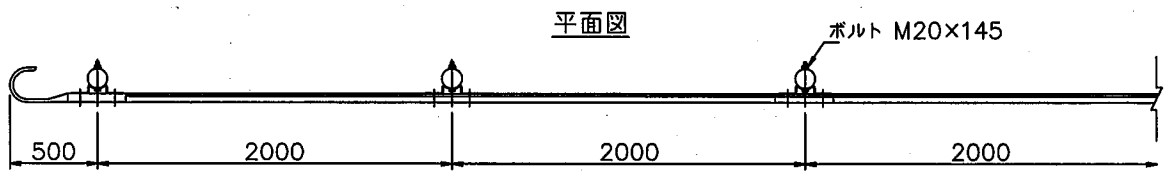


設計条件
 設計材料・・・昭和87年改正の建築基準法・同施行令に基づく
 設計に使用する
 基礎条件・・・基礎許容地耐力 0.8tN/m²(10t/m²)
 備考
 1. 1. 鋼筋は全断面を越えては埋設距離を定めずとする。
 2. 本図門扉は既設門扉を「B」開き、既設埋め込みとする。

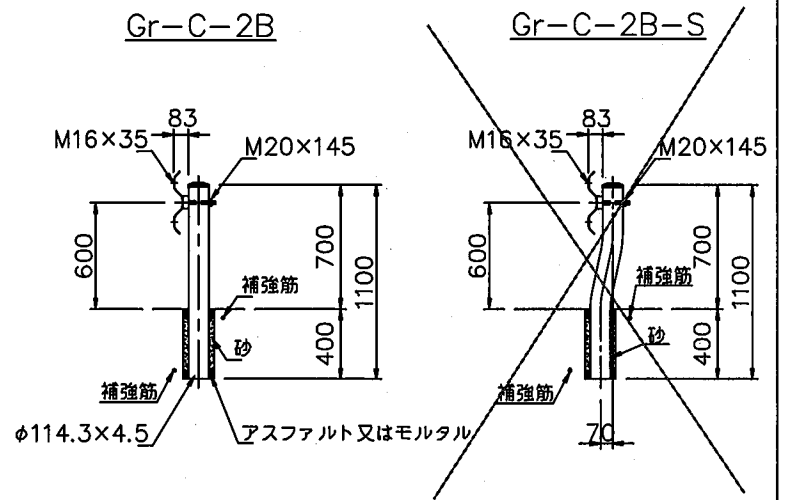
年度	令和元年度	番号	/
路線名			
工事名			
工事場所			
図面名	構造図(1)		
縮尺	図示	作成年月	令和2年2月

大阪府安威川ダム建設事務所

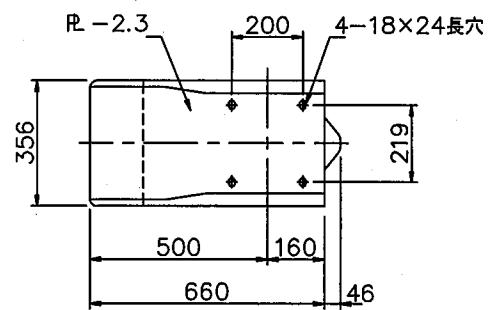
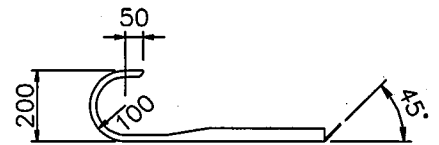
Gr-C-2B
~~Gr-C-2B-S~~



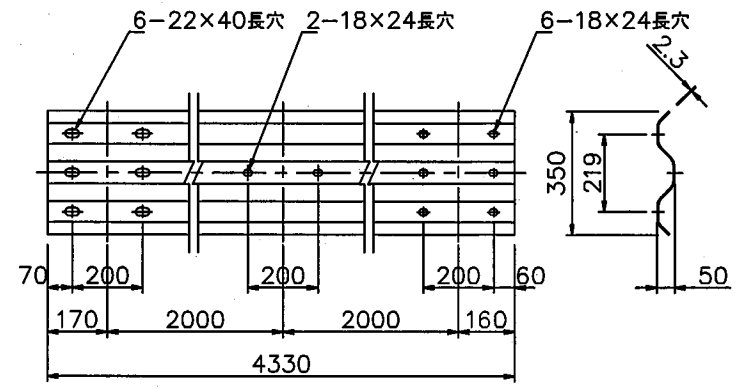
側面図



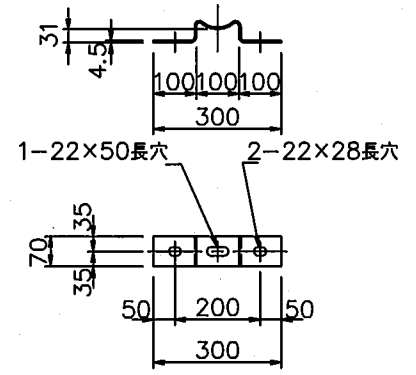
袖ビーム



ビーム

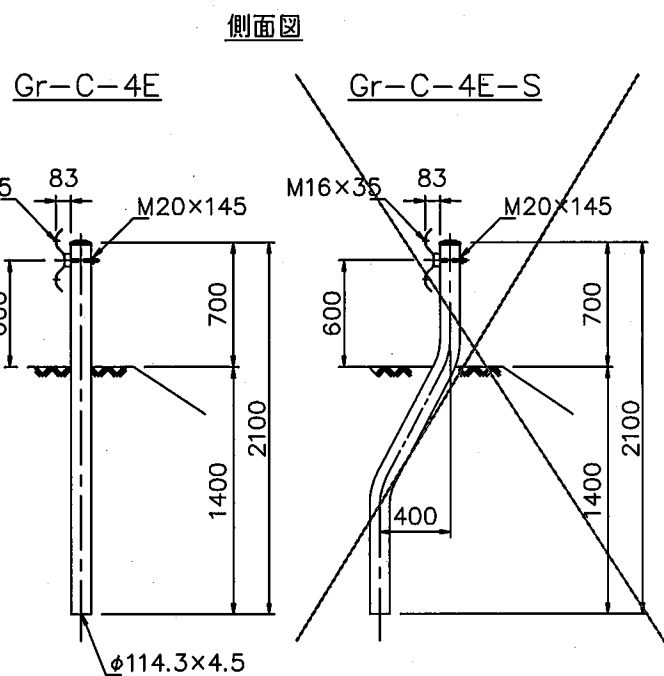
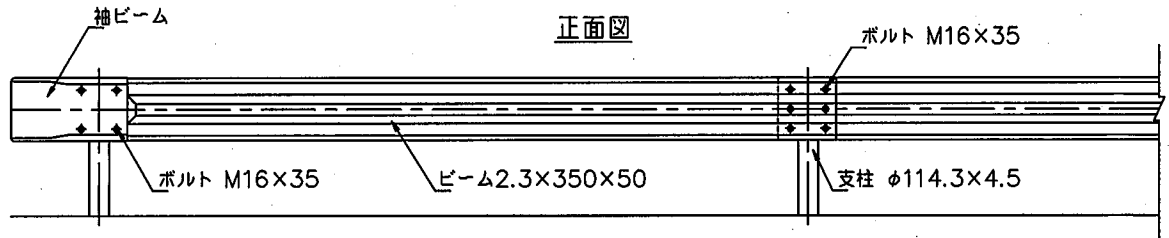
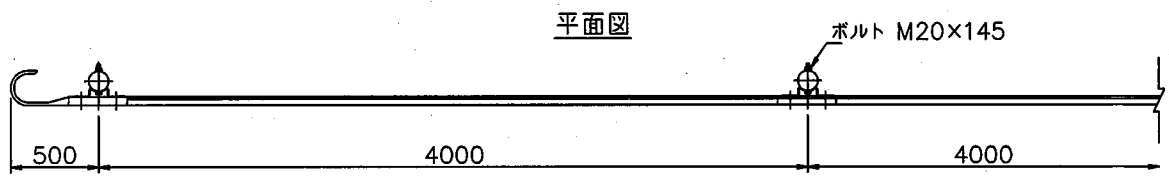


ブラケット

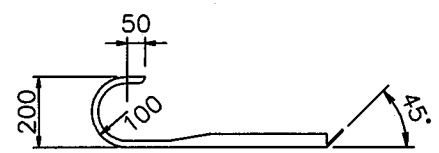


(注) 補強筋配置の詳細は別図-1に示す

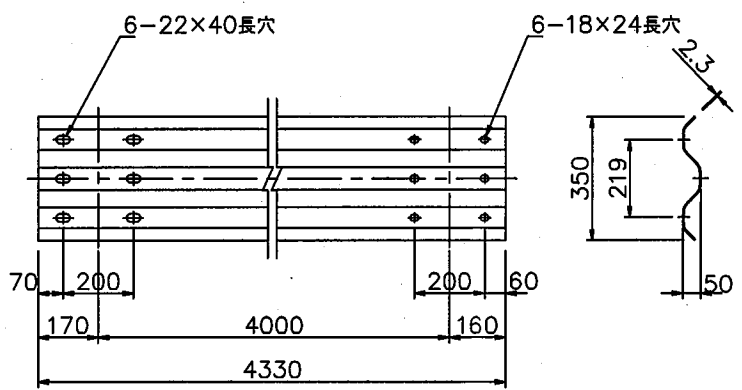
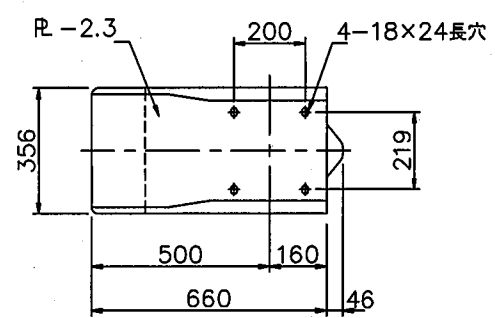
Gr-C-4E
~~Gr-C-4E-S~~



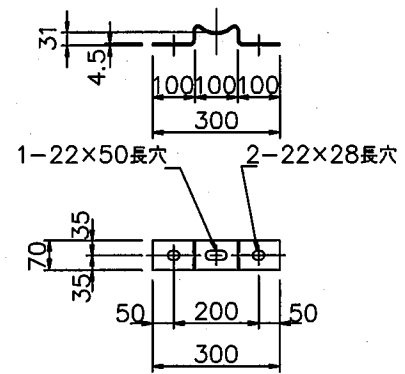
袖ビーム



ビーム



ブラケット

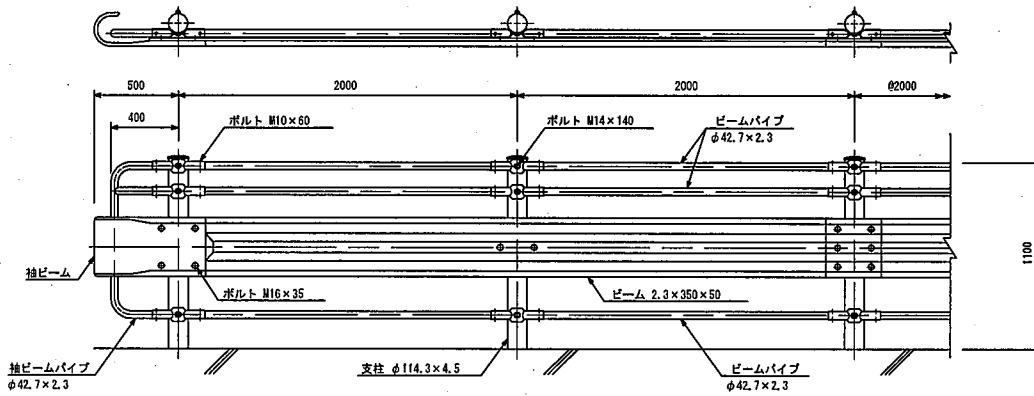


ガードレール工構造図

(参考図) Gr (P) -C-2B/Gr (P) -C-4E

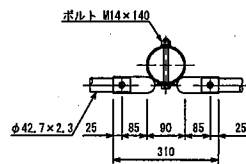
ガードレール構造図

組立図

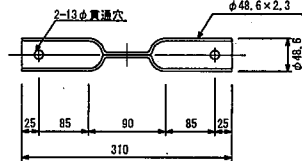


種類	埋込深さ (mm)
Gr (P) -C-2B (構造物用)	400
Gr (P) -C-4E (土中用)	1,400

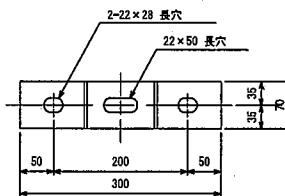
ビームパイプ接合部



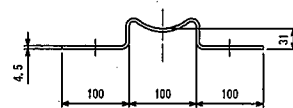
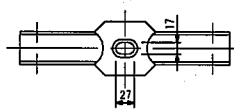
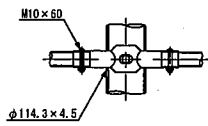
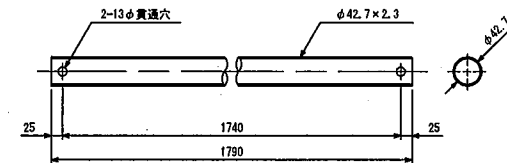
セーフティブラケット



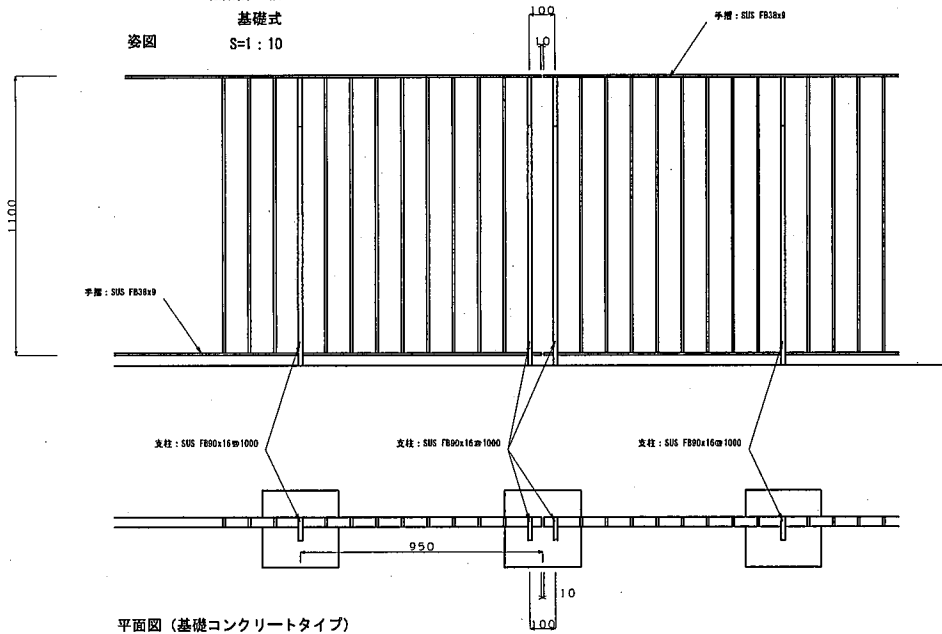
ガードレールブラケット



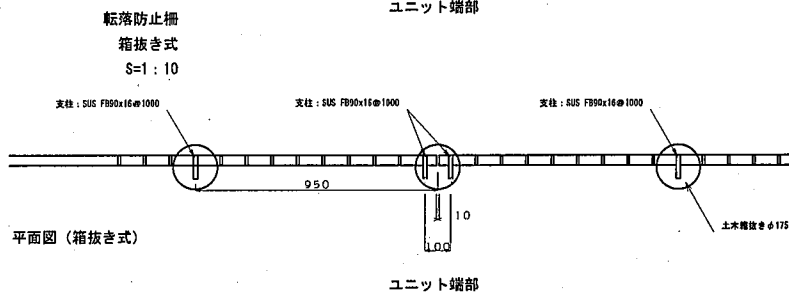
ビームパイプ



転落防止柵
基礎式
姿図 S=1:10

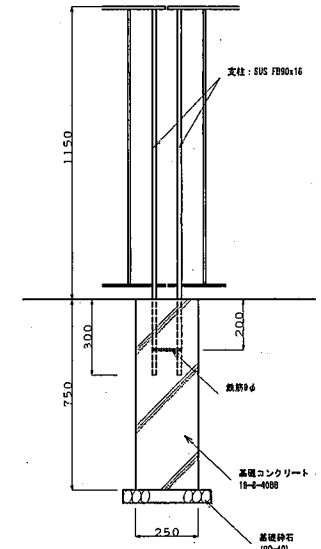
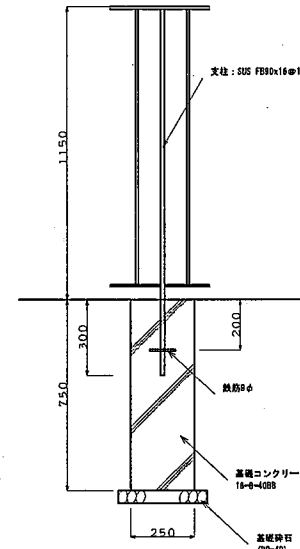
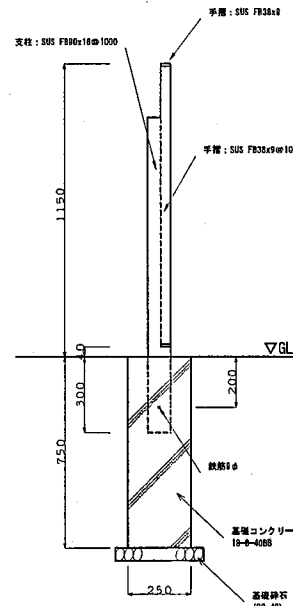


平面図 (基礎コンクリートタイプ)

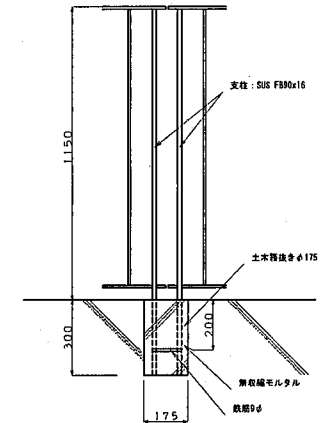
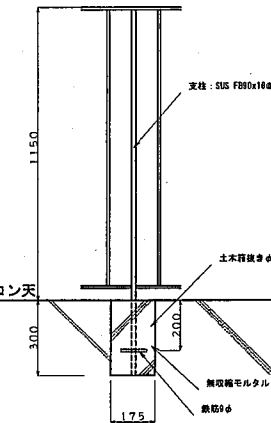
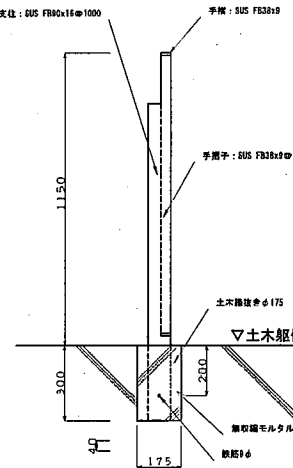


平面図 (箱抜き式)

詳細図(4)



断面図 (基礎コンクリートタイプ)



断面図 (土木箱抜きタイプ)

※SUSはすべてSUS304Aとする
(HL仕上げ)

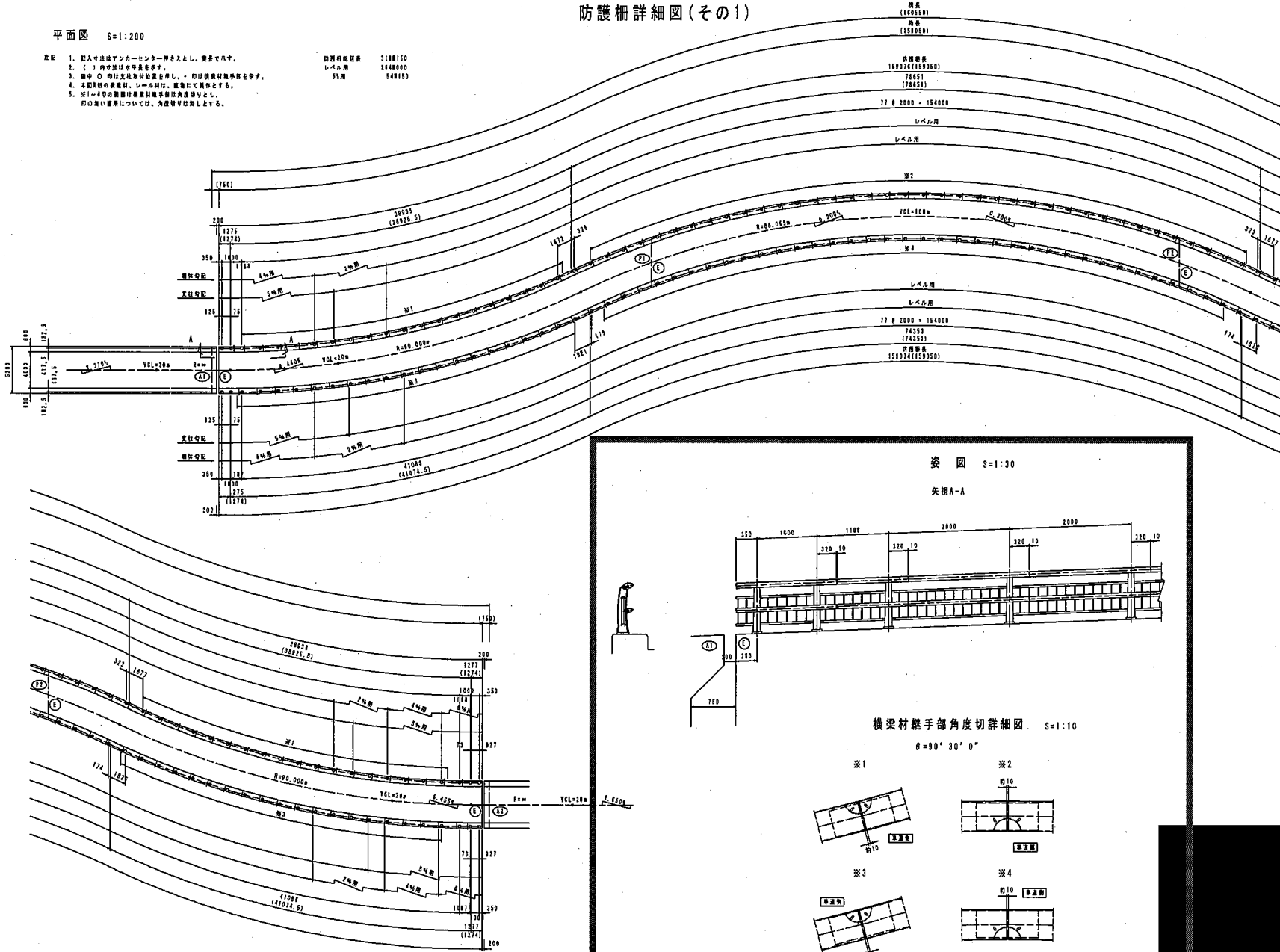
令和2~3年度	図面番号	A-127
事業名	[REDACTED]	
河川 路線名	[REDACTED]	
工事名	[REDACTED]	
施工地名	[REDACTED]	
図面名	外観詳細図(4)	縮尺 1/10
大阪府安威川ダム建設事務所		

防護柵詳細図(その1)

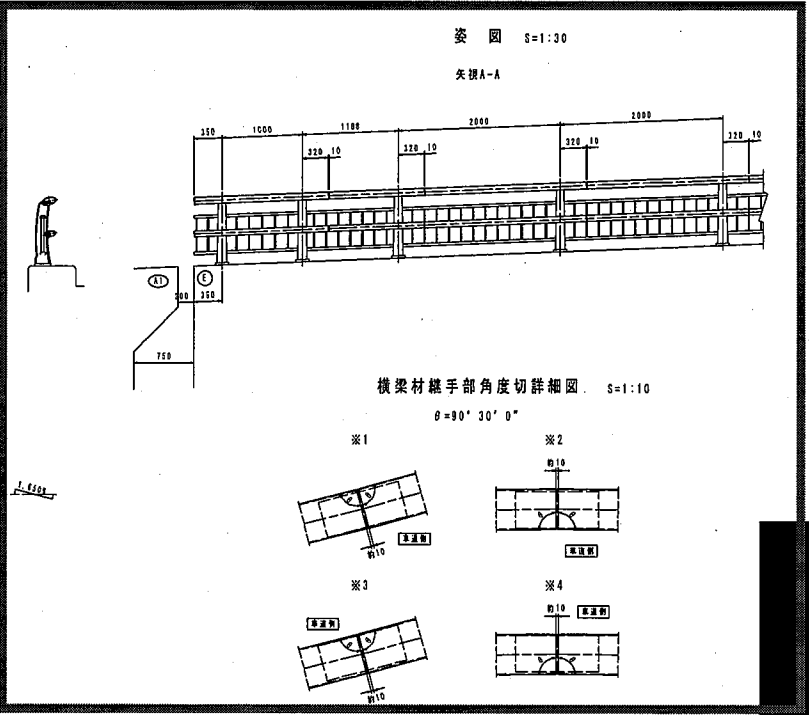
平面図 S=1:200

- 注記
1. 記入寸法はアンカーセンター線とし、実尺です。
 2. () 内寸法は実尺を指す。
 3. 图中 ⊙ 印は支柱取付位置を示し、*印は横梁材取付位置を示す。
 4. 本図は設計図、施工図として使用する。
 5. 本図の断面は横梁材取付位置は内尺とし、印の裏側については、外尺取りは無しとする。

防護柵規格
 3188150
 レベル用
 244000
 5%
 548150

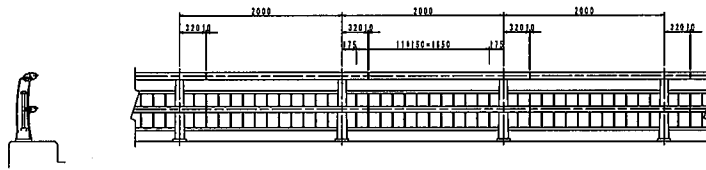


姿図 S=1:30
 矢視A-A



防護柵詳細図(その2)

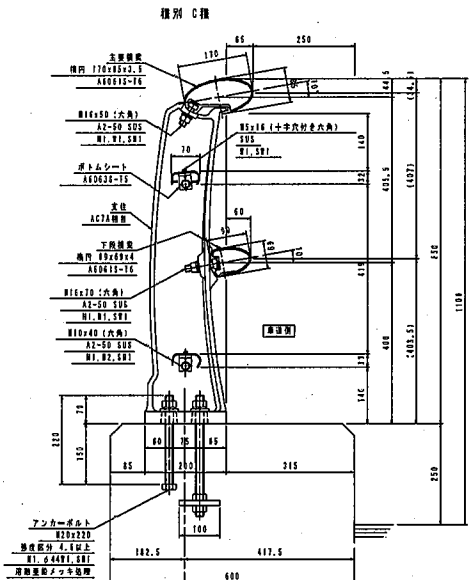
図面 S=1:30



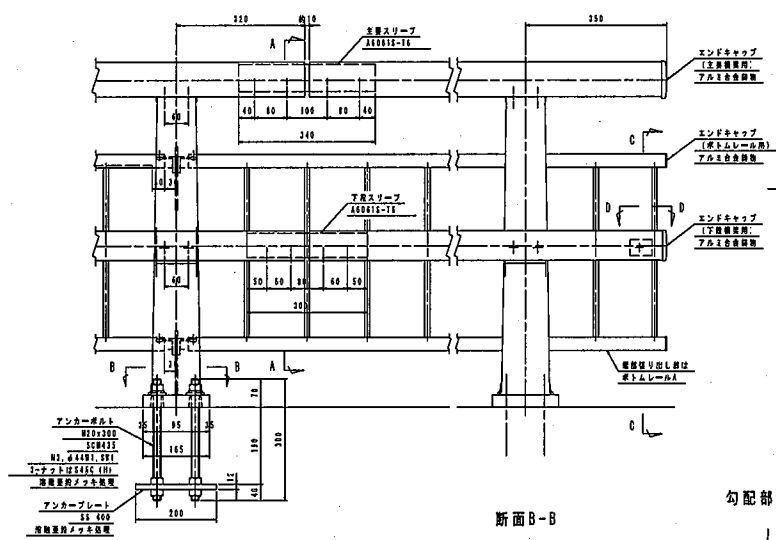
材料表

数量	品名	寸法	重量	長さ	体積	材質	寸法	重量
1	主要横梁	1950.0	6	4.325	1.55	SA105	φ100x15	120x4325.5
2	下梁スリーブ	1950.0	6	3.284	1.28	SA105	φ100x15	19x4325.4
3	支柱		6	10.02	3.61	AC7A鋼		
4	主要スリーブ	240.0	6	4.167	1.53	SA105	φ100x15	
5	下梁スリーブ	300.0	6	3.195	0.91	SA105	φ100x15	
6	ボトムレールA	1840.0	6	1.165	0.22	SA105	φ100x15	70x32
7	ボトムレールB	1840.0	6	0.544	0.11	SA105	φ100x15	25x2
8	ボトムレールC	1840.0	6	0.119	0.02	SA105	φ100x15	25x2
9	ボルト	421.0	22	0.268	0.10	SA105	φ100x15	20x12
10	ボルトナット	20.0	24	1.171	0.04	SA105	φ100x15	L=47x40
11	ボルト	φ10x25	24	0.11	0.02	A2-70 SUS	φ1.5φ1	
12	"	φ12x20	24	0.08	0.02	A2-70 SUS	φ1.5φ1	
13	ボルト	φ16x50	12	0.17	0.03	A2-70 SUS	φ1.5φ1	
14	"	φ16x70	12	0.26	0.04	A2-70 SUS	φ1.5φ1	
15	"	φ18x40	12	0.04	0.01	A2-70 SUS	φ1.5φ1	
16	ボルトナット	φ6x18	24	0.004	0.001	SUS	φ1.5φ1	
17	ボルトナット	φ6x20	24	0.002	0.001	SUS		
18	ボルトナット	φ6x18	24	0.002	0.001	SUS		
19	アンカーボルト	φ20x300	12	0.31	0.07	SC43E	N1.644φ1.5φ1	
20	"	φ20x300	12	0.58	0.14	SC43E	N1.644φ1.5φ1	
21	アンカープレート	L=17	6	0.01	0.001	SA105	100x200x12	
計量							256.4	57.128
容積							11.4	1.28

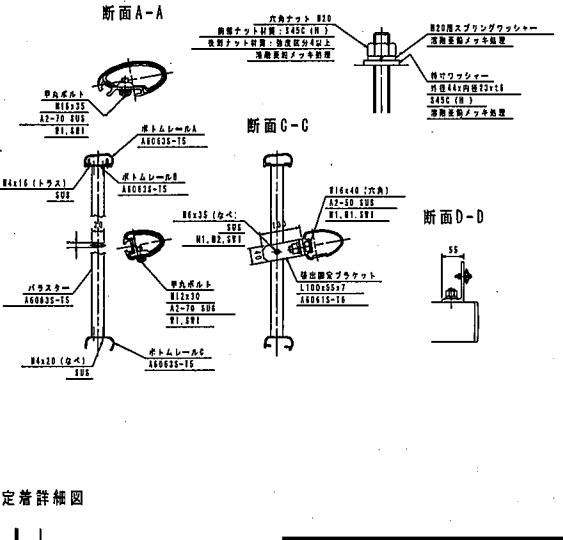
高欄兼用
車両防護柵取付詳細図 S=1:6



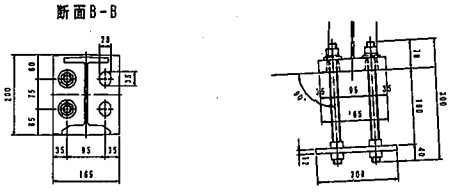
継手部 端部



アンカーナット締め付け部 S=1:3



勾配部定着詳細図



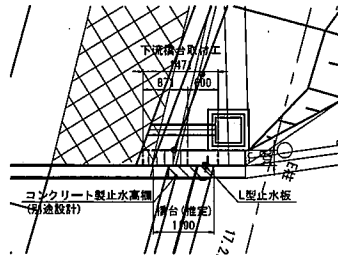
- 注意
1. 塗装仕様
主要部材、下梁横梁、主要スリーブ、下梁スリーブ物、支柱等はアルミドクロメートとし、支柱は黒色塗装、ボルト(アンカーを除く)はステンカラー、シルバーグレーカラー色の粉を施す。色調は別紙を参照せよ。
 2. 本図面の設計仕様は、(株)日亜アルミニウム製、日本製鋳鋼製多角鋼材(アルミニウム合金鋼製多角鋼材参照) (平成10年製)による。
 3. 本図面の支柱は、レール用長手は、φ2.25勾配に準拠とする。55角φ2.25~7.51勾配に準拠とする。
 4. 傾度以外の斜度リボルト用はA2-70以上とする。ただし、ビス幅はA2とする。

コンクリート強度 C=24/28/33

橋台取付工一般図(1) S=1:50

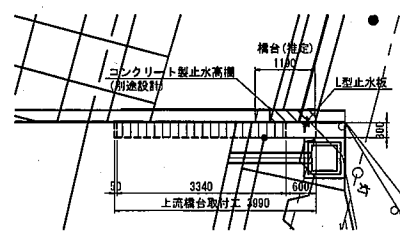
【下流側】

平面図 S=1:50

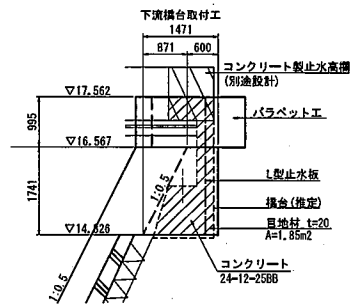


【上流側】

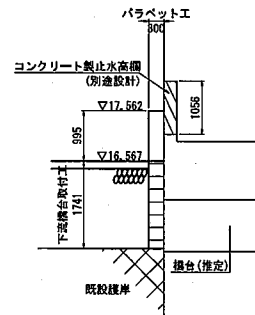
平面図 S=1:50



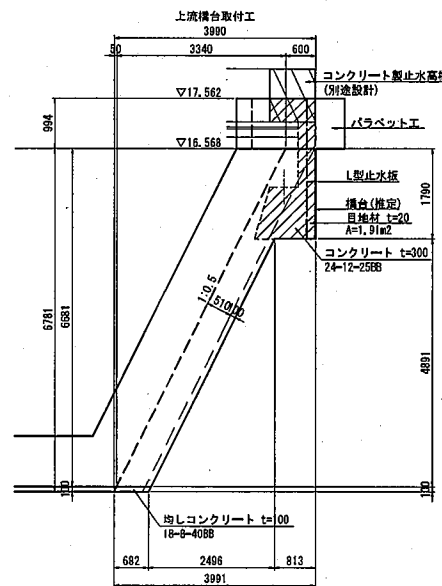
断面図 S=1:50



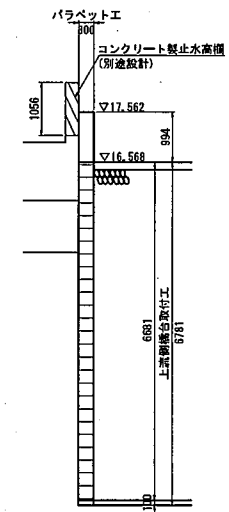
正面図 S=1:50



断面図 S=1:50



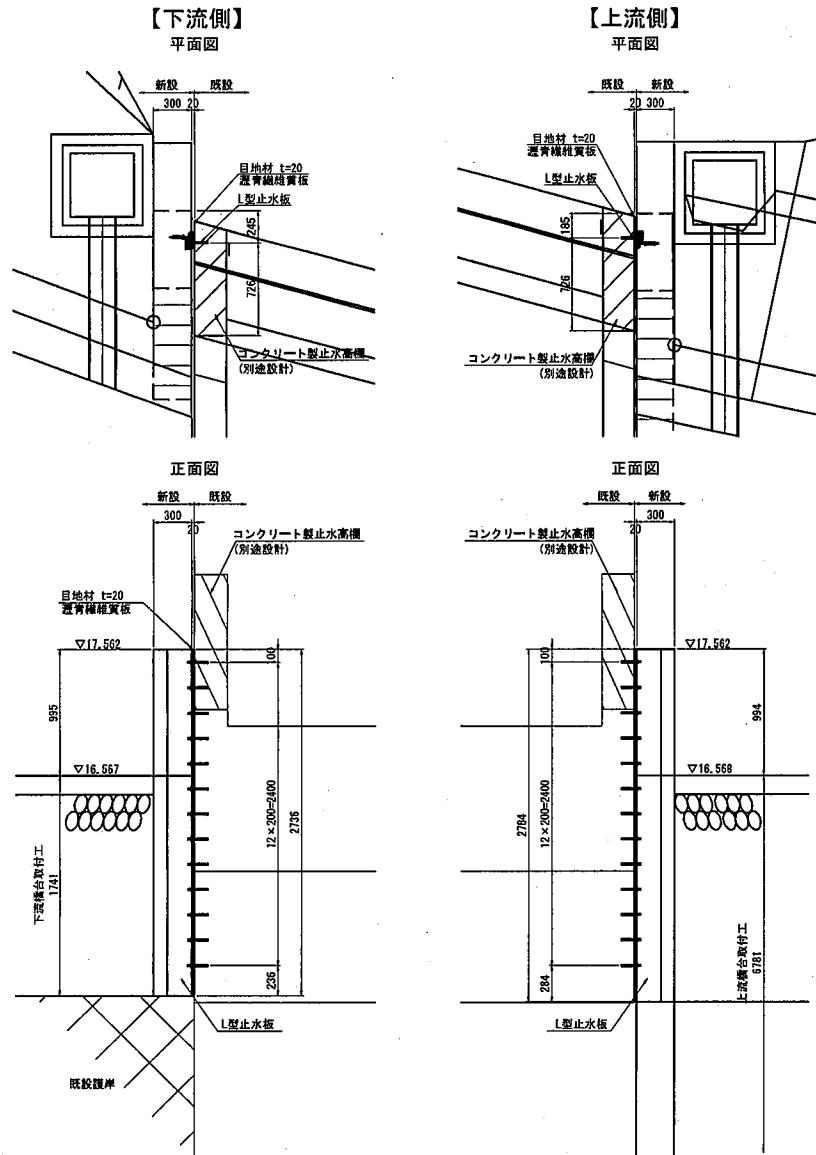
正面図 S=1:50



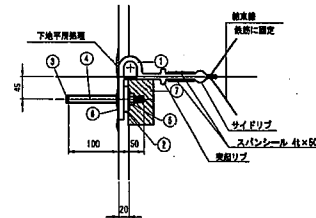
年度	令和元年度	図面番号	15 / 33
河川名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
所属地名	[Redacted]		
図面名	橋台取付一般図(1)		
縮尺	S=1:50	作成年月	令和2年3月
大阪府富田林土木事務所			

橋台取付工一般図(2) S=図示

L型止水板詳細図 S=1:20
(サンタックL型止水板同用品)



製品図(参考図) S=1:5



性能表

許容伸長量	30mm
許容沈下量	40mm
耐水圧	0.10MPa

材料表

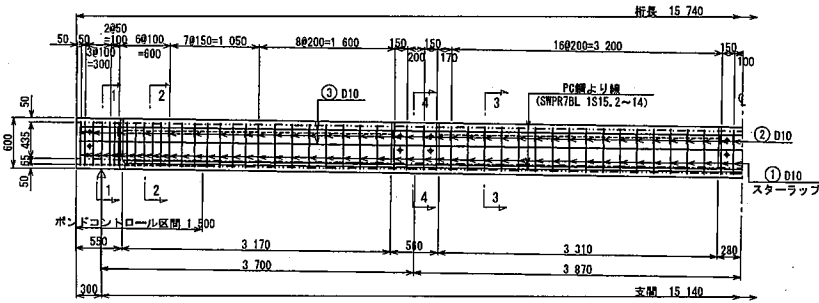
(1ジョイント当り)

番号	名称	寸法	材質	単位	数量(下流側)	数量(上流側)	備考
1	L型止水板	t=10	NFRゴム	m	2.74	2.78	
2	押え板	t=6, W=50	SUS304	m	2.74	2.78	長穴加工
3	ケミカルアンカー	M12用		本	12	12	
4	アンカーボルト	M12用, L=150	SUS304	本	12	12	200ピッチ以下
5	ナット, ワッシャ	M12用	SUS304	セット	12	12	ワッシャ外径φ40, t=3
6	スパンシール	t=4, W=90	ブチル粘着材	m	2.74	2.78	
7	クッション材	t=50, W=90	ポリエチレン	m	2.74	2.78	ボルト斜切込み加工品

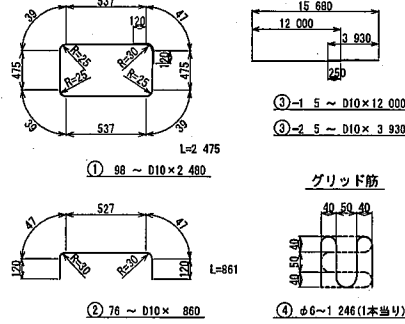
年度	令和元年度	図面番号	16 / 33
河川名	[REDACTED]		
工事名	[REDACTED]		
所属地名	[REDACTED]		
図面名	橋台取付一般図(2)		
縮尺	S=図示	作成年月	令和2年3月
大阪府高田林土木事務所			

主桁配筋図

側面図 S=1:30



鉄筋加工図



鉄筋表

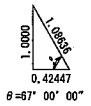
記号	径	長さ (m)	本数	単位重量 (kg/m)	本当り重量 (kg)	質量 (kg)	形状
1	D10	2,480	98	0.560	1.39	136	□
2	D10	0,860	76	0.560	0.48	36	□
3-1	D10	12,000	5	0.560	6.72	34	—
3-2	D10	3,930	5	0.560	2.20	11	—
4	φ6	1,250	16	0.222	0.28	4	田

(グリッド筋は耳桁のみ)

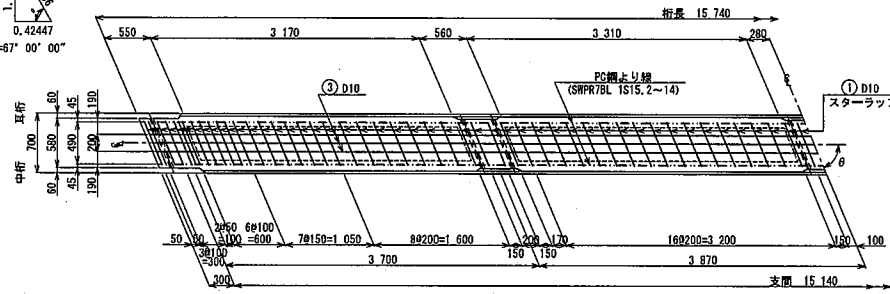
	外桁	中桁
D10	217kg	217kg
φ6	4kg	—
合計	221kg	217kg

※伸縮装置取付鉄筋は別紙図面を参照すること

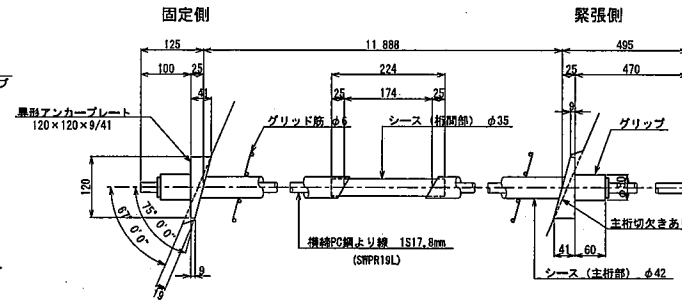
斜比



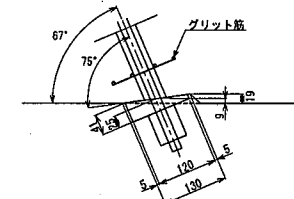
平面図 S=1:30



横締定着具詳細図 S=1:5

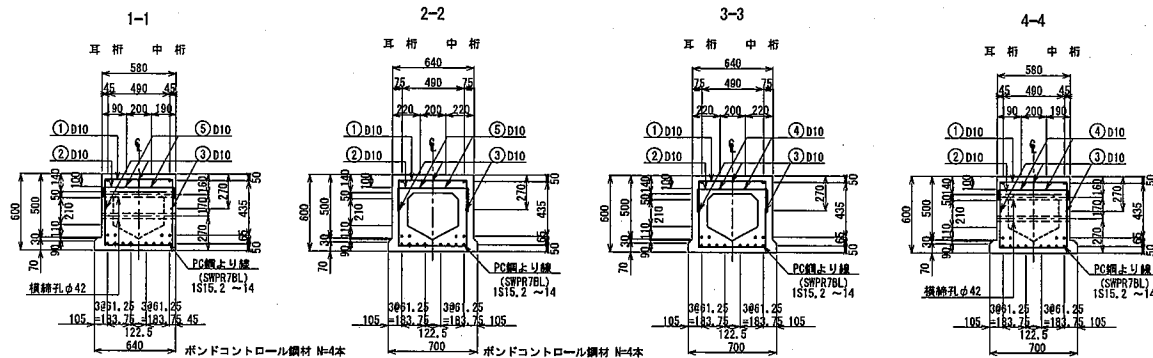


横締定着部主桁切欠き部 S=1:5

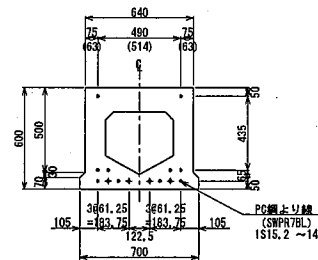


断面図 S=1:20

BS15-600

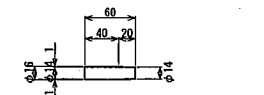


PC鋼材配置図 S=1:15



○ PC鋼材
+ ポンドコントロール鋼材
注) () 内寸法は、最下段並びに最上段以外のPC鋼より線の水平距離を示す

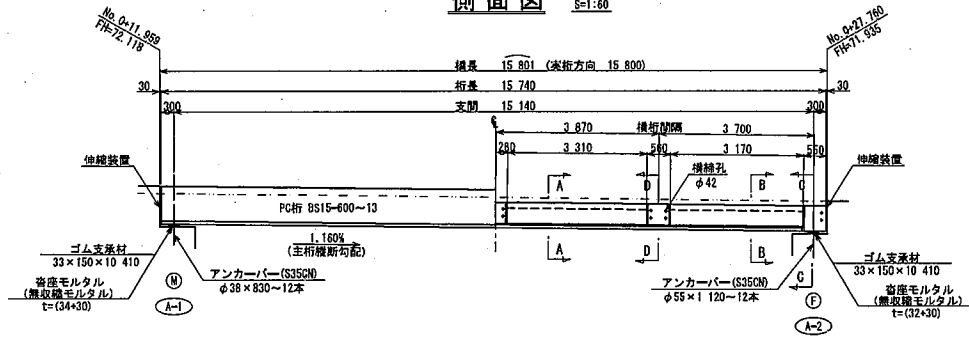
グラウトパイプ詳細図 S=1:1



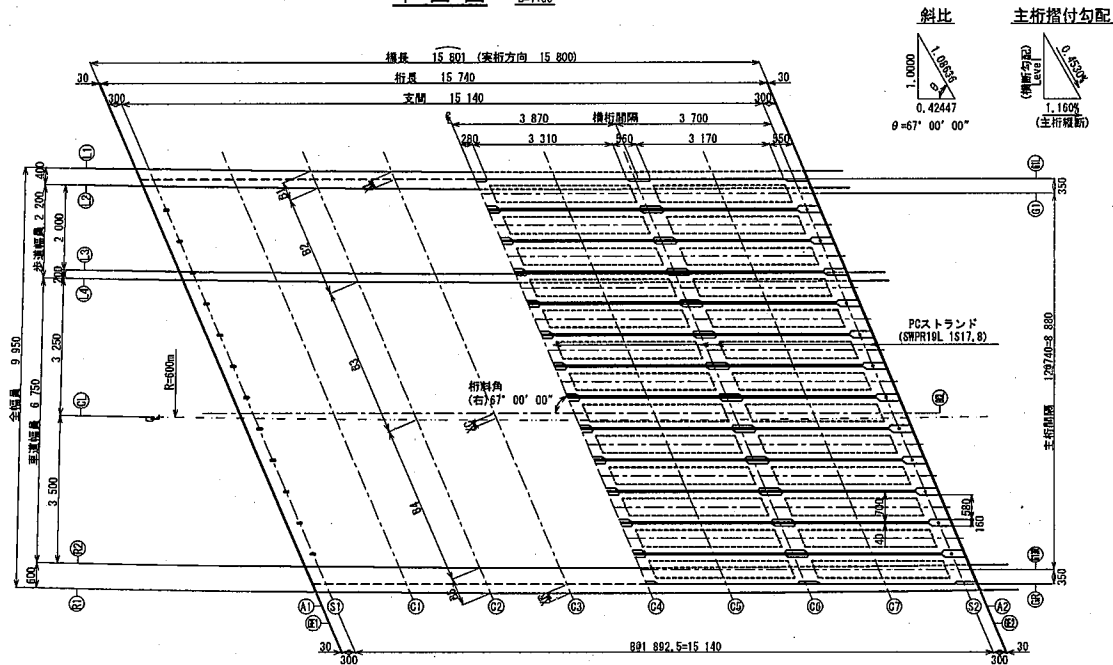
年度	令和2~4年度	大阪府
河川名		府
工事名		土
所属地名		事
図面名	主桁配筋図	縮尺
設計		図示
校核		竣工
作成年月日	令和2年5月	全18葉の内
		5

上部工構造図(1)

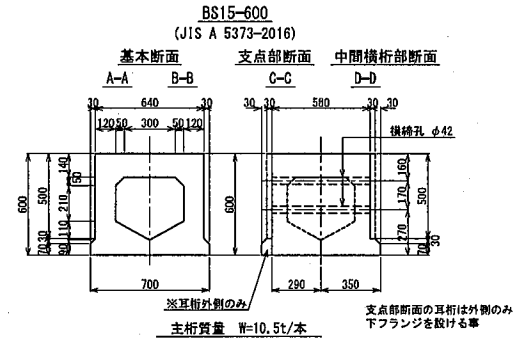
側面図 S=1:60



平面図 S=1:60



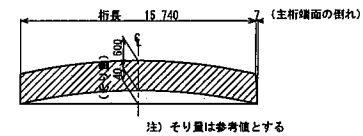
主桁断面図 S=1:15



種別	プレストレストコンクリート道路橋
構造形式	プレテンション方式PC単線中空床版橋
橋長	15,800m(道路中心線上)
桁長	15,740m
支間	15,140m
全幅員	9,950m
有効幅員	車道 6,750m + 歩道 2,200m
斜角	始点 右67° 00' 00" 終点 右67° 00' 00"
活荷重	B活荷重 (T荷重)

種別	単位	主桁	場所打ち
設計基準強度	N/mm ²	50	30
曲げ圧縮応力度制限値	プレストレス導入直後	19.50	13.70
	耐荷性能照査時	24.00	16.50
曲げ引張応力度制限値	プレストレス導入直後	-1.60	-1.30
	耐荷性能照査時	-3.10	-2.20
平均せん断応力度の基本値	N/mm ²	0.44	0.37
	平均せん断応力度の最大値	N/mm ²	6.00
斜引張応力度制限値	前運条件照査時	1.20	0.80
	耐荷性能照査時	2.60	1.70
プレストレス導入時圧縮強度	N/mm ²	35.0	25.0
引張強度	別	SWPR7BL	SWPR19L
	N/mm ²	1515.2	1517.8
降伏点応力度	N/mm ²	1880	1850
	N/mm ²	1600	1580
引張応力度制限値	耐久性能照査時	1120	1110
	プレストレス導入直後	1310	1295
引張作業時	N/mm ²	1440	1420
	別	SD345	
降伏点応力度	N/mm ²	345	
	N/mm ²	210	
引張応力度制限値	N/mm ²	床版部	120

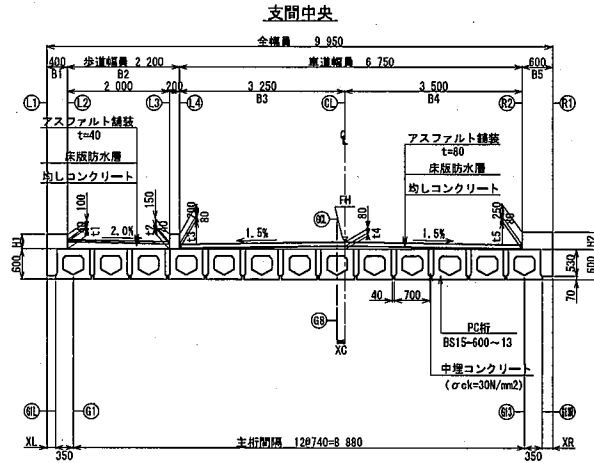
主桁そり図 (参考値)



年度	令和2~4年度	大阪府
河川名		土木事務所
工事名		
所属地名		
図面名	上部工構造図(1) 縮尺 図示	
設計	野田 謙吾	
作成年月日	令和2年5月	全18葉の内 3

上部工構造図(2)

断面図 S=1:50

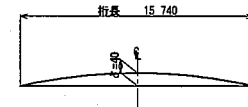


地覆高・張出量・均しコンクリート厚

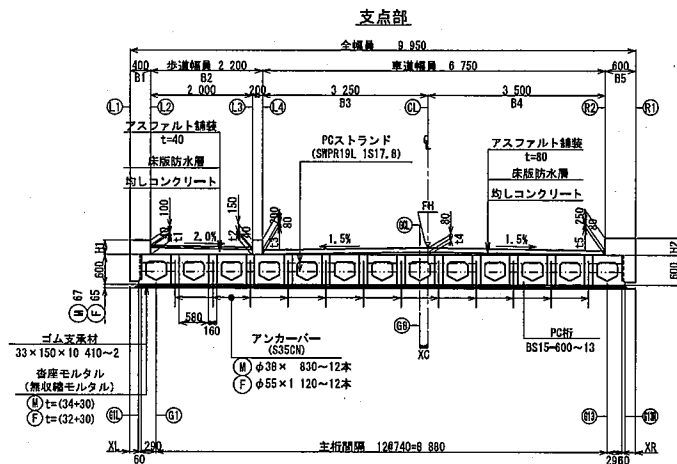
平均値はS1～S2間を示す

	GE1	S1	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	S2	GE2	平均
B1	438	438	437	436	436	435	435	434	434	433	433	435
B2	2407	2408	2403	2400	2398	2393	2390	2387	2384	2380	2380	2393
B3	3553	3552	3547	3542	3537	3532	3528	3523	3518	3514	3513	3533
B4	3822	3821	3816	3810	3805	3800	3795	3790	3785	3780	3780	3800
B5	655	655	654	653	652	651	650	649	649	648	648	651
XL	256	250	218	193	175	163	158	159	167	181	184	181
XC	134	138	161	177	187	190	187	177	161	138	134	—
XR	211	214	231	241	244	242	232	217	195	167	162	224
H1	315	312	295	284	277	274	276	283	294	310	313	287
t1	175	172	155	144	138	134	136	143	154	170	173	147
t2	134	131	115	103	96	94	96	103	114	130	133	106
t3	44	41	25	13	6	4	6	13	24	40	43	16
t4	92	89	73	62	55	52	55	62	73	89	92	65
t5	40	37	20	9	2	0	2	10	21	38	41	13
H2	369	367	350	339	332	330	333	340	351	368	371	343
主桁キャンバー	0	3	9	21	38	40	38	21	9	3	0	—

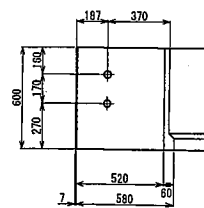
主桁キャンバー



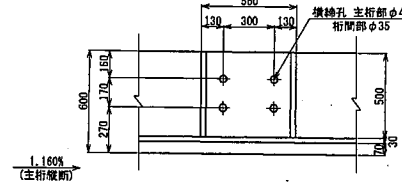
横締位置詳細図 S=1:15



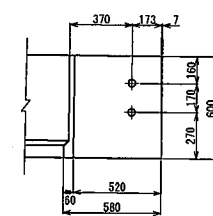
A1支点部



中間部

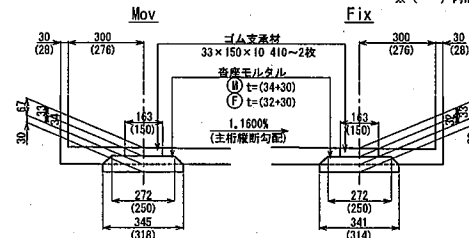


A2支点部



沓座詳細図 S=1:10

※ () 内は直断面寸法を示す



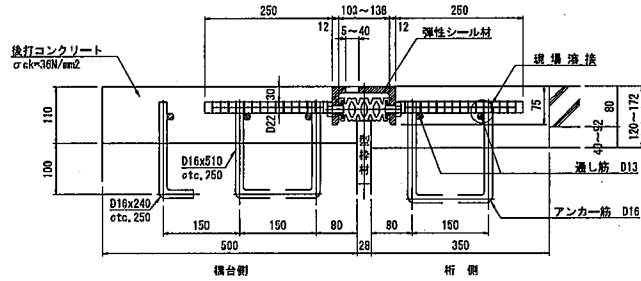
年度	令和2～4年度	大阪府
河川名		府
工事名		土
所属地名		事
図面名	上部工構造図(2) 縮尺 図示	務
設計	製図	校査
作成年月日	令和2年5月	全14頁の内 4

伸縮継手詳細図(2)

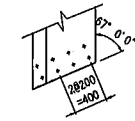
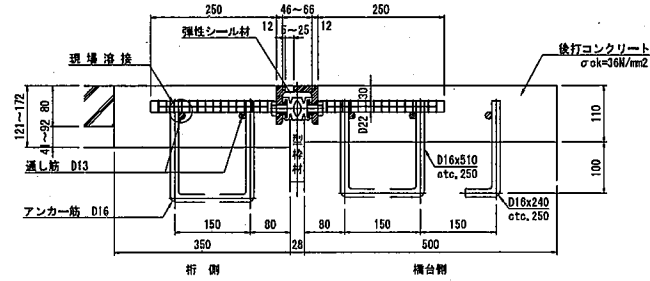
伸縮継手断面図 S=1:5

アンカー筋埋設図 S=1:30

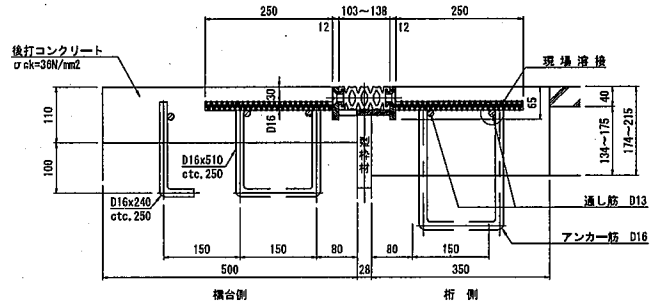
プロフジョイントCD型-35用S (車道用)
A 1 車道部



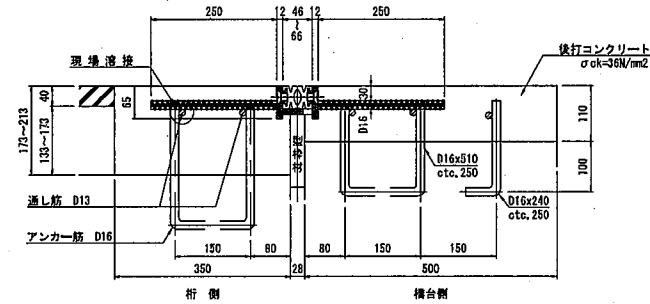
プロフジョイントCD型-20用S (車道用)
A 2 車道部



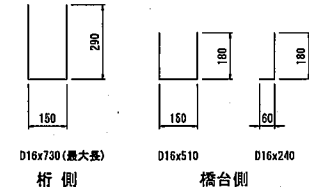
プロフジョイントN II型-35用 (歩道用)
A 1 歩道部



プロフジョイントN II型-20用 (歩道用)
A 2 歩道部



鉄筋加工図 S=1:10



伸縮継手材料表

名称	材質	A 1 数量	A 2 数量	合計数量	備考
プロフジョイントCD型-35用	SS400 鋼材	7.375 m		7.375 m	車道用、通し筋を含む
プロフジョイントCD型-20用	SS400 鋼材		7.293 m	7.293 m	車道用、通し筋を含む
プロフジョイントN II型-35用	SS400 鋼材	2.188 m		2.188 m	歩道用、通し筋を含む
プロフジョイントN II型-20用	SS400 鋼材		2.184 m	2.184 m	歩道用、通し筋を含む
シール材	シリコン系	1.137 ヶ	1.167 ヶ	2.297 ヶ	地盤部・縁石部
後打コンクリート		1.054 m ³	1.265 m ³	2.319 m ³	

アンカー筋表

寸法	A 1 数量	A 2 数量	合計数量	1本当り質量	合計質量	備考
D16x730	51 本	51 本	102 本	1,139 kg	116.2 kg	桁側
D16x510	37 本	37 本	74 本	0,796 kg	58.9 kg	橋台側
D16x240	37 本	37 本	74 本	0,374 kg	27.7 kg	橋台側

注記) 1, 後打ちコンクリートは 36-12-25N とする。

年度	令和2~4年度	大阪府
河川名		土木事務所
工事名		土木事務所
所属地名		土木事務所
図面名	伸縮継手詳細図(2)	図示
設計	設計	校査
作成年月日	令和2年5月	全14頁の内 13

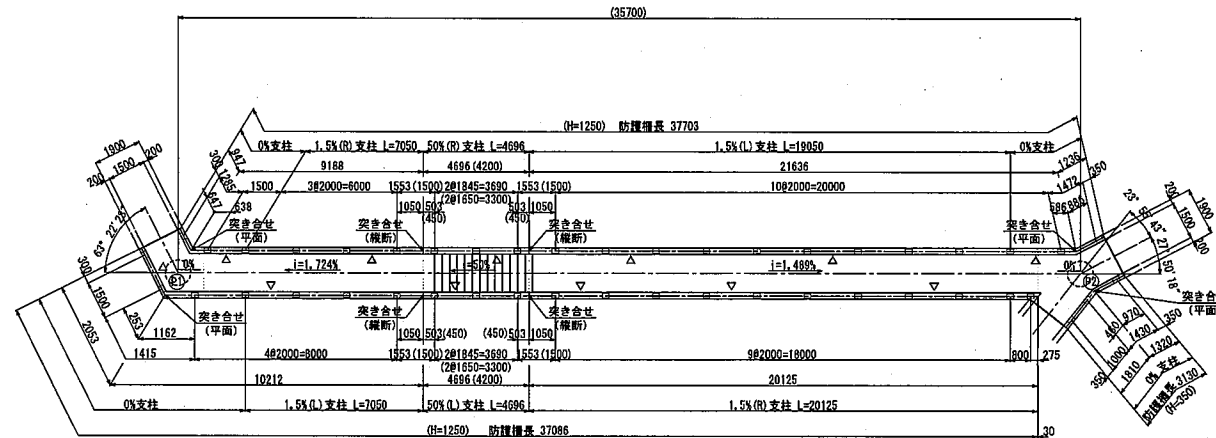
架替え歩道橋 防護柵図(その1)

< 通路部 P1 ~ P2 1/3 >

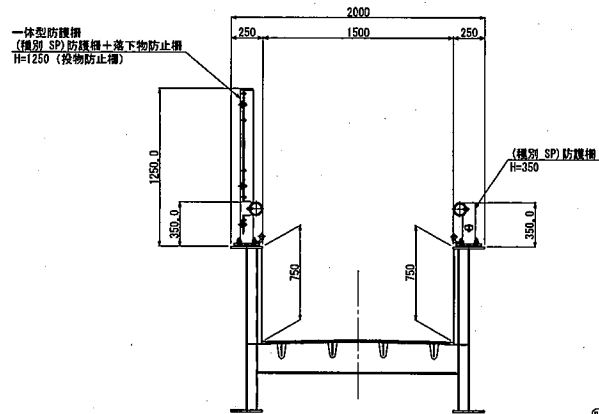
支柱割付平面図 S=1:100

注1. () 寸法は水平長を表示。
 注2. 防護柵長は支柱割付基準位置の現長を表示。
 注3. ▽印は照明灯(Bタイプ)の取付位置を表示(12ヶ所)。

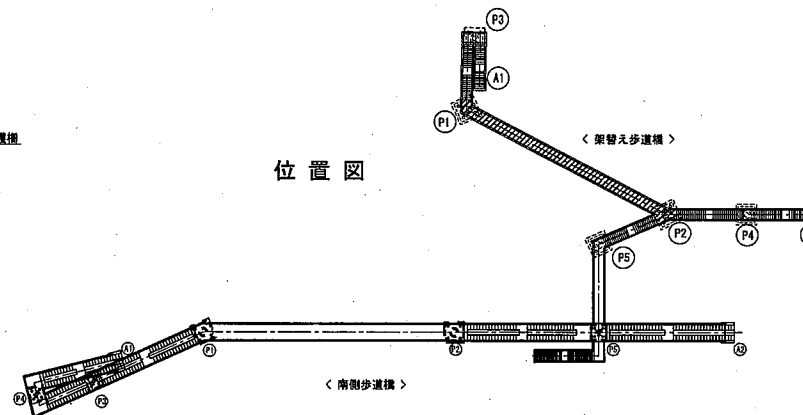
架替え歩道橋 総防護柵長 214.253m
 照明灯(Bタイプ)数 35ヶ所



断面図 S=1:20



位置図

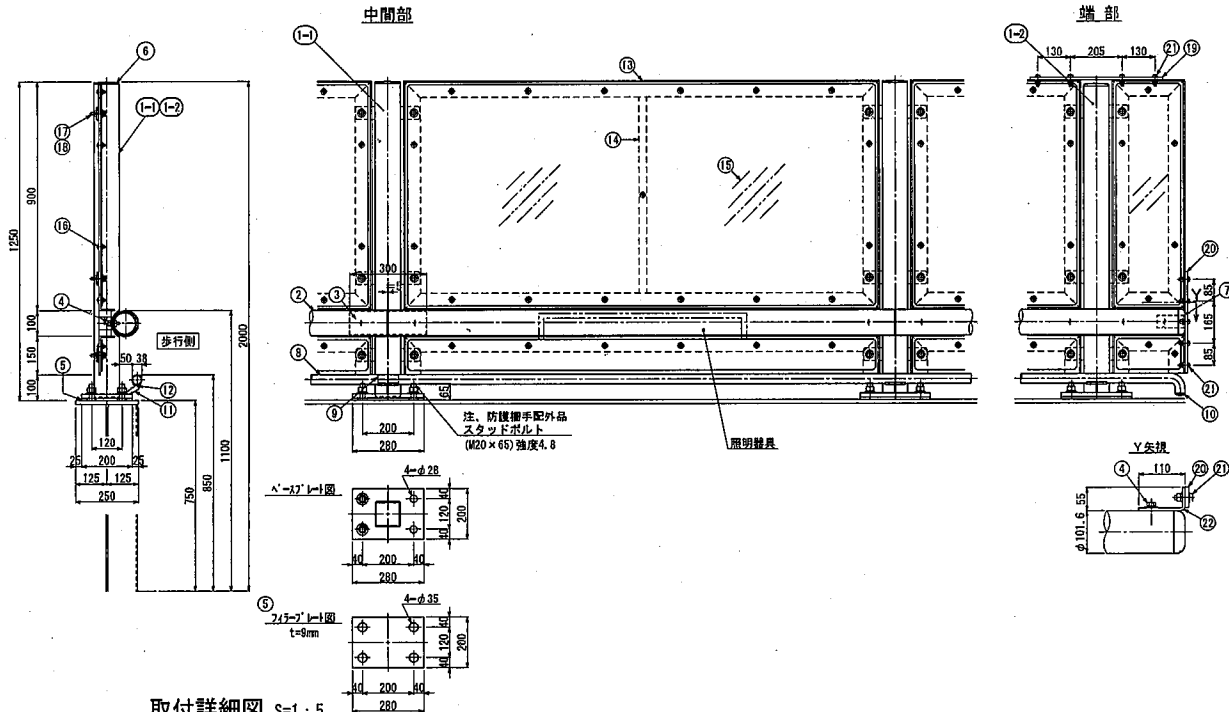


平成27年度	図面番号	29 / 43
路線名	[Redacted]	
業務名	[Redacted]	
場所	[Redacted]	
図面名	架替え歩道橋 防護柵図(その1)	縮尺 図示
大阪府茨木土木事務所		

架替え歩道橋 防護柵図(その2)

〈 通路部 P1 ~ P2 2/3 〉

防護柵詳細図 S=1:10
(種別 SP) H=1250



材料表

符号	名称	寸法	材質	単位質量	数量	質量	表面処理
1-1	支柱(中間部用)	□100×100×4.5t (H1250) ペ-ア-プレート、フタ付	STKR400 SS400	22.57	30	657.7	HDZ35+工場塗装
1-2	支柱(端部用)	□100×100×4.5t (H1235) ペ-ア-プレート、フタ付	STKR400 SS400	22.37	4	89.5	"
2	笠木	φ101.6×3.2t	STK400	7.76	74,479 m	579.0	"
3	スリーブ	φ 89.1×3.2t×300	"	2.03	36	77.1	"
4	取付ボルト	M12×35	"	0.06	80	5.3	HDZ35
5	フィラープレート	9t×200×280	SE400	3.68	42	154.6	HDZ35+工場塗装
6	キャップ	□100×100×10	アルミ製	0.36	42	15.1	工場塗装
7	"	φ101.6×30	"	0.34	4	1.4	"
8	手すり	φ38×2.0t	SUS	1.79	74,789 m	133.9	ヘアリ仕上げ
9	手すり用スリーブ	φ34.0×80	"	0.13	36	4.9	"
10	エンドキャップ	φ38×7.2	"	0.01	4	0.1	"
11	手すり用ブラケット	4.5t	SS400	0.10	42	4.2	HDZ35+工場塗装
12	ドリリングネジ	4×25	SUS	0.01	84	0.8	"
13	フレーム	1.65×65×6t (8848)	SE400	5.91	283,809 m	1677.6	HDZ35+工場塗装
14	支持プレート	6t×32×770	"	1.16	39	45.2	"
15	目隠し板	t=5mm (8848) 8'リ-ド-ト	"	6.00	67,637 m ²	405.8	"
16	取付ボルト	M 6×30 ゴムパッキン付(01,02,03)	SUS	0.02	858	25.7	"
17	クリップ付ナット	M12用	SS400	0.05	252	12.6	HDZ35
18	取付ボルト	M12×50 ゴムパッキン付(01,03)	"	0.08	252	20.2	"
19	継部接合板	9t×50×525	SS400	1.78	4	7.1	HDZ35+工場塗装
20	"	9t×50×395	SS400	1.32	4	5.3	"
21	取付ボルト	M10×35 (01,02,03)	"	0.08	36	2.9	HDZ35
22	支持金具	6t×50	SS400	0.36	4	1.4	HDZ35+工場塗装
合計							4126.4 kg

防護柵長 74,789 m

- ・突き合せ(平面) : 4ヶ所
- ・突き合せ(縦断) : 4ヶ所
- ・端未処理 : 4ヶ所
- ・勾配エキストラ (1.5%以上 10%未満) : L = 53,275 m
- ・勾配エキストラ (10%以上) : L = 8,392 m

< 50%(R)支柱 : 3本、50%(L)支柱 : 3本、1.5%(R)支柱 : 16本、1.5%(L)支柱 : 14本、0%支柱 : 7本 >

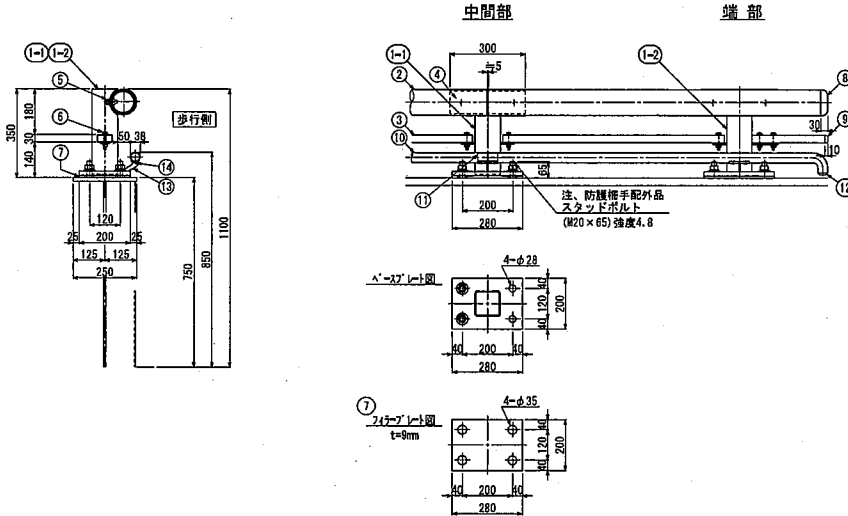
- 注記 1.本防護柵の仕様は「防護柵の設置基準・同解説(平成20年1月)」による。
 2.風荷重は「道路橋示方書・同解説(平成24年3月)」による。
 3.スタッドボルト : 16ヶ所 (BT, M, N, S) は別途手配 (防護柵工外) とする。
 4.照明灯及び取付部品は別途手配品とする。

平成27年度	図面番号	30 / 43
路線名	[REDACTED]	
業務名	[REDACTED]	
場所	[REDACTED]	
図面名	架替え歩道橋 防護柵図(その2) 欄尺 図示	
大阪府茨木土木事務所		

架替え歩道橋 防護柵図(その3)

< 通路部 P1 ~ P2 3/3 >

防護柵詳細図 S=1:10
(種別 SP) H=350



材料表

		H=350 (種別 SP) <片側 10m 当たり>					
符号	名称	寸法	材質	単位質量	数量	質量	表面処理
1-1	支柱(中間部用)	□100×100×4.5t (H350) A-27プレート、フタ付	STKR400 SS400	9.91	1	9.9	HDZ35+工場塗装
1-2	支柱(端部用)	□100×100×4.5t (H350) A-27プレート、フタ付	STKR400 SS400	9.92	2	19.8	"
2	笠木	φ101.6×3.2t	STK400	7.76	3.065m	23.8	"
3	横貫	□60×30×2.3t	STKR400	2.98	2.770m	8.3	"
4	スリーブ	φ88.1×3.2t×300	STK400	2.03	1	2.0	"
5	取付ボルト	M12×35 (H1, S1F) 埋込部分4.5mm	"	0.06	6	0.4	HDZ35
6	"	M10×60 (H1, R2, S1F)	"	0.07	8	0.6	"
7	フィラープレート	9t×200×280	SS400	3.68	3	0.7	HDZ35+工場塗装
8	キャップ	φ101.6×30	アルミ製	0.34	2	0.7	工場塗装
9	"	□60×30×10	"	0.11	2	0.2	"
10	手すり	φ38×2.0t	SUS	1.79	3.130m	5.6	△77°巾上げ
11	手すり用スリーブ	φ34.0×80	"	0.13	1	0.1	"
12	エンドキャップ	φ38×7.2	"	0.01	2	0.1	"
13	手すり用ブラケット	4.5t	SS400	0.10	3	0.3	HDZ35+工場塗装
14	ドリリングネジ	4×25	SUS	0.01	6	0.1	"
					合計	72.6 kg	
防護柵長 3.130 m							
* 突き合せ(平面) : 1ヶ所							
* 勾配エキストラ無し。 < 0%支柱 : 3本 >							

注記 1.本防護柵の仕様は「防護柵の設置基準・同解説(平成20年1月)」による。
2.スタッドボルト: 12ヶ所 (R1, M, S1F) は別途手配 (防護柵工外) とする。
3.照明灯及び取付部品は別途手配品とする。

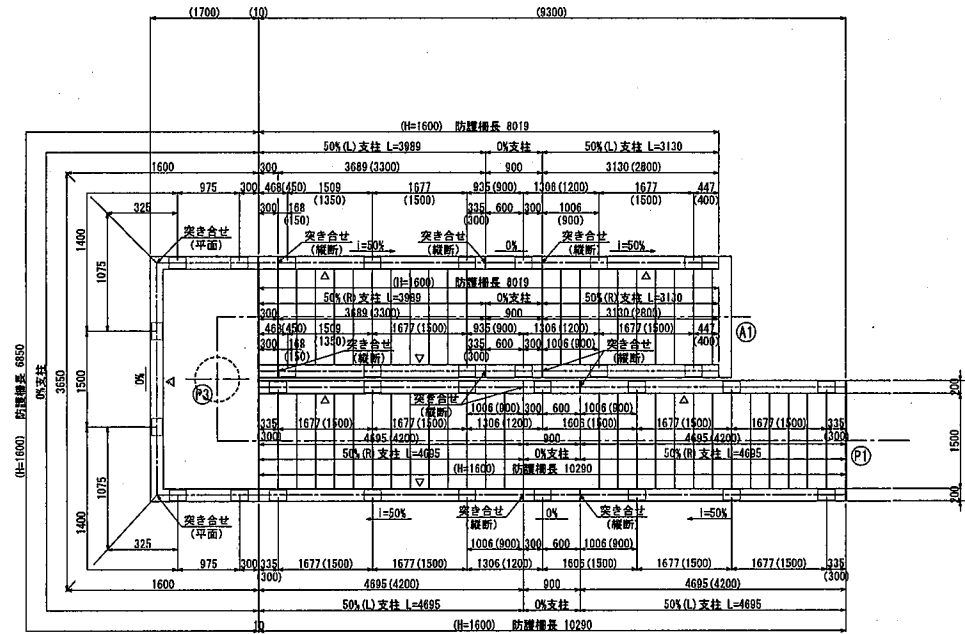
平成27年度	図面番号	31/43
路線名	[Redacted]	
業務名	[Redacted]	
場所	[Redacted]	
図面名	架替え歩道橋 防護柵図(その3)	縮尺 図示
大阪府茨木土木事務所		

架替え歩道橋 防護柵図(その4)

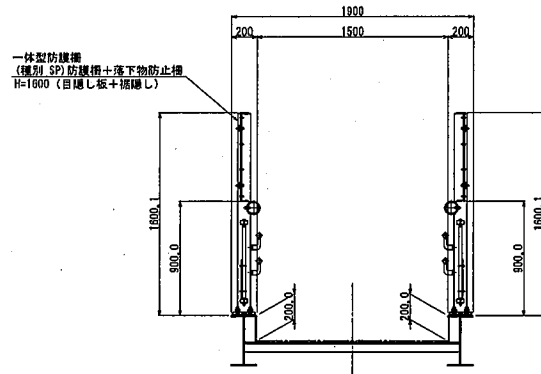
< 階段部 A1 ~ P1 1/2 >

支柱割付平面図 S=1:40

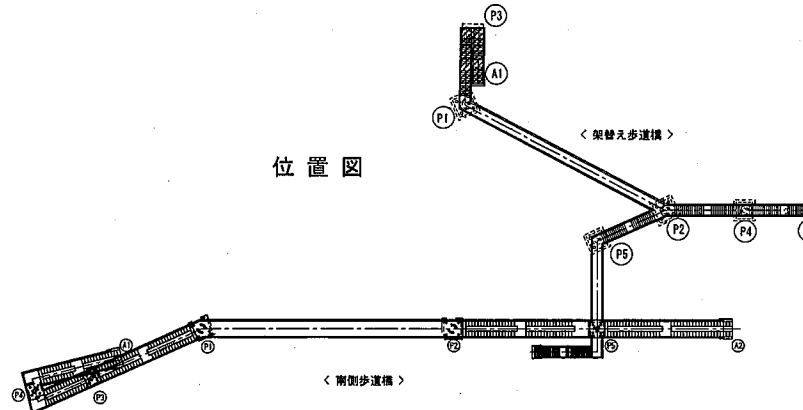
注1. () 寸法は水平長を示す。
 注2. 防護柵長は支柱割付基礎位置の長さを示す。
 注3. ▽印は照明灯(Bタイプ)の取付位置を示す(7ヶ所)。



断面図 S=1:20



位置図



平成27年度	図面番号	32 / 43
路線名	[Redacted]	
業務名	[Redacted]	
場所	[Redacted]	
図面名	架替え歩道橋 防護柵図(その4) 縮尺 図示	
大阪府茨木土木事務所		

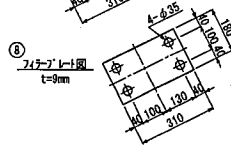
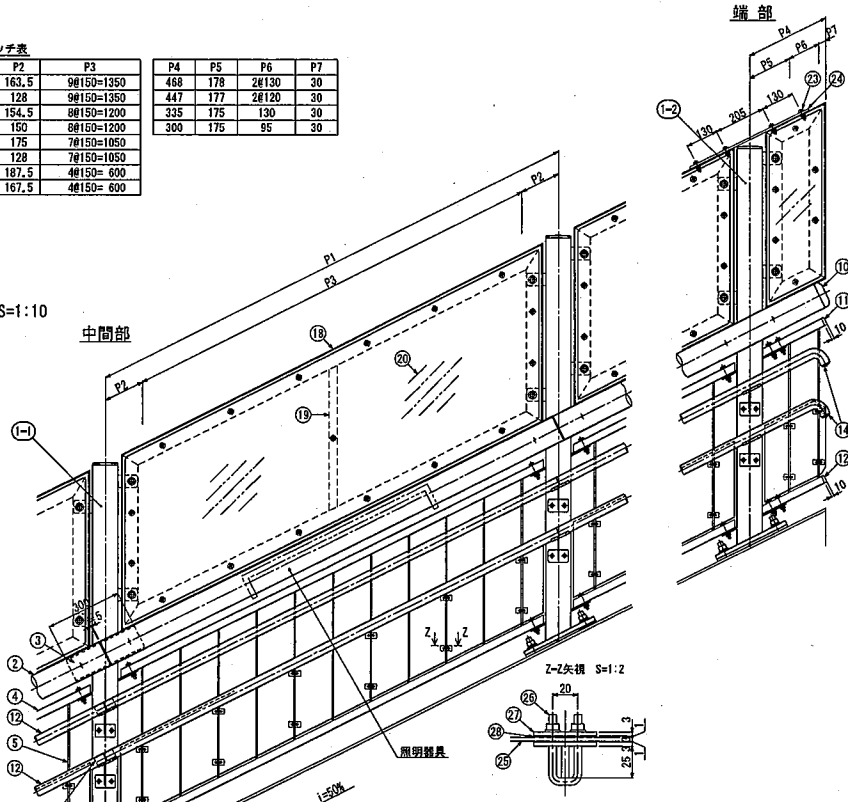
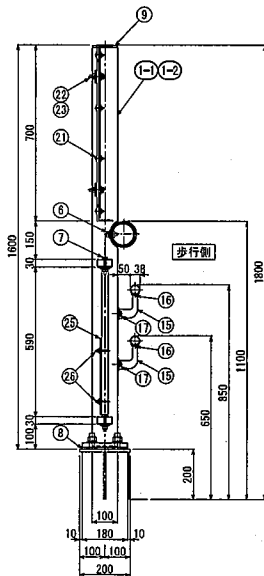
架替え歩道橋 防護柵図(その5)

< 階段部 A1 ~ P1 2/2 >

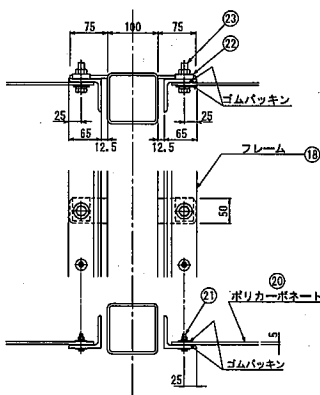
縦横ピッチ表

P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7
1677	163.5	9#150=1350	468	178	2#130	30
1606	128	9#150=1350	447	177	2#120	30
1509	154.5	8#150=1200	335	175	130	30
1500	150	8#150=1200	300	175	95	30
1400	175	7#150=1050				
1306	128	7#150=1050				
975	187.5	4#150= 600				
935	167.5	4#150= 600				

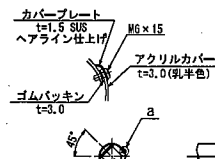
防護柵詳細図 S=1:10
(種別 SP) H=1600



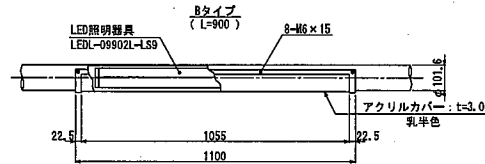
取付詳細図 S=1:5



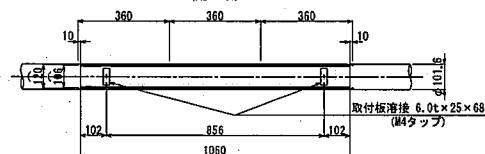
a部拡大図



照明部詳細図 S=1:10



開口部



材料表

符号	名称	寸法	材質	単位質量	数量	質量	表面処理
1-1	支柱(中間部用)	□100×100×4.5t (H1600)	STKR400	28.40	22	624.8	HDZ35+工場塗装
1-2	支柱(端部用)	□100×100×4.5t (H1575)	STKR400	28.20	10	282.0	"
2	笠木	φ101.6×3.2t	STK400	7.76	43,058	334.1	"
3	スリーブ	φ89.1×3.2t×300	"	2.03	22	44.7	"
4	横貫	□60×30×2.3t	STKR400	2.98	79,256	236.2	"
5	横鉄	FB 6×25×580	SS400	0.70	259	181.3	"
6	取付ボルト	M12×35 (M1, SM)		0.06	64	3.8	HDZ35
7	"	M10×60 (M1, W2, SM)		0.07	148	10.4	"
8	ファイナプレート	9t×180×310	SS400	3.68	32	117.8	HDZ35+工場塗装
9	キャップ	□100×100×10	アルミ製	0.36	32	11.5	工場塗装
10	"	φ101.6×30	"	0.34	10	3.4	"
11	"	□60×30×10	"	0.10	20	2.0	"
12	手すり	φ38×2.0t	SUS	1.79	86,936	155.6	ヘアリ仕上げ
13	手すり用スリーブ	φ34.0×80	"	0.13	44	5.7	"
14	エンドキャップ	φ38×7.2	"	0.01	20	0.2	"
15	手すり用ブラケット	4.5t	SS400	0.42	64	26.9	HDZ35+工場塗装
16	ドリリングネジ	4×25	SUS	0.01	128	1.3	"
17	取付ボルト	M10×35 (M1, SM)		0.04	128	5.1	HDZ35
18	フレーム	L65×65×6t (3740)	SS400	5.91	121,116	715.8	HDZ35+工場塗装
19	支持プレート	6t×32×555	"	0.84	23	19.3	"
20	目隠し板	t=5mm (37枚)	ポリカーボネート	6.00	25,701	154.2	"
21	取付ボルト	M 6×30 3ヶ所/1ヶ所付(M1, W2, SM)	SUS	0.03	465	14.0	"
22	クリップ付ナット	M12用	SS400	0.05	128	6.4	HDZ35
23	取付ボルト	M12×50 2ヶ所/1ヶ所付(M1, SM)		0.08	128	10.2	"
24	端部接合板	9t×50×525	SS400	1.78	10	17.8	HDZ35+工場塗装
25	端部板	H=300×3t (37枚)	ポリカーボネート	3.60	12,036	43.3	"
26	取付ボルト	J=60×120 (02, SM)	SUS	0.03	282	8.5	"
27	腐板	45×20×3	"	0.02	564	11.3	"
28	開座	45×20×1	硬質ゴム	-	564	-	"
						合計	3047.6 kg

防柵総長 43,468 m
 ・突き合せ(平面): 2ヶ所
 ・突き合せ(縦断): 10ヶ所
 ・端処理: 10ヶ所
 ・勾配エキストラ(10%以上): L=33,018 m
 < 50%(R)支柱: 11本、 50%(L)支柱: 11本、 0%支柱: 10本 >

注記 1.本防護柵の仕様は「防護柵の設置基準-同解説(平成20年1月)」による。
 2.風荷重は「道路標示方書-同解説(平成24年3月)」による。
 3.スタッドボルト: 128t (GT, N, W, SM)は別添手配(防護柵工外)とする。
 4.照明灯及び取付部品は別添手配品とする。

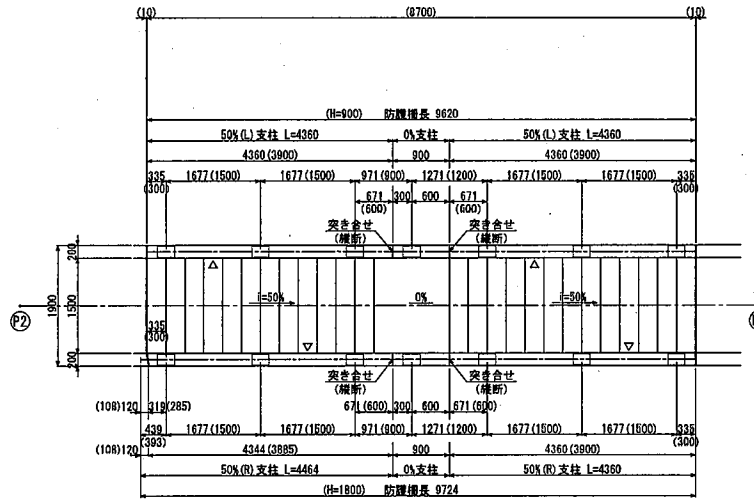
平成27年度 図面番号 33/43
 路線名 XXXXXXXXXX
 業務名 XXXXXXXXXX
 場所 XXXXXXXXXX
 図面名 架替え歩道橋 防護柵図(その5) 編尺 図示
 大阪府茨木土木事務所

架替え歩道橋 防護柵図(その8)

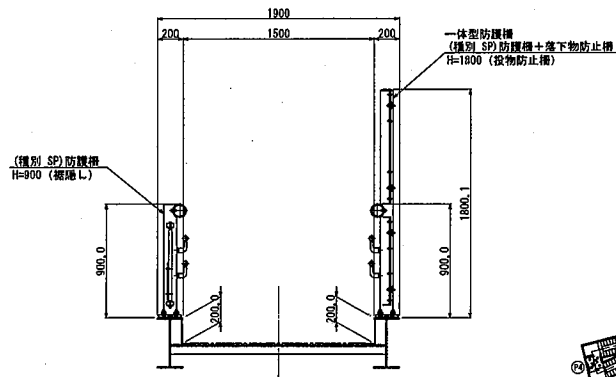
< 階段部 P2 ~ P5 1/3 >

支柱割付平面図 S=1:40

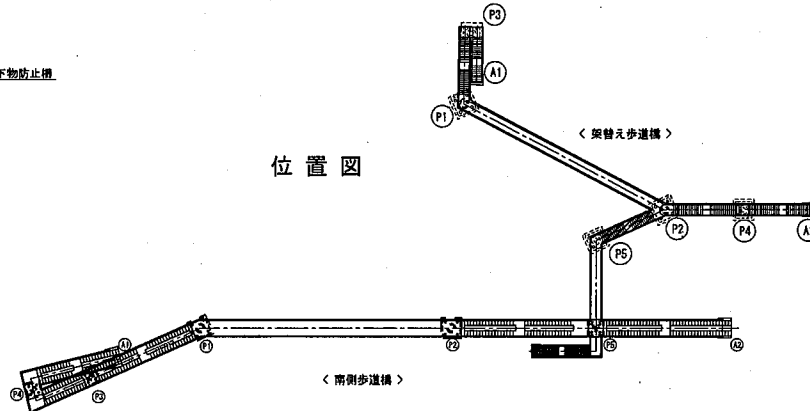
注1. () 寸法は水平長を示す。
 注2. 防護柵長は支柱割付基準位置の架長を示す。
 注3. ▽印は開閉灯型タイプの取付位置を示す(4ヶ所)。



断面図 S=1:20



位置図



平成27年度	図面番号	36 / 43
路線名	[REDACTED]	
業務名	[REDACTED]	
場所	[REDACTED]	
図面名	架替え歩道橋 防護柵図(その8)	縮尺 図示
大阪府茨木土木事務所		

架替え歩道橋 防護柵図(その9)

〈階段部 P2 ~ P5 2/3〉

材料表

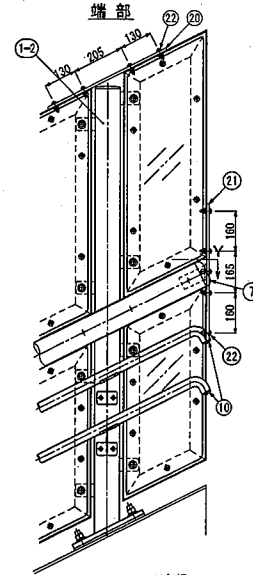
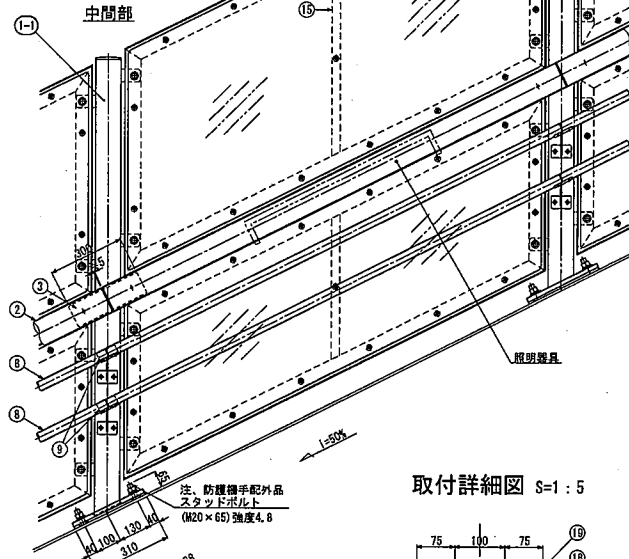
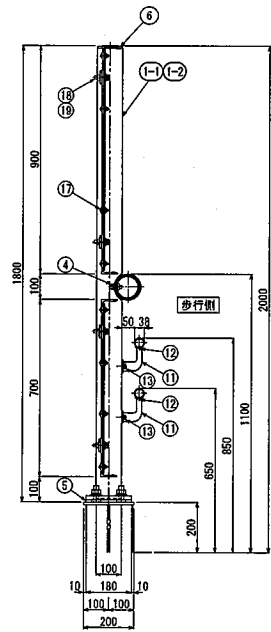
符号	名称	寸法	材質	単位質量	数量	質量	表面処理	
1-1	支柱(中間部用)	□100×100×4.5t (H1800)	STR400	31.30	5	156.5	HDZ35+工場塗装	
1-2	支柱(端部用)	□100×100×4.5t (H1775)	STR400	31.00	2	62.0	"	
2	鉄木	φ101.6×3.2t	STK400	7.76	9,535	74.0	"	
3	スリーブ	φ89.1×3.2t×300	"	2.03	5	10.2	"	
4	取付ボルト	M12×35	(H1.5M)	強度区分4.6以上	0.06	16	1.0	HDZ35
5	ワイヤープレート	9t×180×310	SS400	3.68	7	25.8	HDZ35+工場塗装	
6	キャップ	□100×100×10	アルミ製	0.36	7	2.5	工場塗装	
7	"	φ101.6×30	"	0.34	2	0.7	"	
8	手すり	φ38×2.0t	SUS	1.79	19,240	1.3	ヘアリ仕上げ	
9	手すり用スリーブ	φ34.0×80	"	0.13	10	1.3	"	
10	エンドキャップ	φ38×7.2	"	0.01	4	0.1	"	
11	手すり用ブラケット	4.5t	SS400	0.42	14	5.9	HDZ35+工場塗装	
12	ドリリングネジ	4×25	SUS	0.01	28	0.3	"	
13	取付ボルト	M10×35	(H1.5M)	強度区分4.6以上	0.04	28	1.1	HDZ35
14	フレーム	L65×65×6t (16並)	SS400	5.91	58,836	335.9	HDZ35+工場塗装	
15	支持プレート	6t×32×755/555	"	1.98	2	4.0	"	
16	目隠し板	t=5mm (16並)	ガラス製	6.00	13,258	79.5	"	
17	取付ボルト	M6×30 ゴムパッキン付(H1.5M)	SUS	0.03	206	6.2	"	
18	クリップ付ナット	M12用	SS400	0.05	56	2.8	HDZ35	
19	取付ボルト	M12×50 ゴムパッキン付(H1.5M)	強度区分4.6以上	0.08	56	4.5	"	
20	端部接合板	9t×50×525	SS400	1.78	2	3.6	HDZ35+工場塗装	
21	"	9t×50×545	"	1.85	2	3.7	"	
22	取付ボルト	M10×35 (H1.5M)	強度区分4.6以上	0.08	18	1.4	HDZ35	
23	支持金具	6t×50/65	SS400	0.40	2	0.8	HDZ35+工場塗装	
						合計	785.1 kg	

防護柵長 9,820 m

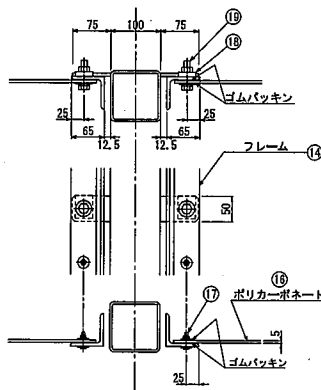
- ・突合せ (縦断) : 2ヶ所
- ・端未処理 : 2ヶ所
- ・勾配キーストラ (10%以上) : L = 8,924 m

< 50%(R)支柱 : 6本、0%(R)支柱 : 1本 >

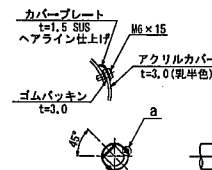
防護柵詳細図 S=1:10
(種別 SP) H=1800



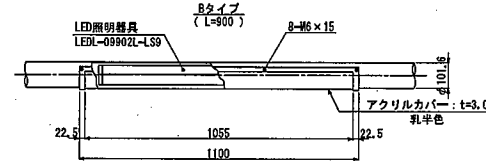
取付詳細図 S=1:5



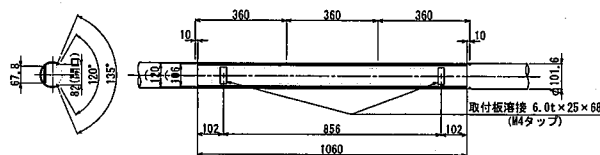
a部拡大図



照明部詳細図 S=1:10



開口部

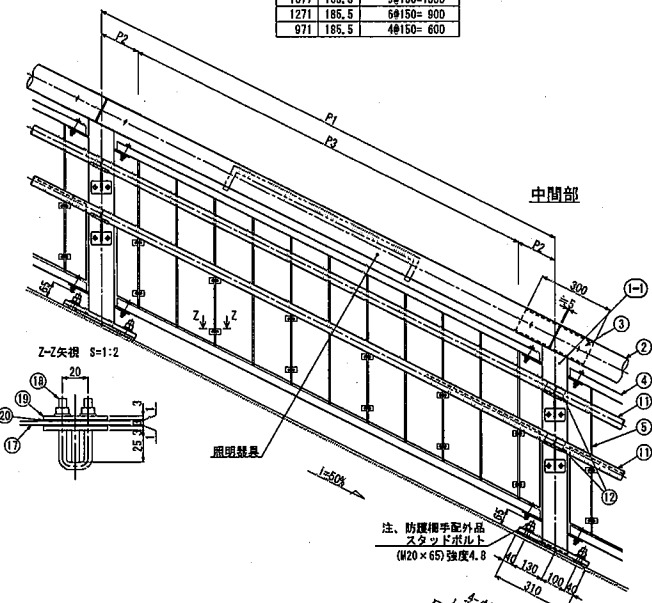
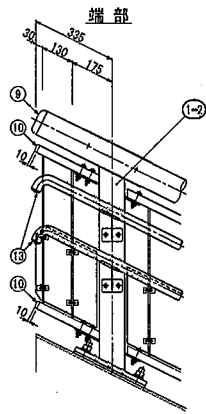


注 1. 本防護柵の仕様は「防護柵の設置基準・同解説(平成20年1月)」による。
2. 風荷重は「道路橋示方書・同解説(平成24年3月)」による。
3. スタッドボルト : 28t (BT.N.M.S.M)は別途手配 (防護柵工外) とする。
4. 照明灯及び取付部品は別途手配品とする。

平成27年度	図面番号	37/43
路線名	[Redacted]	
業務名	[Redacted]	
場所	[Redacted]	
図面名	架替歩道橋 防護柵図(その9) 縮尺 図示	
大阪府茨木土木事務所		

架替え歩道橋 防護柵図(その10)

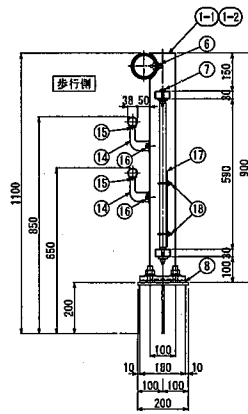
< 階段部 P2 ~ P5 3/3 >



縦柱ピッチ表

P1	P2	P3
1677	163.5	98150=1350
1271	185.5	68150= 800
971	185.5	48150= 600

防護柵詳細図 S=1:10
(種別 SP) H=900

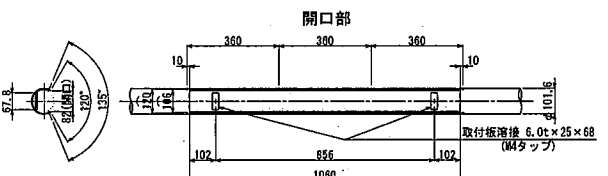
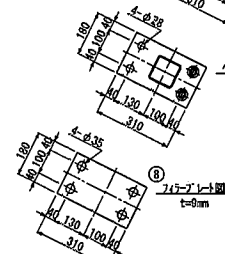
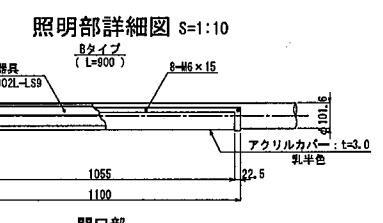
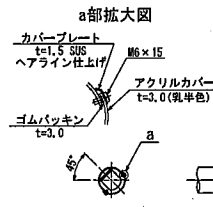


材料表

図面名称	寸法	材質	単位質量	数量	質量	表面処理
1-1 支柱(中間部用)	□100×100×4.5t (H900) A-27プレート、ブッシング	STKR400 SS400	18.68	5	93.4	HDZ35+工場塗装
1-2 支柱(端部用)	□100×100×4.5t (H900) A-27プレート、ブッシング	STKR400 SS400	18.70	2	37.4	"
2 盗木	φ101.8×3.2t	STK400	7.76	9,585 m	74.0	"
3 スリーブ	φ 89.1×3.2t×300	"	2.03	5	10.2	"
4 横骨	□60×30×2.3t	STKR400	2.98	17,560 m	52.3	"
5 横骨	FB 6×25×590	SS400	0.70	56	39.2	"
6 取付ボルト	M12×35 (M1, S11) 強度区分 4.6以上	"	0.06	14	0.8	HDZ35
7 "	M10×60 (M1, S11) 強度区分 4.6以上	"	0.07	32	2.2	"
8 フィラープレート	9t×180×310	SS400	3.68	7	25.8	HDZ35+工場塗装
9 キャップ	φ101.8×30	アルミ製	0.34	2	0.7	工場塗装
10 "	□60×30×10	"	0.10	4	0.4	"
11 手すり	φ38×2.0t	SUS	1.79	19,240 m	34.4	A7(1)仕上げ
12 手すり用スリーブ	φ34.0×80	"	0.13	10	1.3	"
13 エンドキャップ	φ38×7.2	"	0.01	4	0.1	"
14 手すり用ブラケット	4.5t	SS400	0.42	14	5.9	HDZ35+工場塗装
15 ドリリングネジ	4×25	SUS	0.01	28	0.3	"
16 取付ボルト	M10×35 (M1, S11) 強度区分 4.6以上	"	0.04	28	1.1	HDZ35
17 縦隔し板	H=300×3t (44kg) オリゴマーコート	"	3.60	2,551m ²	9.2	"
18 取付ボルト	L=66×120 (M2, S27) SUS	"	0.03	62	1.9	"
19 座板	45×20×3	"	0.02	124	2.5	"
20 間座	45×20×1	深質ゴム	-	124	-	"
合計					392.1 kg	

防護柵長 9,620 m
 ・突き合せ(継ぎ) : 2ヶ所
 ・端処理 : 2ヶ所
 ・勾配エキストラ (10%以上) : L = 8,720 m
 < 50% (L) 支柱 : 6本、 0% 支柱 : 1本 >

注 1. 本防護柵の仕様は「防護柵の設置基準・同解説(平成20年1月)」による。
 2. スタッドボルト : 2ヶ所 (M12, N.M.S10) は別途手配 (防護柵工外) とする。
 3. 照明灯及び取付部品は別途手配品とする。



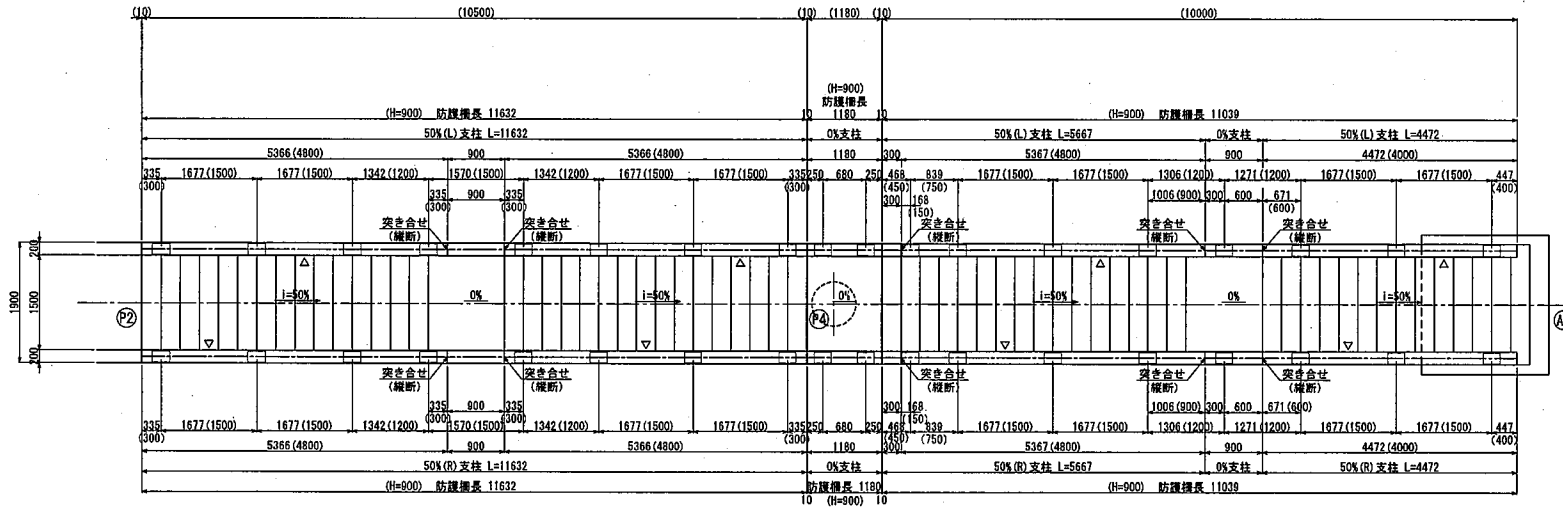
平成27年度	図面番号	38/43
路線名	[Redacted]	
業務名	[Redacted]	
場所	[Redacted]	
図面名	架替え歩道橋 防護柵図(その10) Ⅲ内 図示	
大阪府茨木土木事務所		

架替え歩道橋 防護柵図(その6)

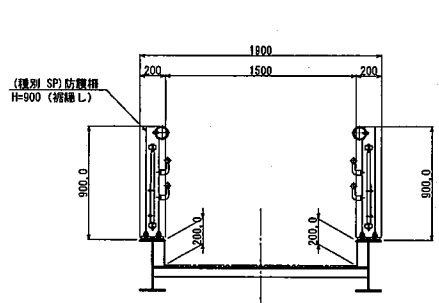
< 階段部 P2 ~ A2 1/2 >

支柱割付平面図 S=1:40

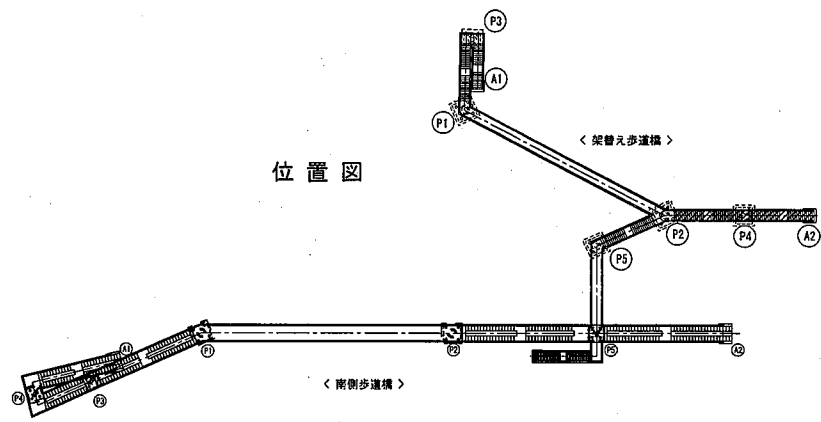
注1. () 寸法は水平長を示す。
 注2. 防護柵長は支柱割付基準位置の変長を示す。
 注3. ▽印は照明灯(3タイプ)の取付位置を示す(2ヶ所)。



断面図 S=1:20



位置図



平成27年度	図面番号	34 / 43
路線名	[REDACTED]	
業務名	[REDACTED]	
場所	[REDACTED]	
図面名	架替え歩道橋 防護柵図(その6)	縮尺 図示
大阪府茨木土木事務所		

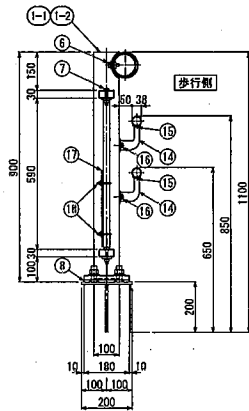
架替え歩道橋 防護柵図(その7)

〈 階段部 P2 ~ A2 2/2 〉

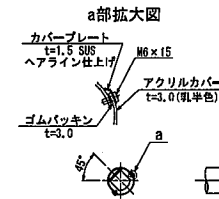
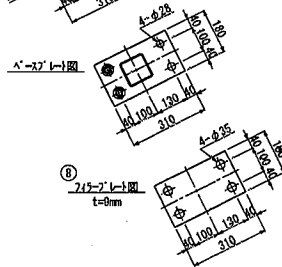
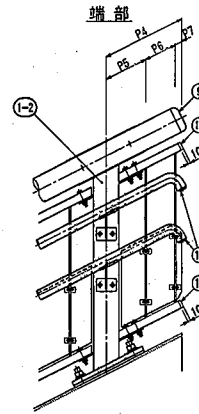
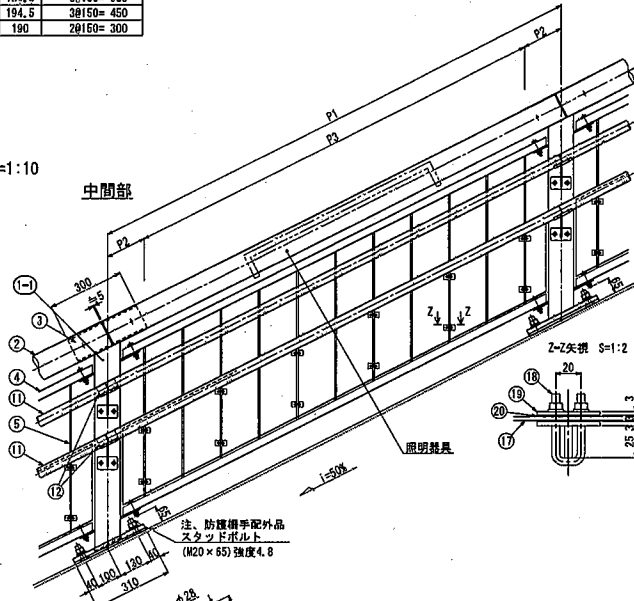
縦横ピッチ表

P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7
1677	163.5	99150=1350	468	170	28130	30
1570	185	99150=1200	447	177	28120	30
1342	146	79150=1050	335	175	130	30
1305	128	79150=1050	250	175	45	30
1271	186.5	68150= 900				
839	194.5	28150= 450				
660	190	28150= 300				

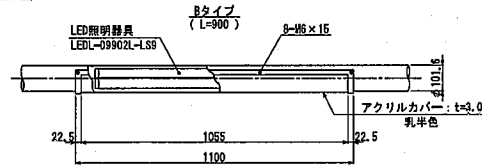
防護柵詳細図 S=1:10
(種別 SP) H=900



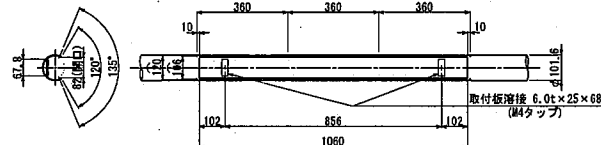
中間部



照明部詳細図 S=1:10



開口部



材料表

符号	名称	寸法	材質	単位質量	数量	質量	表面処理
1-1	支柱(中間部用)	□100×100×4.5t (H900)	STKR400 S8400	18.68	24	448.3	HDZ35+工場塗装
1-2	支柱(端部用)	□100×100×4.5t (H900)	STKR400 S8400	18.70	12	224.4	"
2	芯木	φ101.6×3.2t	STK400	7.76	47,222m	366.4	"
3	スリーブ	φ59.1×3.2t×300	"	2.03	24	48.7	"
4	横貫	□60×30×2.3t	STKR400	2.98	88,764m	259.6	"
5	横棧	FB 6×25×590	S8400	0.70	282	197.4	"
6	取付ボルト	M12×35 (M1, S81)	強度区分4.6以上	0.06	72	4.3	HDZ35
7	"	M10×60 (M1, S81)	強度区分4.6以上	0.07	168	11.8	"
8	フィラープレート	9t×200×280	S8400	3.68	36	132.5	HDZ35+工場塗装
9	キャップ	φ101.6×30	アルミ製	0.34	12	4.1	工場塗装
10	"	□60×30×10	"	0.10	24	2.4	"
11	手摺り	φ38×2.0t	SUS	1.78	95,404m	170.8	ヘアライン仕上げ
12	手摺り用スリーブ	φ34.0×80	"	0.13	48	6.2	"
13	エンドキャップ	φ38×7.2	"	0.01	24	0.2	"
14	手摺り用ブラケット	4.5t	S8400	0.42	72	30.2	HDZ35+工場塗装
15	ドリリングネジ	4×25	SUS	0.01	144	1.4	-
16	取付ボルト	M10×35	強度区分4.6以上	0.04	144	5.8	HDZ35
17	防護シ板	H-200×3t	(4.4t) ガリバーコート	3.60	13,016m ²	46.9	-
18	取付ボルト	U-465×120	(M2, S81) SUS	0.02	308	9.2	-
19	座板	45×20×3	"	0.02	616	12.3	-
20	脚座	45×20×1	硬質ゴム	-	616	-	-
						合計	1081.9 kg

防護柵長 47,702 m
 ・突き合せ(継断): 10ヶ所
 ・端処理: 12ヶ所
 ・勾配エキストラ (10%以上): L = 43,542 m
 < 50%(R)支柱: 19本、 50%(L)支柱: 15本、 0%支柱: 6本 >

注記 1.本防護柵の仕様は「防護柵の設置基準・同規格(平成20年1月)」による。
 2.スタッドボルト: 144ヶ (BT, M, S, S81)は別途手配(防護柵工外)とする。
 3.照明灯及び取付部品は別途手配品とする。

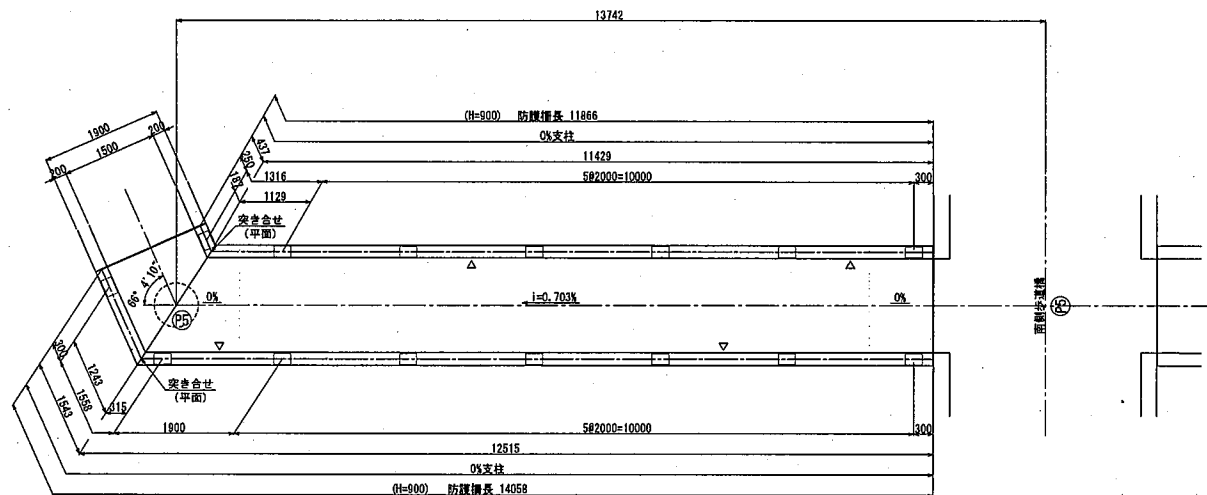
平成27年度	図面番号	35 / 43
路線名	[REDACTED]	
業務名	[REDACTED]	
場所	[REDACTED]	
図面名	架替え歩道橋 防護柵図(その7) 欄尺 図示	
大阪府茨木土木事務所		

架替え歩道橋 防護柵図(その11)

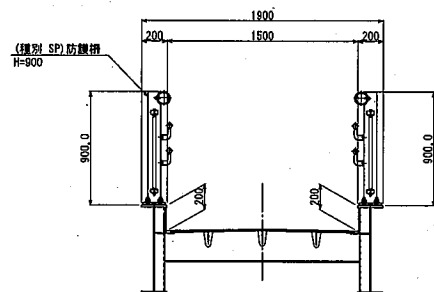
< 通路部 P5 ~ P5 1/2 >

支柱割付平面図 S=1:40

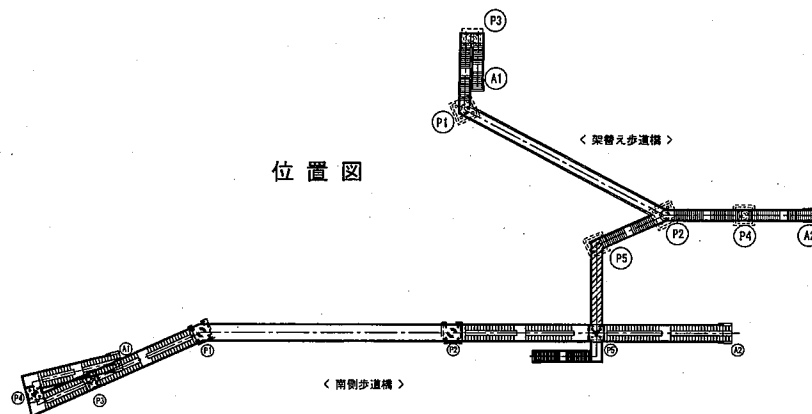
注1. 防護柵長は支柱割付基準位置の長さを示す。
注2. ▽印は照明灯(8タイプ)の取付位置を示す(4ヶ所)。



断面図 S=1:20



位置図

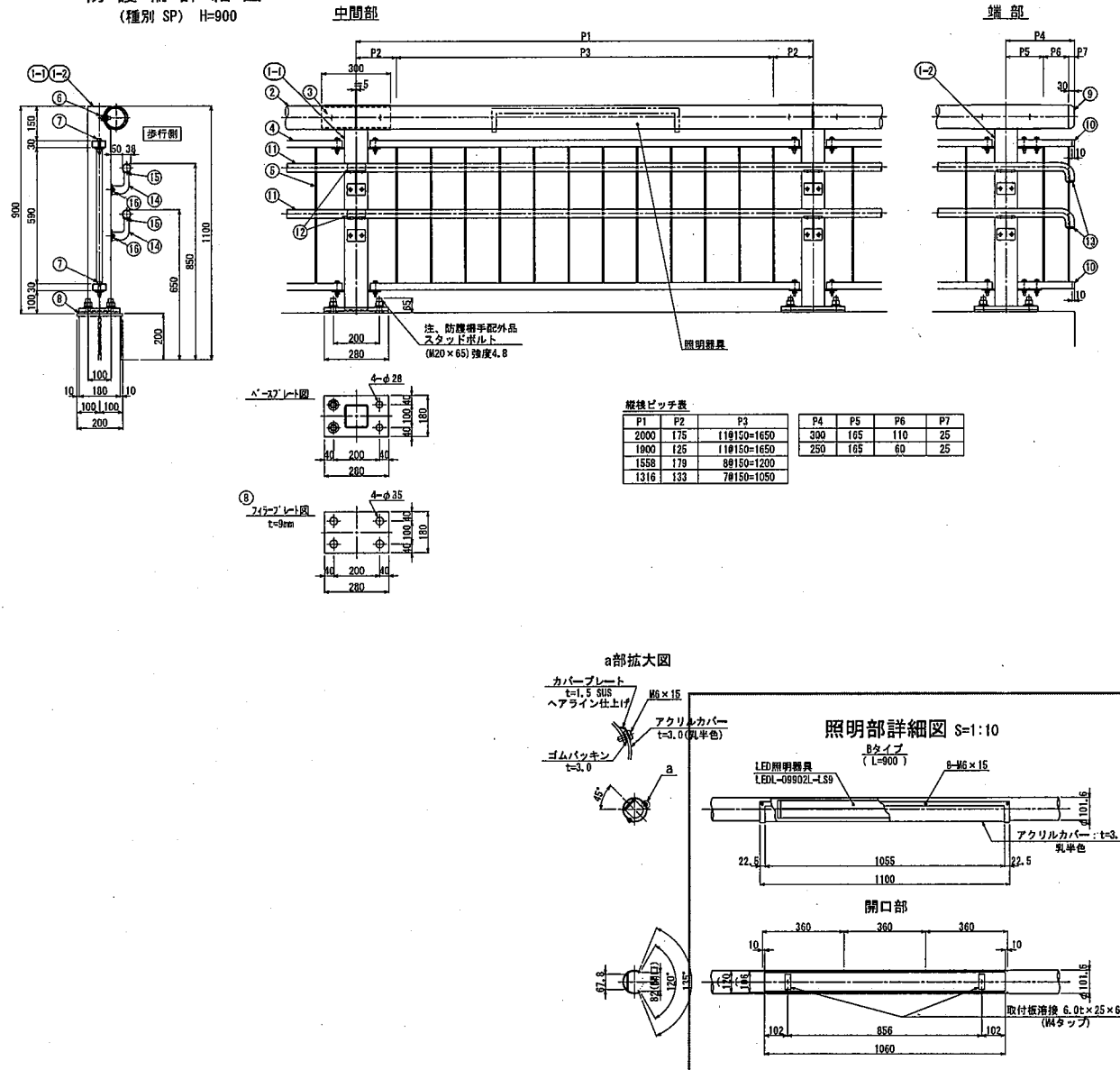


平成27年度	図面番号	39 / 43
路線名	[Redacted]	
業務名	[Redacted]	
場所	[Redacted]	
図面名	架替え歩道橋 防護柵図(その11)	縮尺 図示
大阪府茨木土木事務所		

架替え歩道橋 防護柵図(その12)

〈 通路部 P5 ~ P5 2/2 〉

防護柵詳細図 S=1:10
(種別 SP) H=900



材料表

符号	名称	寸法	材質	単位質量	数量	質量	表面処理
1-1	支柱(中間部用)	□100×100×4.5t (H900) A-27プレート、ブチキ	STKR400 SS400	18.68	11	205.5	HDZ35+工場塗装
1-2	支柱(端部用)	□100×100×4.5t (H900) A-27プレート、ブチキ	STKR400 SS400	18.70	4	74.8	"
2	笠木	φ101.6×3.2t	STK400	7.76	25,749	199.8	"
3	スリーブ	φ89.1×3.2t×300	"	2.03	11	22.3	"
4	横貫	□60×30×2.3t	STKR400	2.98	48,248	143.8	"
5	横換	FB 6×25×590	SS400	0.70	157	109.9	"
6	取付ボルト	M12×35 (M12.S11) 強度区分4.6以上	"	0.06	30	1.8	HDZ35
7	"	M10×60 (M10.S11) 強度区分4.6以上	"	0.07	68	4.8	"
8	フィラープレート	9t×180×280	SS400	3.30	15	49.5	HDZ35+工場塗装
9	キャップ	φ101.6×30	アルミ製	0.34	4	1.4	工場塗装
10	"	□60×30×10	"	0.10	8	0.8	"
11	手すり	φ38×2.0t	SUS	1.79	51,848	92.8	ヘアライン仕上げ
12	手すり用スリーブ	φ34.0×80	"	0.13	22	2.9	"
13	エンドキャップ	φ38×7.2	"	0.01	8	0.1	"
14	手すり用ブラケット	4.5t	SS400	0.42	30	12.6	HDZ35+工場塗装
15	ドリリングネジ	4×25	SUS	0.01	60	0.6	"
16	取付ボルト	M10×35 (M10.S11) 強度区分4.6以上	"	0.04	60	2.4	HDZ35
						合計	925.8 kg

防護柵長 25.924 m

- 突き合せ(平面): 2ヶ所
- 端部処理: 4ヶ所
- 勾配エキストラ無し < 0%支柱 15本 >

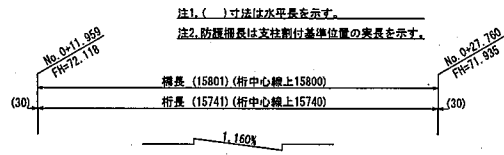
注 1. 本防護柵の仕様は「防護柵の設置基準・回廊版(平成20年1月)」による。
2. スタッドボルト: φ6t (G.I. N. II. S11)は別途手配(防護柵工外)とする。
3. 照明灯及び取付部品は別途手配品とする。

平成27年度	図面番号	40 / 43
路線名	[REDACTED]	
業務名	[REDACTED]	
場所	[REDACTED]	
図面名	架替え歩道橋 防護柵図(その12) 縮尺 図示	
大阪府茨木土木事務所		

防護柵詳細図(2)

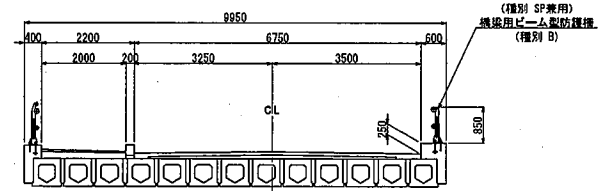
(車道部)

支柱割付平面図 S=1:100



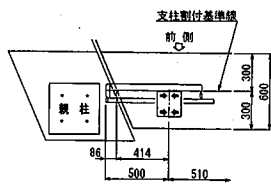
注1. () 寸法は水平長を示す。
注2. 防護柵長は支柱割付基準位置の長を示す。

断面図 S=1:80

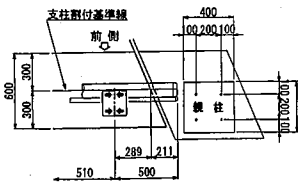


(種別 SP 兼用)
橋梁用ビーム型防護柵
(種別 B)

“ア”部詳細図 S=1:20

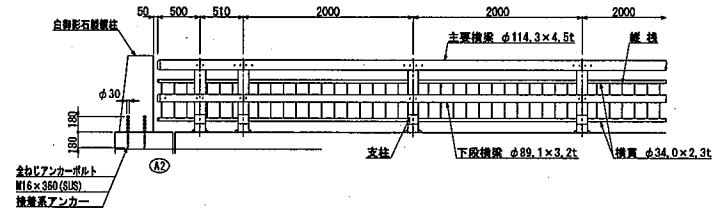


“イ”部詳細図 S=1:20

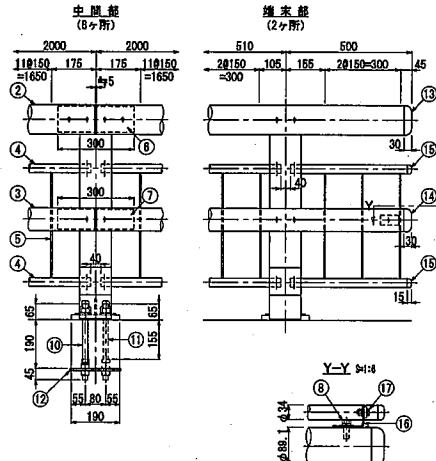
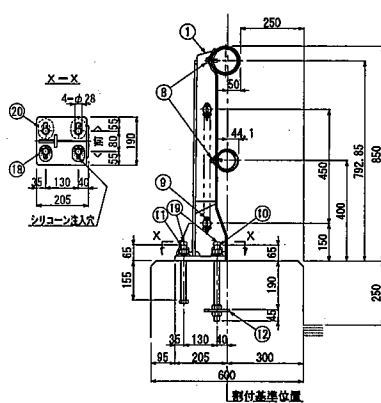


防護柵組立図 S=1:30

1-1 矢視



(歩行者自転車専用橋梁用)
橋梁用ビーム型防護柵詳細図 S=1:10
(種別 B) FMBS-285KQ



材料表

符号	名称	寸法	材質	単位質量	数量	質量	表面処理	
1	支柱	H650×205×125/190	SS400	16.04	10	160.4	HZ35 + 工場塗装	
2	主要横梁	φ114.3×4.5t	STK400	12.20	15,820 m	194.2	〃	
3	下段横梁	φ89.1×3.2t	〃	6.78	15,820 m	107.9	〃	
4	横梁	φ34.0×2.3t	〃	1.80	31,180 m	56.1	〃	
5	覆板	FR 8×25×418	SS400	0.49	98	47.0	〃	
6	スリーブ	φ101.8×4.5t×300	STK400	3.23	8	25.8	〃	
7	〃	φ76.3×4.2t×300	〃	2.23	8	17.8	〃	
8	取付ボルト	M12×35	(H1, SH1)	質量割合 6.8 以上	0.06	59	3.5	HZ35
9	〃	M 8×60	(H1, SH1)	質量割合 4.5 以上	0.04	40	1.6	〃
10	アンカーボルト	1-1/20×300	(H3, SH1)	質量割合 6.8 以上	0.83	20	16.8	〃
11	〃	M20×220	(H1, SH1)	質量割合 4.5 以上	0.65	20	13.0	〃
12	アンカープレート	9t×100×200	SS400	1.36	10	13.6	〃	
13	キャップ	φ114.3×30	アルミ製	0.47	2	0.9	工場塗装	
14	〃	φ89.1×30	〃	0.30	2	0.6	〃	
15	〃	φ34.0×30	〃	0.06	4	0.2	〃	
16	固定金具 (横梁)	2t×38	SS400	0.09	2	0.2	HZ35 + 工場塗装	
17	取付ボルト (横梁)	M8×25	(H1, SH1)	質量割合 4.5 以上	0.03	2	0.1	HZ35
18	底金	6t×48×64	SS400	0.10	40	4.0	HZ35 + 工場塗装	
19	アンカーキャップ	φ42.6×52	PP	—	40	—	—	
20	トラッカパッキン	10t×60×78	ウレタンスポンジ	—	40	—	—	
合計						663.5 kg		

防護柵長 16,020 m
- 横梁長さ: 2ヶ所
- 勾配ピストン無し [1 例支柱 10本]

特記 橋梁用ビーム型防護柵は (一社) 全国高規格協会にて認定された許容重試験値により性能確認された製品とする。

注記 1. 本防護柵の設計仕様は「防護柵の設置基準・同規格」

(平成28年12月) による。

2. コンクリート設計基準強度 $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$

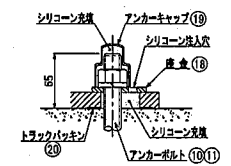
3. 本防護柵は「アンカー腐食防止型」の施工とする。

4. 充填材 (シリコン) は別添付品とする。

5. 塗装色は、ダークグリーンとする。

アンカー腐食防止型施工要領図

S=1:3



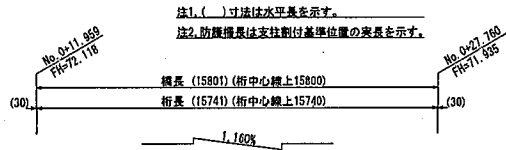
シリコン充填 アンカーキャップ (19)
シリコン注入穴
底金 (18)
シリコン充填
アンカーボルト (10)(11)
トラッカパッキン (20)

年度	令和2~4年度	大阪府 国土 土木 事務所
河川名		
工事名		
所属地名		
図面名	防護柵詳細図(2) 60A 図示	
設計	設計	
作成年月日	令和2年5月	全18巻の内 16

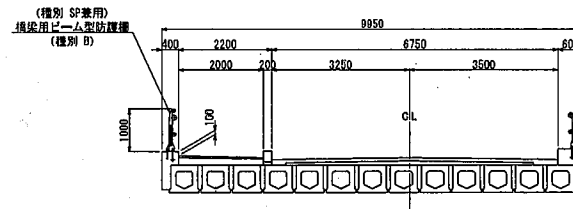
防護柵詳細図(1)

〈歩道部〉

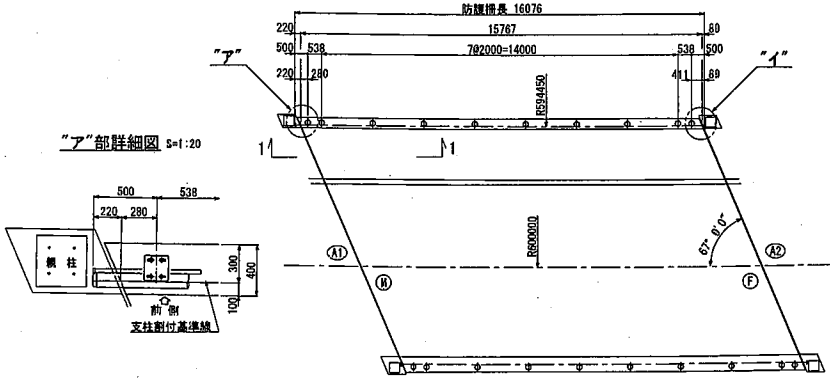
支柱割付平面図 S=1:100



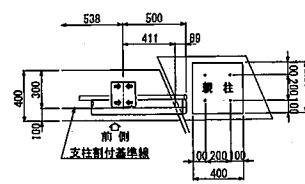
断面図 S=1:60



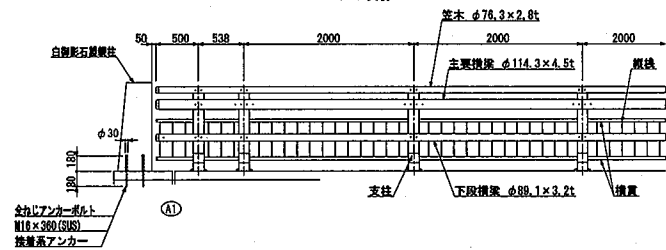
「ア」部詳細図 S=1:20



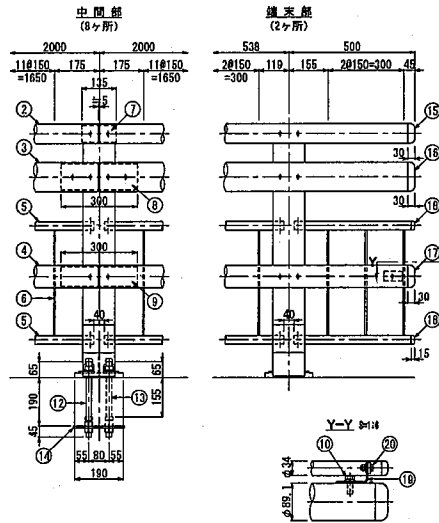
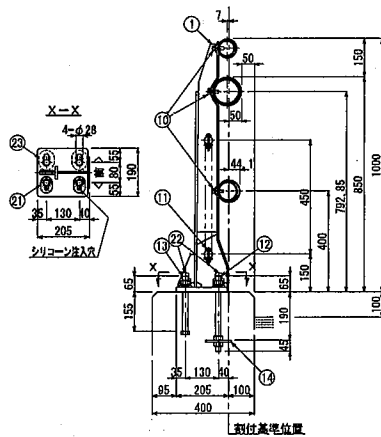
「イ」部詳細図 S=1:20



防護柵組立図 S=1:30



(歩行者自転車用橋梁用)
橋梁用ビーム型防護柵詳細図 S=1:10
(種別 B) FMBS-p3100KQ



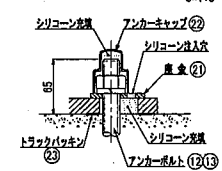
材料表

符号	名称	寸法	材質	単位質量	数量	質量	表面処理
1	支柱	H1000×205×125/190	SS400	17.21	10	172.1	H0235 + 工場塗装
2	梁本	φ76.3×2.8t	STK400	5.08	15,976	81.6	〃
3	主梁横梁	φ114.3×4.5t	〃	12.20	15,976	199.8	〃
4	下段横梁	φ89.1×3.2t	〃	8.78	15,976	95.2	〃
5	鋼骨	φ34.0×2.2t	〃	1.80	31,282	56.3	〃
6	鋼鉄	F8.6×25×416	SS400	0.49	95	47.0	〃
7	スリーブ	φ85.0×4.0t×135	〃	0.81	8	6.5	〃
8	〃	φ101.6×4.5t×300	〃	3.23	8	25.8	〃
9	〃	φ76.3×4.2t×300	〃	2.23	8	17.8	〃
10	取付ボルト	M12×35 (M1.2P)	鋼材分 6.8以上	0.08	78	4.7	H0235
11	〃	M 8×60 (M1.2P)	鋼材分 4.8以上	0.04	40	1.6	〃
12	アンカーボルト	1-M20×300 (M1.2P)	鋼材分 6.8以上	0.82	20	16.6	〃
13	〃	M20×220 (M1.2P)	鋼材分 4.8以上	0.65	20	13.0	〃
14	アンカープレート	91×100×200	SS400	1.36	10	13.6	〃
15	キャップ	φ76.3×30	アルミ鋼	0.24	2	0.5	工場塗装
16	〃	φ114.3×30	〃	0.47	2	0.9	〃
17	〃	φ89.1×30	〃	0.30	2	0.6	〃
18	〃	φ34.0×15	〃	0.06	4	0.2	〃
19	固定金具	φ31×38 (M2)	SS400	0.09	2	0.2	H0235 + 工場塗装
20	取付ボルト	M8×25 (M1.2P)	鋼材分 4.8以上	0.03	2	0.1	H0235
21	底金	61×48×64	SS400	0.10	40	4.0	H0235 + 工場塗装
22	アンカーキャップ	φ42.6×52	PP	—	40	—	—
23	トラックパッキン	101×60×78	ウレタン樹脂	—	40	—	—
				合計		697.1 kg	

防護柵長 16.076 m
・鋼鉄塗装1ヶ所
・ウレタン樹脂塗1ヶ所
・ウレタン樹脂塗1ヶ所

特記) 橋梁用ビーム型防護柵は(一社)全国高規格協会にて認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。

アンカー腐食防止型施工要領図 S=1:3



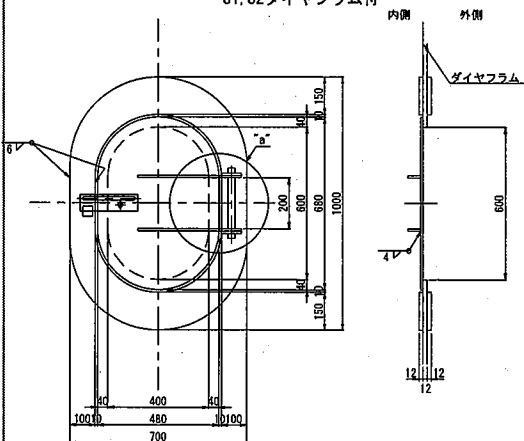
- 注記 1.本防護柵の設計仕様は「防護柵の設置基準・取組規程」(平成28年12月)による。
*コンクリート設計基準強度 $\alpha_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$
2.本防護柵は「アンカー腐食防止型」の施工とする。
3.充填材(シリコン)は別途添付品とする。
4.塗装色は グレーグリーンとする。

年度	令和2~4年度	大阪府 国土 土木 事務所
河川名		
工事名		
所在地		
図面名	防護柵詳細図(1) 縮尺 図示	
設計	図面	竣工
作成年月日	令和2年5月	全18頁の内 14

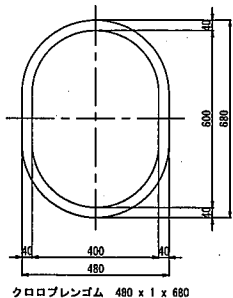
共通詳細図(その5)

S=1:10

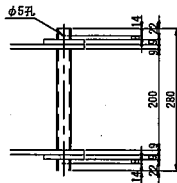
マンホールMH-1詳細 製作数:4個
S1,S2ダイヤフラム付



緩衝ゴム詳細

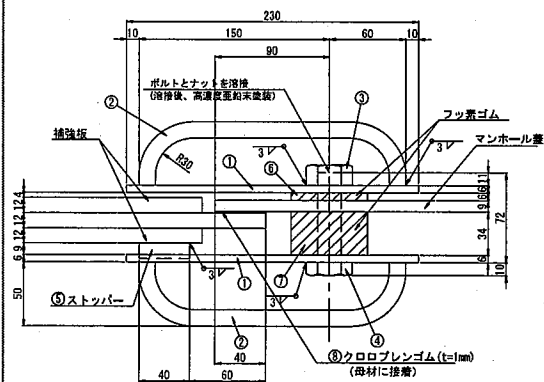


"a"部詳細 S=1:5

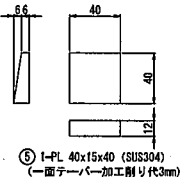


- 2-PL 700x12x1000
- 1-PL 480x9x680
- 2-PL 150x9x410
- 2-PL 80x9x110
- 1-PIPE 20Ax280 (20S) (SUS304TP)
- 2-割ピン 5φx50 (SUS304)

取手部詳細 S=1:2

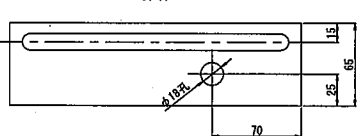


ストップバー



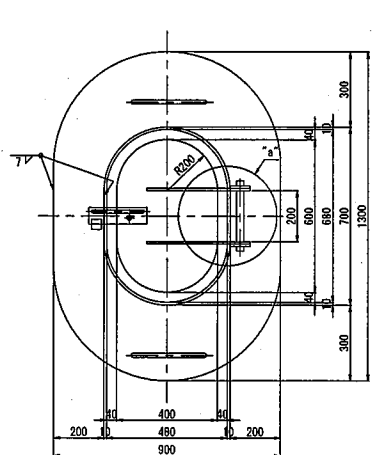
- ⑤ 1-PL 40x15x40 (SUS304)
(一面テーパ加工削り代3mm)

A-A

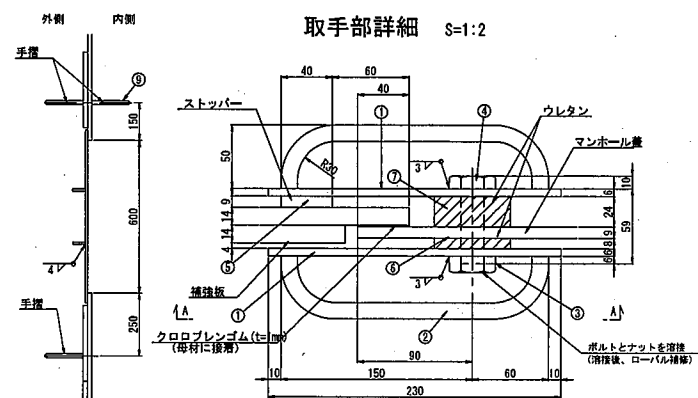


- ※ ① 2-FB 65x6x230 (SS400)
- ※ ② 2-RB 13φx253 (SS400)
- ※ ③ 1-Nut M20 (1種) (SS400)
- ※ ④ 1-bolt M16x75 (SS400)
- ⑥ 1-ゴム 60φx34 (フッ素ゴム) ...φ18孔明
- ⑦ 1-ゴム 60φx8 (フッ素ゴム) ...φ18孔明
- ⑧ 1-ゴム 480x1x680 (クロロプレンゴム)

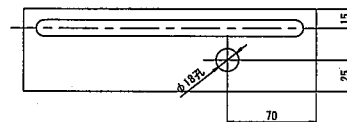
マンホールMH-2詳細 製作数:4個
P1,P2構脚 主桁ウェブ付



取手部詳細 S=1:2



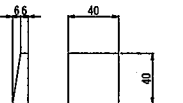
A-A



- 1-PL 900x14x1300 (SM400YA)
- 1-PL 480x9x680
- 2-PL 150x9x410
- 2-PL 80x9x110
- 1-PIPE 20Ax280 (20S) (SUS304TP)
- 2-割ピン 5φx36 (SUS304)
- 3-RB φ16x600 (SS400)

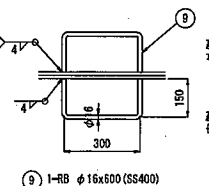
- ※ ① 2-FB 65x6x230 (SS400)
- ※ ② 2-RB 13φx253 (SS400)
- ※ ③ 1-Nut M20 (1種) (SS400)
- ※ ④ 1-bolt M16x60 (SS400)
- ⑥ 1-ゴム 60φx24 (フッ素ゴム) ...φ18孔明
- ⑦ 1-ゴム 60φx8 (フッ素ゴム) ...φ18孔明
- ⑧ 1-ゴム 480x1x680 (クロロプレンゴム)

ストップバー



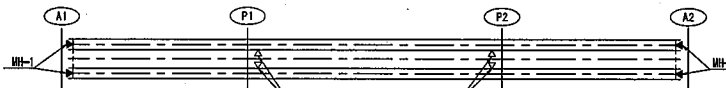
- ⑤ 1-PL 40x15x40 (SUS304)
(一面テーパ加工削り代3mm)

手摺詳細



- ⑨ 1-RB φ16x600 (SS400)

配置図



注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. ※印付材料は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35~HDZ55とする。
但し、鋼材については
板厚 6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等はHDZ55
板厚 3.2mm以上6mm以下の部材はHDZ45
板厚 3.2mm未満の部材及びボルトナット類
はHDZ35とする。

平成27年度	図面番号	10/130
路線名	[REDACTED]	
業務名	[REDACTED]	
場所	[REDACTED]	
図面名	共通詳細図(その5)	縮尺 S=1:10
大阪府茨木土木事務所		

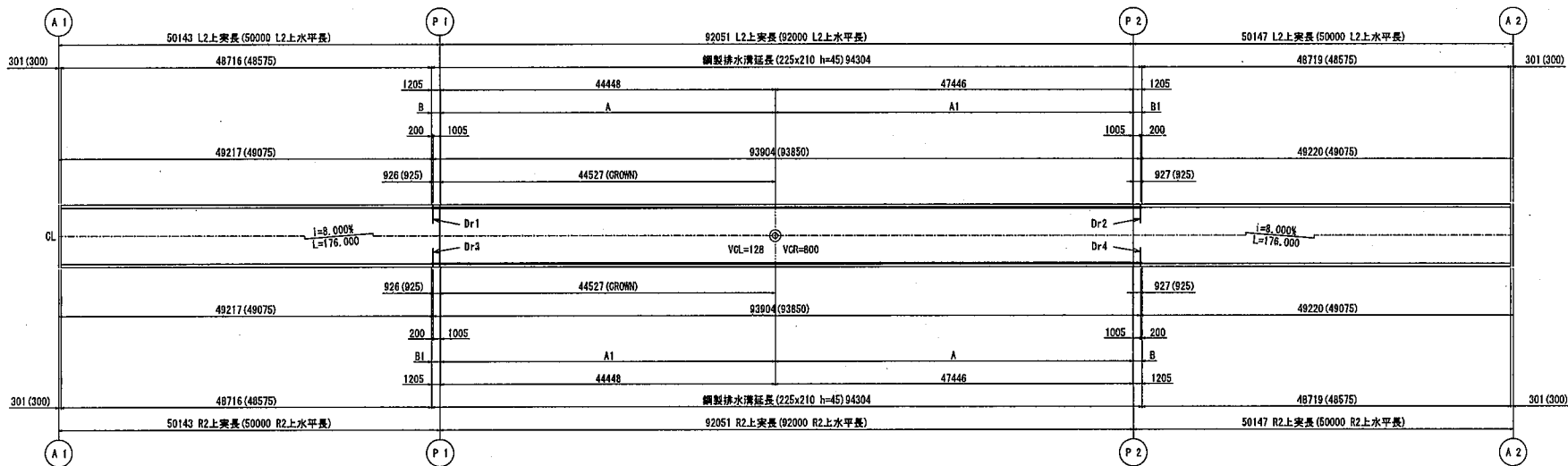
鋼製排水溝 (その1)

鋼製排水溝設置図 S=1/300

A1~A2

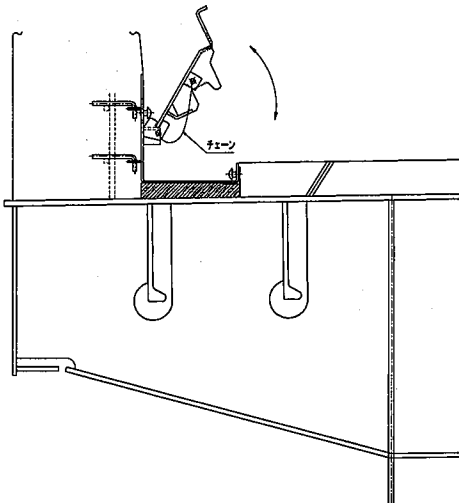
※鋼製排水溝延長は実長寸法を示す。(縦断勾配考慮)

※設置図の、() 寸法は水平長を示す。



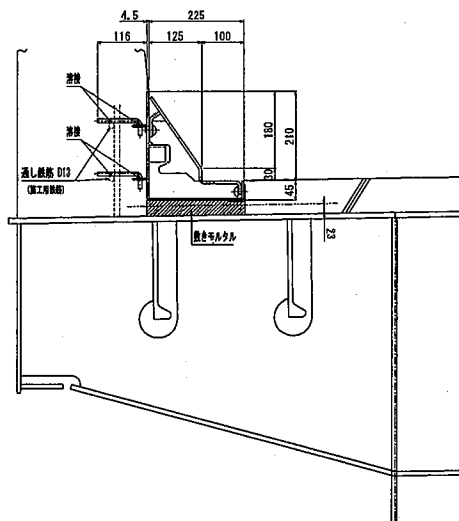
清掃時断面図 S=1/6

※フタは1セット毎に開口及び立てかけ可能
※フタは跳ね上がり防止機能付き



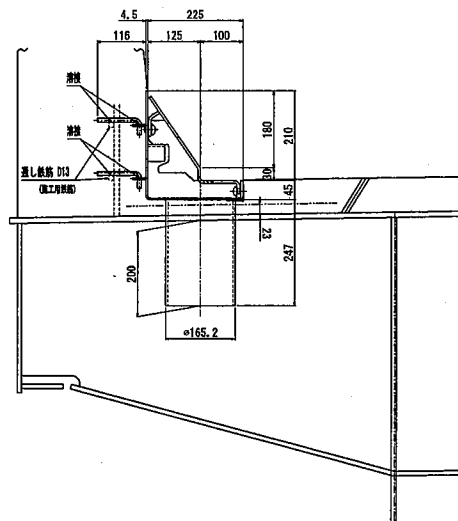
鋼製排水溝断面図 S=1/6

標準部



鋼製排水溝断面図 S=1/6

流末部 Dr1~Dr4



鋼製排水溝 数量表

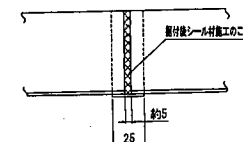
ドレン符号	寸法	延長 (m)	記事
A	225x210 h=45	91.894	標準部
A1	225x210 h=45	91.894	標準部
B	225x210 h=45	2.410	流末部、End PL付
B1	225x210 h=45	2.410	流末部、End PL付
合計		188.608	

※ h は、鋼製排水溝の埋込深さを示す。

仕様特記

- 製品の表面処理は「溶融亜鉛・アルミニウム合金めっき (Mg入り)」とし亜鉛付着量 350g/m² (50μm) 以上とする。(主要部材の平均付着量とします)
- その上にナイロンコーティング (ナイロン12) を平均膜厚 300μm 以上とする。
- フタは1セット毎に開口及び立てかけ可能な事
- フタは跳ね上がり防止機能を有し、跳ね上がり防止機能は流水範囲に位置しない事

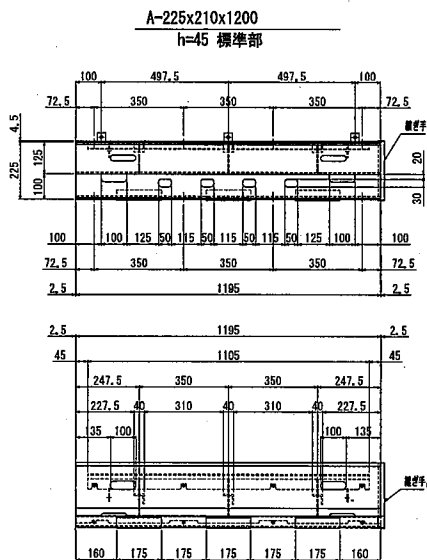
継ぎ手目地詳細図 S=1/2



平成27年度	図面番号	82 / 130
路線名	[Redacted]	
業務名	[Redacted]	
場所	[Redacted]	
図面名	鋼製排水溝 (その1) 概図	S=1:1
大阪府茨木土木事務所		

鋼製排水溝 (その2)

鋼製排水溝詳細図 S=1/10

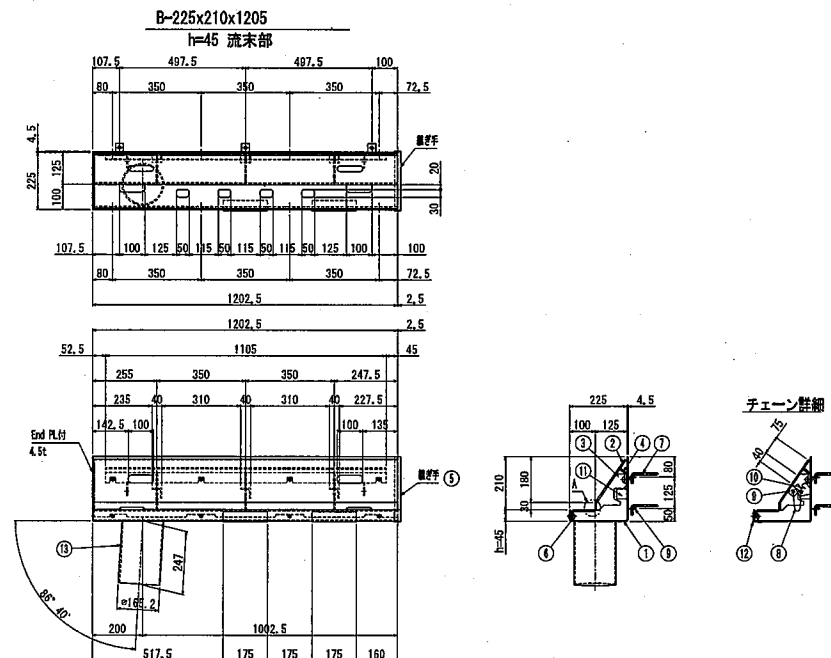


材料表 A-225x210x1200 h=45

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 529.5x4.5x1195	22.4
2	1-PL 358.5x6.0x1195	20.2
3	3-PL 142x6.0x117	1.02
4	1-PL 71x6.0x1105	3.48
5	1-PL 25x3.0x529.5	0.31
6	8-Bolt M12x18 (角根丸頭ボルト) (4.6)	0.24
7	6-RB ø9x135	0.40
8	1-Chain ø4x200 シャックル付 (SUS)	0.11
9	7-PL 32x4.5x32	0.28
10	2-PL 50x4.5x56	0.13
11	3-L 40x40x5x40	0.35
12	3-L 40x40x3x175	0.96
総重量		49.9
α重量		41.6

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。
※ A1-225x210x1200 h=45・・・49.8kg (41.6kg/m)
A1は、A1に対して線対称とする。

鋼製排水溝詳細図 S=1/10



※二点線は流末管を示す。

材料表 B-225x210x1205 h=45

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 529.5x4.5x1202.5 (End PL付)	23.3
2	1-PL 358.5x6.0x1195	20.2
3	3-PL 142x6.0x117	1.02
4	1-PL 71x6.0x1105	3.48
5	1-PL 25x3.0x529.5	0.31
6	8-Bolt M12x18 (角根丸頭ボルト) (4.6)	0.24
7	6-RB ø9x135	0.40
8	1-Chain ø4x200 シャックル付 (SUS)	0.11
9	7-PL 32x4.5x32	0.28
10	2-PL 50x4.5x56	0.13
11	3-L 40x40x5x40	0.35
12	2-L 40x40x3x175	0.84
13	1-GP ø165.2x5.0x247 (150A:SGP)	4.89
総重量		55.4
α重量		46.0

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。
※ B1-225x210x1205 h=45・・・55.4kg (46.0kg/m)
B1は、B1に対して線対称とする。

平成27年度	図面番号	83 / 130
路線名	[REDACTED]	
業務名	[REDACTED]	
場所	[REDACTED]	
図面名	鋼製排水溝 (その2) 細尺 S=1:1	
大阪府茨木土木事務所		

φ290×52 重さ893.8kg

支承詳細図(その1) S=1:10

機能分離型鉛直支承 (A1-L A2-L)

設計条件

最大反力	Rmax	1600 kN	
最大反力回転モーメント	Rmax2	470 kNm	
形変量反力	Rd	250 kN	
剛性係数	R1	125 kN/mm	
力	最大水平力	Rhs1	25 kN
	最大水平力	Rhs2	1061 kN
上向き	地盤力	Ru	771 kN
	剛性係数	δs1	0.19 mm
変位量	変位量	δr	0.43 mm
	変位量	ΔL1	51 mm
変位量	変位量	ΔL1	95 mm
	変位量	ΔL2	---

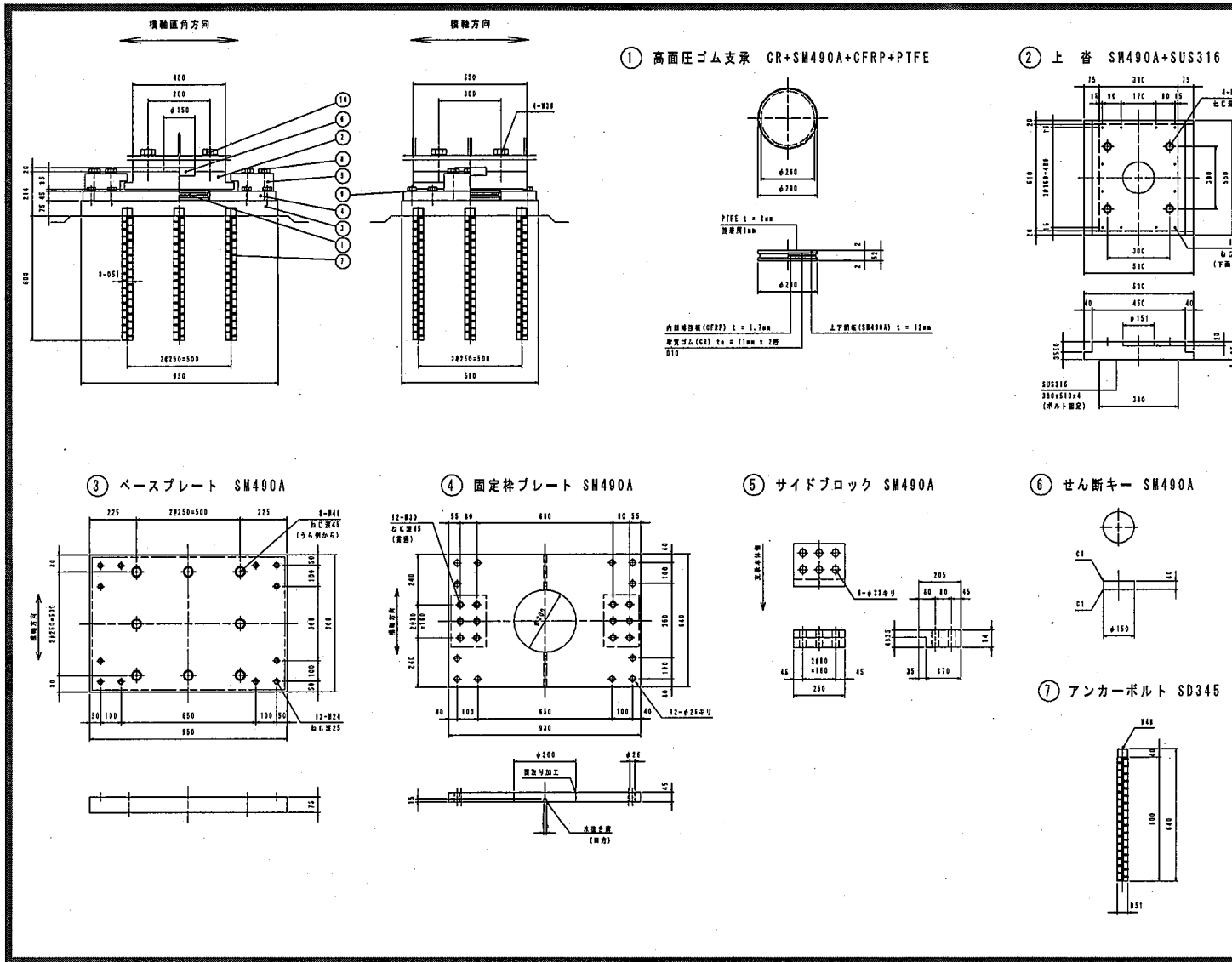
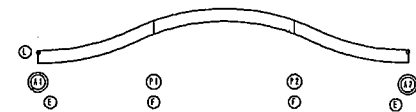
材料表

部番	品名	材質	個数	質量(kg)	備考
1	高圧注すべりゴム支承	CR+SM490A+GFRP+PTFE	1	14.6	CR δs=1.0mm/m ²
2	上蓋	SM490A+SUS316	1	174.7	
3	ベースプレート	SM490A	1	362.0	
4	固定枠プレート	SM490A	1	179.4	
5	サイドブロック	SM490A	2	54.0	
6	せん断キー	SM490A	1	14.1	
7	アンカーボルト	SD345	4	81.4	
8	六角ボルト	----	12	15.4	強度(22H)計
9	六角ボルト	----	12	2.3	強度(22H)計
10	六角ボルト	----	4	----	強度(F35)計
全質量(kg)				893.8	

注1. φ印は、500φを標準とする
 注2. 六角ボルトは、締め付け後、高さ変動を考慮し全長を4φ
 注3. 支脚固定用、イネースプレー(防錆防錆用)を塗布すること
 注4. 高圧注すべりゴムの質量は参考質量とする

6	六角ボルト	M30x120	強度区分 8.8 平座金(22H)	30x56x4.5
9	六角ボルト	M24x70	強度区分 8.8 平座金(22H)	24x44x4.5
10	六角ボルト	M39xL	強度区分 8.8 平座金(F35)	39x78x6.0

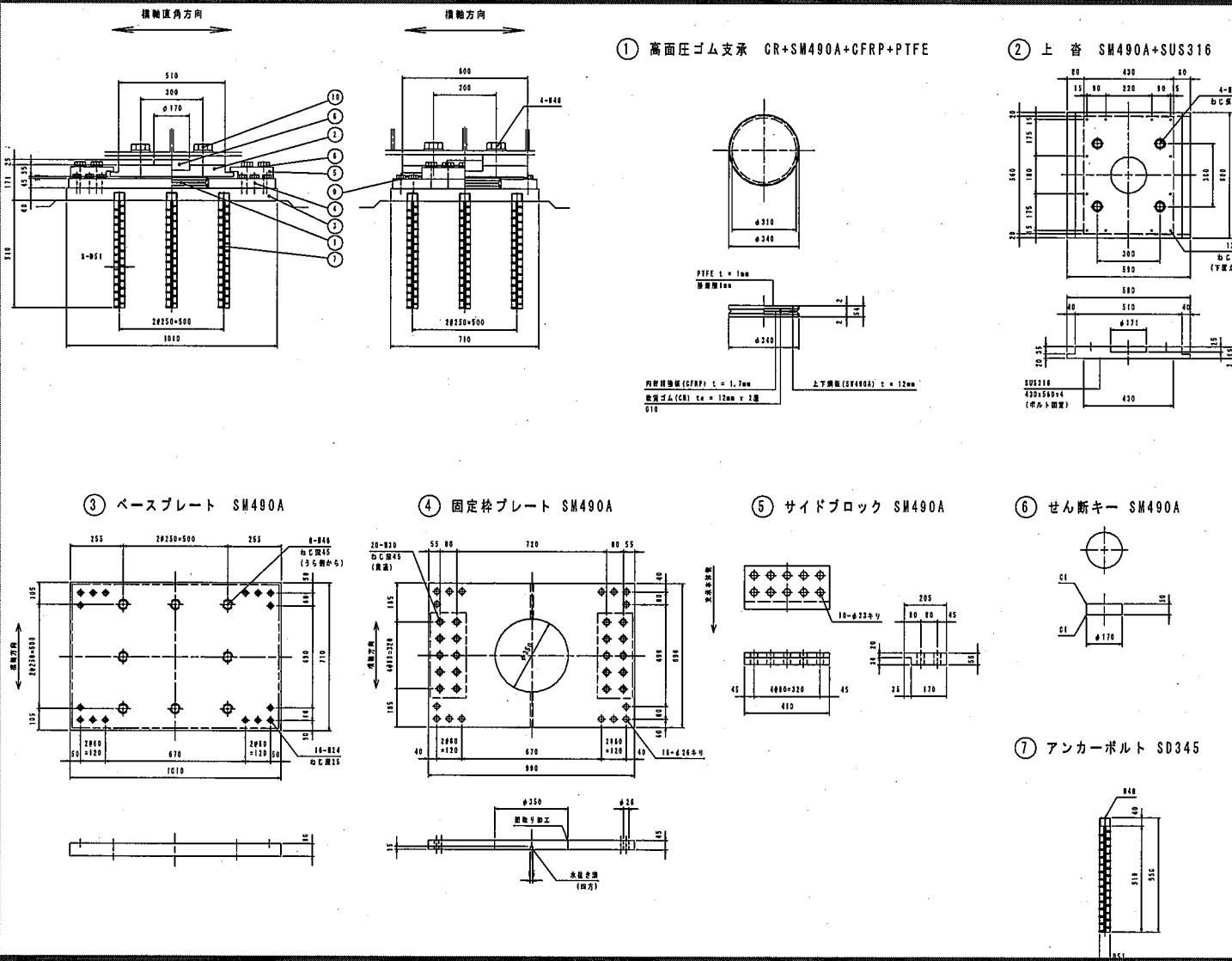
配置図



φ340×54 重さ848.0kg

支承詳細図(その2) S=1:10

機能分離型鉛直支承 (A1-R A2-R)



設計条件

最大圧力	Rmax	1710 kN
最大圧力継続時間	Rmax2	1710 kN
圧縮変位量	Rd	1200 kN
剛性係数	K1	255 kN
最大圧力	Rheo1	120 kN
圧力	Rheo2	1702 kN
上部の圧力	Ru	270 kN
剛性係数の変位量	d<1	0.20 mm
剛性係数	d<2	0.51 mm
変位量	dL1	51 mm
変位量	dLe1	94 mm
変位量	dLe2	--- mm

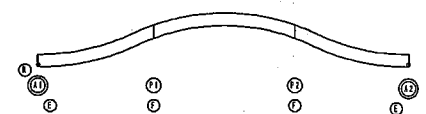
材料表

部材	品名	材質	個数	質量(kg)	備考
1	高圧ゴム	GR+SM490A+CFRP+PTFE	1	20.5	GR 0.01.00/mm2
②	上 軸	SM490A+SUS316	1	134.6	
③	ベースプレート	SM490A	1	321.3	
④	固定枠プレート	SM490A	1	194.7	
⑤	サイドブロック	SM490A	2	52.3	
⑥	せん断キー	SM490A	1	17.8	
⑦	アンカーボルト	SD345	4	70.0	
⑧	六角ボルト	-----	20	10.6	強度(22H)付
⑨	六角ボルト	-----	18	4.2	強度(22H)付
⑩	六角ボルト	-----	4	---	強度(F35)付
合 計				848.0	

注1. ①は、φ340、56mm径とする
 注2. 六角ボルトは、締め付け量、高圧状態時最大値を参照せよ
 注3. 変位測定機、イオニスプレー（防錆剤噴射機）を参照すること
 注4. 高圧ゴム変位の測定は参考値とする

- ⑧ 六角ボルト M30x85 強度区分 8.8
平座金 (22H) 30x56x4.5
- ⑨ 六角ボルト M24x70 強度区分 8.8
平座金 (22H) 24x44x4.5
- ⑩ 六角ボルト M48xL 強度区分 8.8
平座金 (F35) 48x88x6.0

配置図

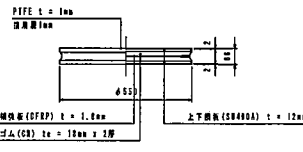
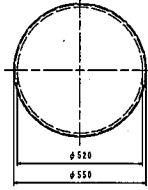


φ550×66 重さ4654.0kg

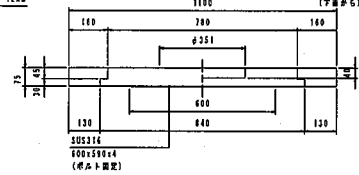
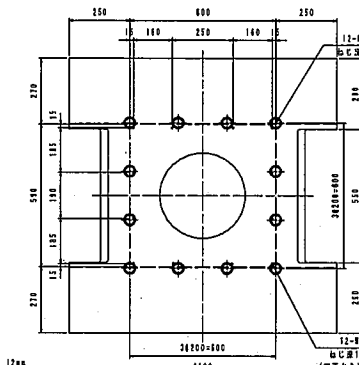
支承詳細図(その4) S=1:10

固定支承 (P1-R P2-R)

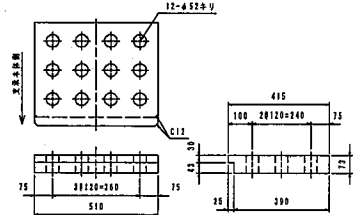
① 高圧ゴム支承
CR+SM490A+CFRP+PTFE



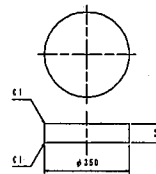
② 上蓋 SM490A+SUS316



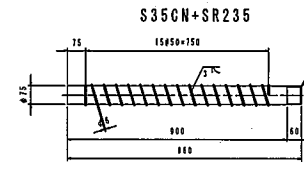
⑤ サイドブロック SM490A



⑥ せん断キー SM490A



⑦ アンカーボルト S35CN+SR235



設計条件

項目	単位	値
最大圧力	Rmax	4970 kN
最大圧力回転モーメント	Rmax2	4970 kN
回転モーメント	Ra	3670 kN
回転モーメント	R1	---
最大圧力	Rmax1	4181 kN
最大圧力	Rmax2	5486 kN
上層からの圧力	Ru	1364 kN
剛性係数の変化率	αc1	---
回転係数	αr	0.55 mm
変位係数	αL1	---
変位係数	αL2	---
変位係数	αL3	---
変位係数	αL4	---

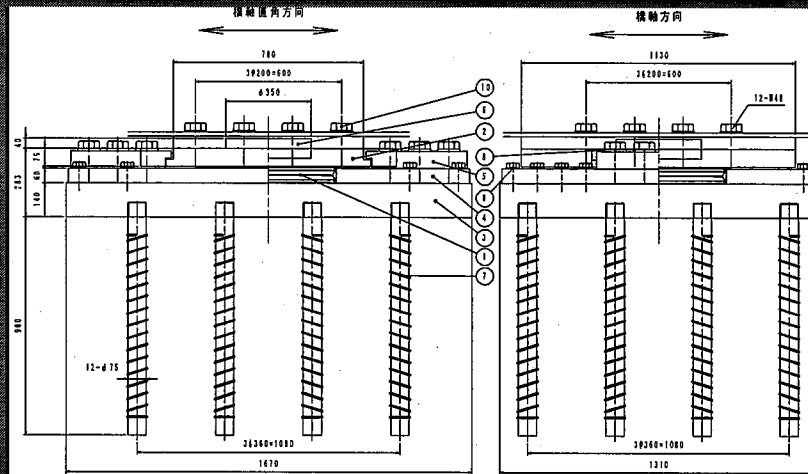
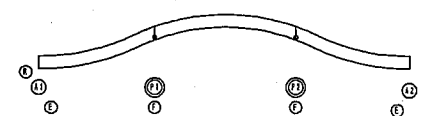
材料表

品名	材質	数量 (kg)	備考
高圧ゴム支承	CR+SM490A+CFRP+PTFE	1	59.6 CR t=1.0mm/2
上蓋	SM490A+SUS316	1	585.3
ベースプレート	SM490A	1	2374.0
固定枠プレート	SM490A	1	851.0
サイドブロック	SM490A	2	204.8
せん断キー	SM490A	1	10.4
アンカーボルト	S35CN+SR235	12	411.2
六角ボルト	---	24	76.6 適合(F35)H
六角ボルト	---	32	25.3 適合(E24)H
六角ボルト	---	12	---
合計重量 (kg)			4654.0

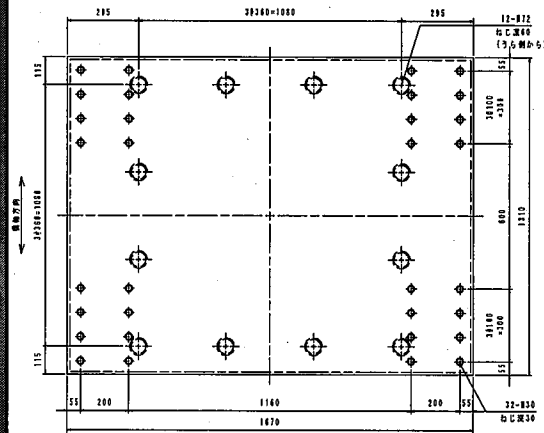
注1. φ520, φ550の寸法は寸法公差とする
注2. 六角ボルトは、締付作業、高圧状態での使用を考慮する
注3. 変位係数αc1, αc2, αc3, αc4は、(鋼材の変位係数)を乗算すること
注4. 高圧ゴム支承の質量は参考質量とする

- ⑧ 六角ボルト M48x120 強度区分 8.8
平座金 (F35) 48x88x6.0
- ⑨ 六角ボルト M30x90 強度区分 8.8
平座金 (22H) 30x56x4.5
- ⑩ 六角ボルト M48x L 強度区分 8.8
平座金 (F35) 48x88x6.0

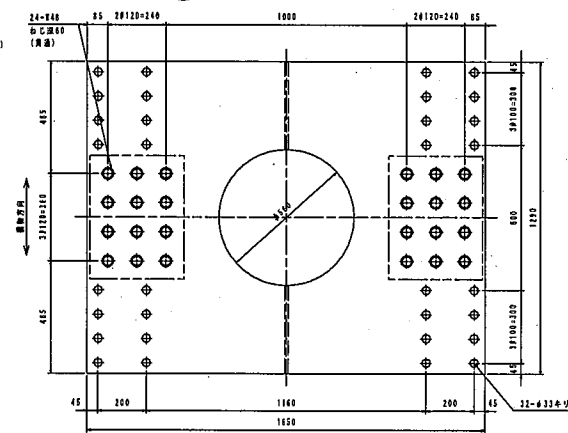
配置図



③ ベースプレート SM490A



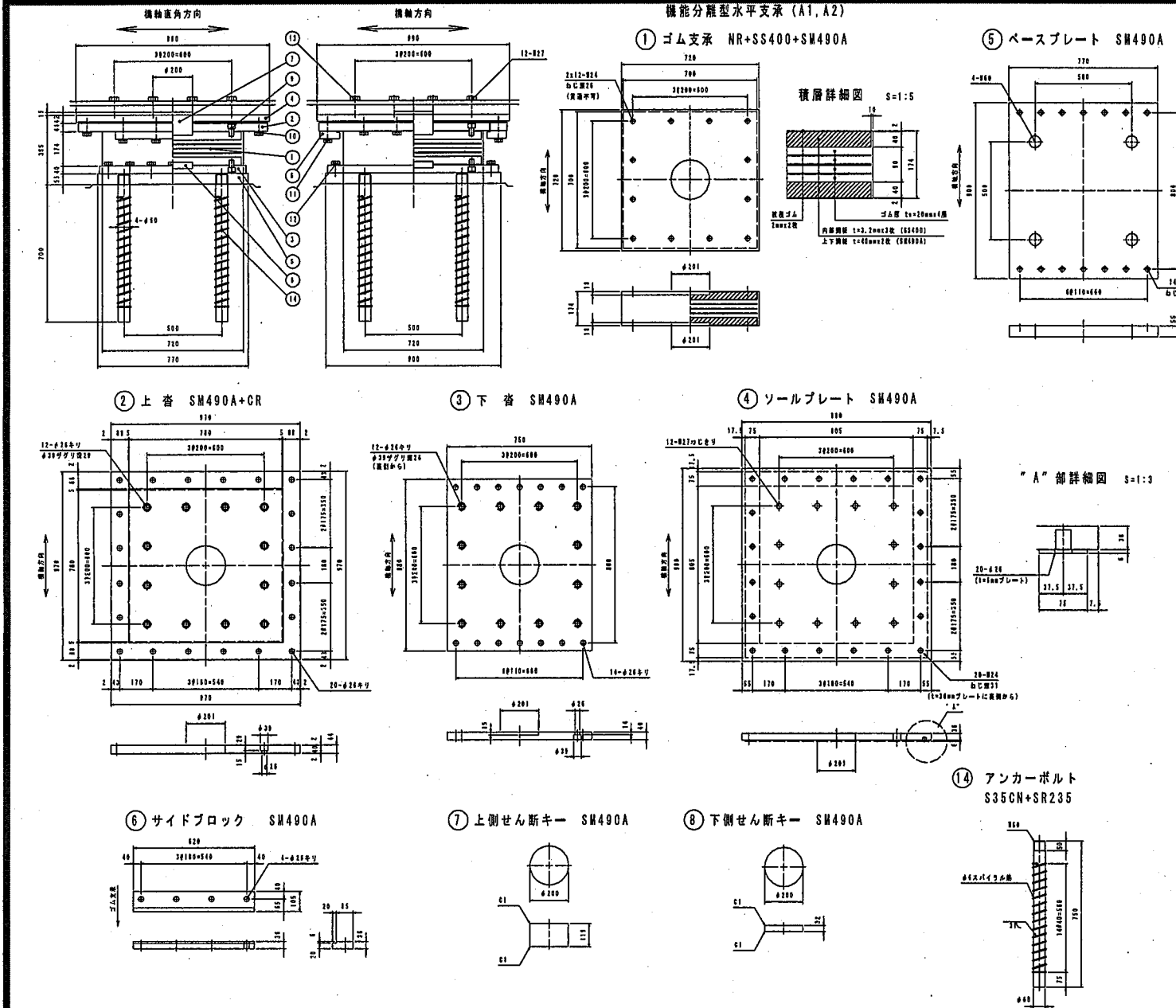
④ 固定枠プレート SM490A



720×720×174 重さ1589.5kg

支承詳細図(その5) S=1:10

機能分離型水平支承 (A1, A2)



設計条件

支保具	レベル2地盤条件	分離支承	
容積率	Rd	1426 KN	
許容せん断力	F _{max}	250.0 KN	
A平仮面	傾斜方向	ΔL1	90 mm
	傾斜直角方向	ΔL2	--- mm
せん断係数	μs	2.35 KN/mm	
圧縮係数	μv	--- KN/mm	

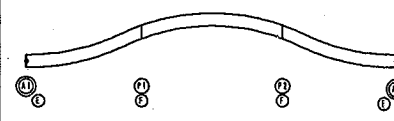
材料表 (1支保具当り)

品名	材質	数量 (kg)	単位
1 ゴム	NR+SS400+SM490A	402.8	kg
2 上板	SM490A+CR	277.1	kg
3 下板	SM490A	197.4	kg
4 ソールプレート	SM490A	255.5	kg
5 ベースプレート	SM490A	232.9	kg
6 サイドブロック	SM490A	26.9	kg
7 上側せん断キー	SM490A	29.2	kg
8 下側せん断キー	SM490A	1	kg
9 六角穴付ボルト		24	個
10 六角ボルト		12	個
11 サイドブロックボルト		8	個
12 六角ボルト		14	個
13 セットボルト		15	個
14 アンカーボルト	S35GN+SR235	10	個
全重量 (kg)		1589.5	

注1: O印は100ヶ所を指す (質量300g/m²以上とする)
 注2: O印は1:10に比例する
 注3: 六角ボルトは、鋼材付付、高強度鋼材高強度鋼材とする
 注4: O印は高強度鋼材高強度鋼材とする
 注5: 必要に応じて角鋼の穴を削り取らなければならない
 注6: ゴム支保具は平均値とする

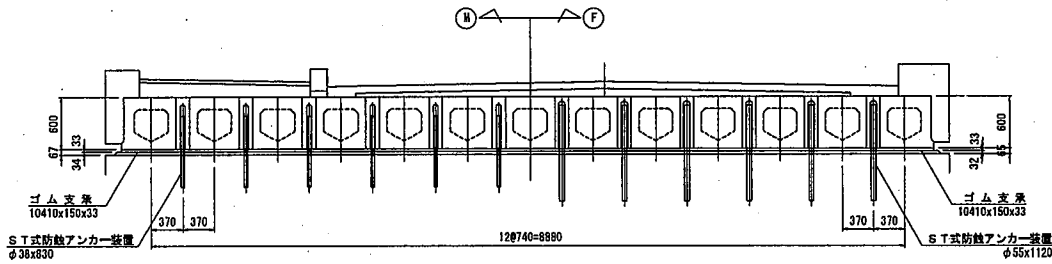
⑨ 六角穴付ボルト	M24x40	強度区分	10.9
⑩ 六角ボルト	M24x75	強度区分	8.8
		平座金付	
⑪ サイドブロックボルト	M24x110	強度区分	8.8
		平座金付	
⑫ 六角ボルト	M24x65	強度区分	8.8
		平座金付	
⑬ セットボルト	M27x L	強度区分	8.8
		平座金付	

配置図

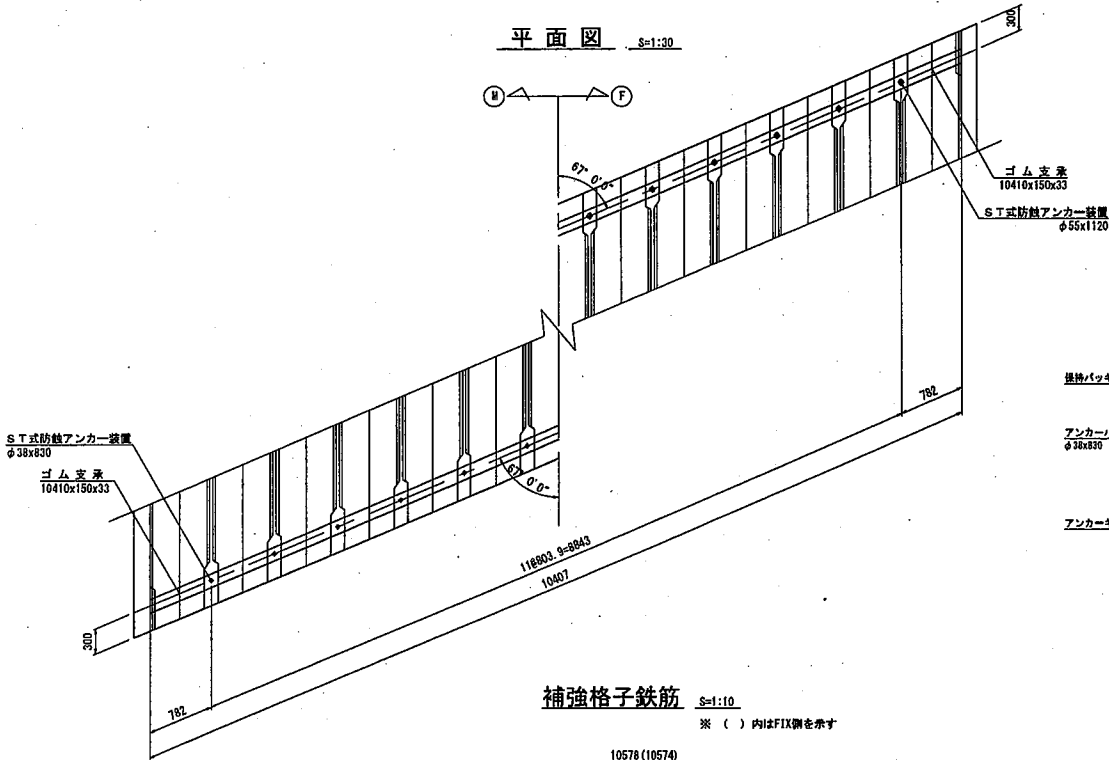


支承詳細図

断面図 S=1:30

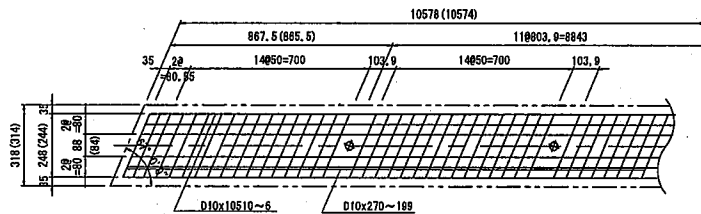


平面図 S=1:30

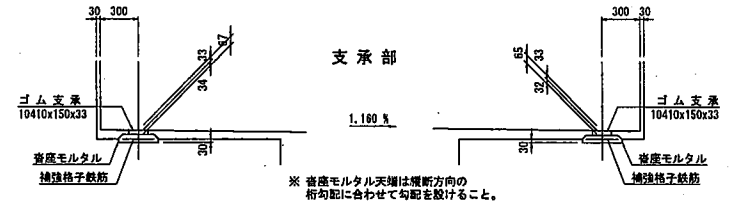


補強格子鉄筋 S=1:10

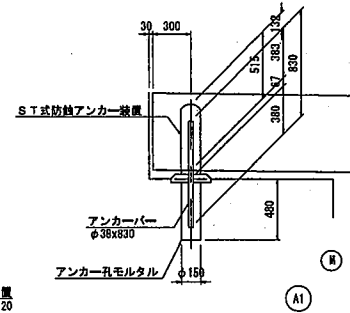
※ () 内はFIX側を示す



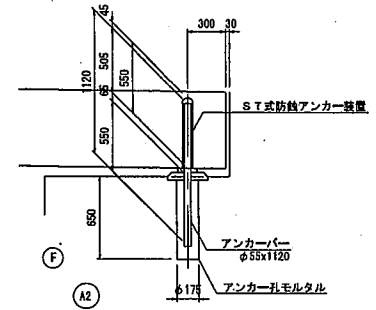
側面図 S=1:20



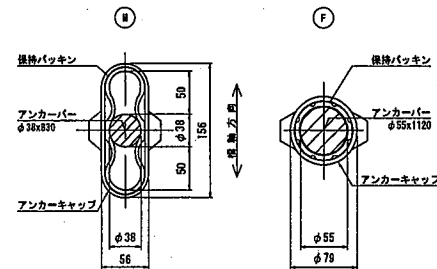
※ 寄座モルタル天端は欄断方向の桁勾配に合わせて勾配を設けること。



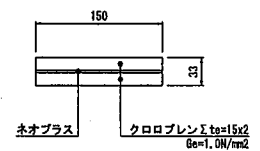
アンカー部



アンカーキャップ S=1:3

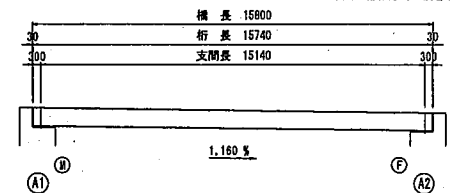


ゴム支承 S=1:3



配置図 S=1:100

※ 寸法は桁軸方向の値を示す。



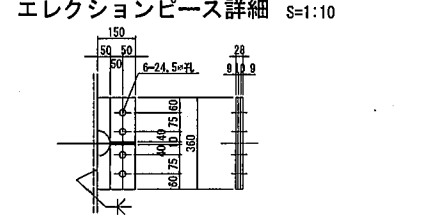
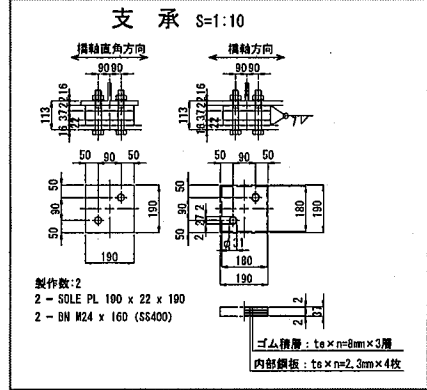
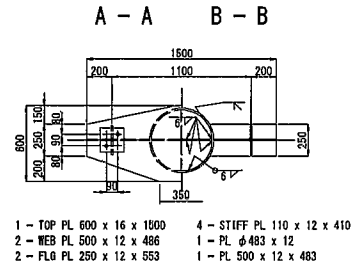
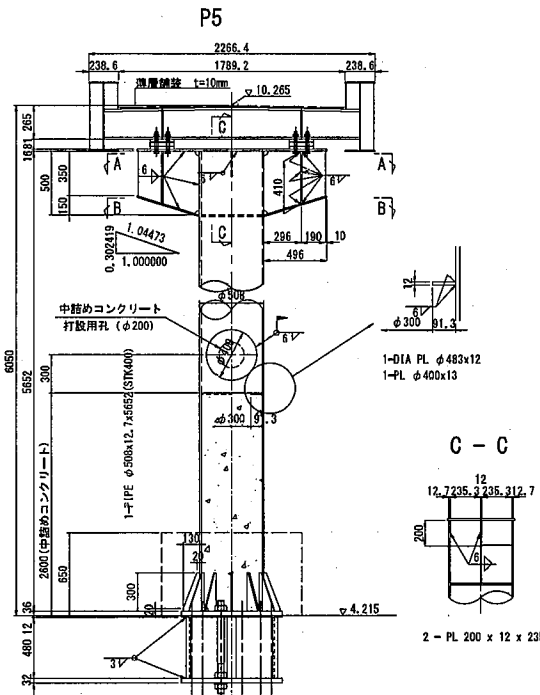
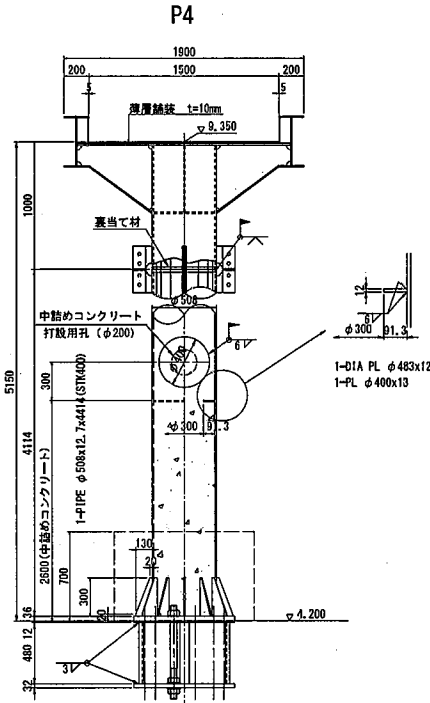
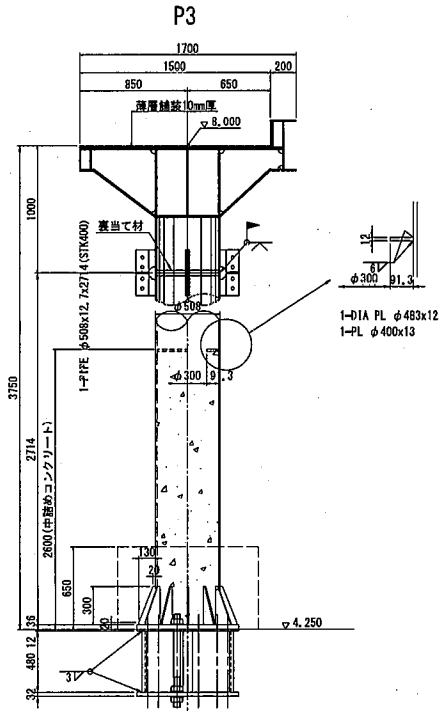
材料表

名称	寸法	材質	単位	数量			備考
				A1 (M)	A2 (F)	合計	
ゴム支承	150x33	国産	m	10.41	10.41	20.82	ST-パッド
S T式防蝕アンカー装置	M38D	31259 赤リネンX12PFR 31259 黒	個	12	12	24	ST-SGN12
"	F65D	"	"	12	12	24	"
補強格子鉄筋	10500x250	SD345 D10	kg	85.4	85.4	170.8	
寄座モルタル		無収縮モルタル	m ³	0.20	0.19	0.39	
アンカー孔モルタル		無収縮モルタル	m ³	0.09	0.16	0.25	

※ 防蝕アンカーのアンカーバー本体は、ST-SGN12とする。

年度	令和2~4年度	大阪府 国土 土木 事務所
河川名		
工事名		
所屬地名		
御用名	支承詳細図 縮尺 図示	
設計	野田 坂元	
作成年月日	令和2年5月	全18頁の内 11 頁

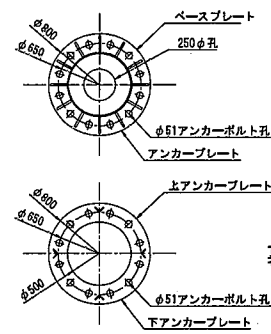
架替え歩道橋 支柱(その2) S=1:20



※ エレクションピースは溶接後切断し、溶接面を仕上げとする。

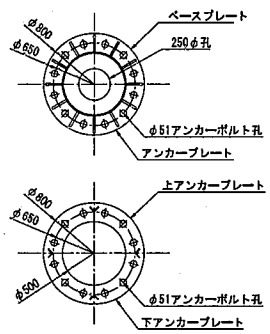
2 - PL 150 x 10 x 175
2 - PL 100 x 8 x 350
4 - HTB M22 x 70 (FIOT)

注記)
1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーリップは、全て 35R を示す。



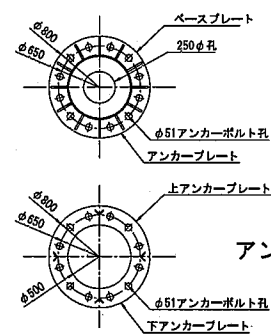
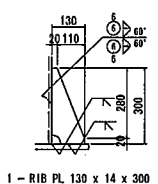
- 12-Rib PL 130x14x300
1-Base PL φ800x36 (SM400B)
1-Anc. PL 800φx12
1-Anc. PL 800φx32
4-L 50x50x6x480 (SS400)
12-Anc M48x730 (S35CN)
(3-1種ナット (SS400) 付)

1 - FB 50 x 6 x 1497 (SS400)

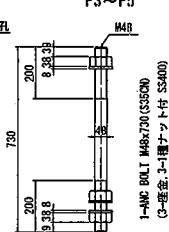


- 12-Rib PL 130x14x300
1-Base PL φ800x36 (SM400B)
1-Anc. PL 800φx12
1-Anc. PL 800φx32
4-L 50x50x6x480 (SS400)
12-Anc M48x730 (S35CN)
(3-1種ナット (SS400) 付)

リブ詳細図 S=1:10



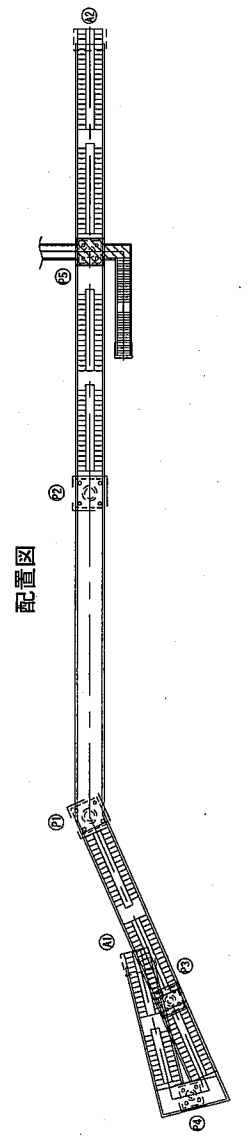
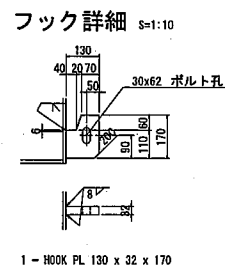
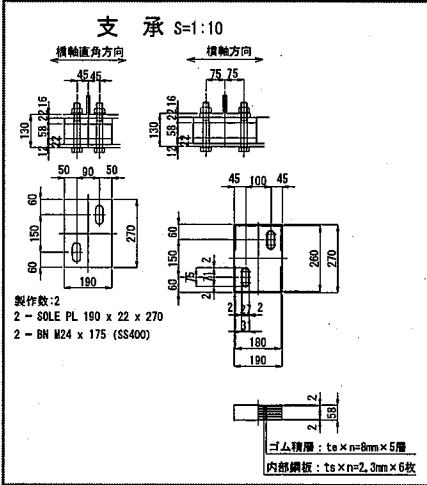
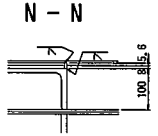
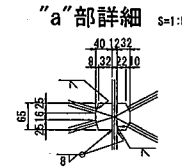
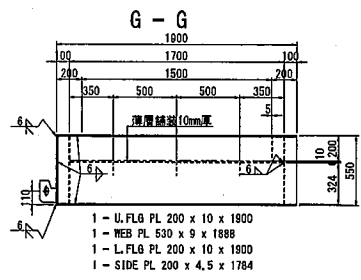
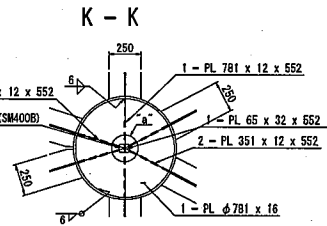
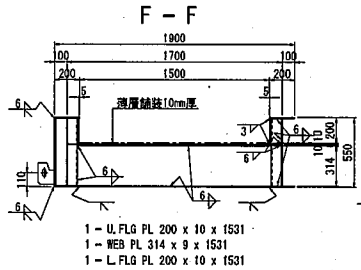
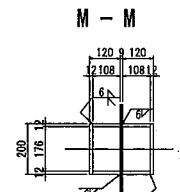
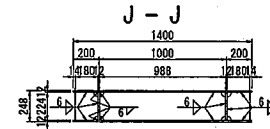
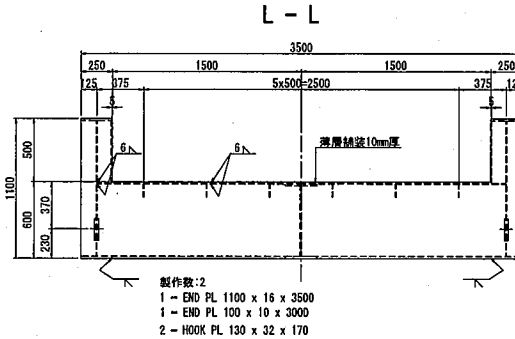
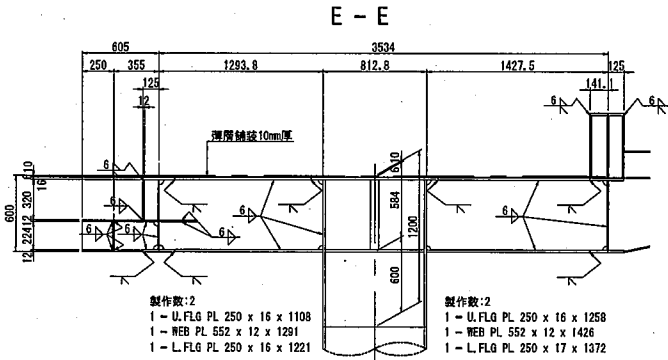
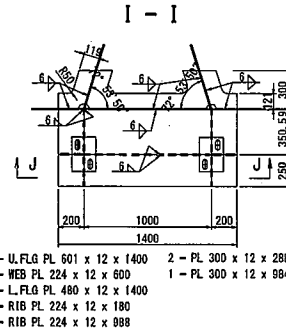
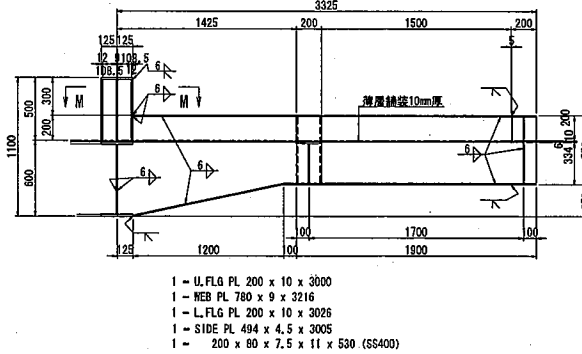
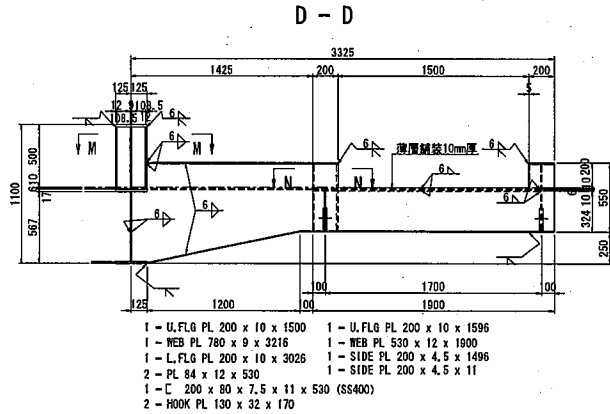
- 12-Rib PL 130x14x300
1-Base PL φ800x36 (SM400B)
1-Anc. PL 800φx12
1-Anc. PL 800φx32
4-L 50x50x6x480 (SS400)
12-Anc M48x730 (S35CN)
(3-1種ナット (SS400) 付)



平成27年度	図面番号	19/43
路線名	[Redacted]	
業務名	[Redacted]	
場所	[Redacted]	
図面名	架替え歩道橋支柱(その2) 鋼材 図示	
大阪府茨木土木事務所		

南側歩道橋 踊り場(その5) S=1:20

P5側 H-H



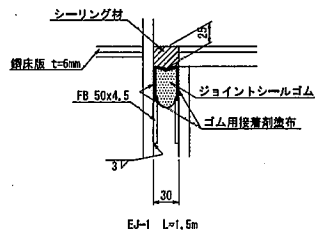
平成27年度	図面番号	26 / 57
路線名	[Redacted]	
業務名	[Redacted]	
場所	[Redacted]	
四面名	南側歩道橋踊り場(その5) 橋内 四示	
大阪府茨木土木事務所		

注記)
1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. *印は、トルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
3. 特記なきスカーラップは、全て3SRを示す。

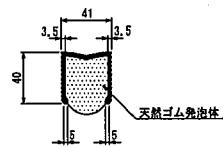
架替え歩道橋 伸縮装置 S=1:10

P5橋脚

伸縮継手断面図 S=1:3

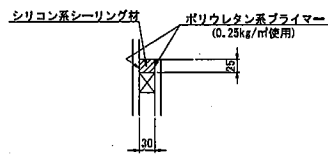


シールゴム断面図 S=1:2

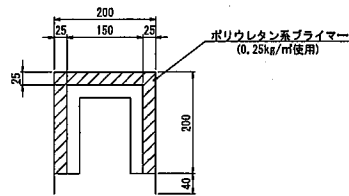


地覆部 S=1:5

断面図



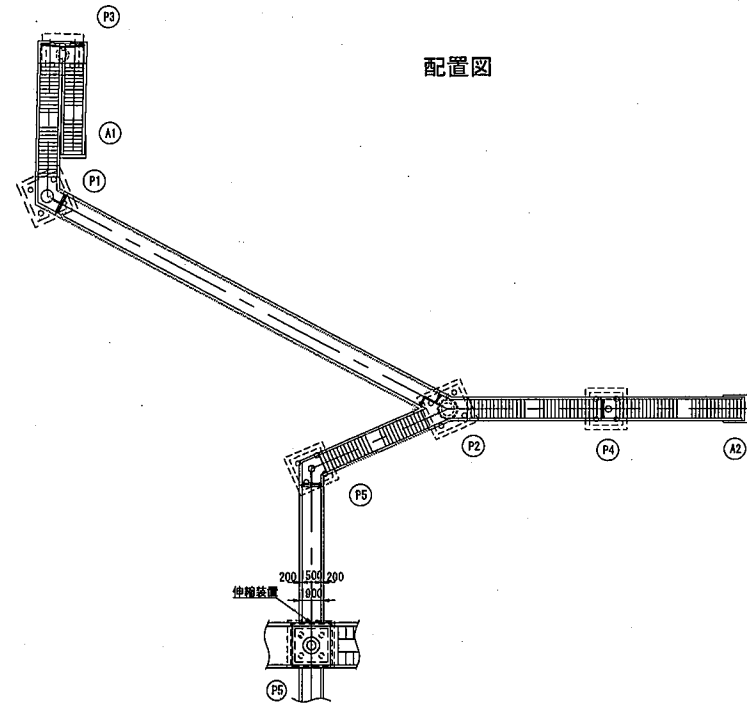
横断面図



数量表

名前	規格	単位	EJ-1
シリング材	シリコン系樹脂	L	1.95
プライマー	ポリウレタン系樹脂	kg	0.069
ジョイントシールゴム		m	1.5
天然ゴム発泡体		m	1.5
FB-50x4.5	SS400	kg	7

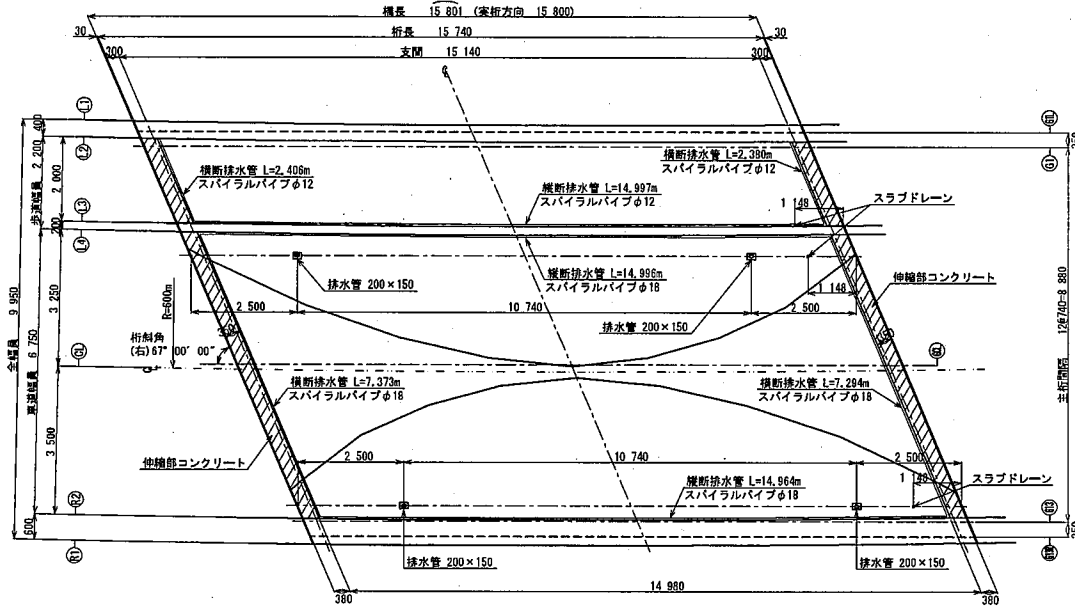
配置図



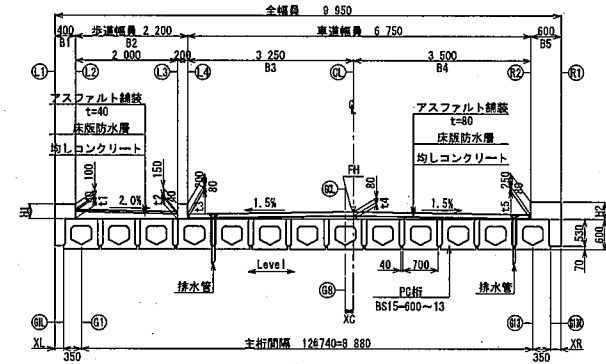
平成27年度	図面番号	28 / 43
路線名	[Redacted]	
業務名	[Redacted]	
場所	[Redacted]	
図面名	架替え歩道橋 伸縮装置 縮尺 S=1:10	
大阪府茨木土木事務所		

床版防水工及び排水装置図

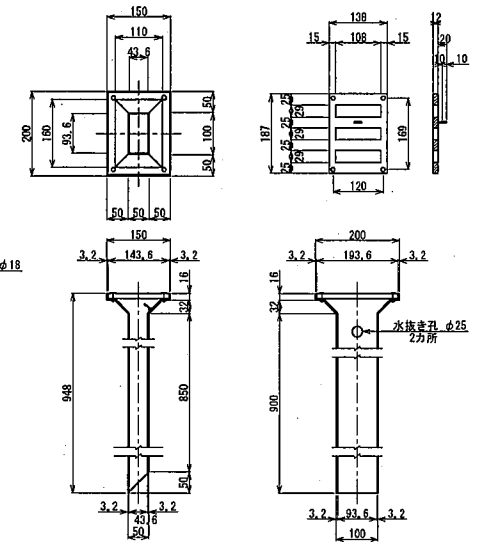
平面図 S=1:60



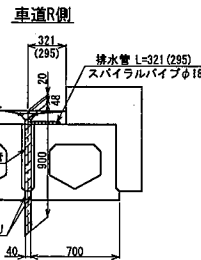
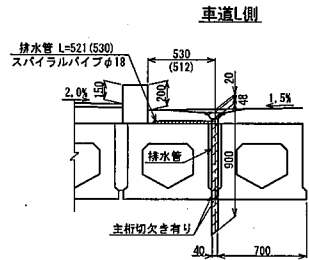
断面図 S=1:50



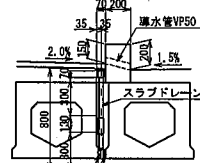
排水樹詳細図 S=1:8



排水樹取付図 S=1:20

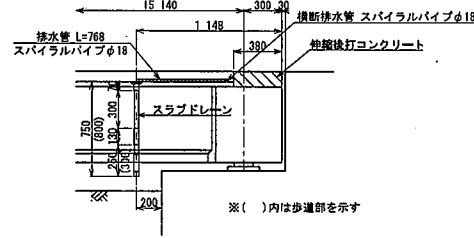


歩道部スラブレイン配置図 S=1:20

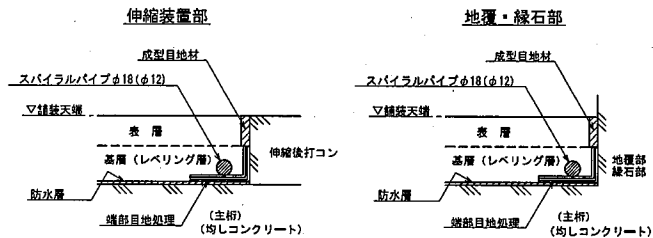


排水管は歩道部の排水を車道側に排水する為に設置する

スラブレイン取付図 S=1:20



舗装端部詳細図



材料表

名称	規格	単位	数量	備考
防水層	シート系	m ²	101.1	車道部
	塗膜系	m ²	30.0	歩道部
車道部排水管	スパイラルパイプ φ18	m	47.8	SUS
歩道部排水管	スパイラルパイプ φ12	m	20.6	"
成型目地材	"	m	79.4	"
スラブレイン	L=750	組	2	車道部 SUS304
スラブレイン	L=800	組	1	歩道部 SUS304
排水管	VP50×210	本	2	緑石部

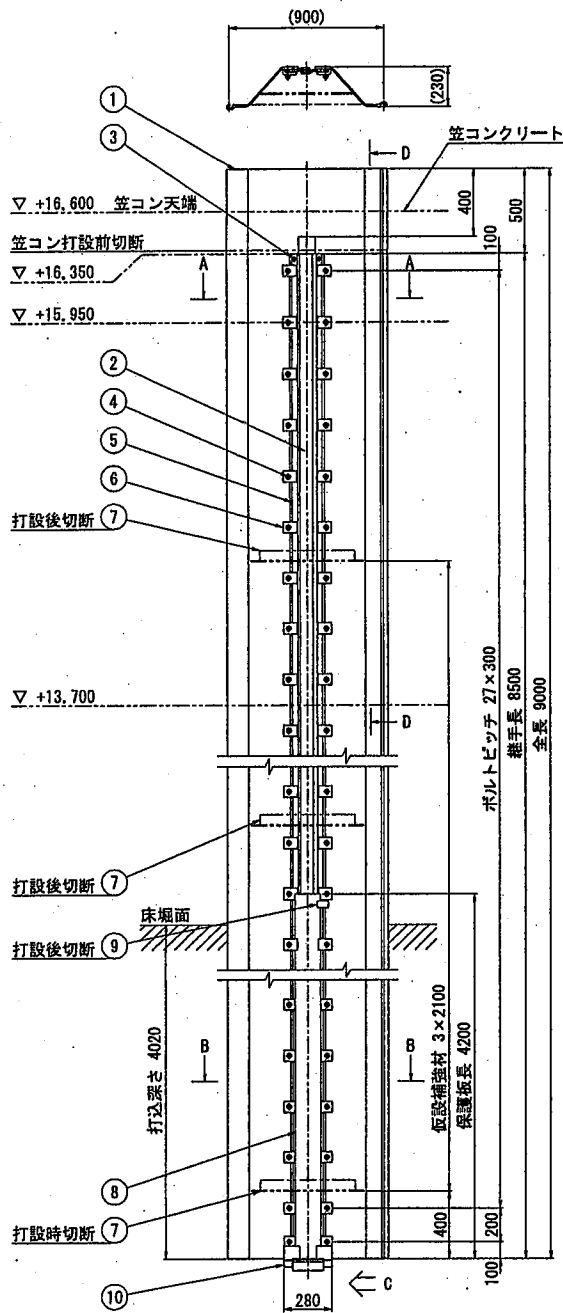
排水樹質量表

名称	材質	単位	質量	備考
本体	SS 400	kg	1.4	亜鉛メッキ
皿	SS 400	kg	1.7	亜鉛メッキ
チェーン	SS 400	kg	0.1	亜鉛メッキ
排水管	STKR 400	kg	6.1	亜鉛メッキ
皿ボルト	SS 400	kg	0.1	亜鉛メッキ
合計			9.4 kg	

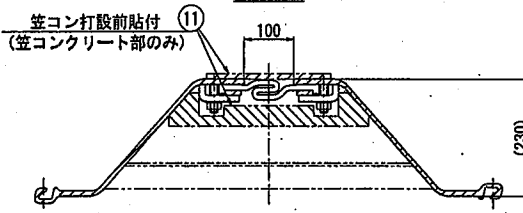
年度	令和2~4年度	大阪府
河川名		
工事名		国土
所属地名		
図面名	床版防水工及び排水装置図	土木事務所
設計	設計	
作成年月日	令和2年5月	主18頁の内 10

可とう鋼矢板構造図 S=図示

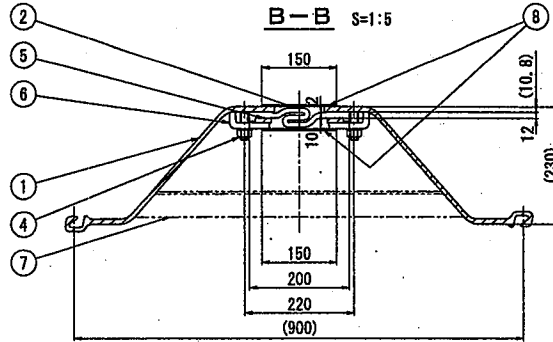
継手全体図 S=1:15



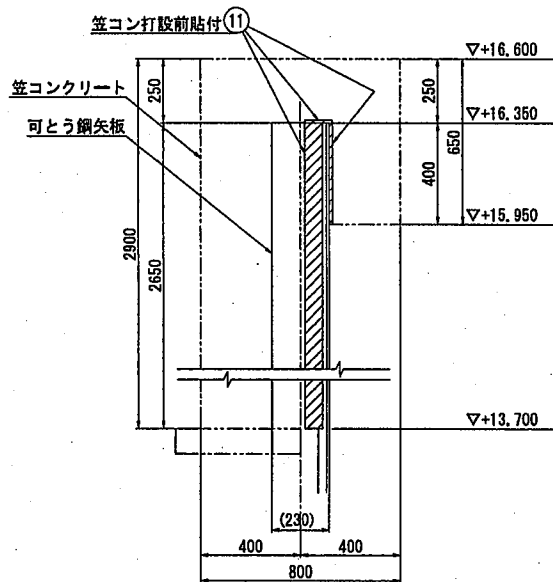
A-A S=1:5



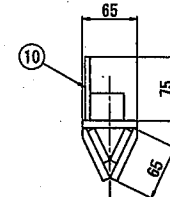
B-B S=1:5



D-D S=1:10



C視図 S=1:3



品番	品名	材質	数量	備考
1	鋼矢板	SYW	1	10H型
2	止水ゴム	CR	1	FP100Z型
3	取付皿ボルト(1)	4.6以上	4	M12×40 (N.付)
4	取付皿ボルト(2)	"	38	M16×65 (N.W.付)
5	押え板	SS400	2組	t9×32
6	押え金具	"	38	t12
7	仮設補強材	"	3	L65×65×6
8	保護板	SS400 又はSPHC	2	t3.2
9	保護板固定金具	"	1組	t6, t3.2
10	先端蓋	SS400	1	t9, t6
11	クッション材	発泡ゴム	1組	

※品番7は仮設用材料です。

使用条件	
沈下量	100 mm
伸び量	100 mm
縮み量	60 mm

仕様


1. 本図継手はハット形鋼矢板専用チャック（ハットチャック）での打設を推奨します。
※標準チャックによる打設の場合、セクション部の焼き付きや継手の破損を生じる恐れがあります。
2. 品番5は製作の都合上、分割品とします。
3. 本図継手はセクション部の方向性があるので、一般部のハット形鋼矢板を本図に合わせて打設願います。

年度	令和元年度	図面番号	/11
河川名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
所属地名	[Redacted]		
図面名	可とう鋼矢板構造図		
縮尺	S=図示	作成年月	令和 2年3月
大阪府富田土木事務所			

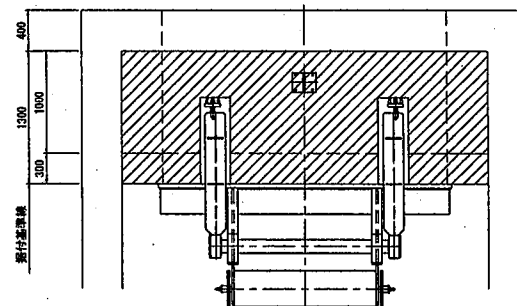
ゲート一般図 (可動制限装置無)

S=1:25

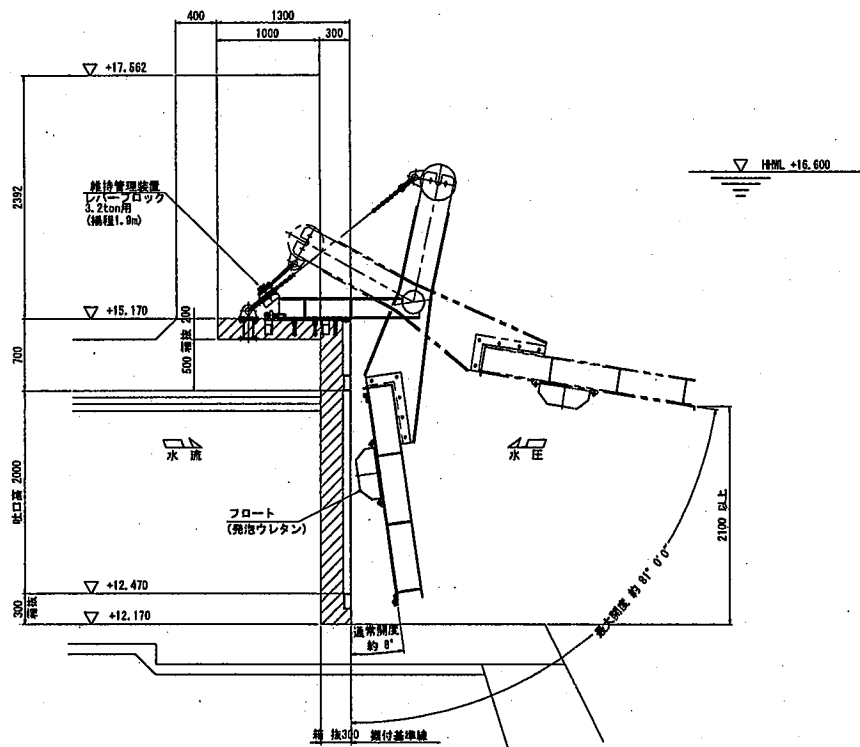
平面図 S=1:25

注記
 ・ は2次コンクリートを示す。
 ・特記以外の材質は全てSUS304とする。

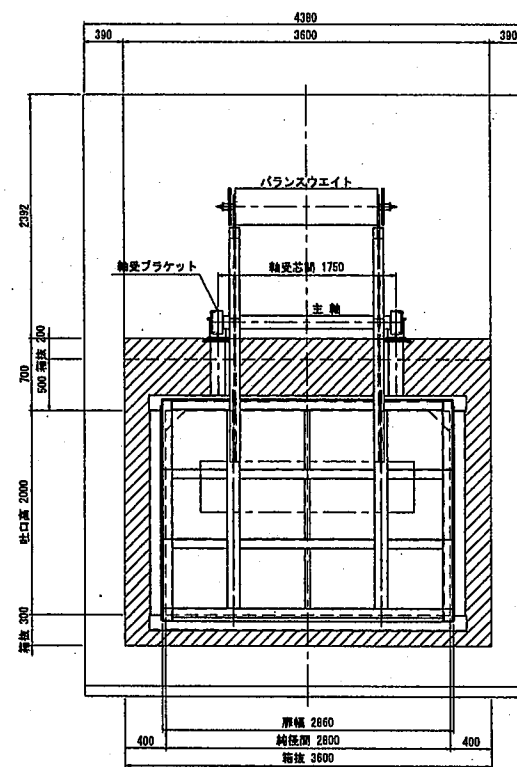
設計要項	
型式	ステンレス製オートゲート
鋼板厚×柱口高	2.80m × 2.00m
設置数	1門
設計水深	前面: 4.130m 後面: 0m
水密方式	後面4方ゴム水密
開閉方式	内外水位差による自動開閉
開閉角度	通常時開閉角度 約 8° 最大開閉角度 約 61°
備み度	1/600 以下
適用基準書	ダム・堰橋設技術基準(第)



側面図 S=1:25



正面図 S=1:25

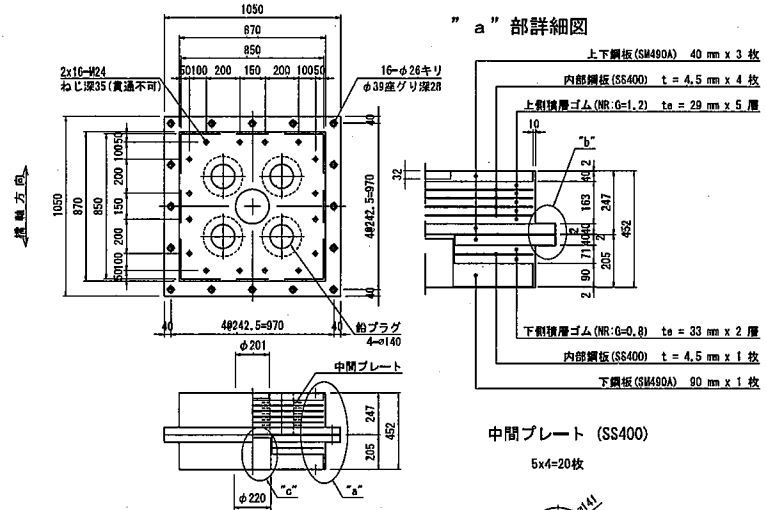
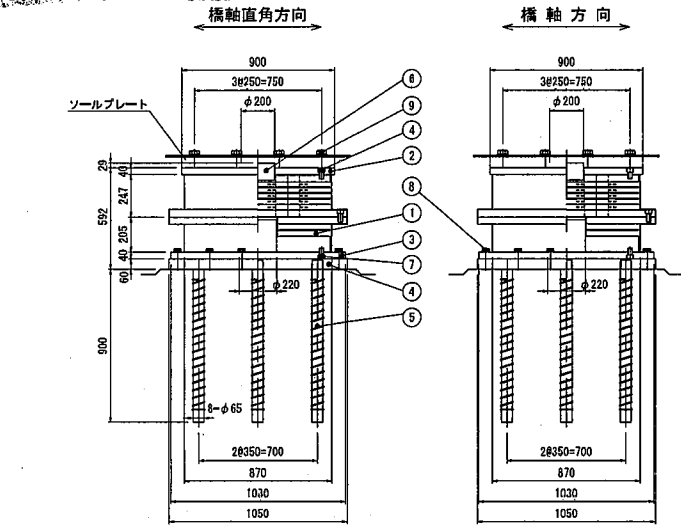


年度	令和元年度	図面番号	/
河川名			
工事名			
所属地名			
図面名	ゲート一般図		
縮尺	S=1:25	作成年月	令和 2年3月
大阪府富田土木事務所			

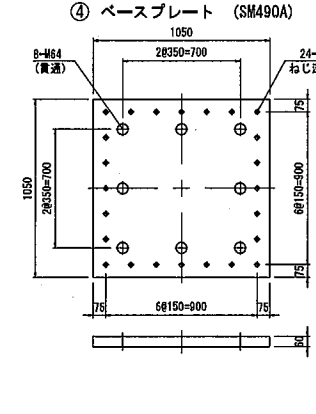
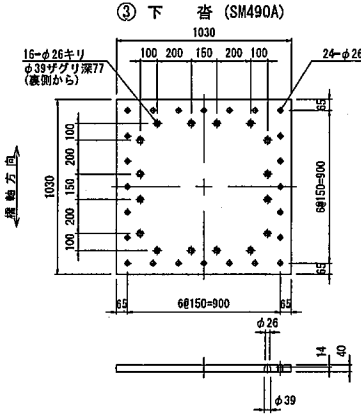
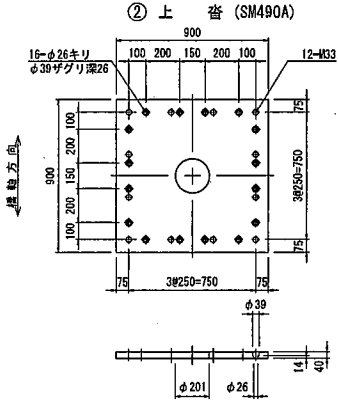
支承詳細図 (その1) S=1:15

A1, A2

① 鉛プラグ入積層ゴム支承 (NR+SM490A+SS400+Pb)

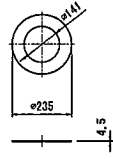


"a" 部詳細図

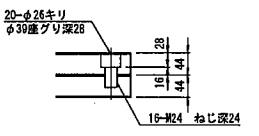


中間プレート (SS400)

5x4=20枚

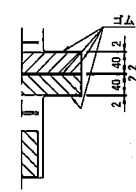


中間鋼板加工図

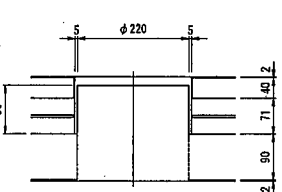


※六角穴付ボルトは、組立後シール材充填のこと。

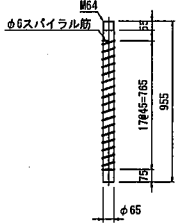
"b" 部詳細図



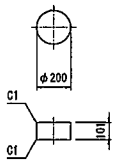
"c" 部詳細図



⑤ アンカーボルト (S35CN+SR235)



⑥ セン断キー (1) SM490A



設計条件

最大反力	Rmax	1520 kN		
最大反力 回転套用	Rmax2	1520 kN		
死荷重反力	Rd	680 kN		
照査荷重	Ri	950 kN		
力	最大横軸方向	Rheq1	1784 kN	
	最大縦軸方向	Rheq2	1250 kN	
変位量	上向き地震時	Ru	856 mm	
	照査荷重時	δol	0.55 mm	
位置	回転変位量	δr	1.50 mm	
	常時橋軸方向	ΔL1	68.6 mm	
水変位量	地震時 橋軸方向	ΔLa1	304.1 mm	
	橋軸直角方向	ΔLa2	172.7 mm	
性能	試験位置	せん断ひずみ	γs	175 %
	等価剛性	変位量	Us	253.8 mm
能	等価減衰定数	KB	6.076 kN/mm	
	許容せん断ひずみ	hB	19.3 %	
2次形状係数	γsa	250 %		
	S2	5.86		

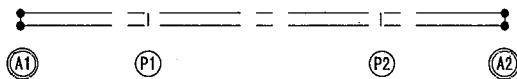
材料表 (1支承当り)

部番	品名	材質	個数	質量(kg)	備考
1	鉛プラグ入積層ゴム支承	NR+Pb+SM490A+SS400	1	1915.8	0=0.8+1.2N/mm ²
②	上 蓋	SM490A	1	237.9	
③	下 蓋	SM490A	1	325.9	
④	ベースプレート	SM490A	1	506.9	
5	アンカーボルト	S35CN+SR235	8	199.0	
⑥	せん断キー	SM490A	1	24.9	
7	六角穴付きボルト			32	8.0
⑧	六角ボルト		24	8.6	平座金(22H)付
⑨	六角ボルト		12		平座金(F35)付
全質量 (kg)				3227.0	

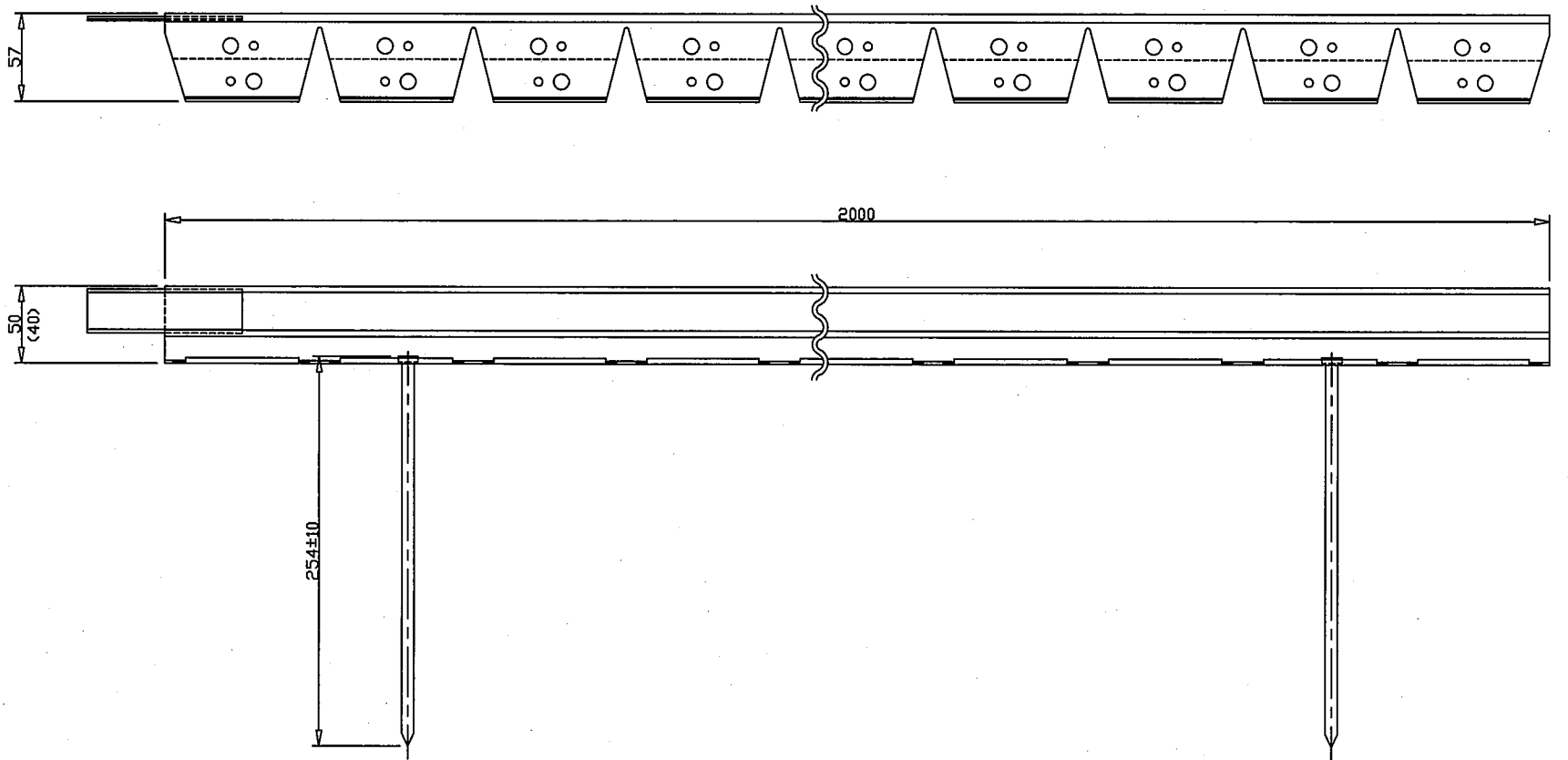
- 注1) O印は、S Gめっき仕様とする
- 注2) B は、黒色酸化皮膜処理とする
- 注3) 5 は無塗装とし、ねじ込み後樹脂系シール処理とする。ねじ部から10mm程度の範囲を高濃度亜鉛めっき(膜厚50 μm以上)とする
- 注4) 鉛プラグ入積層ゴム支承の質量は参考質量とする

- ⑦ 六角穴付きボルト M24x40 強度区分 10.9
- ⑧ 六角ボルト M24x65 強度区分 8.8 平座金(22H)
- ⑨ 六角ボルト M33xL 強度区分 8.8 平座金(F35)

配置図



平成27年度	図面番号	/
路線名	[Redacted]	
業務名	[Redacted]	
場所	[Redacted]	
図面名	支承詳細図(その1)	縮尺 S=1:15
大阪府茨木土木事務所		



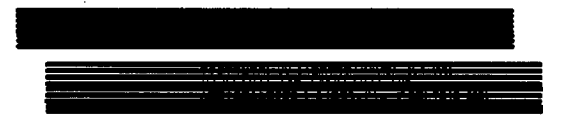
230

縮尺率 1/3
寸法許容差 ±5mm

仕 様

材質 : アルミニウム

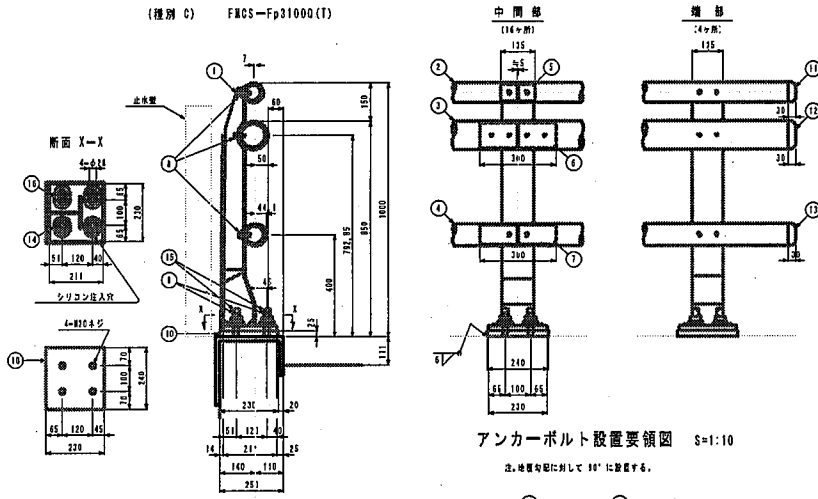
セットの内容 : 本体 2000, アンカー 7本, 接続プラグ 1個



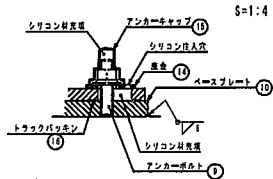
防護柵詳細図

特記、本図は製作時、現場取付を行い確認を要すること。

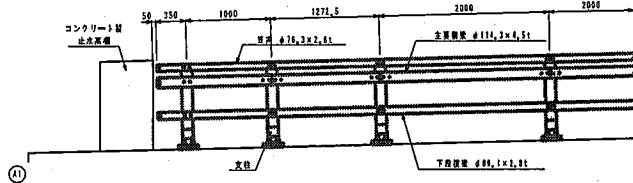
(歩行者自転車用柵兼用)
橋梁用ビーム型防護柵詳細図 S=1:10
(種別 C) FMS-Fp31000(T)



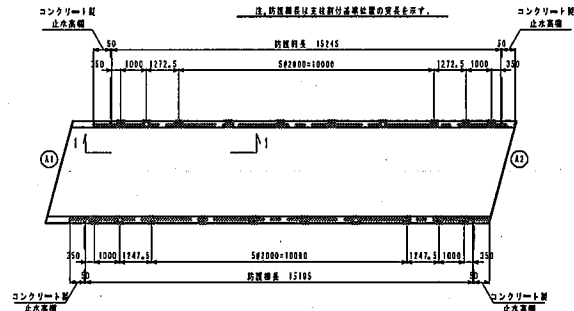
アンカーボルト腐食防止型仕様図 S=1:4



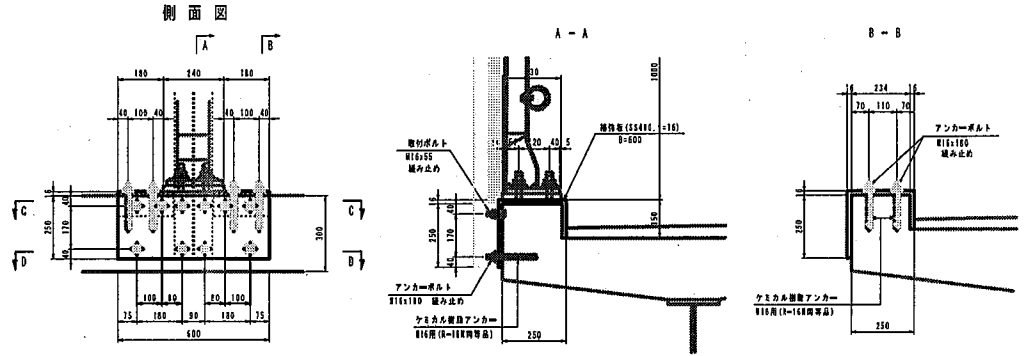
防護柵組立図 S=1:30
1-1 矢視



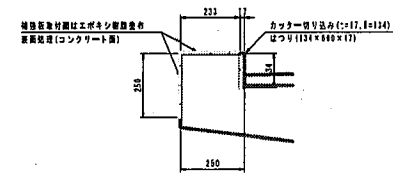
支柱割付平面図 S=1:100



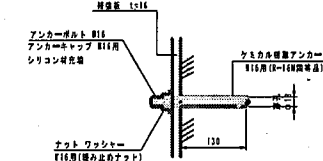
防護柵取付部地覆補強板詳細図 S=1:10



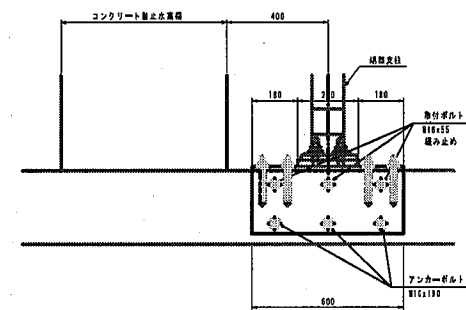
地覆下処理



アンカー詳細図 S=1:5



桁端部側面図



材料表

品番	名称	仕様	材質	単位	数量	質量	質量	質量	質量
1	支柱	H975×211×125/230	S4500	16.54	20	200.4			HD235+工場塗膜
2	管束	φ 76.2×2.8t	STE400	5.08	20,240m	153.4			
3	全長管束	φ114.3×4.5t		12.20	20,240m	269.1			
4	下設管束	φ 89.1×2.8t		5.95	20,240m	100.7			
5	スリーブ	φ 65.6×4.8t×125	STE400	0.61	16	12.0			
6		φ101.6×4.5t×200		2.22	10	51.7			
7		φ 76.2×4.2t×200		2.22	10	35.7			
8	敷設ボルト	R12×35	(S16)	0.05	152	9.1			HD235
9	アンカーボルト	R20×90 (S16)	0.20	80	24.0				
10	ベースプレート	281×230×24	S4500	10.58	20	211.4			HD235
11	キャップ	φ 76.2×30	アルミ製	0.24	4	1.0			工場塗膜
12		φ114.3×30		0.47	4	1.9			
13		φ 89.1×30		0.30	4	1.2			
14	管束	φ1×55×105	S4500	0.14	80	12.3			HD235+工場塗膜
15	アンカーキャップ	R22用	PP	-	80	-			
16	トラップパッキン	89×84×10t	ウレタンゴム	-	80	-			
				合計		1155.5 kg			

注 1. 本防護柵の設計仕様は「防護柵の設置基準・取付図」
(平成24年12月)による。
2. 本防護柵は「アンカー腐食防止型」の構造とする。
3. 止水蓋は(シリコン)樹脂塗布品とする。

- 注記
1. 施工時手作業による、現場寸法等を事前に確認し施工に反映すること。
 2. アンカー腐食防止型にあっては、事前に防腐処理を行う事。
 3. 既設柵に取替がある場合は取替時を伴った後、現場を復元すること。
 4. 防腐率は、浸漬試験メッキ(標準量550g/m²以上)とする。

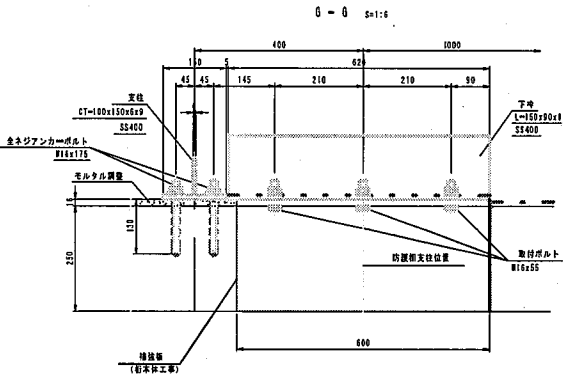
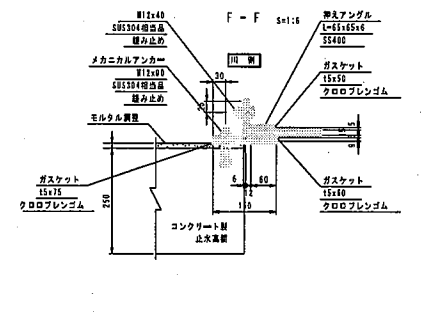
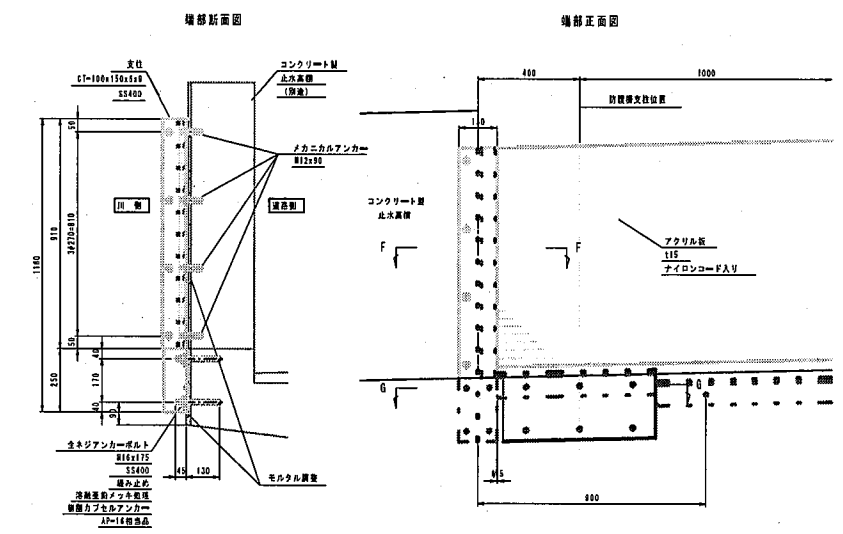
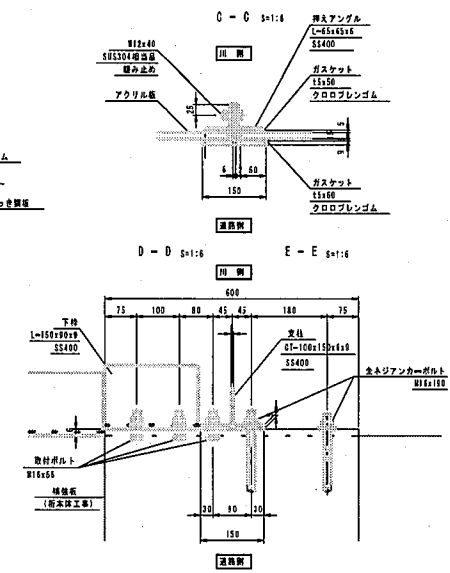
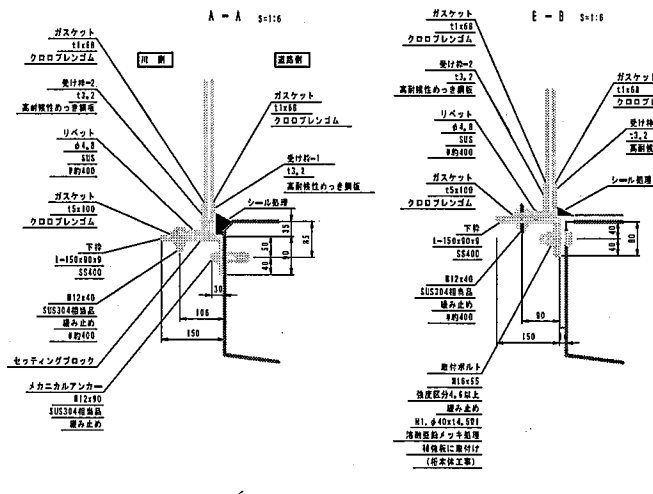
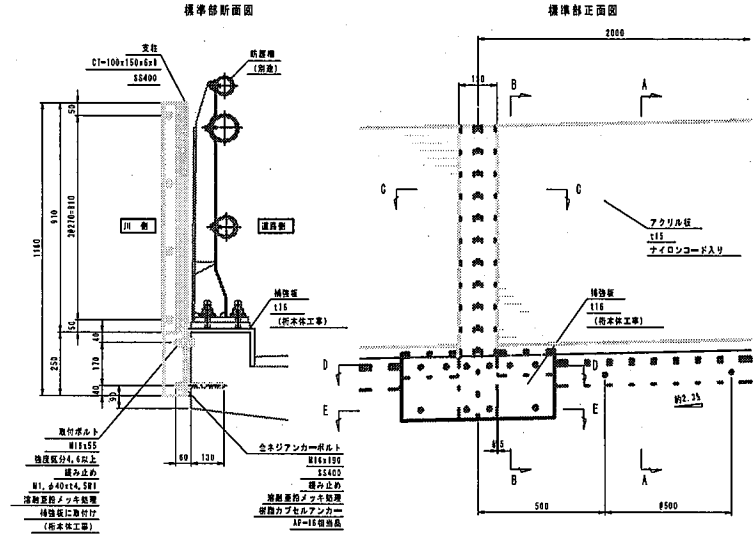
年度	設計番号	日付
設計者		
工事名		
所在地		
図面名	防護柵詳細図	
設計	監修	発行年月

大阪府富田林土木事務所

止水高欄取付け詳細図(その1)

防風壁取付詳細図 S=1:10

特記: 取付時、現場検査を行い詳細計算をすること。



材料表

数量	名称	寸法	数量	重量	1本重	数量	重量	1本重	数量	重量
1	変位	φ1=100×150×6×1	1110.0	4	15.000	16.65	66.6	SS400	φ1=100×150×6×8	15.00
2	下栓	φ12×40	1840.0	4	16.400	30.10	120.4	SS400	L=150×φ20×8	15.00
3	押入アングル	φ12×40	910.0	3	5.910	5.70	17.1	SS400	L=55×65×6	15.00
4	受け鉄-1	φ12×40	1840.0	4	4.450	7.82	31.3	高剛性鉄めっき鋼板	φ12×40×100×72	15.00
5	受け鉄-2	φ12×40	1840.0	4	2.850	4.80	19.2	高剛性鉄めっき鋼板	φ12×40×100×40	15.00
6	アクリル板	φ12×40	1110.0	4	32.27	128.1	512.4	アクリル板	φ12×40×10	15.00
7	ガスケット	φ12×40	1840.0	4	0.600	1.10	4.4	クロロプレンゴム	φ12×40	15.00
8	ガスケット	φ12×40	910.0	3	0.350	0.32	1.0	クロロプレンゴム	φ12×40	15.00
9	ガスケット	φ12×40	910.0	3	0.300	0.27	0.8	クロロプレンゴム	φ12×40	15.00
10	ガスケット	φ12×40	1840.0	4	0.040	0.15	0.6	クロロプレンゴム	φ12×40	15.00
11	セッチングブロック	φ12×40	1840.0	4	0.000	0.00	0.0	-	-	15.00
12	メカニカルアンカー	φ12×40	1840.0	4	0.000	0.00	0.0	-	-	15.00
13	メカニカルアンカー	φ12×40	1840.0	4	0.000	0.00	0.0	-	-	15.00
			数量	422.5	kg					
			重量	52.0	kg/m					

上記は標準値、80mmの材料を示す。詳細計算図に異なること。

- 注記
- SS400材の重量換算は、換算換算メッシュ (H02.55) 以上とする。
 - 変位、アンカー-ボルトは、H02.35とする。
 - アクリル板の仕様は下図のとおりとする。

色: クリア(ナイロンコード系)
 全長製造公差: 90%以上 (JIS K7361-1)
 引張強さ: 70MPa以上 (JIS K7162)
 引張弾性率: 3000MPa以上 (JIS K7162)
 引張伸び: 4%以上 (JIS K7162)
 - 止水高欄は、変位を所定の位置に設置できるように、変位設置面をモルタル層で調整すること。
 - 止水高欄と地盤との接合は、水が滲しなないようにシール処理を要すること。

年度	図面番号	9/11
河川名		
工事名		
所在地		
図面名	止水高欄取付詳細図(その1)	
縮尺	表示	製作年月

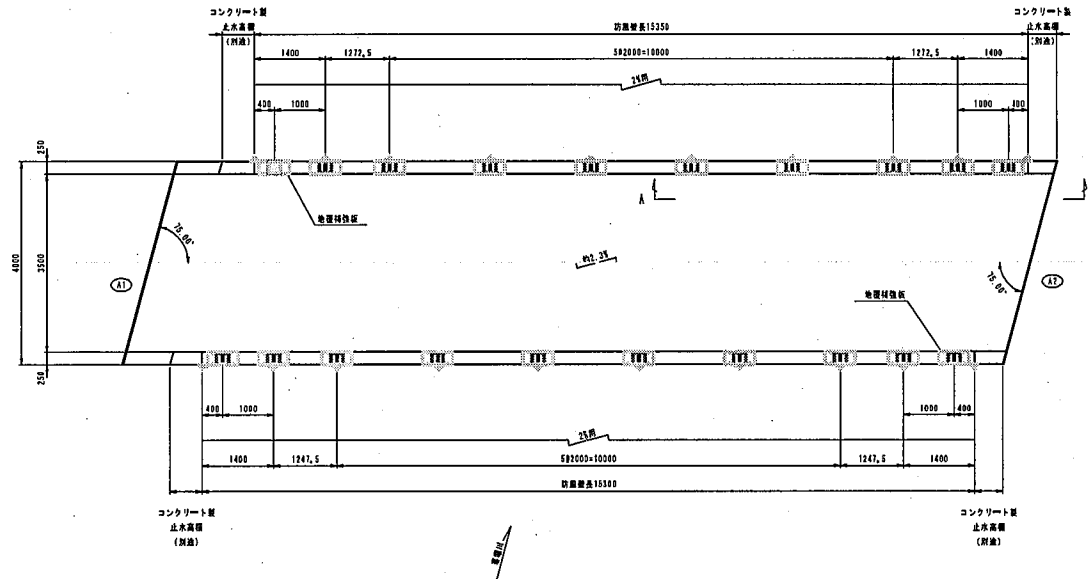
大阪府葛田村土木事務所

止水高欄取付け詳細図(その2)

平面図 S=1/6

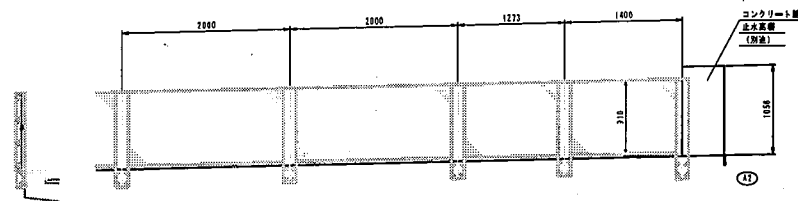
注記 1. 記入寸法はアンカーセンター間寸法とし、実長で示す。
 2. 欄杆 3. 即ち実長寸法を示す。
 3. 記入寸法は、欄杆の取付け寸法を示す。

防雨欄杆長さ 30x450
 11根 36x510



姿図 S=1/20

A - A

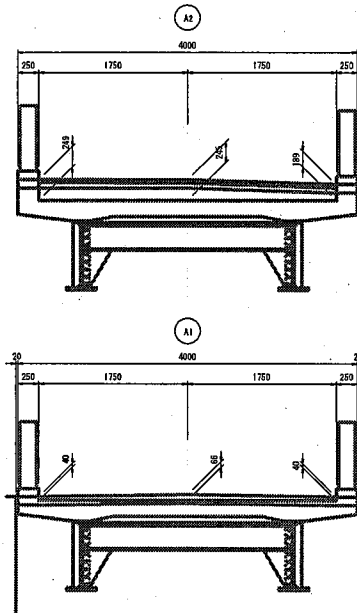


年度	図面番号	10/11
別川名		
工事名		
所在地名		
図面名	止水高欄取付け詳細図(その2)	
縮尺	縮尺	製作年月

大阪府 富田 林 土木事務所

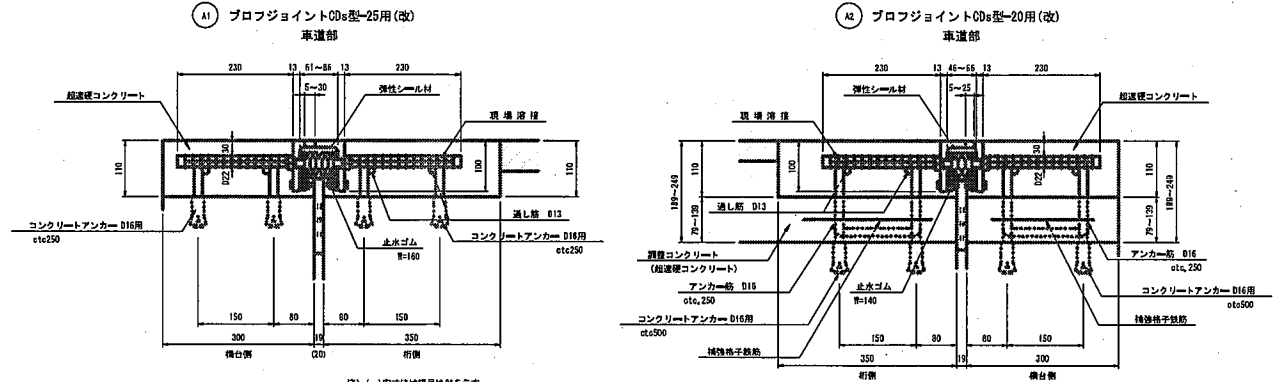
伸縮継手詳細図

断面図 S=1:30



注) 施工前に現地調査にて床高差を確認すること。

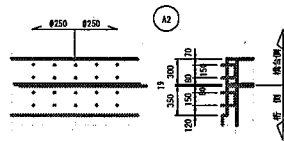
伸縮継手断面図 S=1:5



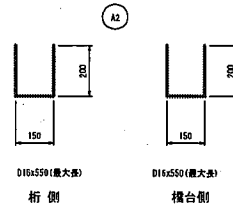
注) ()内寸法は層用材料を示す。

注) 1.調整コンクリート層は、施工前に現地調査にて確認すること。
2.A1側の固定み出し止水効果が発揮できるように、もたれ側壁及びコンクリート制止水高個へ15cm程度伸縮縫を埋め込むこと。

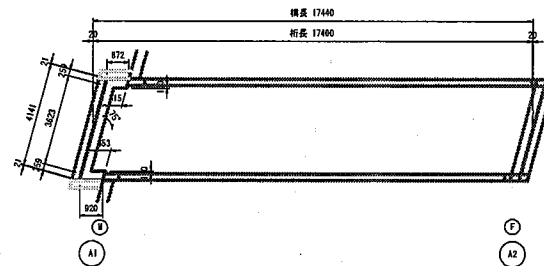
アンカー筋埋設図 S=1:30



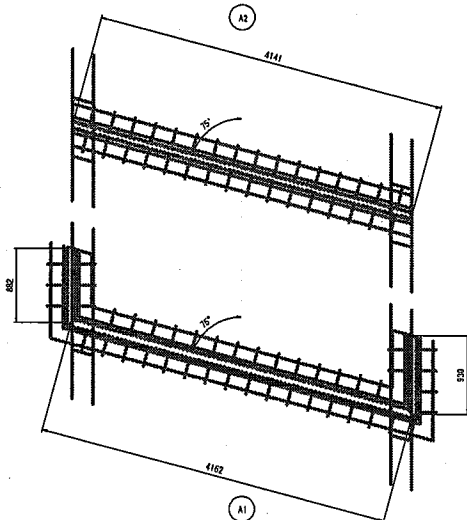
鉄筋加工図 S=1:10



位置図



平面図 S=1:30



伸縮継手材料表

名称	材質	A1数量	A2数量	合計数量	備考
プロフジョイントCDs型-25用(改)	4540 6用材	5.974 m	—	5.974 m	車道用、通し筋を含む
プロフジョイントCDs型-20用(改)	4540 6用材	—	4.141 m	4.141 m	歩道用、通し筋を含む
調整コンクリート		0.427 m ³	0.205 m ³	0.723 m ³	
コンクリートアンカー D16用		38 本	—	38 本	桁側
"		48 本	—	48 本	橋台側

注) 伸縮継手長さは、現地調査後決定する事。

アンカー筋表

寸法	A1数量	A2数量	合計数量	1本当り重量	合計重量	備考
D16x550	—	17 本	17 本	0.855 kg	14.6 kg	桁側
D16x550	—	17 本	17 本	0.855 kg	14.6 kg	橋台側

調整コンクリート工

名称	A2数量	備考
調整コンクリート	0.174 m ³	桁側
"	0.150 m ³	橋台側
コンクリートアンカー D16用	18 本	桁側
"	18 本	橋台側
補強棒子鉄筋	25 kg	桁側
"	21 kg	橋台側

(参考図)

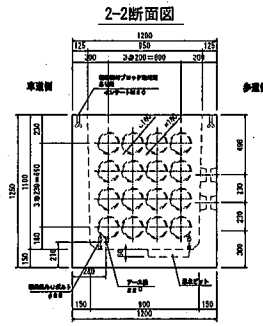
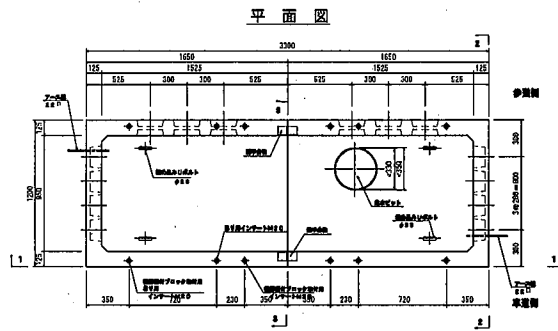
年度	調査番号	7/11
河川名	[REDACTED]	
工事名	[REDACTED]	
所在地名	[REDACTED]	
図面名	伸縮継手詳細図	
縮尺	図示	製作年月

大阪府富田林土木事務所

E1柵構造図

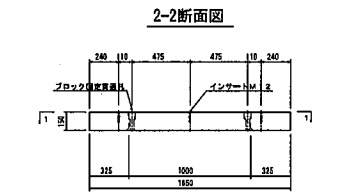
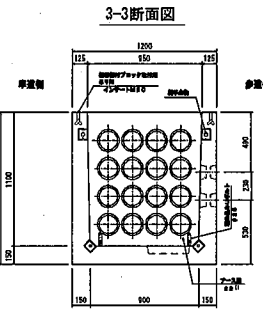
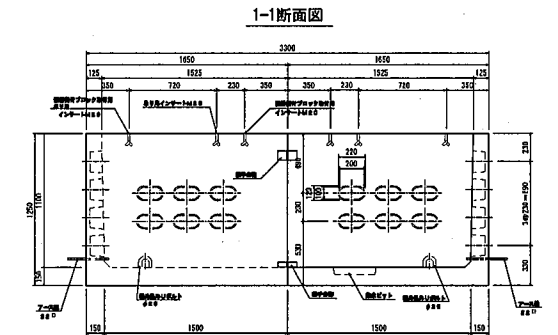
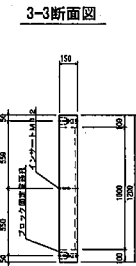
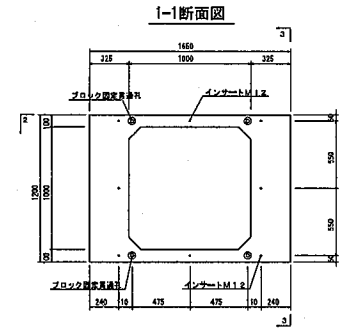
S=1:20

機器2連 (H900×H1100×L3000)

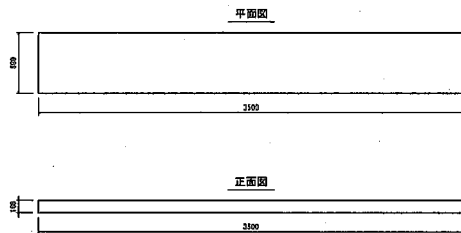


設計条件	
荷重	2.45kN (P=50kN)
荷重係数	歩掛: $\gamma = 0.1$
支柱径	$k = 0.3 \phi$
構造	鉄筋コンクリートU形構造
(許容応力度)	
設計基準強度	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$
コンクリート設計引張応力度	$\sigma_{ta} = 1.1 \text{ N/mm}^2$
鉄筋引張強度	$f_{tm} = 0.5 \text{ N/mm}^2$
鉄筋引張強度	$\sigma_{sa} = 180 \text{ N/mm}^2$

機器据付ブロック



基礎ブロック



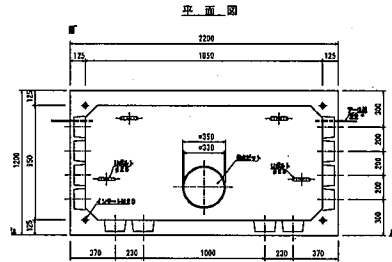
年度	令和2年度	作製	令和2年10月
姓 名	[Redacted]		
路線名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
図 面 別	E1柵構造図		
縮 尺	1/20	設計	監 査
鳳 土 木 事 務 所			24/15

E2桝構造図

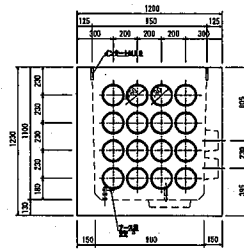
S=1:20

機器1通 (R900×H1100×L1100)

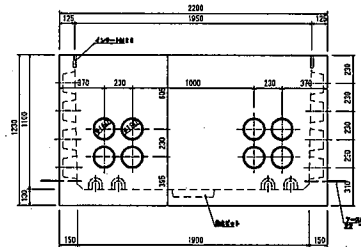
機器桝



断面 B-B

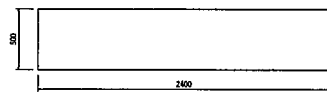


断面 A-A

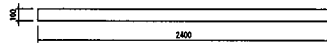


基礎ブロック

平面図

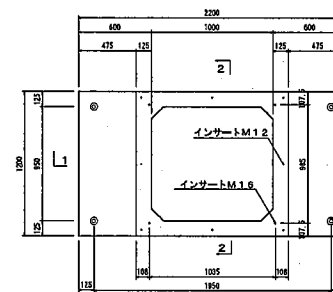


正面図

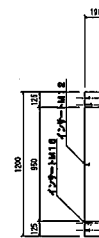


機器据付ブロック

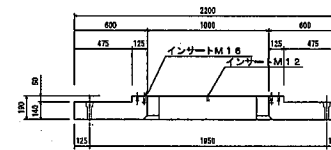
平面図



断面 2-2



断面 1-1



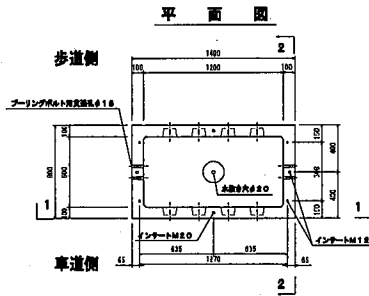
設計条件	
構造種別	非鉄筋コンクリート構造
設計基準	建築基準法 (R=8.0/10)
地震動	標準 (I=0.5)
設計	風圧コンクリート構造仕様
材料	コンクリート (f _c =25.0 N/mm ²)
鉄筋	鉄筋 (f _t =485 N/mm ²)
コンクリート	設計強度 (f _c =25.0 N/mm ²)
鉄筋	設計強度 (f _t =485 N/mm ²)
設計	設計強度 (f _c =25.0 N/mm ²)
鉄筋	設計強度 (f _t =485 N/mm ²)

年度	令和2年度	作製	令和2年 10月
地名	[Redacted]		
路線名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
図面別	E2桝構造図		
縮尺	1/20	設計	量務
風土木事務所			24 / 75

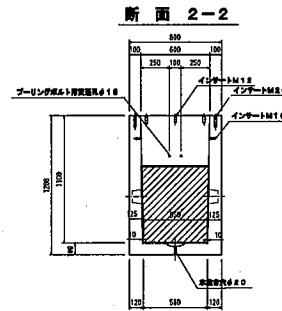
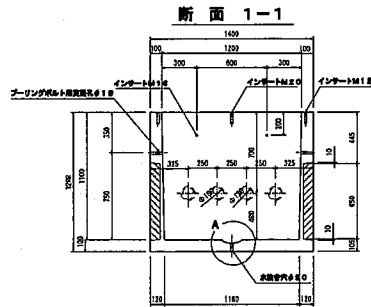
0樹構造図

S=1:20

(H200×H1100×L1200)



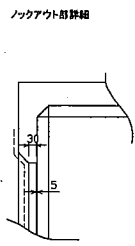
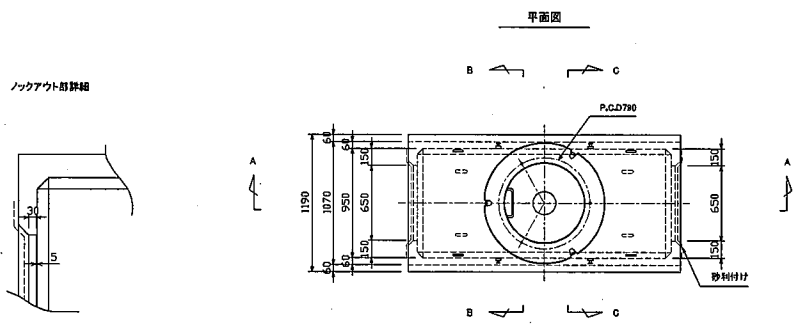
活荷重	2.4kN/m ² (P=2.0kN)
質量係数	歩道: 1=0.1
土圧係数	k=0.5
構造	既設コンクリート積石積造
材料強度	(単位: MPa)
コンクリート	設計強度 $f_c = 20$ 設計引張強度 $f_t = 1.1$
鉄筋	設計強度 $f_s = 205$ 設計引張強度 $f_t = 1.2$



年度	令和3年度	概要	令和3年 10月
地名	[Redacted]		
路線名	[Redacted]		
工事名	0樹構造図		
図面別	0樹構造図		
縮尺	1:20	設計	24/75
鳳土木事務所			

R柵構造図 S=1:20

(950 × 2200 × 1500)



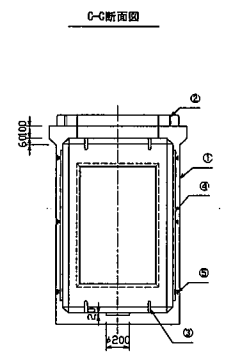
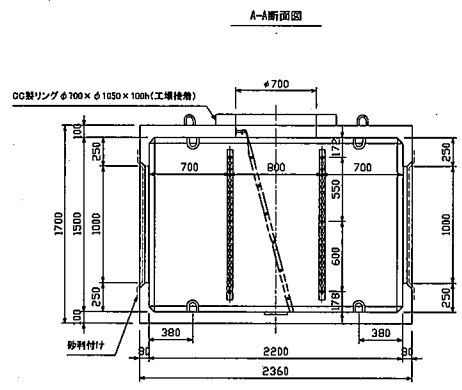
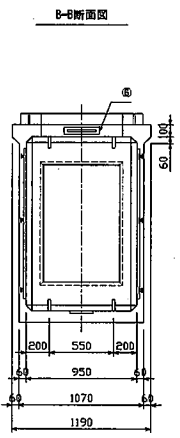
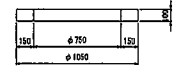
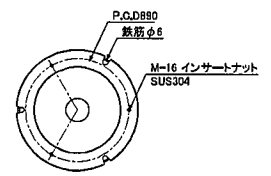
資材品

材料	名称	数量	規格	備考
-	鋼脚用ナット	1	SS400亜鉛メッキ	

設計条件

設計荷重	活荷重	745kN (1棟 50kN)
	積雪	$s = 0.1$
構造形式	工場製品	レジンコンクリート製柵型構造
内径寸法		790 × 2200 × 1500
土の単位重量		$\gamma_s = 19.4kN/m^3$
土圧係数		$K_a = 0.5$
使用材料	レジンコンクリート	設計基準曲げ強度 $\sigma_{tk} = 18.0MPa$

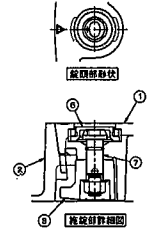
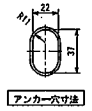
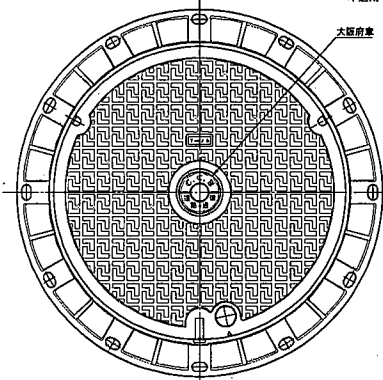
セメント製築造ブロック



年度	令和2年度	設計	令和2年 9月
地名	[Redacted]		
路線名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
図種別	R柵構造図		
縮尺	1:20	設計	番号
国土木事務所			13/75

鉄蓋構造図(1)

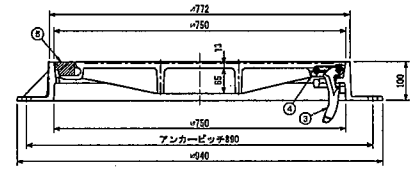
透橋柵蓋構造図
歩道用 S=1/6



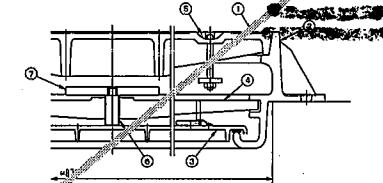
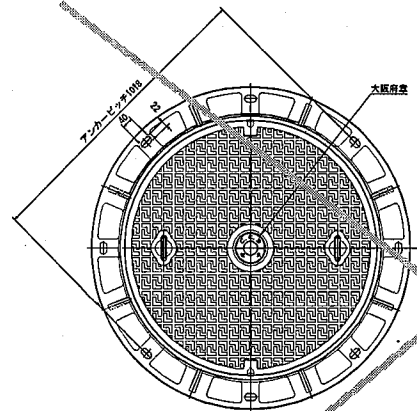
参考重量
蓋: 68kg
受枠: 50kg

8	回転錠	FCD800	1
7	ピン	ステンレス	1
6	キャップ	EPDM	1
5	ゴム垫	EPDM	1
4	蝶巻押え	NBR	1
3	蝶巻金物	FCD600	1
2	受枠	FCD600	1
1	蓋	FCD700	1

歩道用・T=2.5
一輪荷重 1000N
衝撃係数 0.4



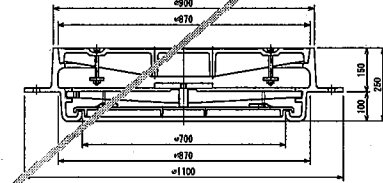
電力柵蓋構造図
S=1/6



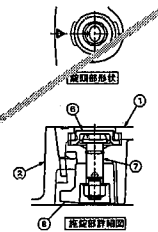
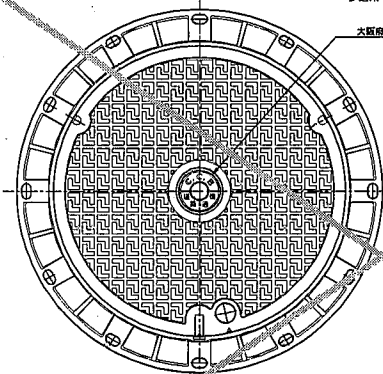
設計重量
蓋: 110kg
受枠: 158kg
中置: 36kg

8	回転錠	FCD600	1
7	ピン	ステンレス	1
6	キャップ	EPDM	1
5	ゴム垫	EPDM	1
4	蝶巻押え	NBR	1
3	蝶巻金物	FCD600	1
2	受枠	FCD600	1
1	蓋	FCD700	1

歩道用・T=2.5
一輪荷重 1000N
衝撃係数 0.4



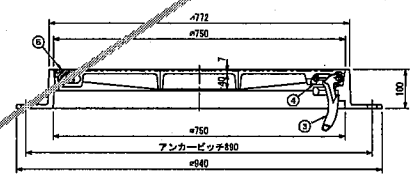
透橋柵蓋構造図
歩道用 S=1/6



参考重量
蓋: 44kg
受枠: 50kg

8	回転錠	FCD800	1
7	ピン	ステンレス	1
6	キャップ	EPDM	1
5	ゴム垫	EPDM	1
4	蝶巻押え	NBR	1
3	蝶巻金物	FCD600	1
2	受枠	FCD900	1
1	蓋	FCD700	1

歩道用・T=2.5
一輪荷重 500N
衝撃係数 0.1

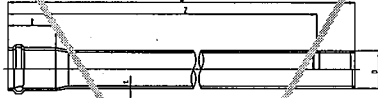


年度	令和2年度	年	月	日	令和2年 9月
地名	[Redacted]				
路線名	[Redacted]				
工事名	[Redacted]				
図別	鉄蓋構造図(1)				
縮尺	図示	設計	番号	12/75	
鳳土木事務所					

管路材詳細図(1)

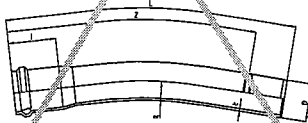
VP(フリーアクセス)・ボディ管・EGVP

共用FA管 (VP管 直管)



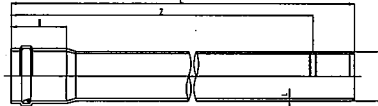
呼び径	長さ	外径	厚さ	有効長	全長
標準寸	D	t (標準寸)	Z	L	
150	223	165	6.9	1,300	5,165

共用FA管 (VP管 曲管)



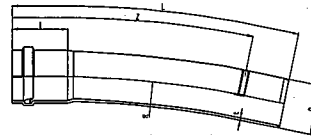
呼び径	長さ	外径	厚さ	曲率半径	有効長	全長
標準寸	D	t (標準寸)	R	Z	L	
150	225	165	6.9	5,000	1,600	1,165

ボディ管 (VP管 直管)



呼び径	長さ	外径	厚さ	有効長	全長
標準寸	D	t (標準寸)	Z	L	
200	250	216	10.2	2,500	2,600
250	270	247	12.7	2,500	2,710

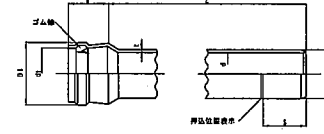
ボディ管 (VP管 曲管)



呼び径	長さ	外径	厚さ	曲率半径	有効長	全長
標準寸	D	t (標準寸)	R	Z	L	
200	250	216	10.2	5,000	1,900	1,160
250	270	247	12.7	10,000	1,900	1,210

ゴム輪受口片受直管 (EGVP)

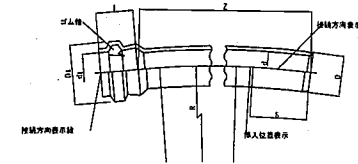
φ100・φ125はVPと寸法が異なるため本図を共用とする。



呼び径	長さ	外径	厚さ	有効長	全長
標準寸	D	t (標準寸)	Z	L	
75	85.0	55.2	125.7	77	95.1
100	114.0	55.4	155.0	100	115.5
125	142.7	55.5	184.4	125	144.2
150	170.5	55.6	213.0	150	172.2

ゴム輪受口片受曲管 (EGVP)

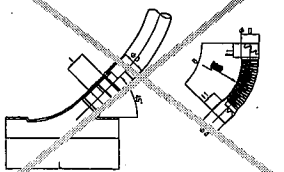
φ100・φ125はVPと寸法が異なるため本図を共用とする。



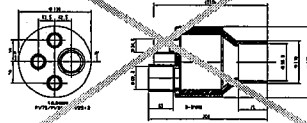
呼び径	長さ	外径	厚さ	有効長	全長
標準寸	D	t (標準寸)	Z	L	
75	85.0	55.2	125.7	77	95.1
100	114.0	55.4	155.0	100	115.5
125	142.7	55.5	184.4	125	144.2
150	170.5	55.6	213.0	150	172.2

注：行種別は、製造メーカーの選定により異なる。

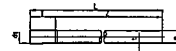
共用FA分岐管



引込分散継手



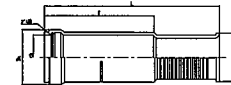
さや管 (SU管 直管)



呼び径	長さ	外径	厚さ	有効長	全長
標準寸	D	t (標準寸)	Z	L	
20	34.6	24	2.9	5,000	5,110
50	54.4	44	2.9	5,000	5,110

ダクトスリーブ (EGVP)

φ100・φ125はVPと寸法が異なるため本図を共用とする。



呼び径	長さ	外径	厚さ	有効長	全長
標準寸	D	t (標準寸)	Z	L	
100	112.0	145.2	232.0	21	450.0
125	142.0	175.2	262.0	21	480.0

注：製造メーカーの選定により異なる。

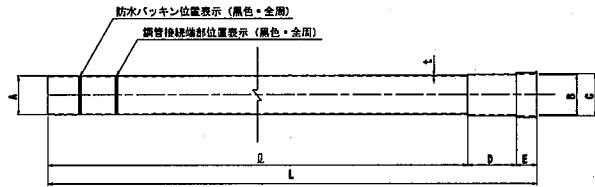
呼び径	本線側				分岐側				
	1 (標準寸)	2 (標準寸)	3 (標準寸)	4 (標準寸)	5 (標準寸)	6 (標準寸)	7 (標準寸)	8 (標準寸)	
150×50	60	15	5.0	410	45°	300	66.8	60	63
150×75	66	15	5.5	418	45°	300	66.8	66	75

年 度	令和2年度	作 業 月	令和2年 9月
地 名	[Redacted]		
路 線 名	[Redacted]		
工 事 名	[Redacted]		
図 書 名	管路材詳細図(1)		
種 別	概 算	設 計	量 算
縮 尺	1/50	1/50	1/50
製 図 者	風 土 木 事 務 所		

管路材詳細図(2)

KGP - PV

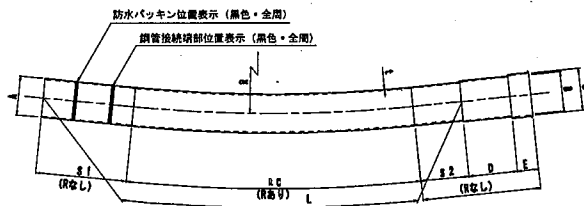
ケーブル保護鋼管直管 (KGP)



寸法 呼び径	管の外径		継合部			管の厚さ		管の長さ L	管の重量 kg/m	標準重量 (60ヶ所)
	A	B	C	D	E	t	R			
80	89.1	91.2	94.0	160	76	3.0	9500	3725	600	7.4
100	114.3	116.4	123.4	160	76			3725	550	8.8
125	139.8	142.0	152.0	175	76			3750	600	10.8

単位: mm

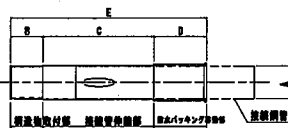
ケーブル保護鋼管曲管 (KGP)



寸法 呼び径	管の外径		継合部			管の厚さ		管の長さ L	管の重量 kg/m	標準重量 (60ヶ所)
	A	B	C	D	E	t	R			
80	89.1	91.2	94.0	160	76	3.0	9500	1600	7.4	
100	114.3	116.4	123.4	160	76				8.8	
125	139.8	142.0	152.0	175	76				10.8	

単位: mm

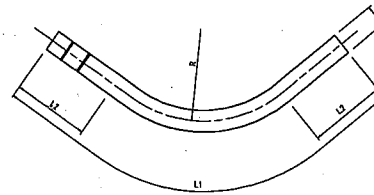
伸縮性取付管 (KGP)



寸法 呼び径	鋼管		鋼管取付部		伸縮性取付管 長さ
	A	B	C	D	
80	89.1	140	450	225	815
100	114.3	140	450	225	815
125	139.8	140	475	225	840

単位: mm

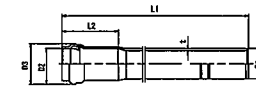
KGP ベンド管



呼び径	L1	L2	D1	t	R
125	2215	500	140	3.0	800
100	1632	300	114	2.6	600
80	1812	300	89	2.3	600

(単位: mm)

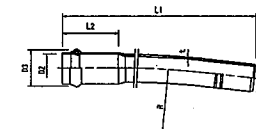
P-V 直管



呼び径	L1	L2	D1	D2	D3	t
75	5290	182	96	97.3	129	6.5
50	4110	144	60	61	84	4.5
25	4075	115	34	34.6	50	3.0

(単位: mm)

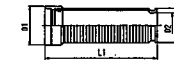
P-V 曲管



呼び径	L1	L2	D1	D2	D3	t	R
75	1140	182	96	97.3	129	6.5	3000, 10000
50	1110	144	60	61	84	4.5	3000, 10000

(単位: mm)

P-V ダクトスリーブ



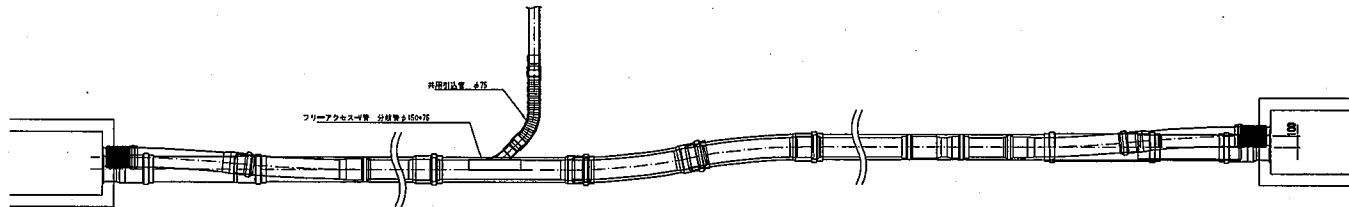
呼び径	L1	D1	D2	D3
75	360	124	83	110
50	225	83	51	78
25	158	62	28	48

(単位: mm)

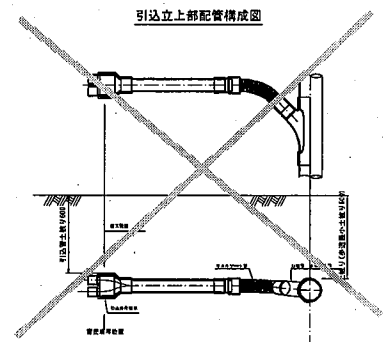
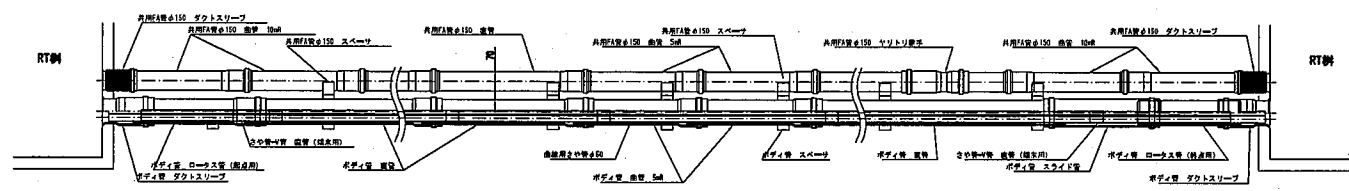
年	昭和29年	月	令和2年	日	6月
地名	[Redacted]				
路線名	[Redacted]				
工事名	[Redacted]				
図面別	管路材詳細図(2)				
縮尺	KS	設計	[Redacted]		
風土木事務所					13/75

共用FA・ボデイ管 標準構成図

平面図



側面図



ボデイ管φ150と立地管の組合せ

立地管	φ75	φ90	φ100	φ110	φ120
ボデイ管	φ150	φ150	φ150	φ150	φ150

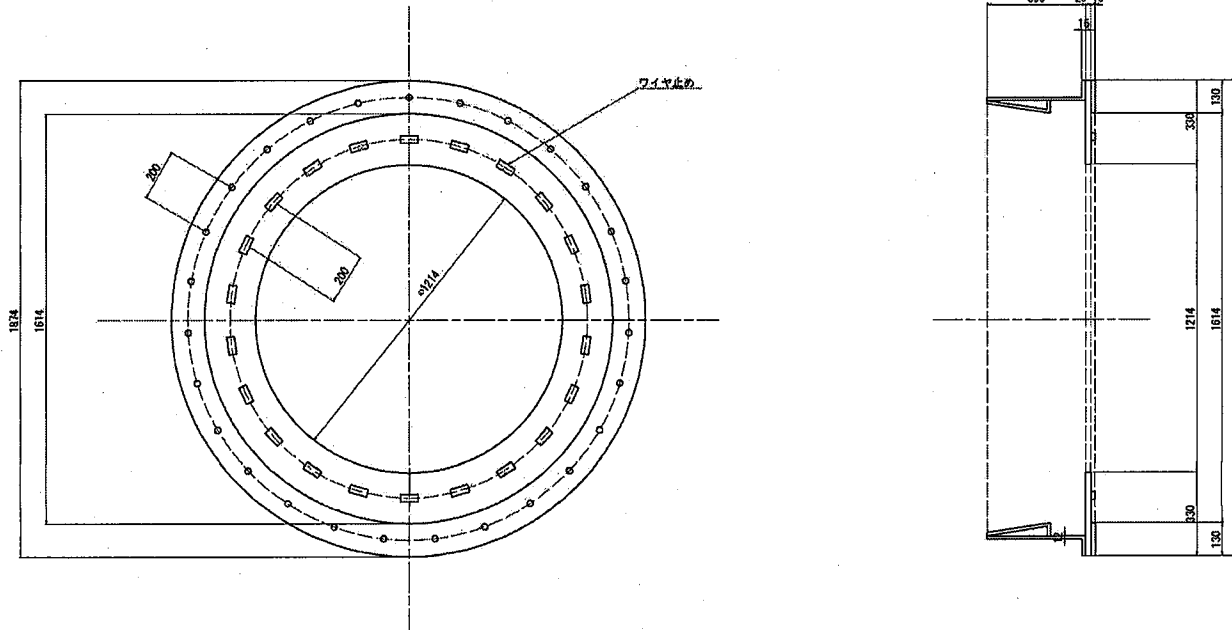
ボデイ管φ150と立地管の組合せ

立地管	φ75	φ90	φ100	φ110	φ120
ボデイ管	φ150	φ150	φ150	φ150	φ150

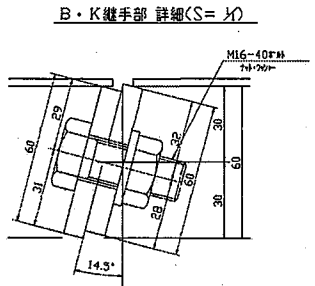
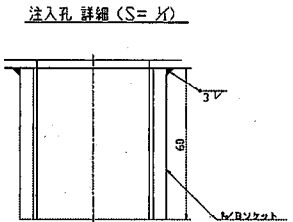
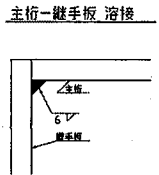
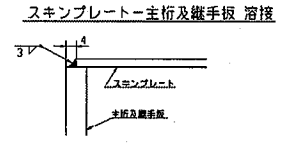
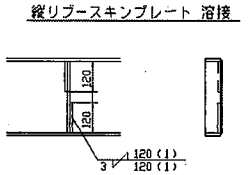
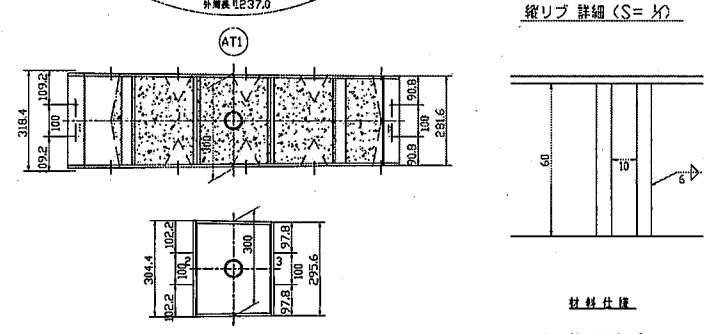
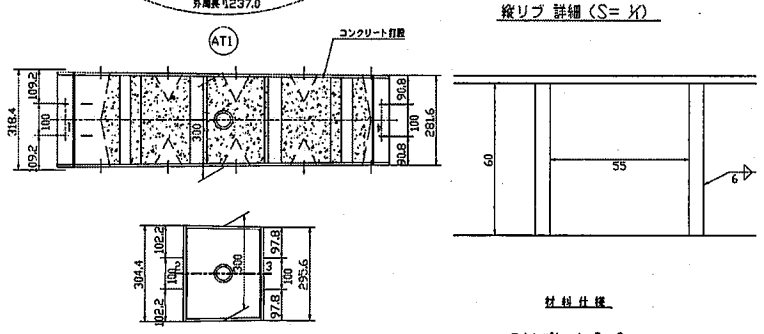
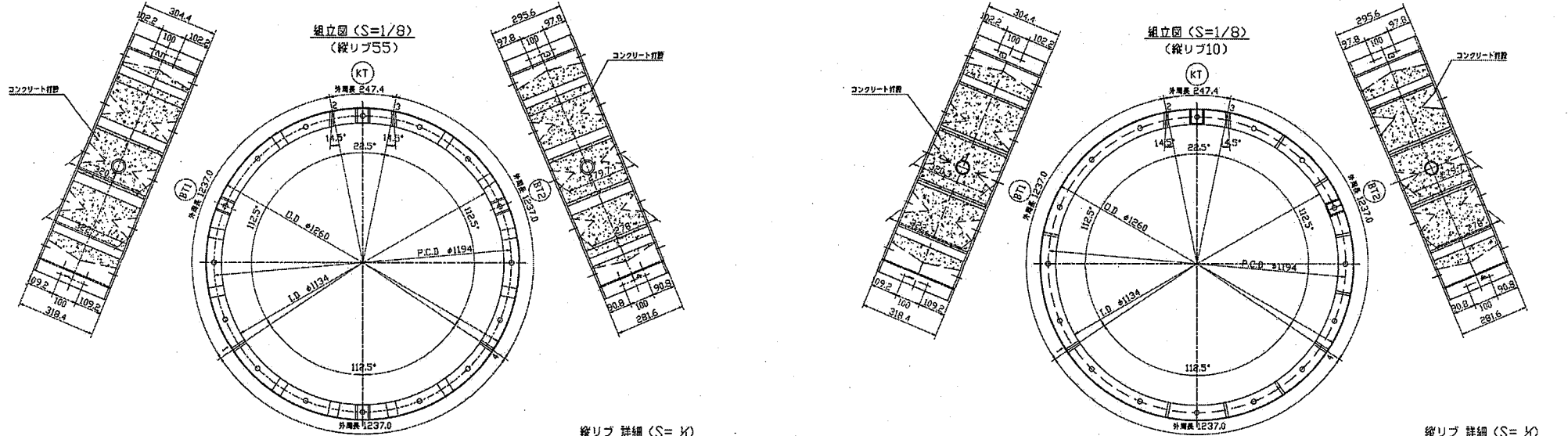
ボデイ管φ150と立地管の組合せ

立地管	φ75	φ90	φ100	φ110	φ120	φ130	φ140	φ150
ボデイ管	φ150	φ150	φ150	φ150	φ150	φ150	φ150	φ150

年度	令和2年度	計画	令和2年 9月
地名	[Redacted]		
路線名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
図面別	共用FA・ボデイ管 標準構成図		
縮尺	※	設計	番号
鳳土木事務所			13 / 75



スチールセグメント (R=10、テーパ=44mm) $\phi 1260 \times 300 \times 63$ 縦リブ10mm, 55mm

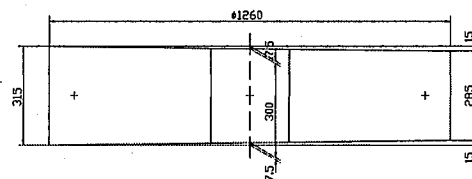
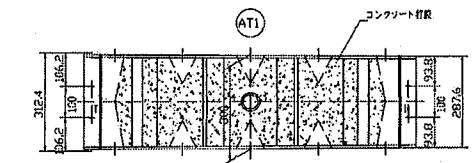
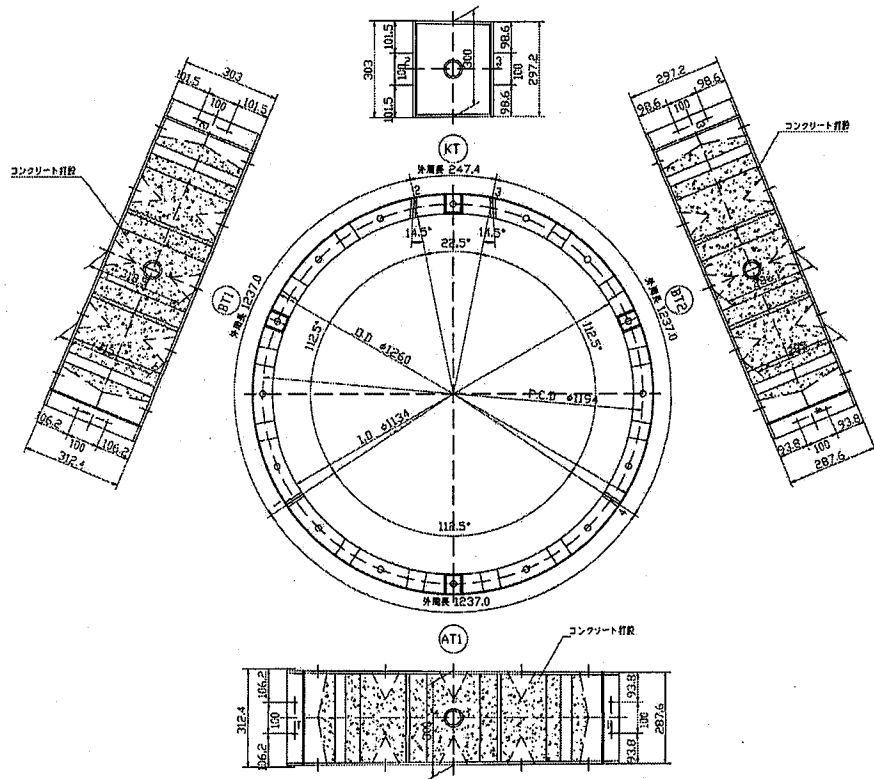


仕様

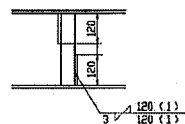
外径	$\phi 1260$
幅	322-278 (テーパ=44)
高さ	63
分割数	4 分割
付属品	注入孔
材質	ボルト (M16-40) (4.6)
材番	SM490A
塗装	外面ヤビ止1回

スチールセグメント (R=15、テーパ=30mm) $\phi 1260 \times 300 \times 63$ 縦リブ55mm

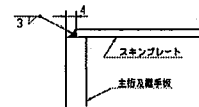
組立図 (S=1/8)



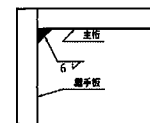
縦リブ-スキムプレート 溶接



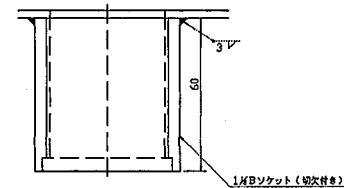
スキムプレート-主桁及継手板 溶接



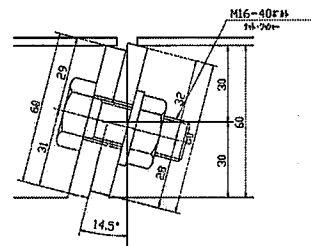
主桁-継手板 溶接



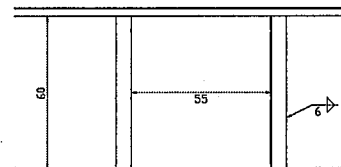
注入孔 詳細 (S=1/4)



B・K継手部 詳細 (S=1/4)



縦リブ 詳細 (S=1/4)



材料仕様

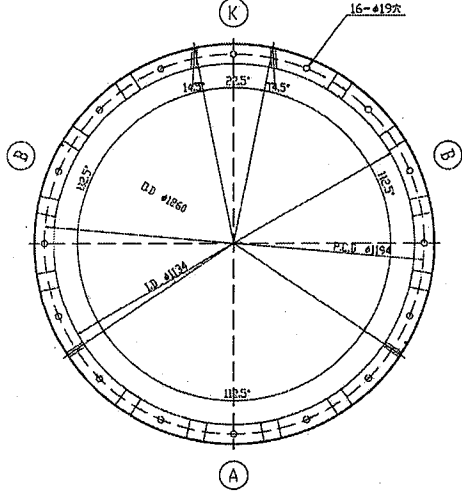
スキムプレート E-3
主桁 E-8X60
縦リブ E-95X60
継手板 A E-8X60
継手板 BK E-8X60

仕様

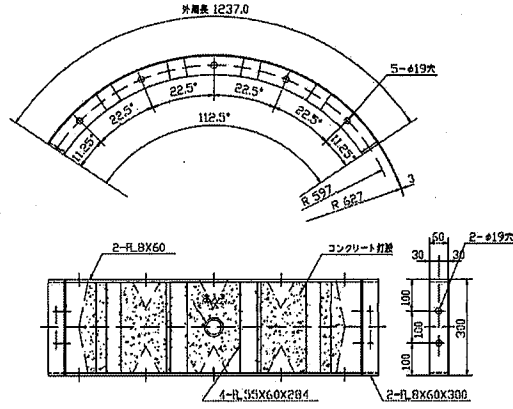
外径 41260
幅 315-285(テーパ=30)
高さ 63
分割数 4 分割
付属品 注入孔 1/4Rソケット (切欠付*)
ボルト (M16-40) (4.6)
材質 SM490A
塗装 外周サビ止め

スチールセグメント(普通) $\phi 1260 \times 300 \times 63$ 縦リブ10mm, 55mm

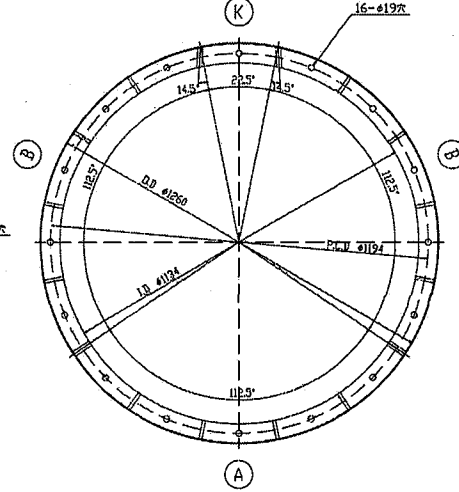
組立図 (S=1/2)
(縦リブ55)



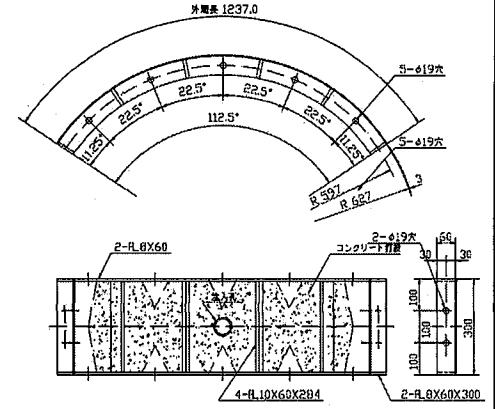
Aセグメント (S=1/2)



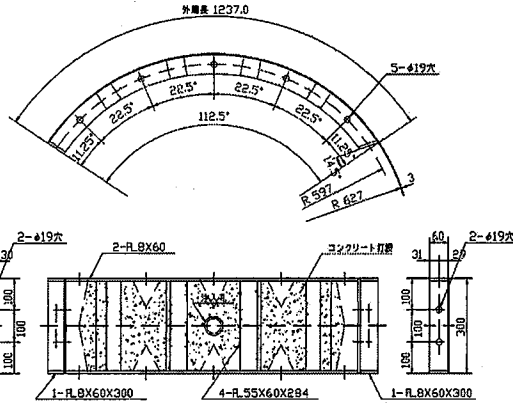
組立図 (S=1/2)
(縦リブ10)



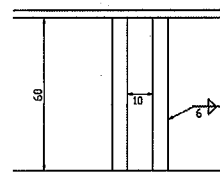
Aセグメント (S=1/2)



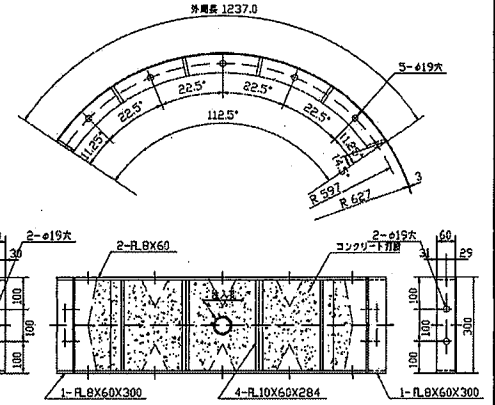
Bセグメント (S=1/2)



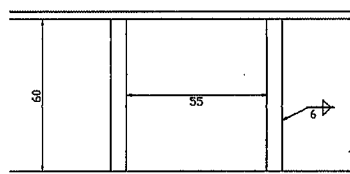
縦リブ 詳細 (S=1/2)



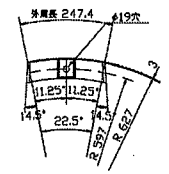
Bセグメント (S=1/2)



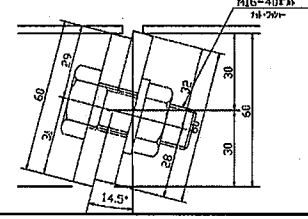
縦リブ 詳細 (S=1/2)



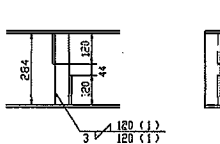
Kセグメント (S=1/2)



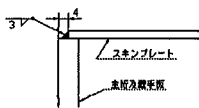
B・K 継手部 詳細 (S=1/2)



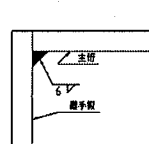
縦リブ-スキムプレート 溶接



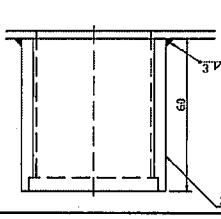
スキムプレート-主桁及継手板 溶接



主桁-継手板 溶接

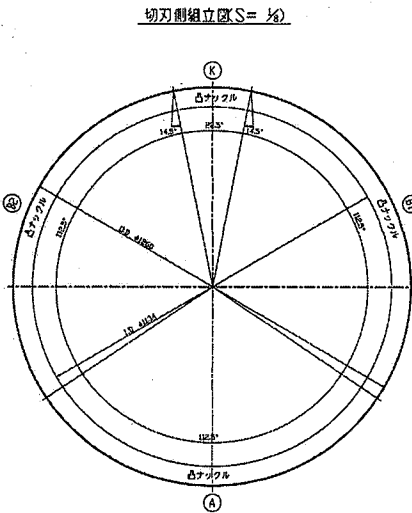
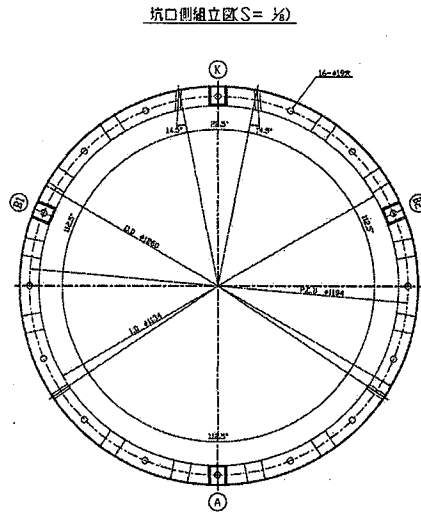


注入孔 詳細 (S=1/2)

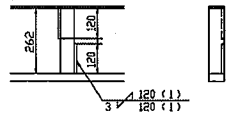


- 仕様
- 外径 $\phi 1260$
 - 幅 300
 - 高さ 63
 - 分割数 4分割
 - 付属品 注入孔 14.5°ソケット (組立時)
 - ボルト (M16-40) (4.6)
 - 材質 SM490A
 - 塗装 外面ペシ1層

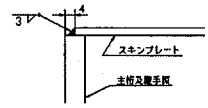
スチールセグメント(ナックル凸) φ1260X300X63 縦リブ55mm



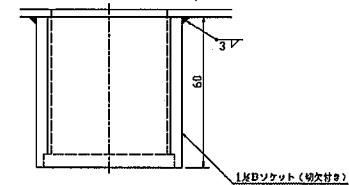
縦リブスキムプレート 溶接



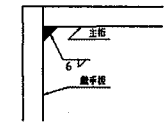
スキムプレート-主桁及継手板 溶接



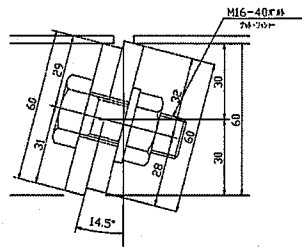
注入孔 詳細(S=1/6)



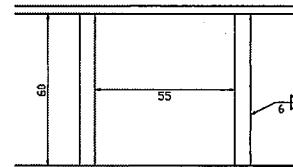
主桁-継手板 溶接



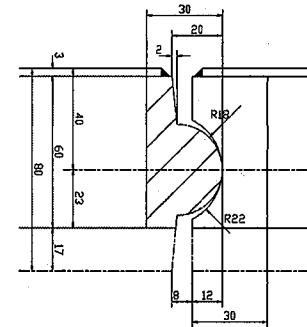
B・K継手部 詳細(S=1/6)



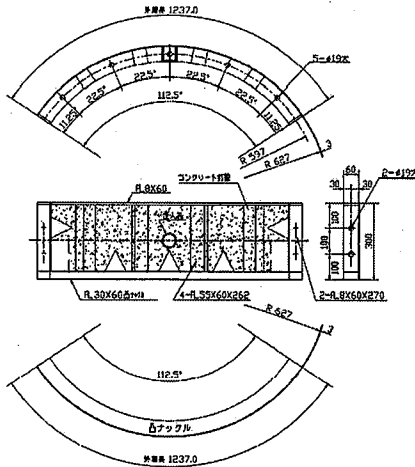
縦リブ 詳細(S=1/6)



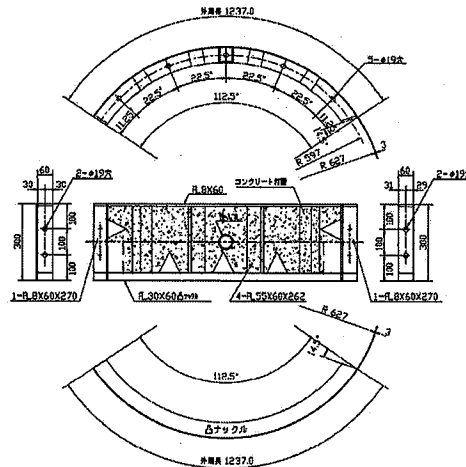
ナックル部詳細(S=1/6)



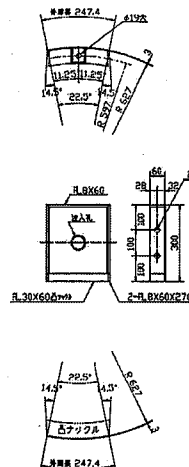
Aセグメント(S=1/6)



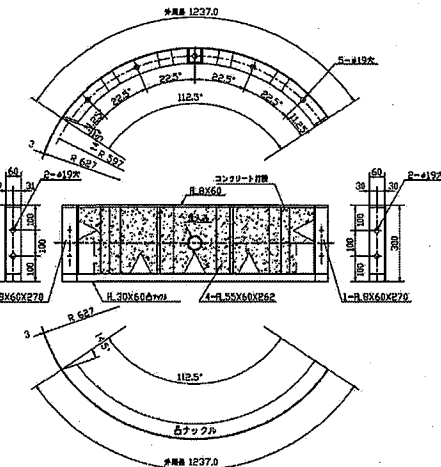
B1セグメント(S=1/6)



Kセグメント(S=1/6)



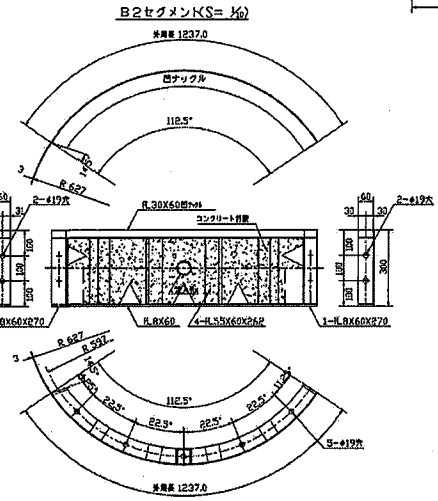
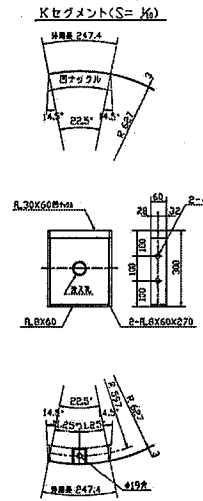
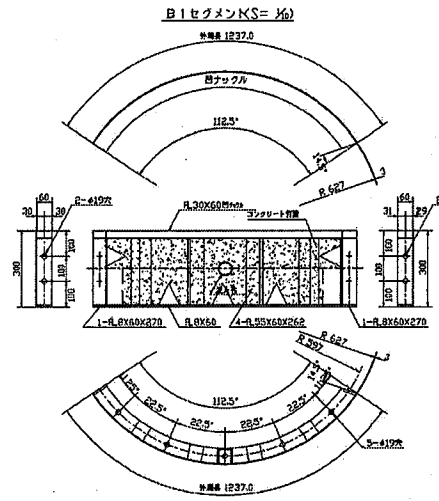
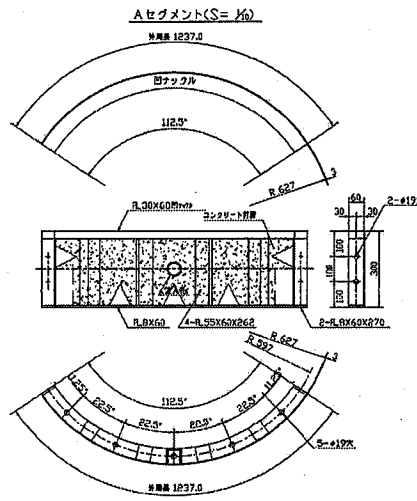
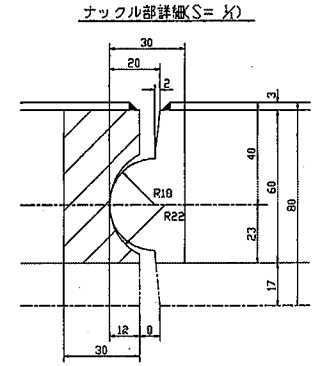
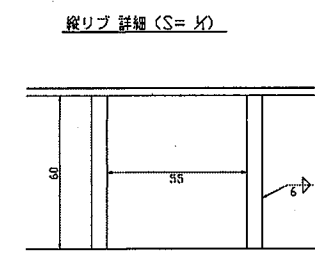
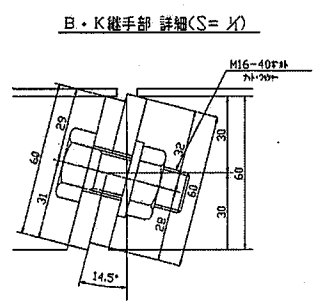
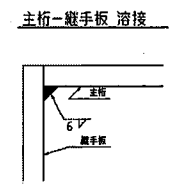
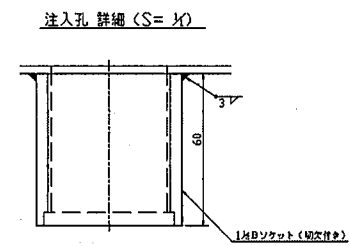
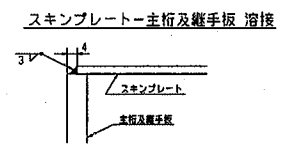
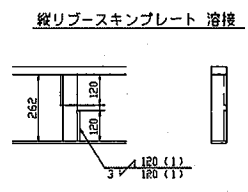
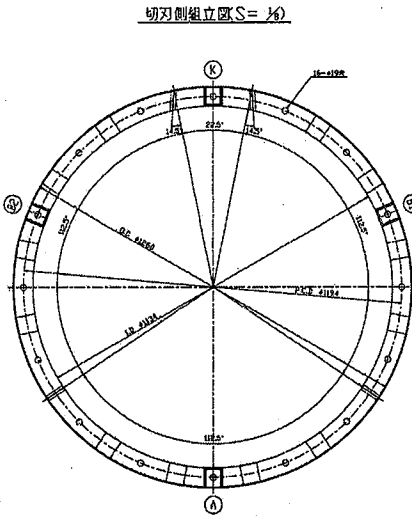
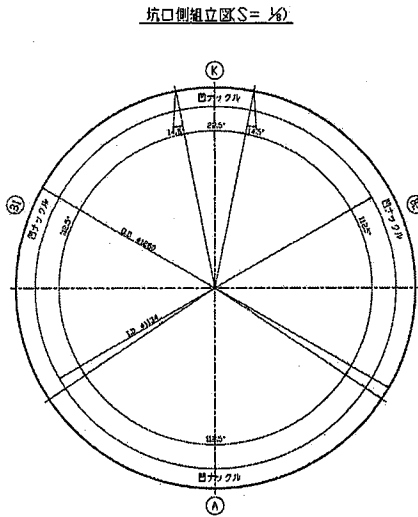
B2セグメント(S=1/6)



仕様

- 外径 φ1260
- 幅 300
- 高さ 63
- 分割数 4分割
- 付属品 注入孔 1/ボソケット(切欠付*)
- ボルト(M16-40)(4.6)
- 材質 SM490A
- 塗装 外面塩ビ止1回

スチールセグメント(ナックル凹) φ1260X300X63 縦リブ55mm

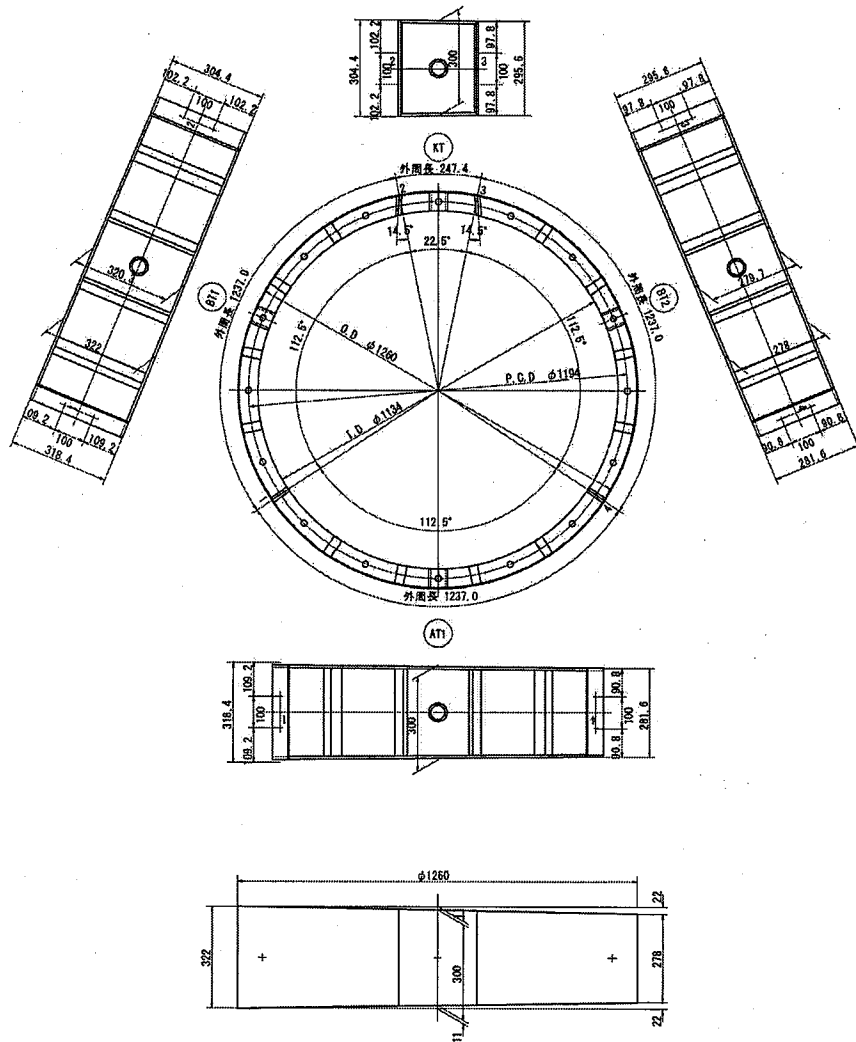


仕様

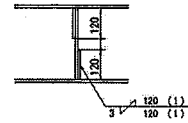
外径	φ1260
幅	300
高さ	63
分割数	4分割
付属品	注入孔, 1×Bソケット(切欠付※)
ボルト	M16-40(4.6)
材質	SM490A
塗装	外面サビ止1回

シールド工法用鋼製セグメント構造一般図(2) 縮尺 1:8
 スチールセグメント(R=10_28タイプ) φ1260X300X63 44テーパ

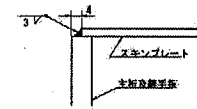
スチールセグメント(R=10_28タイプ) 縮尺 1:8



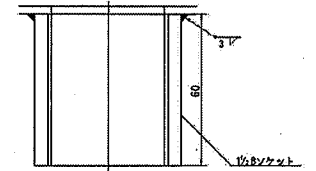
縦リブ-スキンプレート 溶接 縮尺 1:8



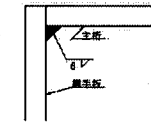
スキンプレート-主折及継手板 溶接 縮尺 1:8



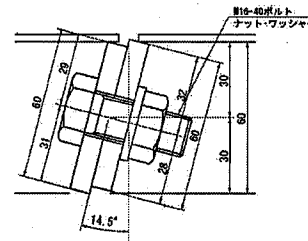
注入孔 詳細 縮尺 1:1



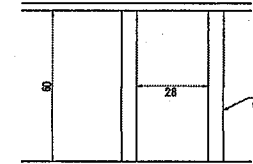
主折-継手板 溶接 縮尺 1:8



B-K継手部 詳細 縮尺 1:1



縦リブ 詳細 縮尺 1:1



材料仕様

スキンプレート R-3
 主折 R-8 X 60
 縦リブ R-10 X 60
 継手板 A R-8 X 60
 継手板 B R-8 X 60

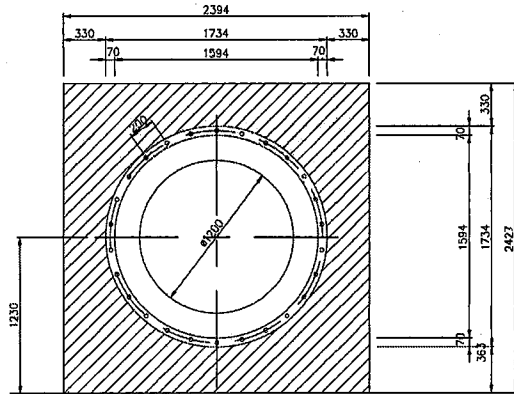
仕様

外径 φ1260
 幅 322-278 (テーパ量44)
 高さ 63
 分割数 4分割
 付属品 注入孔
 ボルト (M16-40) (4.6)
 材質 S490A
 塗装 外面サビ止1回

発進坑口構造図

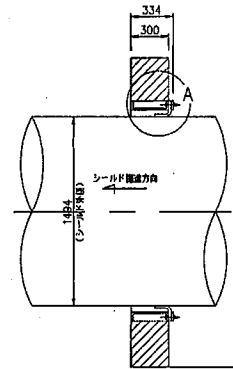
エントランス

S=1/20



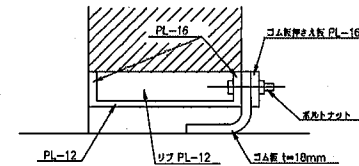
エントランス側面図

S=1/20



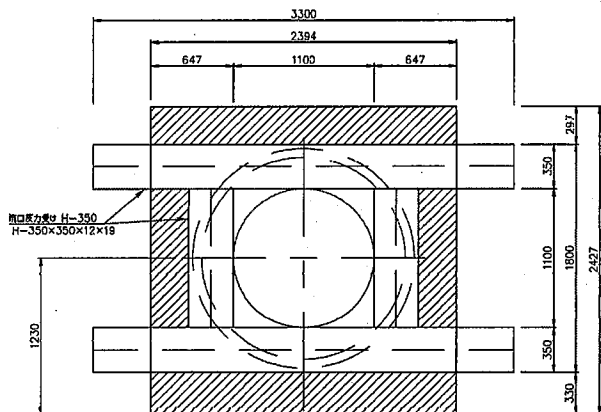
A部詳細図

S=1/5



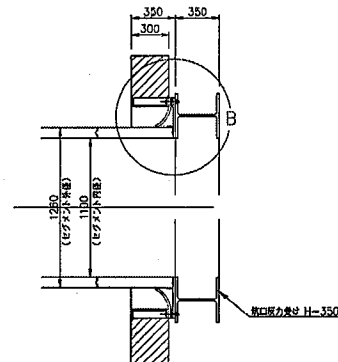
坑口反力受

S=1/20



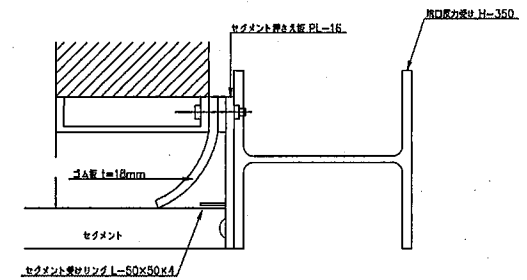
坑口反力受け側面図

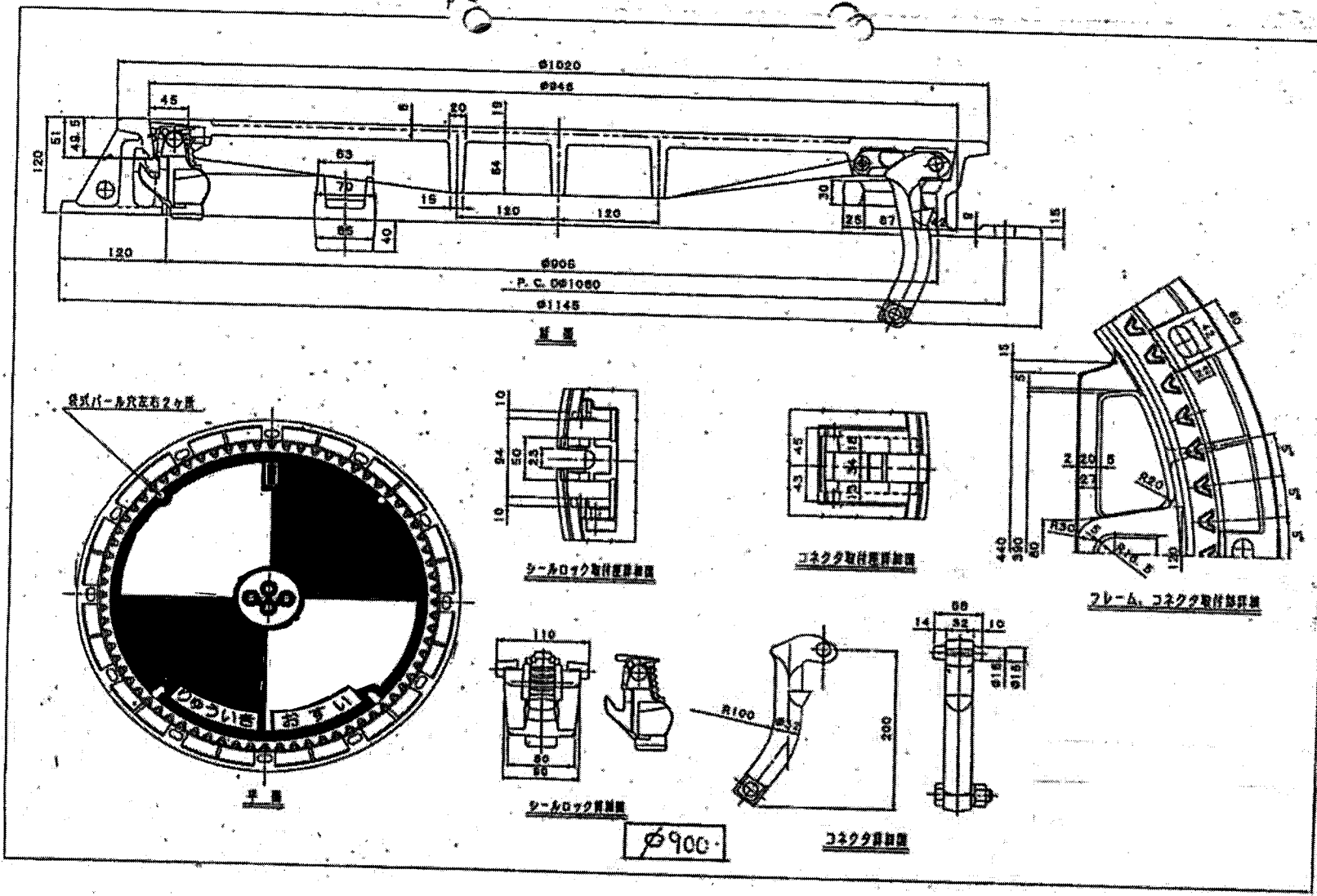
S=1/20



B部詳細図

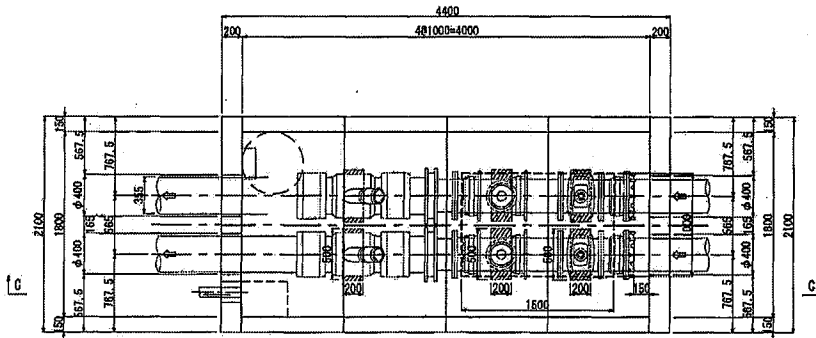
S=1/5



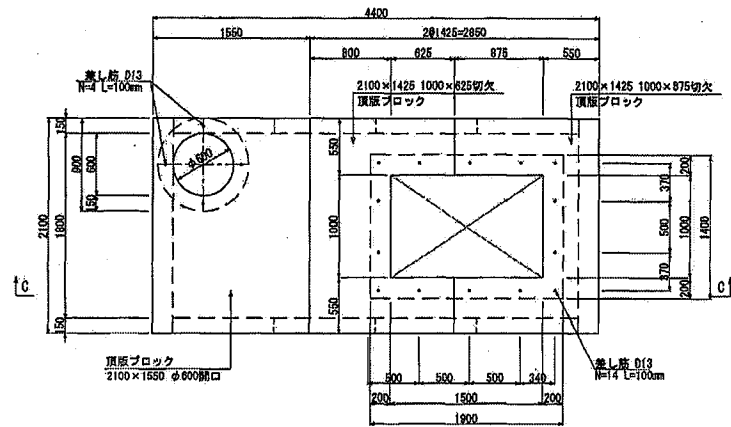


弁室構造図 S=1:25
(上流側)

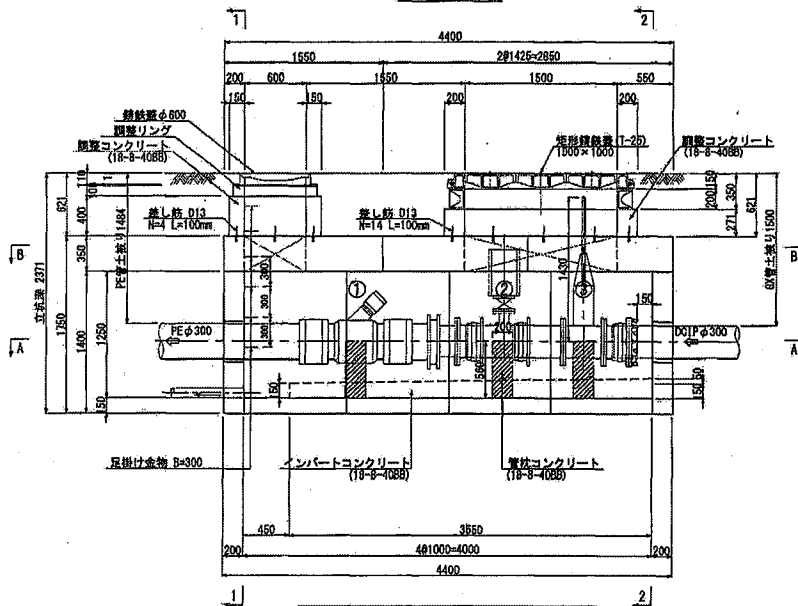
A-A 断面



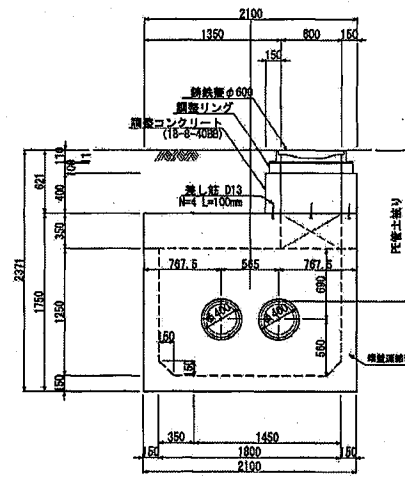
B-B 断面



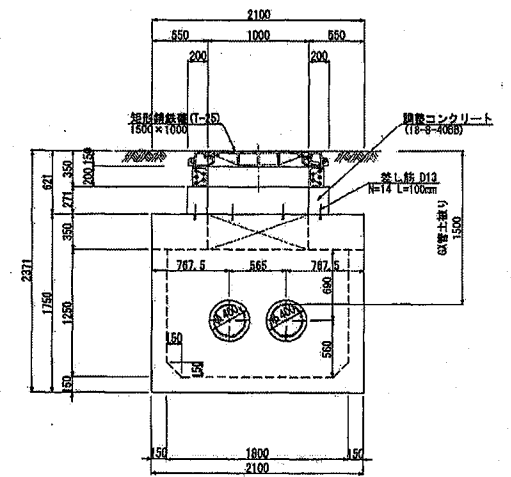
C-C 断面



1-1 断面



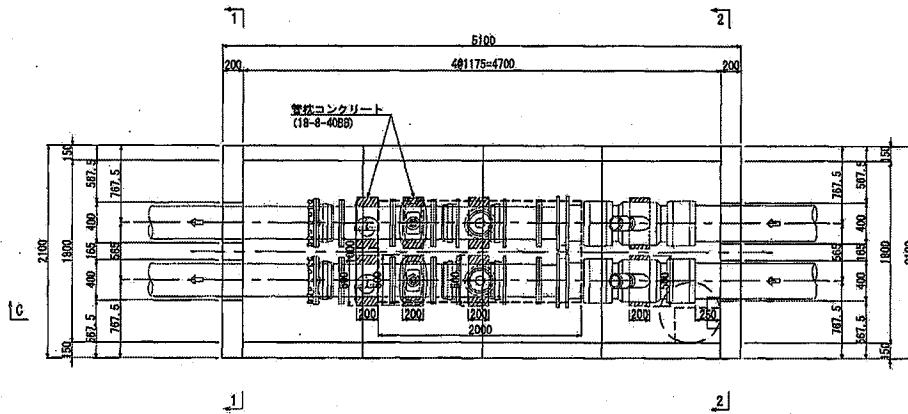
2-2 断面



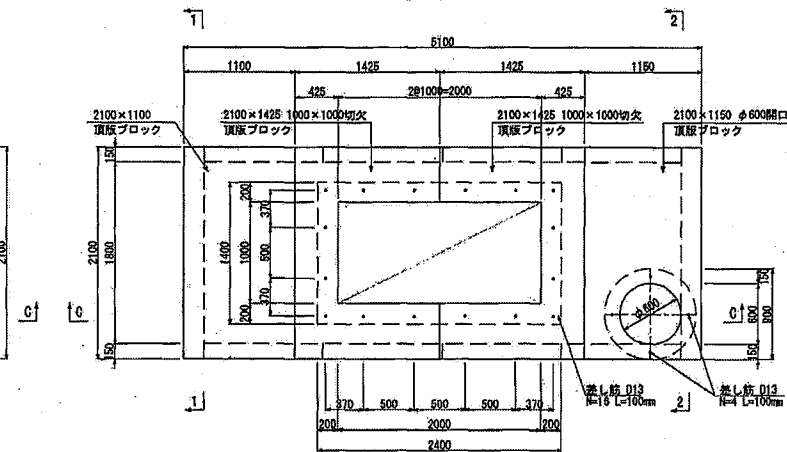
- ① 高密度ポリエチレン管φ300
- ② 下水道用空気弁 φ300-φ75
- ③ 仕切弁φ300

弁室構造図 S=1:25
(下流側)

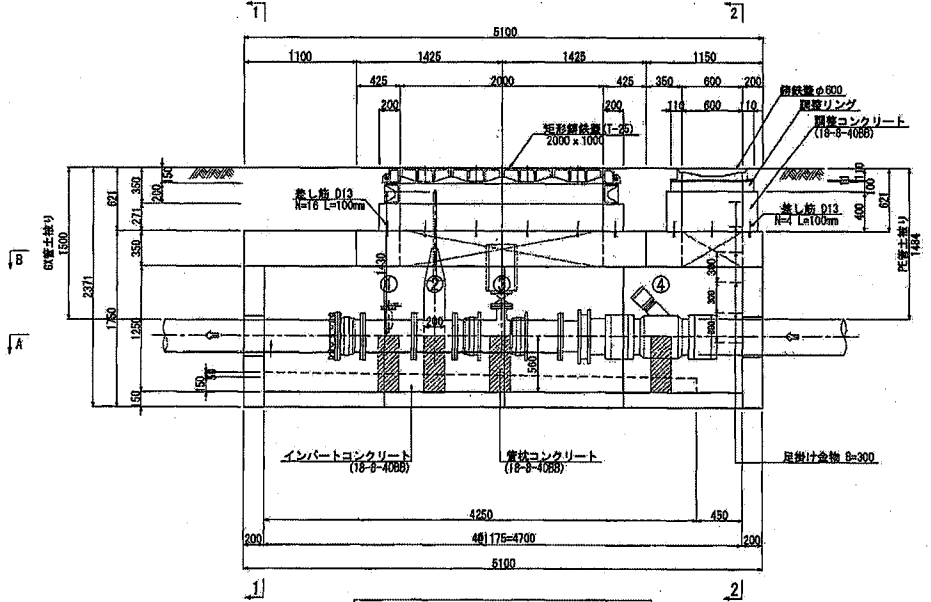
A-A 断面



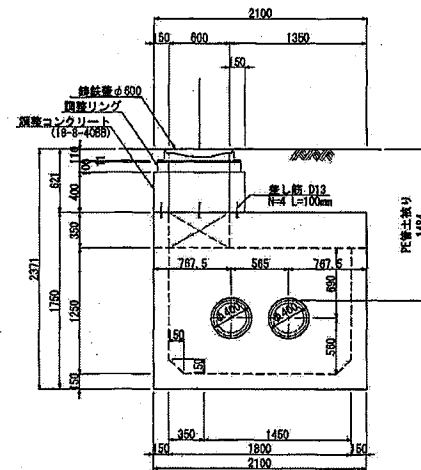
B-B 断面



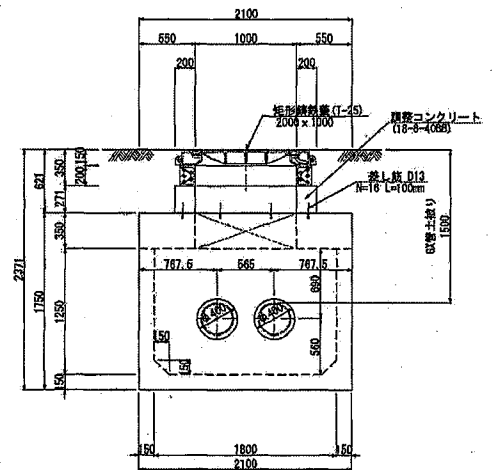
C-C 断面



1-1 断面



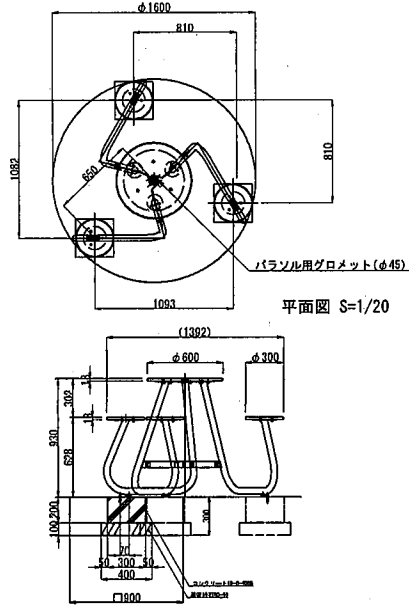
2-2 断面



- ① ビグ通過確認装置φ300
- ② 仕切弁φ300
- ③ 下水道用空気弁 φ300-φ75
- ④ 高密度ポリエチレン管φ300

ベンチ・テーブル 【参考図】

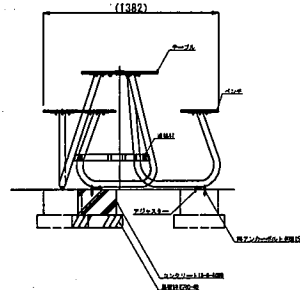
S=1/20



上台 : t18厚外対応MDF材、木材保護塗装 (クリア)
 ※在庫状況によってt15厚外対応合板、木材保護塗装 (ダークブラウン) に変更になる場合がございます。
 脚 : φ48.6x12.3鋼管、S3.2鋼板
 ジンクパウダー下地、合成樹脂塗装 (グレー)
 座面広さ奥行 : t4.5鋼板
 ジンクパウダー下地、合成樹脂塗装 (グレー)
 質量 : 36kg
 ※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
 ※(一社) 日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品です。
 ※(一社) 日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

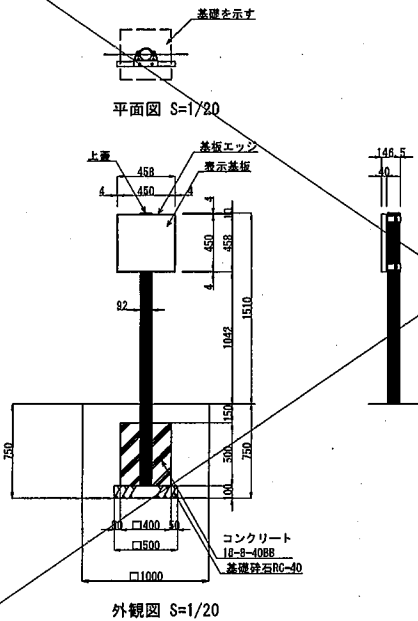
平面図 S=1/20

外観図 S=1/20



サイン 【参考図】

図示



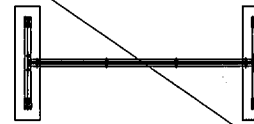
平面図 S=1/20

外観図 S=1/20

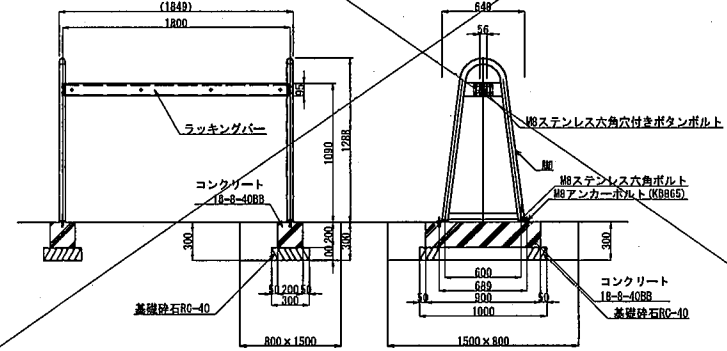
S/パネル 表示基板 : t1.5アルミ板、合成樹脂焼付塗装 (ホワイト)
 基板エッジ : エラストマー樹脂 (ダークグレー)
 支柱 : アルミ押出形材、着色アルマイド (ステンカラー) クリア塗装
 上蓋 : アルミ鋳物、合成樹脂焼付塗装 (シルバーグレー)
 ※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
 ※(一社) 日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

自転車ラック 【参考図】

S=1/20



平面図 S=1/20

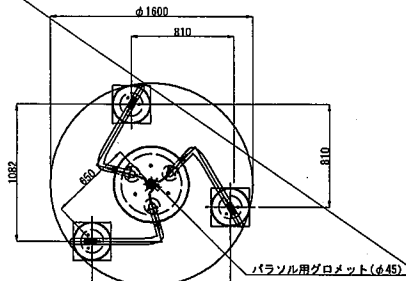


外観図 S=1/20

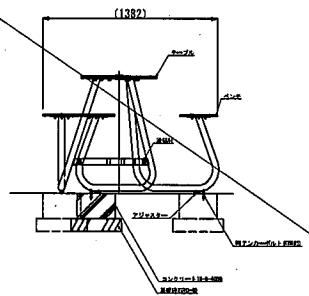
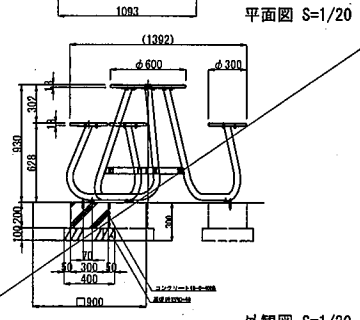
ラッキングバー : t18厚外対応MDF材、木材保護塗装 (クリア)
 ※在庫状況によってt15厚外対応合板、木材保護塗装 (ダークブラウン) に変更になる場合がございます。
 75×20×12.3角鋼管、ジンクパウダー下地
 合成樹脂塗装 (グレー)
 脚 : φ48.6x12.3鋼管、t4.5鋼板
 ジンクパウダー下地、合成樹脂塗装 (グレー)
 表面は金具付
 質量 : 30kg
 ※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
 ※(一社) 日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品です。
 ※(一社) 日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

ベンチ・テーブル 【参考図】

S=1/20



上合 : t18厚外対応MDF材、木材保護塗装(クリア)
 ※在備状況によってt15厚外対応合板、木材保護塗装(ダークブラウン)に変更になる場合がございます。
 脚 : φ48.6x12.3鋼管、13.2鋼板
 ジンクパウダー下地、合成樹脂塗装(グレー)
 床面固定金具付
 連結材 : t4.5鋼板
 ジンクパウダー下地、合成樹脂塗装(グレー)
 質量 : 38kg
 ※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
 ※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品です。
 ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

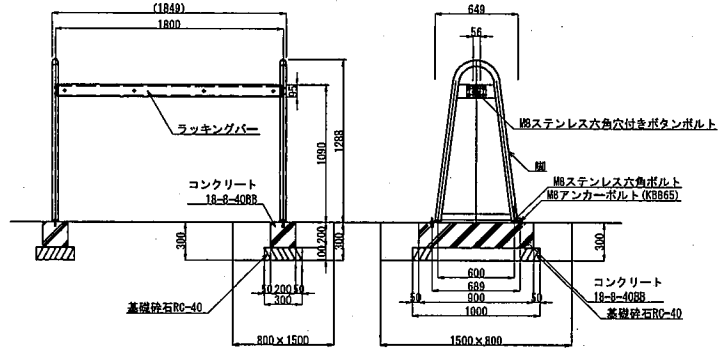


自転車ラック 【参考図】

S=1/20

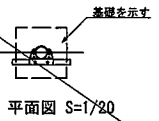


ラッキングバー : φ18厚外対応MDF材、木材保護塗装(クリア)
 ※在備状況によって、t15厚外対応合板、木材保護塗装(ダークブラウン)に変更になる場合がございます。
 75×20×4.3角鋼管、ジンクパウダー下地
 合成樹脂塗装(グレー)
 脚 : φ48.6x12.3鋼管、t4.5鋼板
 ジンクパウダー下地、合成樹脂塗装(グレー)
 床面固定金具付
 質量 : 30kg
 ※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
 ※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品です。
 ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

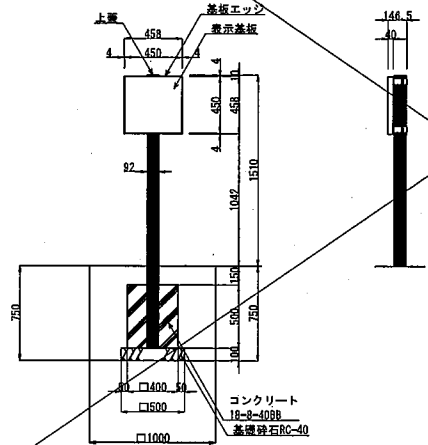


サイン 【参考図】

図示



S/パネル 表示基板 : t1.5アルミ板、合成樹脂焼付塗装(ホワイト)
 基板エッジ : エラストマー樹脂(ダークグレー)
 支柱 : アルミ押出形材、青色アルマイト(ステンカラー)クリア塗装
 上蓋 : アルミ鋳物、合成樹脂焼付塗装(シルバーグレー)
 ※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
 ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

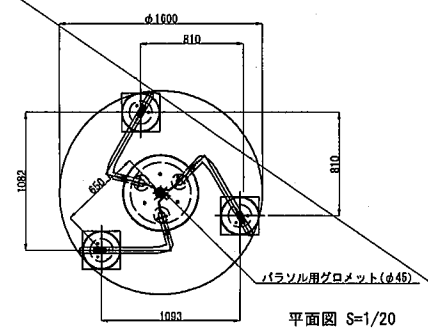


ベンチ・テーブル 【参考図】

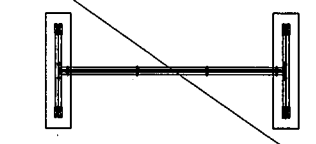
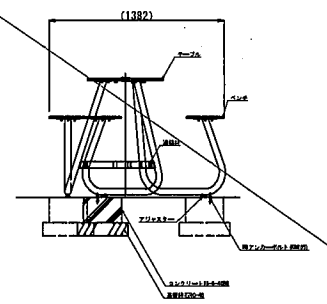
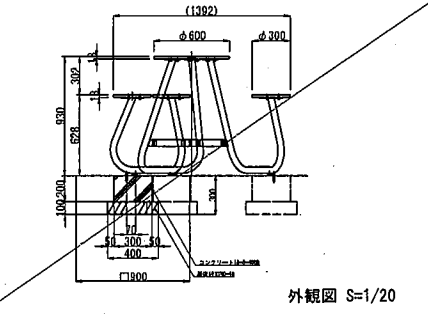
S=1/20

自転車ラック 【参考図】

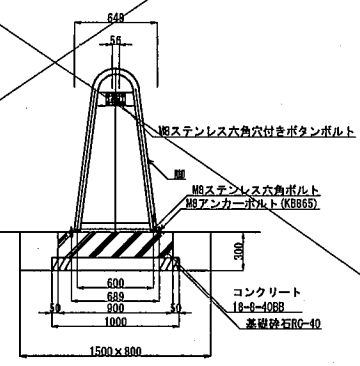
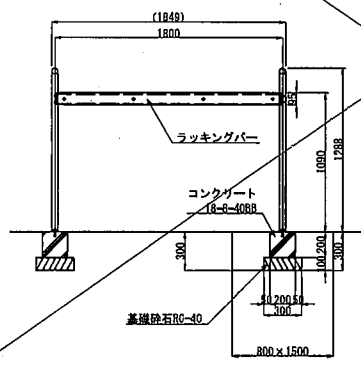
S=1/20



上台 : t18厚外対応MDF材、木材保護塗装(クリア)
 ※在庫状況によってt16厚外対応合板、木材保護塗装(ダークブラウン)になる場合がございます。
 脚 : φ45.6x12.3鋼管、13.2鋼板
 ジンクパウダー下地、合成樹脂塗装(グレー)
 表面定金具付
 連結材 : t4.5鋼板
 ジンクパウダー下地、合成樹脂塗装(グレー)
 質量 : 36kg
 ※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
 ※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品です。
 ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

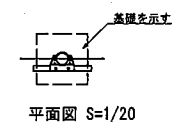


ラッキングバー : t18厚外対応MDF材、木材保護塗装(クリア)
 ※在庫状況によってt16厚外対応合板、木材保護塗装(ダークブラウン)になる場合がございます。
 75×20×12.3角鋼管、ジンクパウダー下地
 合成樹脂塗装(グレー)
 脚 : φ48.6x12.3鋼管、t4.5鋼板
 ジンクパウダー下地、合成樹脂塗装(グレー)
 表面定金具付
 質量 : 66kg
 ※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
 ※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品です。
 ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

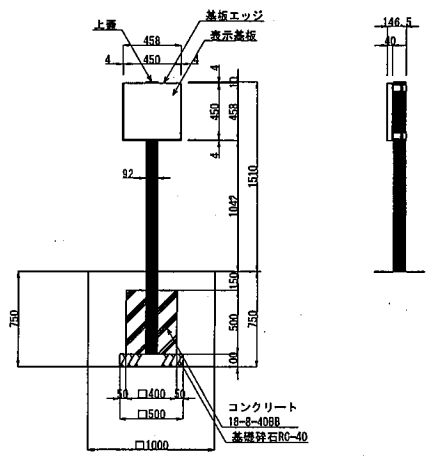


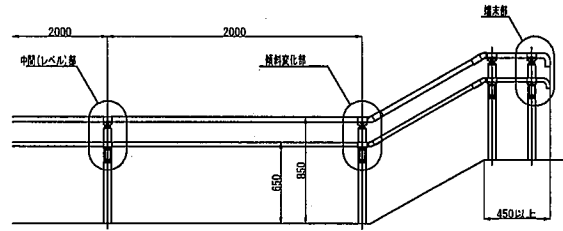
サイン 【参考図】

図示

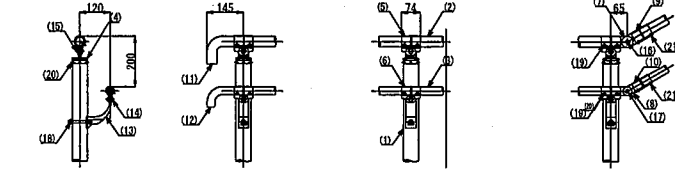


S/パネル 表示基板: t1.5アルミ板、合成樹脂焼付塗装(ホワイト)
 基板エッジ: エラストマー樹脂(ダークグレー)
 支柱: アルミ押出形材、着色アルマイト(ステンカラー) クリア塗装
 上蓋: アルミ粉物、合成樹脂焼付塗装(シルバーグレー)
 ※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
 ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

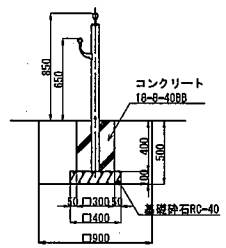




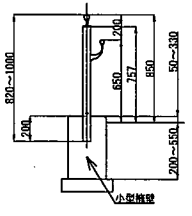
手すり 標準立面図 1:20



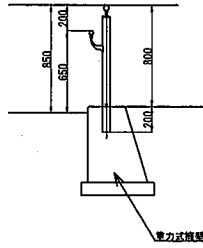
側面詳細図 1:10 端部詳細図 1:10 中間部詳細図 1:10 傾斜変化部詳細図 1:10



手すり-1 断面図 1:20



手すり-2 断面図 1:20



手すり-3 断面図 1:20

手すり部材表

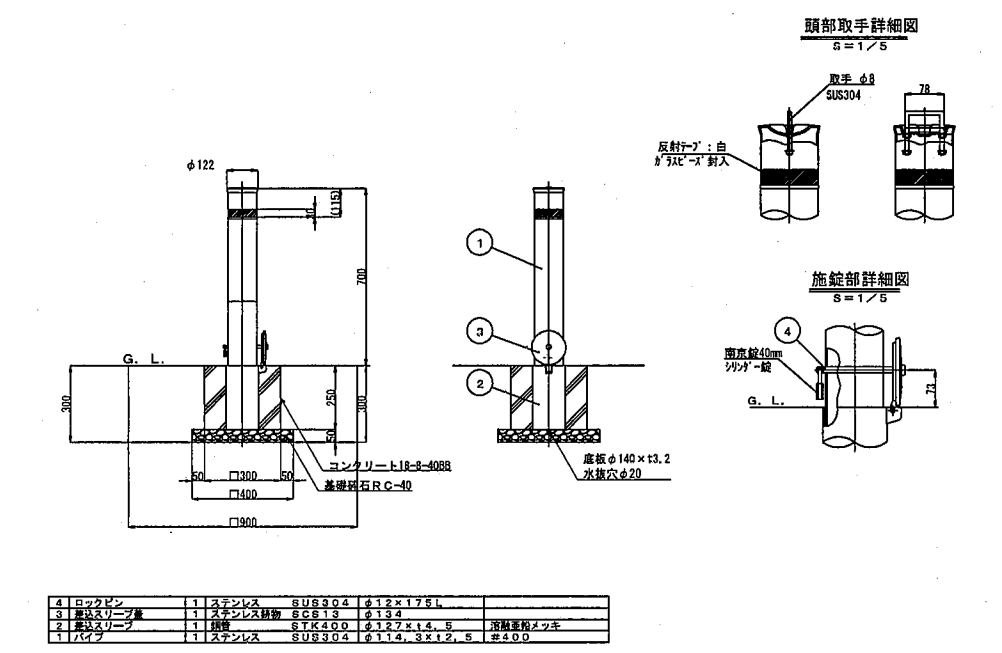
部番	名称	形状	材質	表面処理
(1)	支柱	φ50×3.0t	A6063S-T5	JIS H 8802 陽極酸化被膜重合改質 (マットブラウン色)
(2)	手摺 (上段)	φ40×3.0t	A6063T5-T6	
(3)	手摺 (下段)	φ30.5×4.5t	A6063S-T5	
(4)	キャップ金具A	φ60用	ADC	ポリエステル系粉体塗装 (マットブラウン色)
(5)	キャップ金具B	φ40用 (巾=74)	A6063S-T5	
(6)	フレキシブル金具A	φ30.5用 (巾=74)	ADC	
(7)	フレキシブル金具B	φ40用 (2ヶ/セット)	ADC	
(8)	フレキシブル金具A	φ30.5用 (2ヶ/セット)	ACAC	
(9)	フレキシブル金具B	φ40用 (巾=75)	A6063S-T5	
(10)	フレキシブル金具B	φ30.5用 (巾=75)	A6063S-T5	
(11)	端部手摺	φ40	ADC	
(12)	端部手摺	φ30.5	ADC	
(13)	2段金具	φ30.5用 (出巾=120)	ACAD	
(14)	ベースボックス	φ170	ACTA	SIS
(15)	化粧ナット	総用	ADC	
(16)	六角穴付ボルト	M8×15 B, W	SIS	GB
(17)	六角穴付ボルト	M8×20 B, SW		
(18)	六角穴付ボルト	M8×80 B, GN, W, SW		
(19)	ピラスビス (ナベ)	φ4×19 B		
(20)	六角穴付止ネジ	M6×6 B		
(21)	六角穴付止ネジ	M8×10 B		
(22)	アンカーボルト	M10×100		

特記仕様

- ・製品は、製造メーカーの指定する品質検査責任保険に加入しているものとする。
- ・塗料基礎の伸縮目地は、選定鋼(10mm)とし、目地間隔10mを標準とする。
- ・手すり支柱の新付田を作成の上、監督員の承諾を得て施工すること。

車止め-1【参考図】

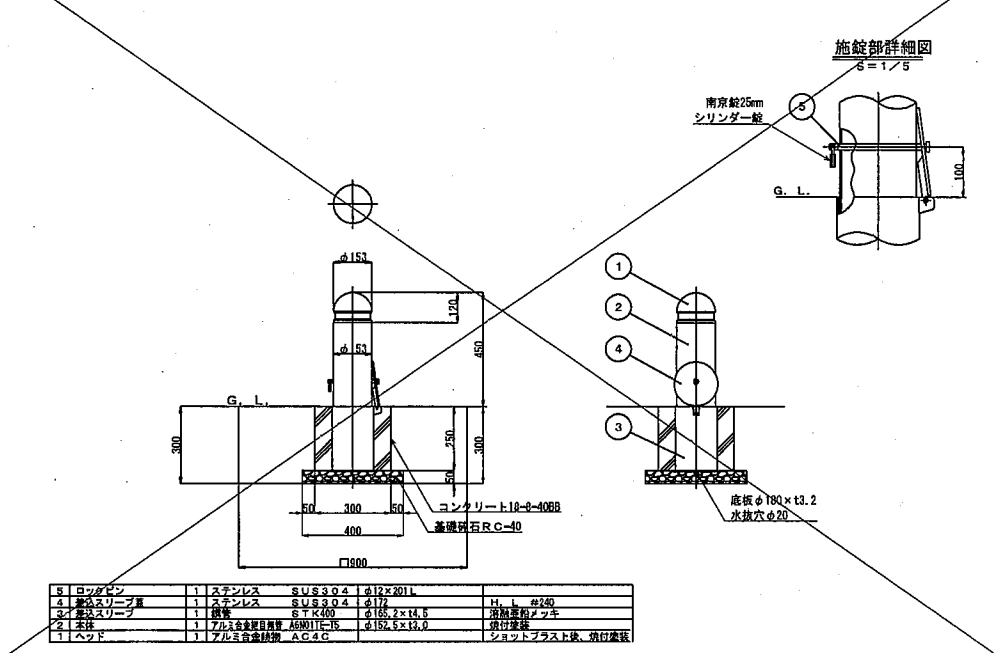
図示



4	ロックピン	1	ステンレス	SUS304	φ12×175L	
3	鋼スリーブ	1	ステンレス製物	SCB13	φ134	
2	鋼スリーブ	1	鋼管	STK400	φ127×14.5	液状窒素メッキ
1	パイプ	1	ステンレス	SUS304	φ114.3×12.5	#400

車止め-2【参考図】

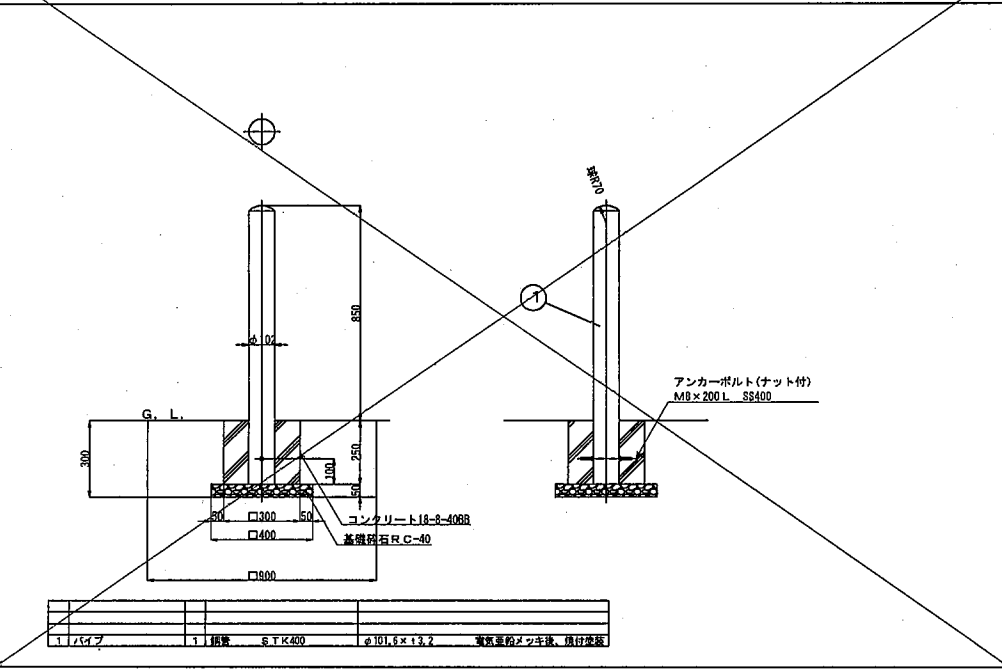
図示



5	ロックピン	1	ステンレス	SUS304	φ12×201L	
4	鋼スリーブ	1	ステンレス	SUS304	φ172	H.L. #200
3	鋼スリーブ	1	鋼管	STK400	φ152.2×14.5	液状窒素メッキ
2	本体	1	アルミ合金製物	ASW1115	φ152.5×12.0	液状窒素
1	ヘッド	1	アルミ合金製物	AC4C		ショットブラスト後、液状窒素

車止め-3【参考図】

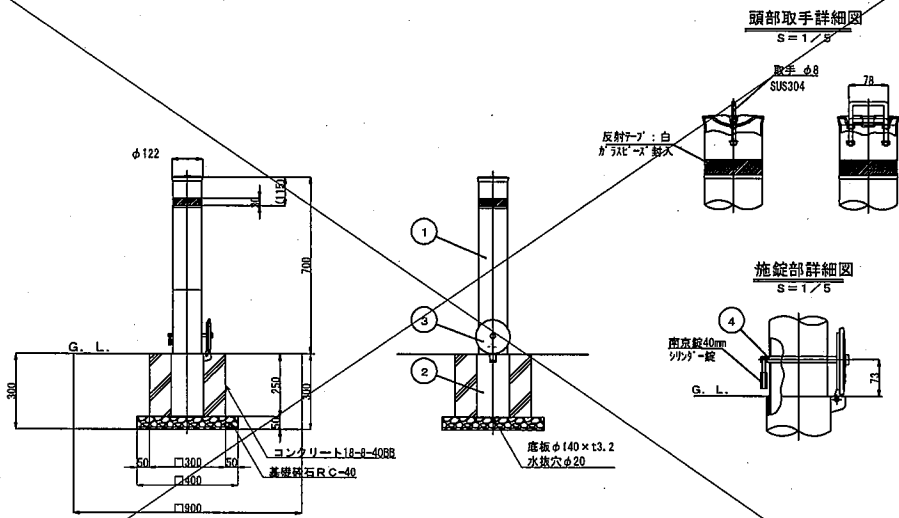
図示



1	パイプ	1	鋼管	STK400	φ101.5×13.2	液状窒素メッキ後、液状窒素
---	-----	---	----	--------	-------------	---------------

車止め-1【参考図】

図示



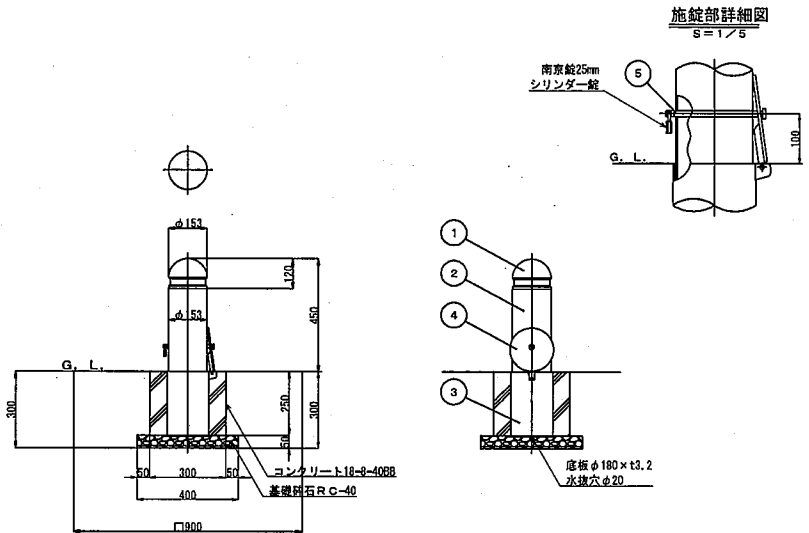
頭部取手詳細図
S=1/5

施錠部詳細図
S=1/5

4	ロックピン	1	ステンレス	SUS304	φ12×17.5L	
3	固定スリーブ兼	1	ステンレス継手	SCB13	φ13.4	
2	固定スリーブ	1	鋼管	STK400	φ127×14.5	溶接部メッキ
1	パイプ	1	ステンレス	SUS304	φ114.3×12.5	#400

車止め-2【参考図】

図示

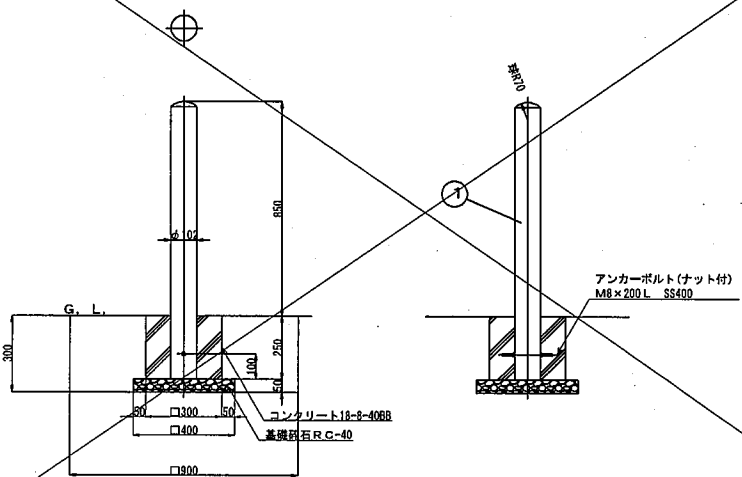


施錠部詳細図
S=1/5

5	ロックピン	1	ステンレス	SUS304	φ12×20L	
4	固定スリーブ兼	1	ステンレス	SUS304	φ17	H1 #240
3	固定スリーブ	1	鋼管	STK400	φ168.7×14.5	溶接部メッキ
2	支柱	1	アルミ合金継手	AGW11C-15	φ152.5×13.0	溶接部メッキ
1	ヘッド	1	アルミ合金継手	AG4C		ショットプラスト後、鏡面研磨

車止め-3【参考図】

図示



アンカーボルト(ナット付)
M6×200L S5400

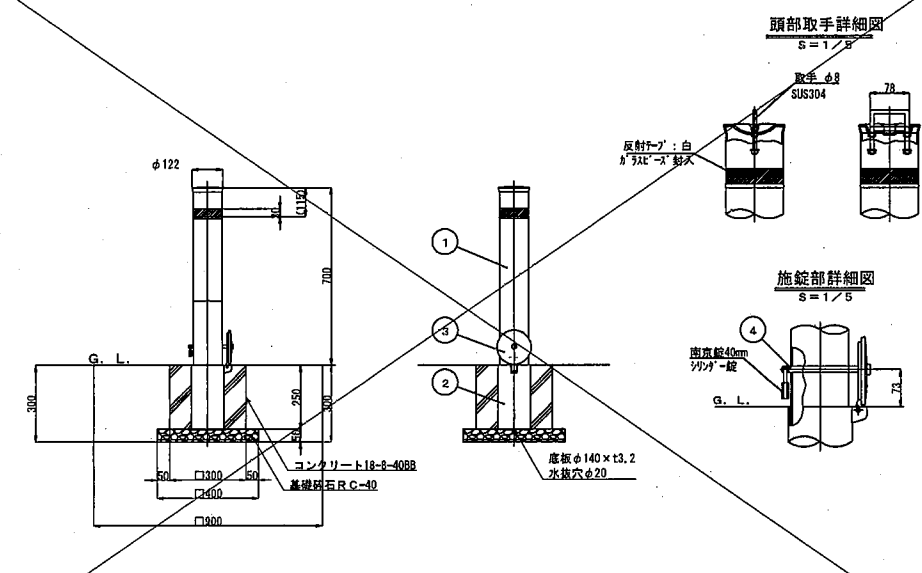
1	パイプ	1	鋼管	STK400	φ107.6×13.2	溶接部メッキ後、鏡面研磨
---	-----	---	----	--------	-------------	--------------

車止め-1【参考図】

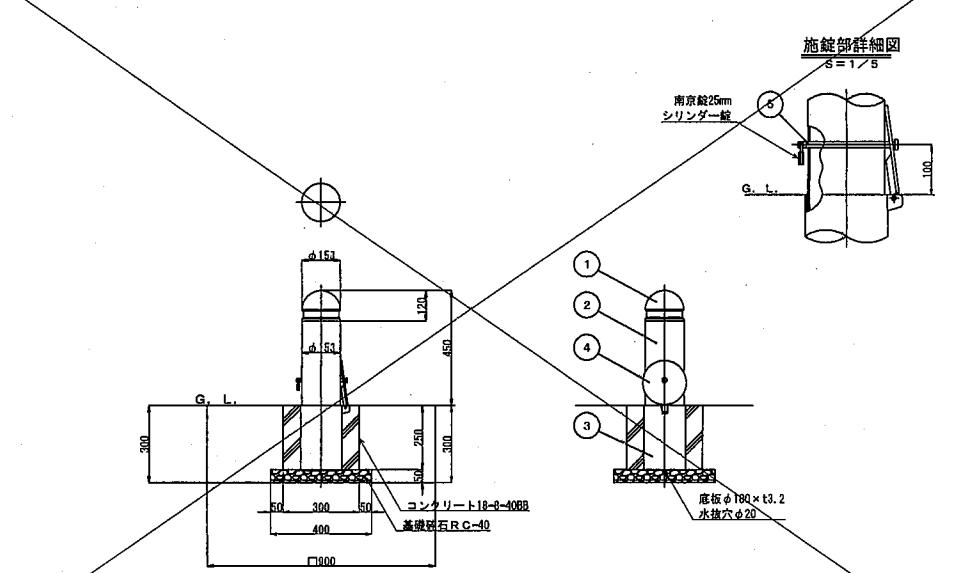
図示

車止め-2【参考図】

図示



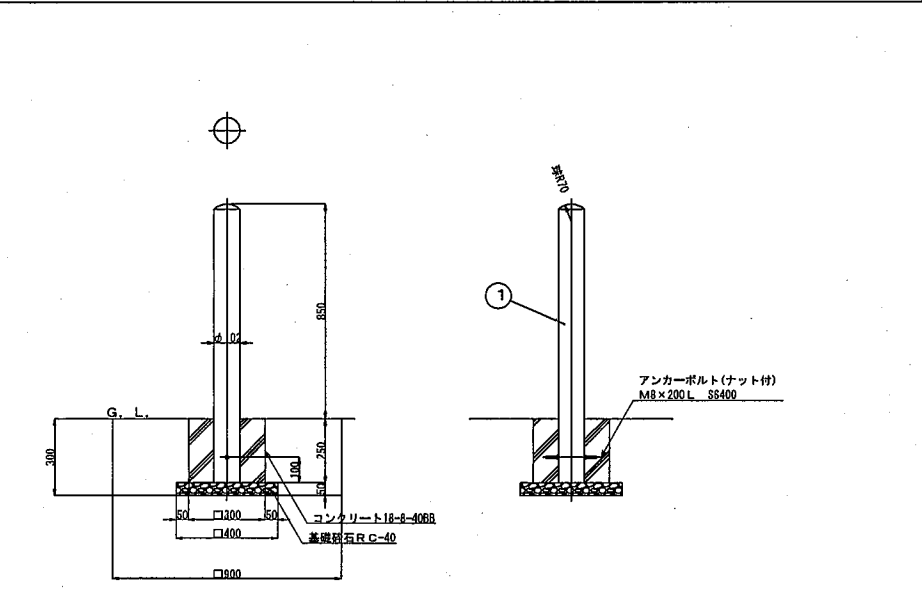
4	ヘッド	1	ステンレス	SUS304	φ12×17.5L	
3	反射テープ	1	ステンレス鏡物	SGS13	φ13.4	
2	パイプ	1	鋼管	STK400	φ127×14.5	溶融亜鉛メッキ
1	ベース	1	ステンレス	SUS304	φ114.3×12.5	#400



5	ヘッド	1	ステンレス	SUS304	φ12×201L	
4	反射テープ	1	ステンレス	SUS304	φ17	H #280
3	反射テープ	1	鋼管	STK400	φ152.2×14.5	溶融亜鉛メッキ
2	パイプ	1	アルミ合金鋼管	AMN11C-15	φ152.5×13.0	溶融亜鉛メッキ
1	ベース	1	アルミ合金鋼管	AC4C		ショットプラスト被、溶融亜鉛

車止め-3【参考図】

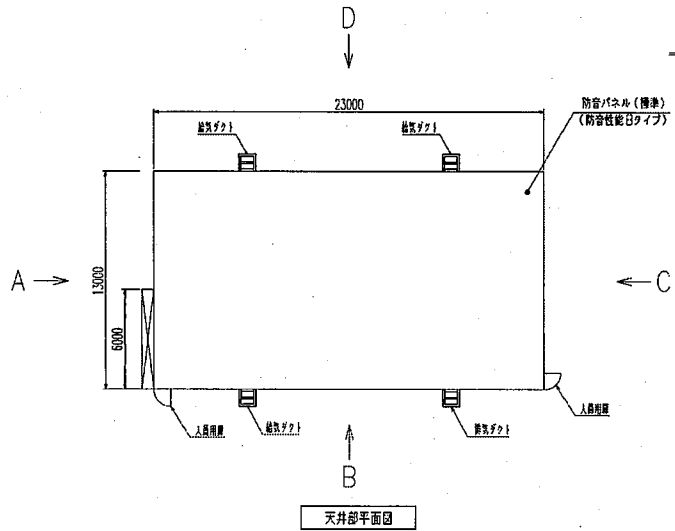
図示



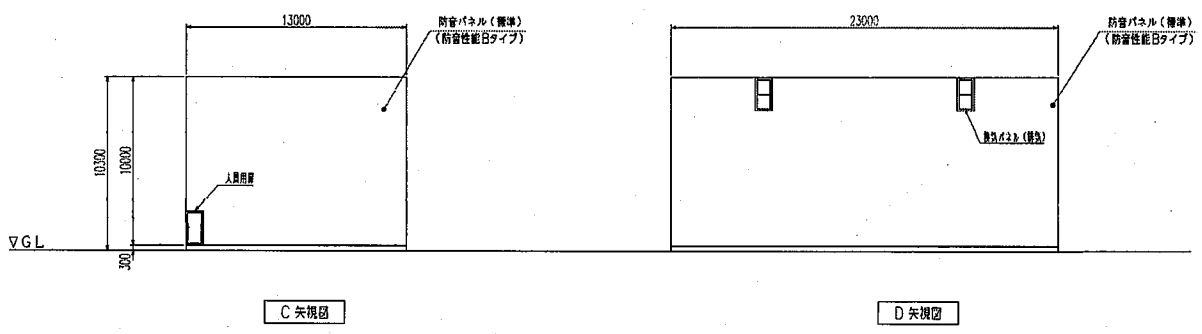
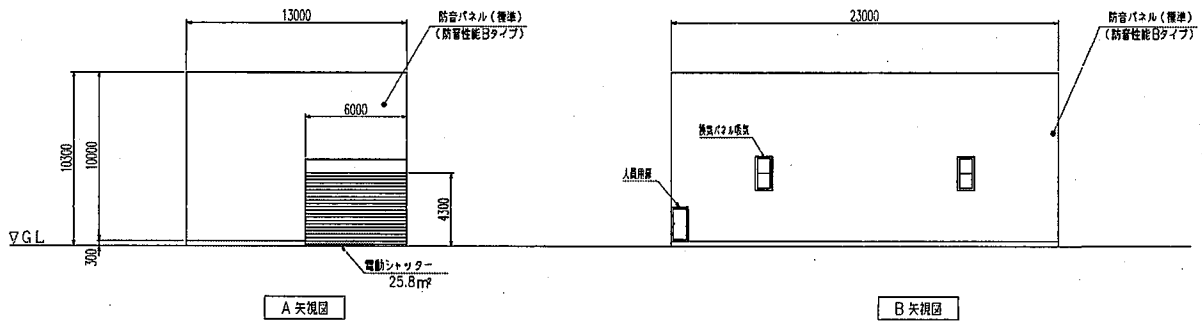
1	パイプ	1	鋼管	STK400	φ101.6×13.2	溶融亜鉛メッキ、溶融亜鉛
---	-----	---	----	--------	-------------	--------------

防音ハウス設備図(1)

(23×13×10_Bタイプ) S=1:150

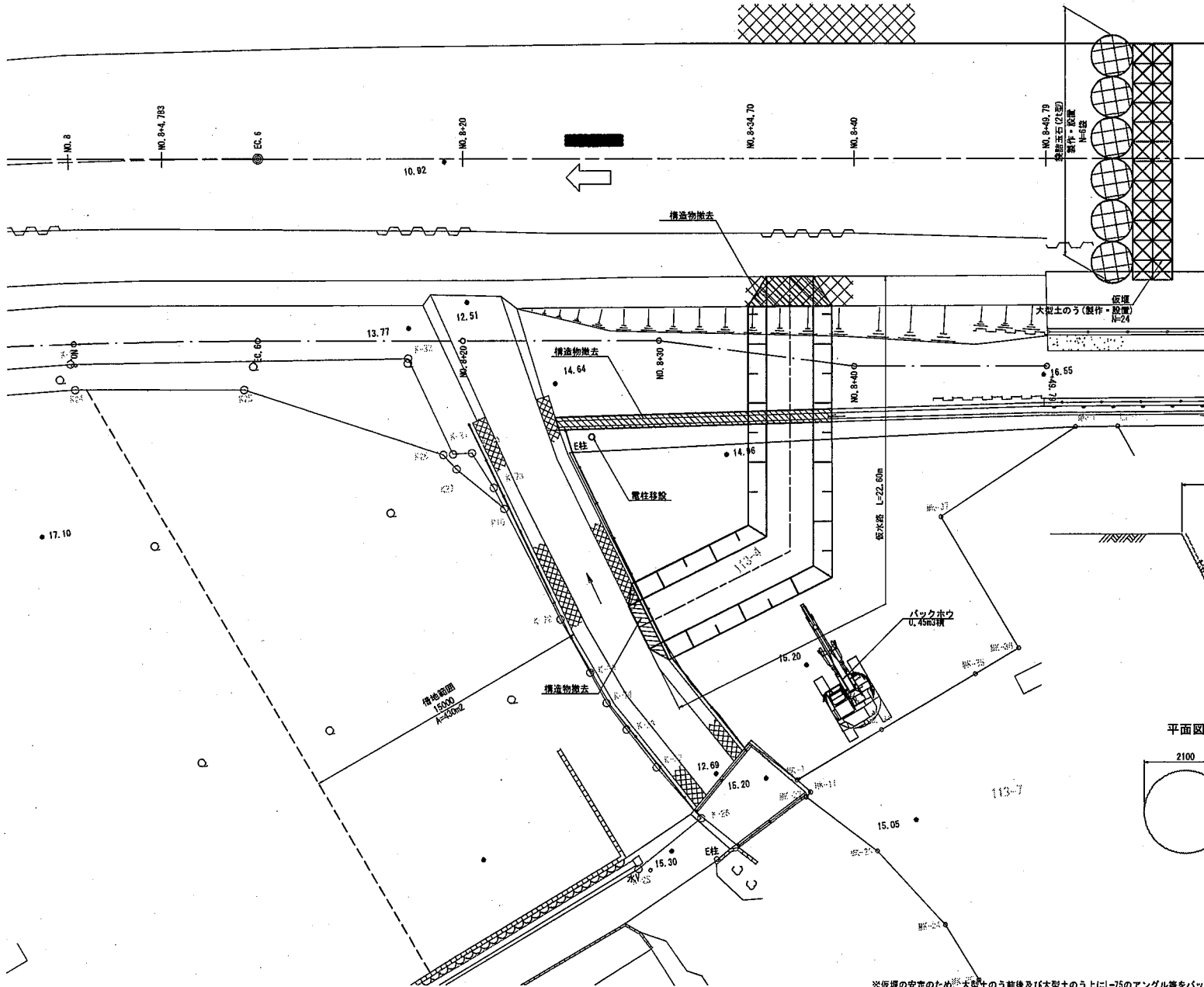


数量表		
名称	数量	面積
防音パネル標準 (BSK-Bタイプ)		983.00 m ²
人員用扉パネル	2 枚	4.00 m ²
換気パネル	4 枚	8.00 m ²
接気パネル		
開口部		
電動設置シャッター	1 番	24.00 m ²
床工総面積		1019.00 m ²
鉄骨材料重量		33.15 t
天井クレーン走行桁重量		t
土台H鋼材重量		6.491 t
床骨重量 50kg/m ²		
土台H鋼 H-300×300×10×15 93kg/m		
形状補正値		1.0

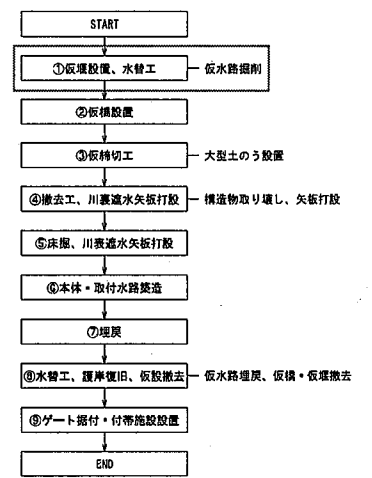


施工ステップ図(1) S=図示

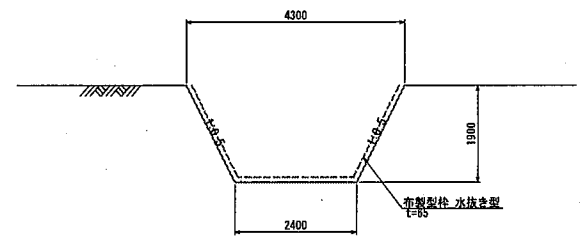
平面図 S=1:100



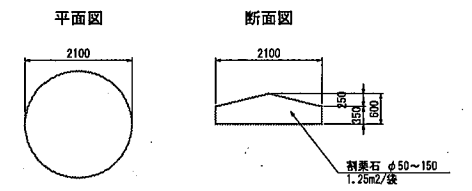
施工手順



仮水路断面図 S=1:50



袋詰玉石詳細図 S=1:50



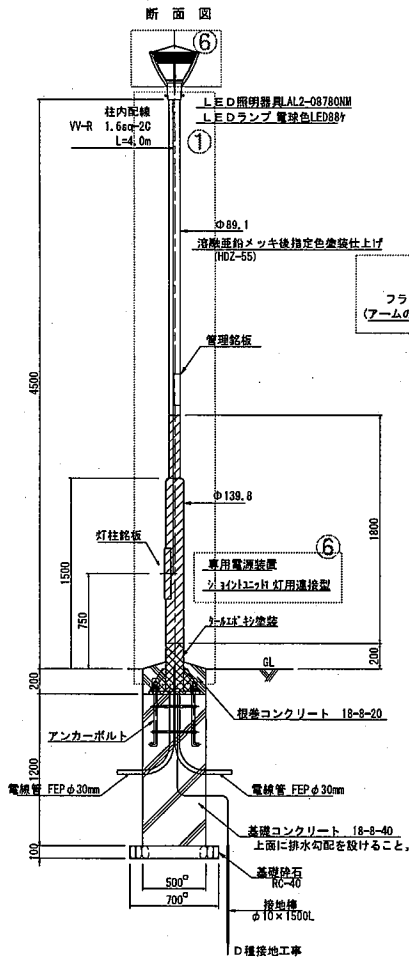
年度	令和元年度	図面番号	23 / 48
河川名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
所属地名	[Redacted]		
図面名	施工ステップ図(1)		
縮尺	S=図示	作成年月	令和2年3月
大阪府富田土木事務所			

※仮堰の安定のため大型土のう前後及び大型土のう上にL-75のアンクル等をバックホウにて打設し固定すること。

構造図 (2)

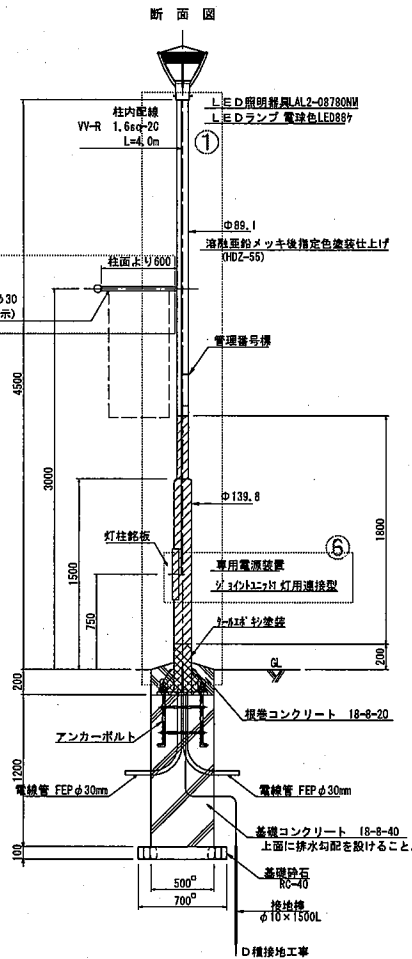
照明灯基礎、照明灯-1

S=1:20

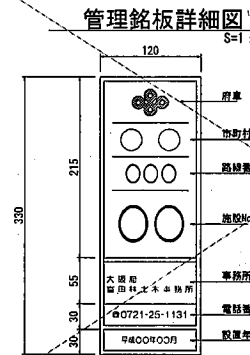
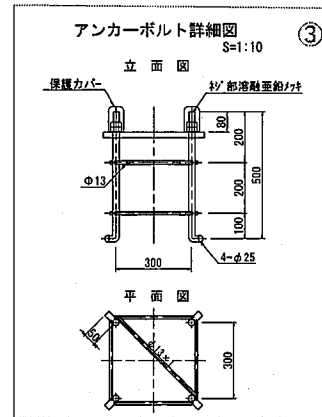
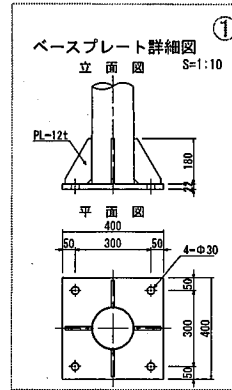


照明灯基礎、照明灯-2

S=1:20



※照明灯-1、-2とも基礎は同等とする。

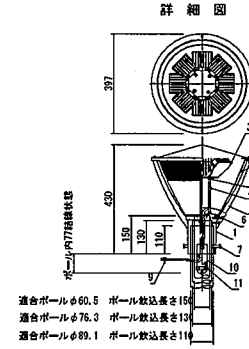


仕様
 ・基礎は、ビニールテープ製、長さ330mm巾120mmとし、白地に黒、文字は青。
 ・数字は、反射シート(JISZ9117-1編)の抜形数字を貼付する。

⑥

LED照明器具参考図

器具形式: LAL2-08780NM-10D10 適合ランプ: 電球色LED807



電圧特性	100V	200V
点灯初期時	0.73A	0.39A
6万時間経過時	0.87A	0.45A
6万時間平均	0.80A	0.42A
点灯初期時	72W	71W
6万時間経過時	87W	85W
6万時間平均	79W	78W
点灯初期時	72.6VA	75.9VA
6万時間経過時	87.2VA	80.3VA
6万時間平均	79.9VA	83.1VA
力率	80%以上(最大値)	
周波数	50/60Hz	

部品表

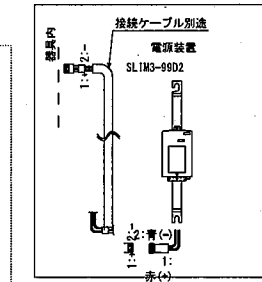
適合ポールφ60.5 ポール数込長さ160
 適合ポールφ76.3 ポール数込長さ130
 適合ポールφ89.1 ポール数込長さ110

LED仕様	電球色LED
LED色	電球色LED
相関色温度	3000K
平均演色評価数	Ra80
LED設計寿命	60,000時間
電源設計寿命	60,000時間
LED粒数	80粒
定格光束(器具光束)	7810lm

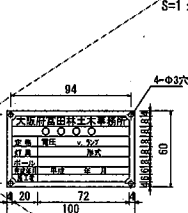
適合ポール	φ89.1、φ76.3、φ60.5
器具質量	5kg
仕上げ	アクリル樹脂焼付け塗装
受圧面積	0.08㎡

部品表	部品名称	材質	処理	個数	備考
1	ホルダー・支柱	ADC12	塗装	1	t1.0
2	笠	アルミ	塗装	1	
3	LEDモジュール	SRPM		16	
4	内部支柱	SWRM		2	
5	グローブ	耐候性ポリカ	フロスト	1	
6	バックギン (1)	シリコングム	黒色	1	t2.0
7	六角ボルト	SUS304		4	M8×30
8	ナット	SUS304		2	M8
9	防水コネクタ	樹脂		1	2p
10	アース端子			1	M4
11	ケーブル押さえ	ファイバー		1	

結線図



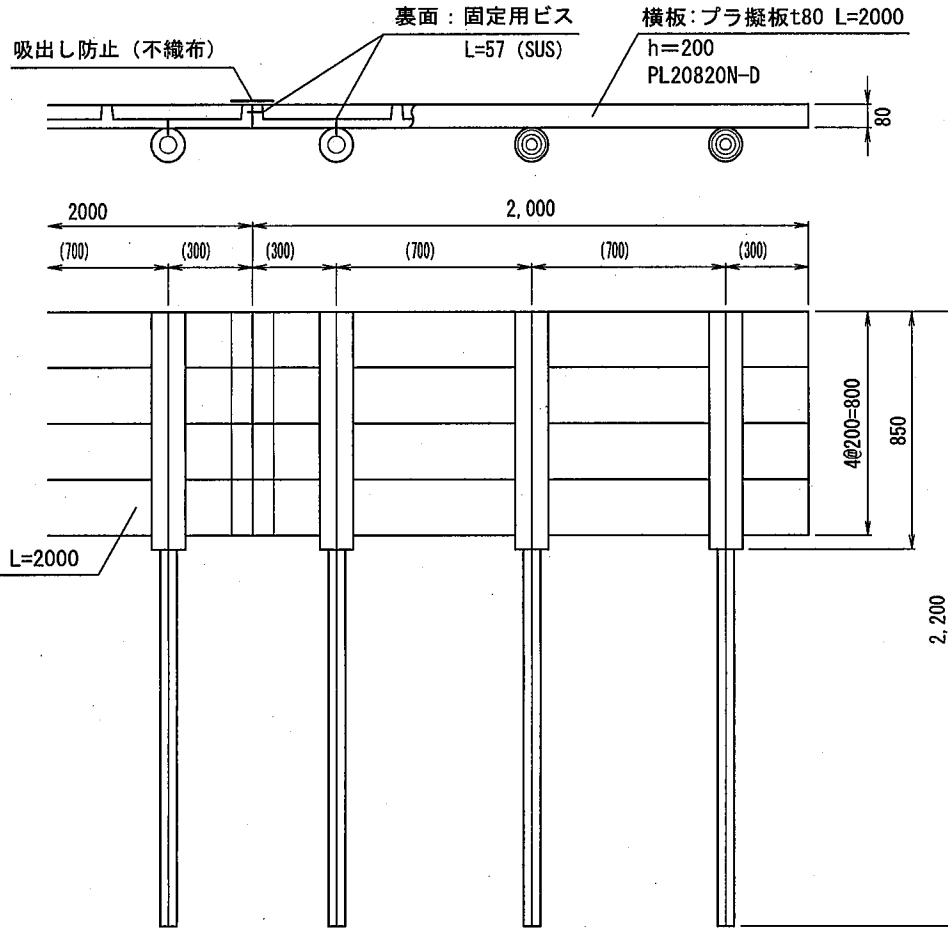
灯柱銘板詳細図



仕様
 ・取付ビツφ 54x94(φ3x4)
 ・文字は黒ゴシック体とする。
 ・材質は、鋼板白、P.O.6mm厚に粉体塗装仕上げとする。
 ・文字は、黒地に白文字焼き出しとする。
 ・取付は真鍮製ビスでかまし止めとする。

平成 30 年度	図面番号	5
路線名		
受託名		
委託場所		
図面名	構造図 (2)	縮尺 図示
事務所名	大阪府高田林土木事務所	

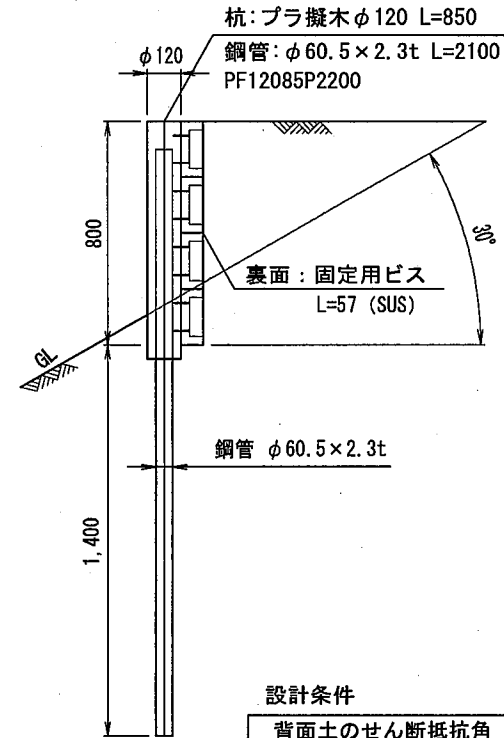
プラ擬木 板柵土留H800 (谷側 30度、40度)
S=1:25



施工時の注意:

- ※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。
- ※設置条件により、補強等が必要となる場合がございます。
- ※打込み鋼管の天端は、GL+700mmです。(樹脂カバー天端-100mm)
- ※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

【特記】
 ※プラ擬木は、エコマーク認定品 (樹脂部はリサイクルプラスチック)
 ※賠償責任保険加入品
 ※プラ擬木 色: ダークブラウン
 丸太外観: クヌギ肌模様
 板材表面: 木目模様
 ※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認下さい。
 ※使用鋼管は亜鉛メッキ品 STK400以上

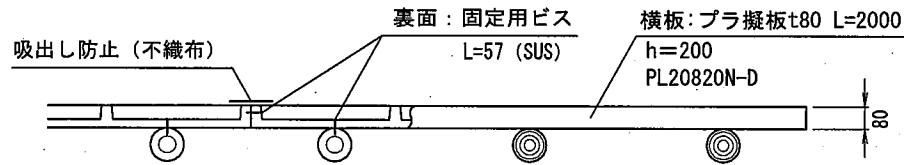


設計条件

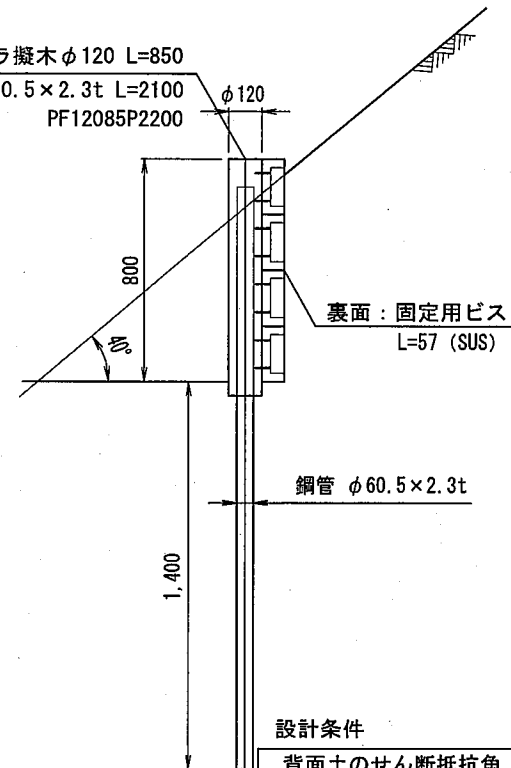
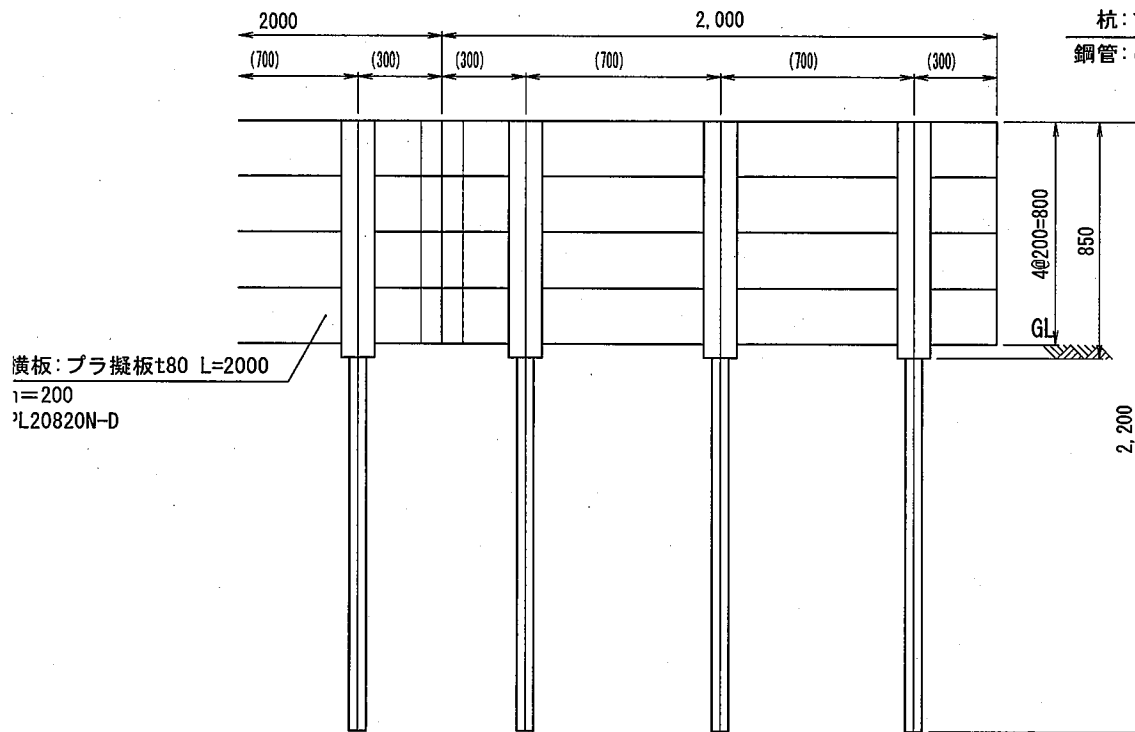
背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m
背面土の粘着力	0.00kN/m
載荷重	5.00kN/m
杭根入れ地盤の平均N値	5

※地盤条件などにより、部材サイズ等が変更されます。

プラ擬木 板柵土留H800 (山側 40度)
S=1:25



【特記】
 ※プラ擬木は、エコマーク認定品 (樹脂部はリサイクルプラスチック)
 ※賠償責任保険加入品
 ※プラ擬木 色: ダークブラウン
 丸太外観: クヌギ肌模様
 板材表面: 木目模様
 ※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認下さい。
 ※使用鋼管は垂鉛メッキ品 STK400以上



設計条件

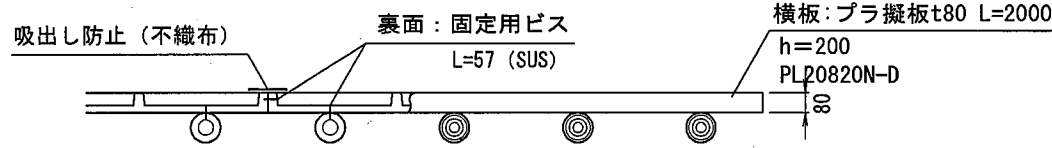
背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m ³
背面土の粘着力	0.00kN/m ²
載荷重	5.24kN/m ²
杭根入れ地盤の平均N値	5

施工時の注意:
 ※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。
 ※設置条件により、補強等が必要となる場合がございます。
 ※打込み鋼管の天端は、GL+700mmです。(樹脂カバー天端-100mm)
 ※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

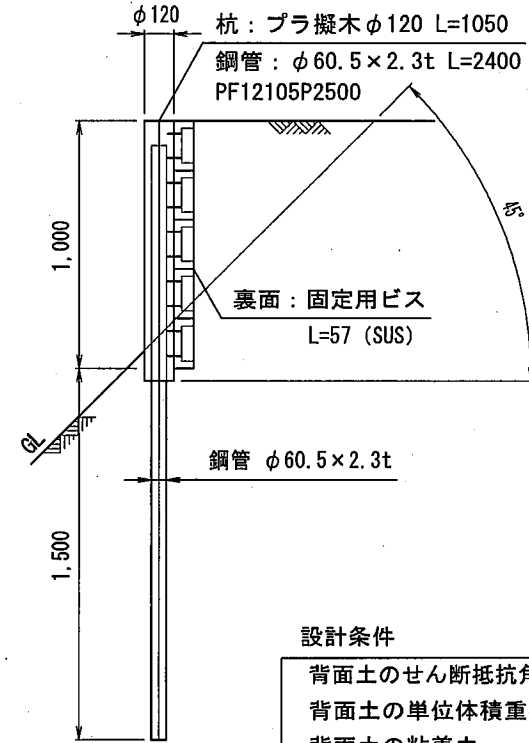
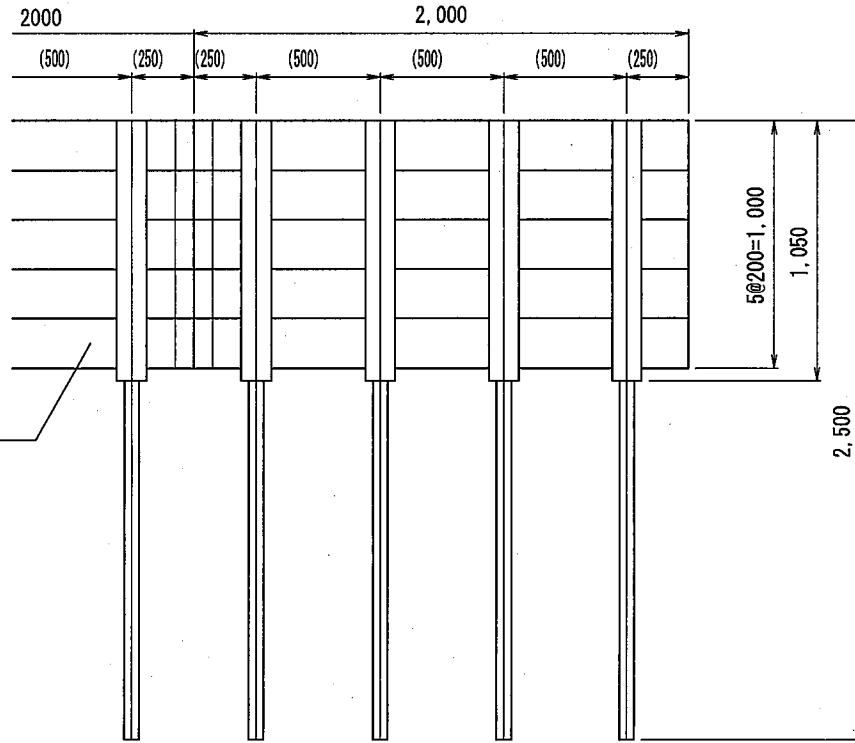
※地盤条件などにより、部材サイズ等が変更されます。

プラ擬木 板柵土留H1000 (谷側 45度)

S=1:30



【特記】
 ※プラ擬木は、エコマーク認定品 (樹脂部はリサイクルプラスチック)
 ※賠償責任保険加入品
 ※プラ擬木 色: ダークブラウン
 丸太外觀: クヌギ肌模様
 板材表面: 木目模様
 ※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認ください。
 ※使用鋼管は亜鉛メッキ品 STK400以上



横板
 プラ擬板t80 L=2000
 h=200
 PL20820N-D

杭: プラ擬木 ϕ 120 L=1050
 鋼管: ϕ 60.5 \times 2.3t L=2400
 PF12105P2500
 裏面: 固定用ビス
 L=57 (SUS)
 鋼管 ϕ 60.5 \times 2.3t

設計条件

背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m
背面土の粘着力	0.00kN/m
載荷重	5.00kN/m
杭根入れ地盤の平均N値	5

※地盤条件などにより、
 部材サイズ等が変更されます。

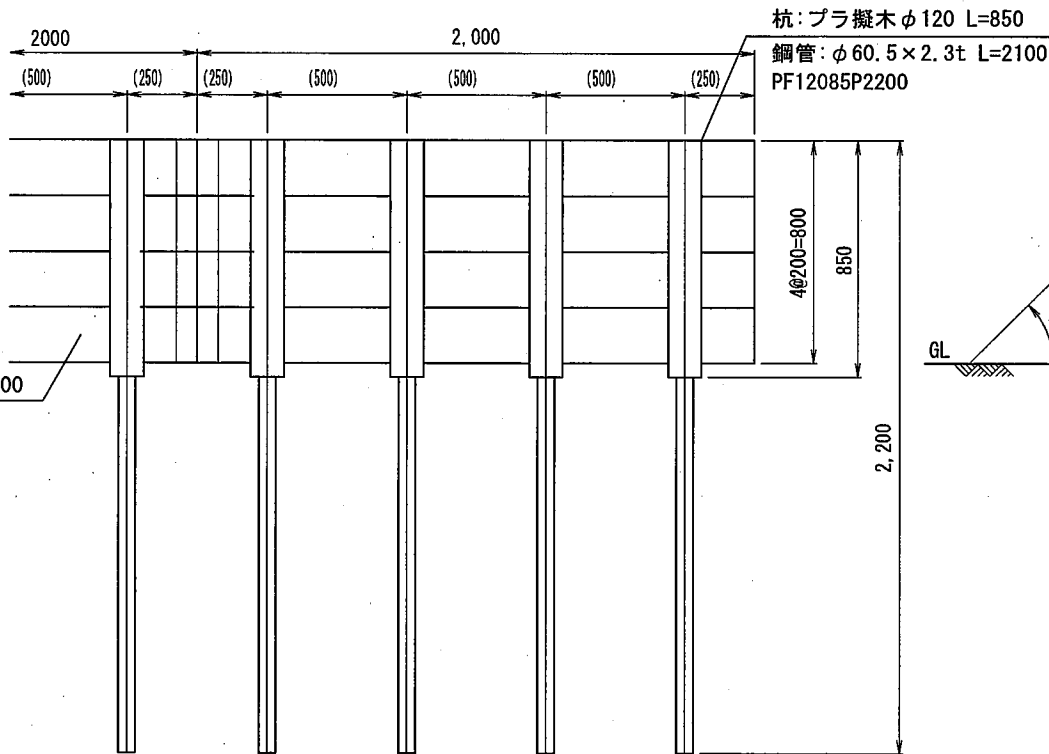
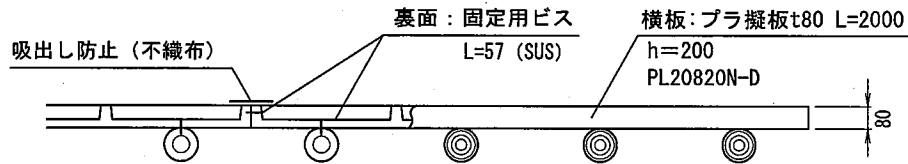
施工時の注意:

※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。
 ※設置条件により、補強等が必要となる場合がございます。

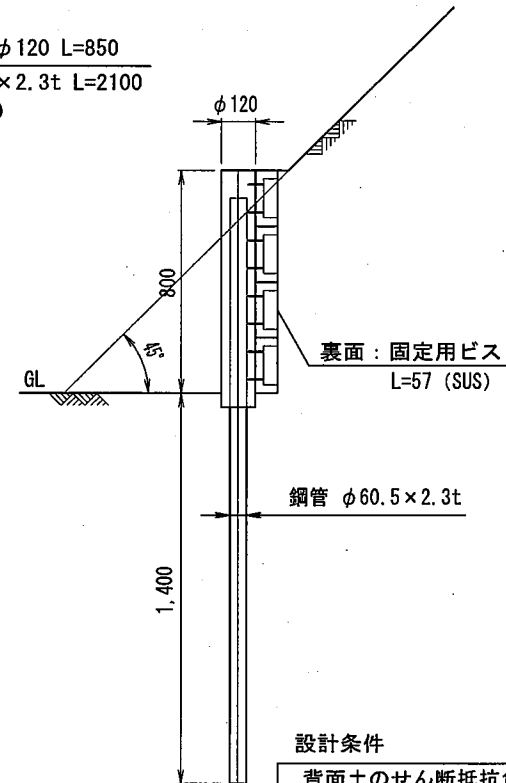
※打込み鋼管の天端は、GL+900mmです。(樹脂カバー天端-100mm)

※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

プラ擬木 板柵土留H800 (山側 45度)
S=1:25



【特記】
 ※プラ擬木は、エコマーク認定品 (樹脂部はリサイクルプラスチック)
 ※賠償責任保険加入品
 ※プラ擬木 色: ダークブラウン
 丸太外観: クヌギ肌模様
 板材表面: 木目模様
 ※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認ください。
 ※使用鋼管は亜鉛メッキ品 STK400以上



横板: プラ擬木 t80 L=2000
h=200
PL20820N-D

杭: プラ擬木 ϕ 120 L=850
鋼管: ϕ 60.5 x 2.3t L=2100
PF12085P2200

設計条件

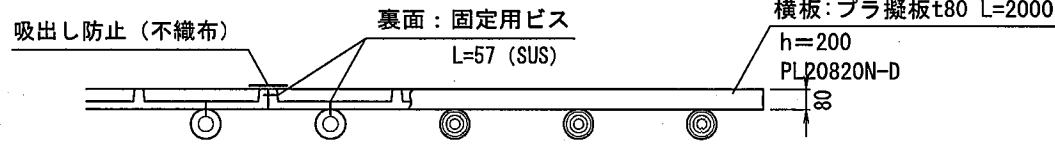
背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m ³
背面土の粘着力	0.00kN/m ²
載荷重	9.5kN/m ²
杭根入れ地盤の平均N値	5

施工時の注意:
 ※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。
 ※設置条件により、補強等が必要となる場合がございます。
 ※打込み鋼管の天端は、GL+700mmです。(樹脂カバー天端-100mm)
 ※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

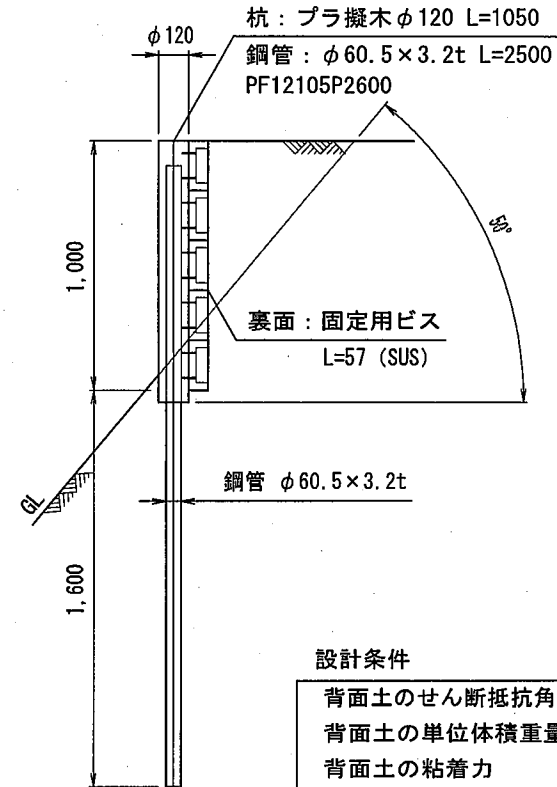
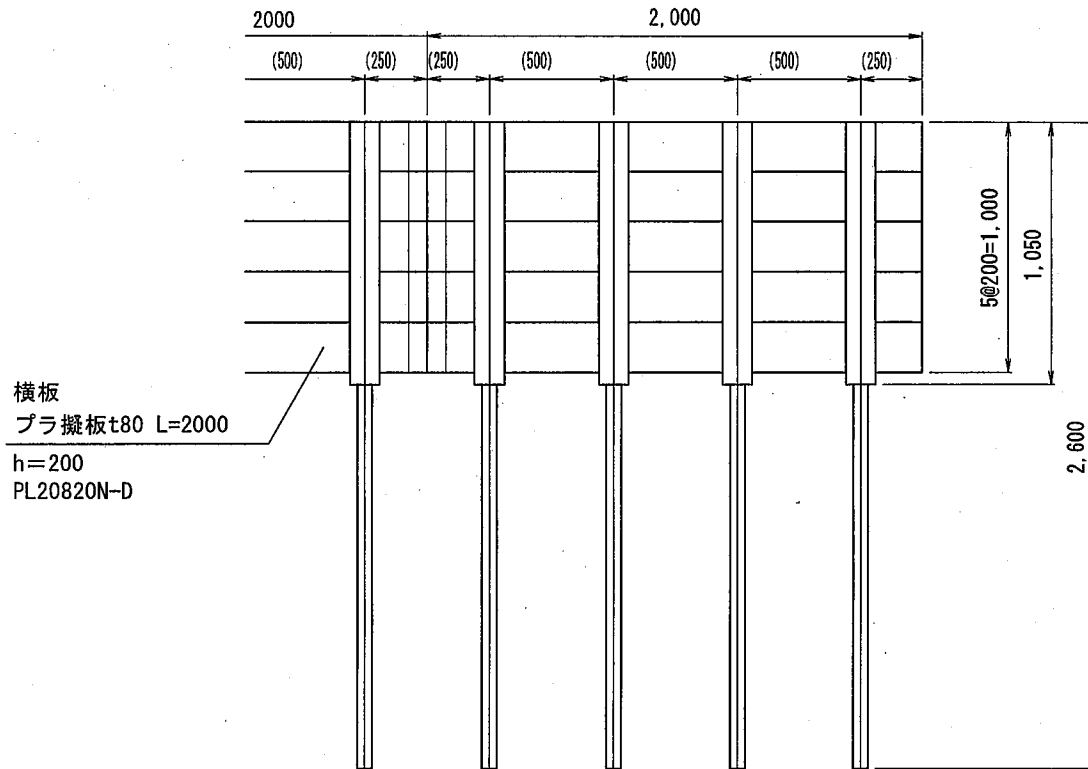
※地盤条件などにより、部材サイズ等が変更されます。

プラ擬木 板柵土留H1000 (谷側 50度)

S=1:30



【特記】
 ※プラ擬木は、エコマーク認定品 (樹脂部はリサイクルプラスチック)
 ※賠償責任保険加入品
 ※プラ擬木 色: ダークブラウン
 丸太外観: クヌギ肌模様
 板材表面: 木目模様
 ※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認下さい。
 ※使用鋼管は垂鉛メッキ品 STK400以上



設計条件

背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m
背面土の粘着力	0.00kN/m
載荷重	5.00kN/m
杭根入れ地盤の平均N値	5

※地盤条件などにより、
部材サイズ等が変更されます。

施工時の注意:

※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。
 ※設置条件により、補強等が必要となる場合がございます。

※打込み鋼管の天端は、GL+900mmです。(樹脂カバー天端-100mm)

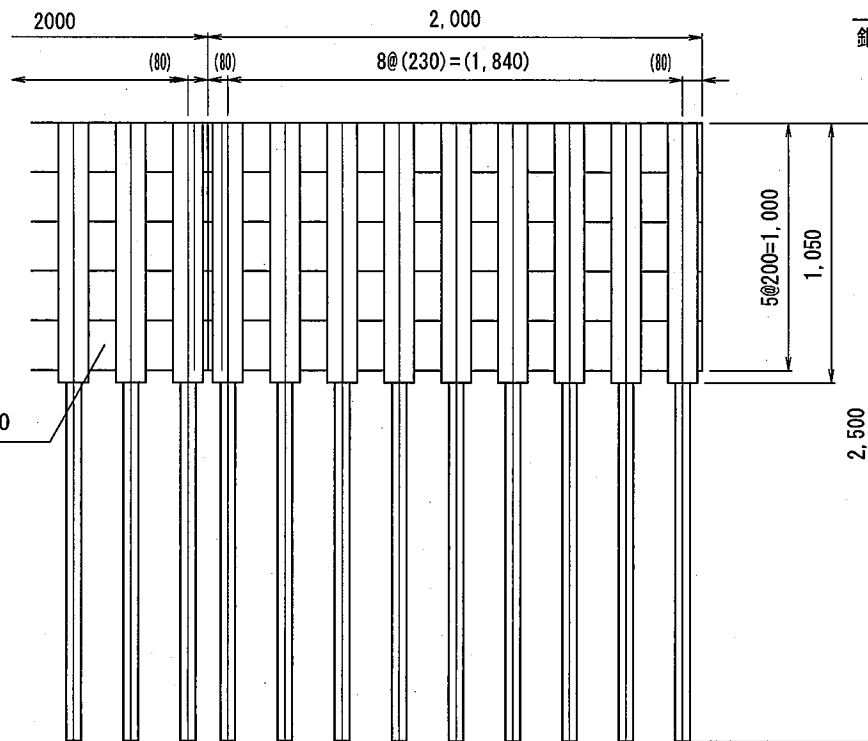
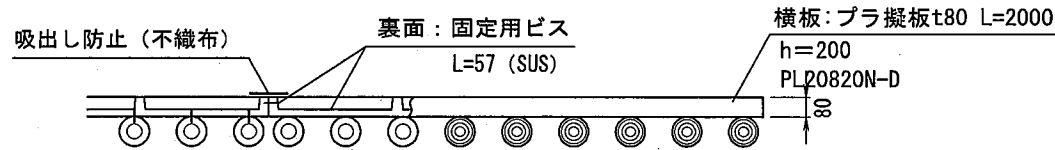
※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

プラ擬木 板柵土留H1000 (山側 50度)

S=1:30

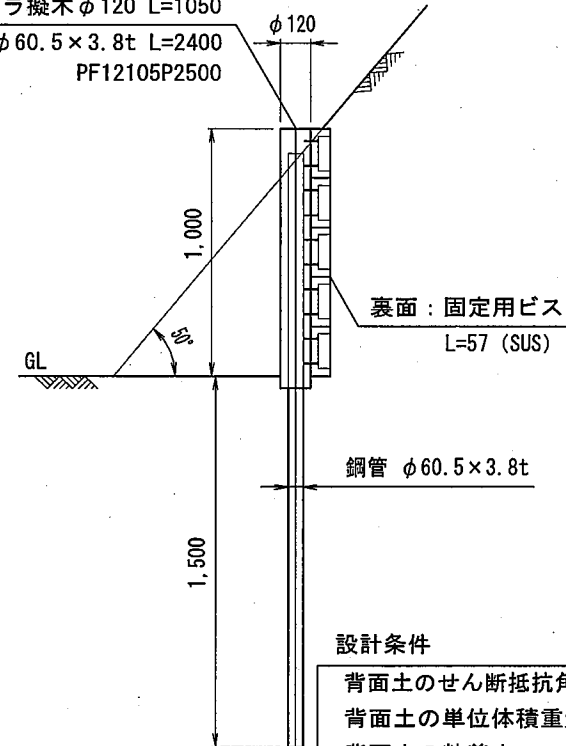
【特記】

- ※プラ擬木は、エコマーク認定品 (樹脂部はリサイクルプラスチック)
- ※賠償責任保険加入品
- ※プラ擬木 色：ダークブラウン
 - 丸太外観：クヌギ肌模様
 - 板材表面：木目模様
- ※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認ください。
- ※使用鋼管は亜鉛メッキ品 STK400以上



杭：プラ擬木 ϕ 120 L=1050

鋼管： ϕ 60.5 \times 3.8t L=2400
PF12105P2500



横板
プラ擬板t80 L=2000
h=200
PL20820N-D

設計条件

背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m
背面土の粘着力	0.00kN/m
載荷重	36.9kN/m
杭根入れ地盤の平均N値	5

※地盤条件などにより、
部材サイズ等が変更されます。

※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。
※設置環境により、補強等が必要となる場合がございます。

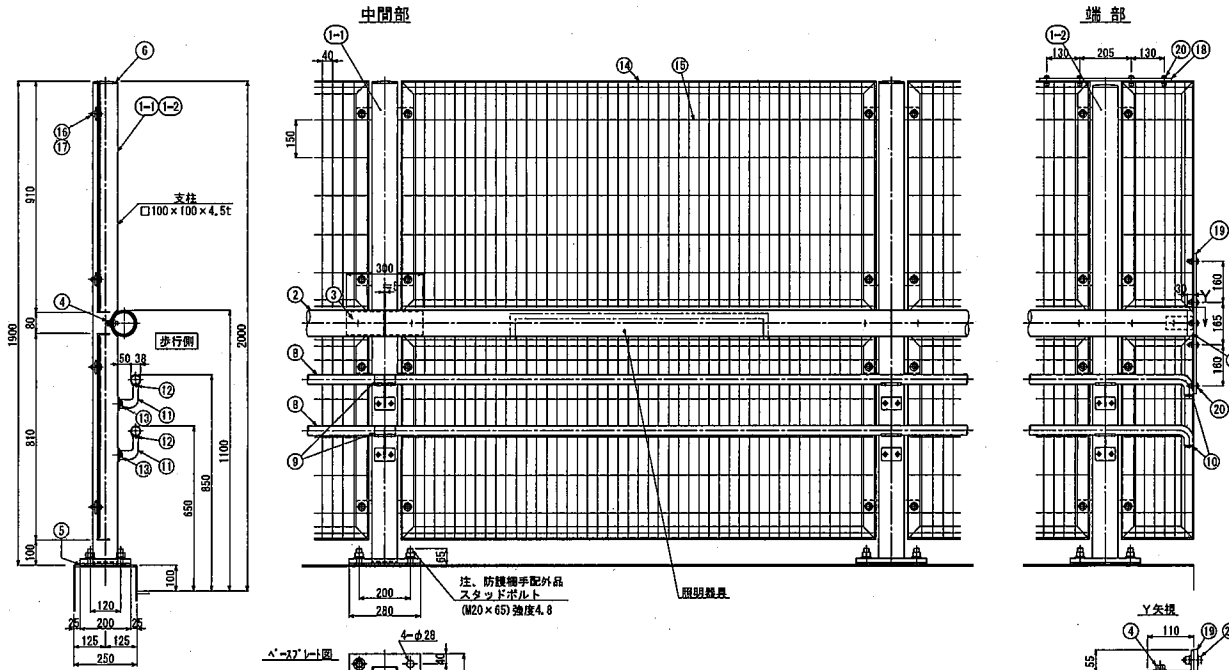
※打込み鋼管の天端は、GL+900mmです。(樹脂カバー天端-100mm)

※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

南側歩道橋 防護柵図(その2)

< 通路部 P1 ~ P2 2/2 >

防護柵詳細図 S=1:10
(種別 SP) H=1900

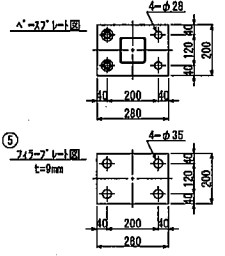


材料表

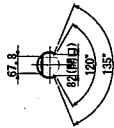
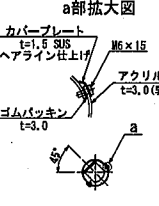
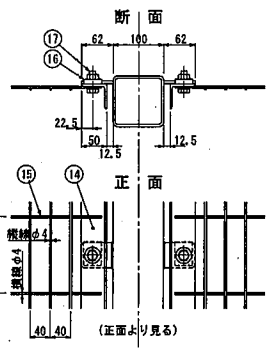
		H=1900 (種別 SP)					
符号	名称	寸法	材質	単位質量	数量	質量	表面処理
1-1	支柱(中間部用)	□100×100×4.5t (H1900)	STKR400 SS400	31.43	53	1666.8	HDZ35+工場塗装
1-2	支柱(端部用)	□100×100×4.5t (H1885)	STKR400 SS400	31.23	4	124.9	〃
2	笠木	φ101.6×3.2t	STK400	7.76	106,019 m	822.7	〃
3	スリーブ	φ89.1×3.2t×300	〃	2.03	53	107.6	〃
4	取付ボルト	M12×35	(H1.891)	0.06	118	7.1	HDZ35
5	カバープレート	9t×200×280	SS400	3.68	57	209.8	HDZ35+工場塗装
6	キャップ	□100×100×10	アルミ製	0.36	57	20.5	工場塗装
7	〃	φ101.6×30	〃	0.34	4	1.4	〃
8	手摺り	φ38×2.0t	SUS	1.79	212,808 m	380.9	△77°仕上げ
9	手摺り用スリーブ	φ34.0×80	〃	0.13	106	13.8	〃
10	エンドキャップ	φ38×7.2	〃	0.01	8	0.1	〃
11	手摺り用ブラケット	4.5t	SS400	0.42	114	1.4	HDZ35+工場塗装
12	ドリリングネジ	4×25	SUS	0.01	228	47.9	〃
13	取付ボルト	M10×35	(H1.891)	0.04	228	9.1	HDZ35
14	フレーム	1.6t×50×4t	(H18.48)	3.06	576,476 m	1764.0	HDZ35+工場塗装
15	メッシュパネル	縦横φ4:40×150 (118枚)	SMM-P	3.06	164,785 m ²	504.2	〃
16	クリップ付ナット	M12用	SS400	0.05	456	22.8	HDZ35
17	取付ボルト	M12×35	(H1.891)	0.06	456	27.4	HDZ35
18	端部接合板	9t×50×525	SS400	1.78	4	7.1	HDZ35+工場塗装
19	〃	9t×50×545	SS400	1.85	4	7.4	〃
20	取付ボルト	M10×35	(H1.87.891)	0.08	36	2.9	HDZ35
21	支持金具	6t×50	SS400	0.36	4	1.4	HDZ35+工場塗装
合計							5750.2 kg

防護柵長 106.404 m
 ・突き合せ(平面) : 2ヶ所
 ・端部処理 : 4ヶ所
 ・勾配エキストラ (1.0%以上 10%未満) : L = 48,000 m
 < 2% (R) 支柱 : 6本、2% (L) 支柱 : 6本、1% (R) 支柱 : 8本、1% (L) 支柱 : 8本、0% 支柱 : 20本 >

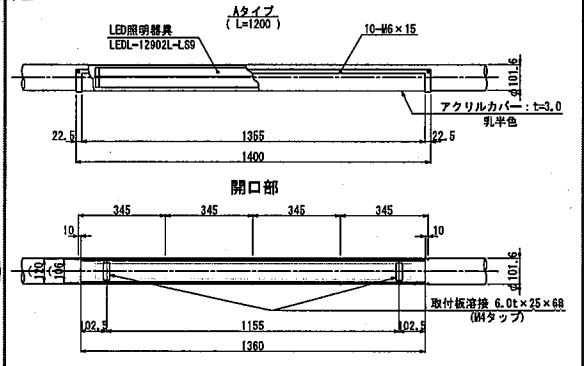
注記 1.本防護柵の仕様は「防護柵の設置仕様・取付図(平成20年1月)」による。
 2.風荷重は「道路指示方書・取付図(平成24年3月)」による。
 3.スタッドボルト: 22B (H1.8.891)は別途取付(防護柵工外)とする。
 4.照明灯及び取付部品は別途取付品とする。



取付部詳細図 S=1:5



照明部詳細図 S=1:10

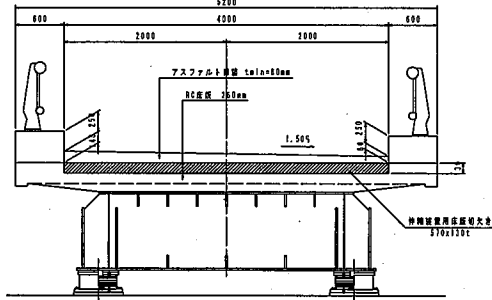


平成27年度	図面番号	42 / 57
路線名	[Redacted]	
業務名	[Redacted]	
場所	[Redacted]	
図面名	南側歩道橋 防護柵図(その2) 補内 図示	
大阪府茨木土木事務所		

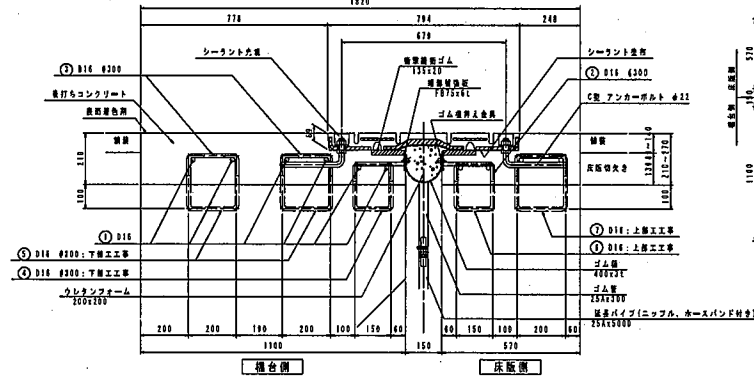
伸縮装置詳細図(その1)

A1, A2橋合部
(二次止水機能付き)

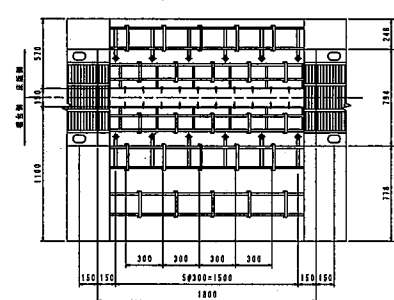
横断面図 S=1:30



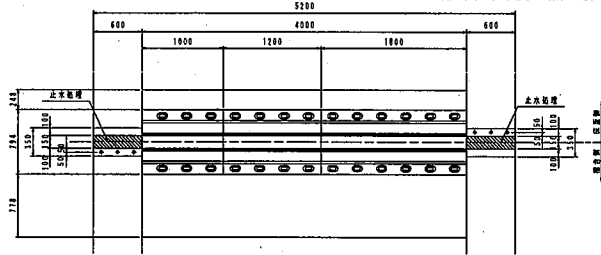
取付断面図 S=1:10



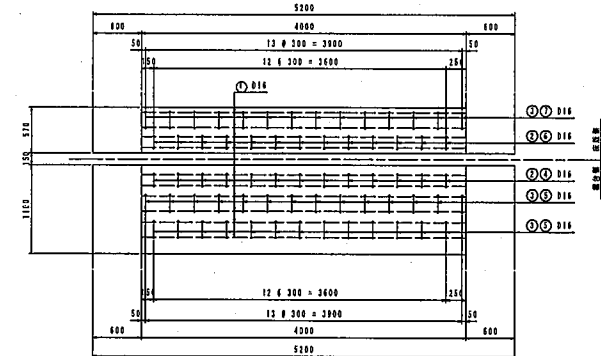
取付標準平面図 S=1:20



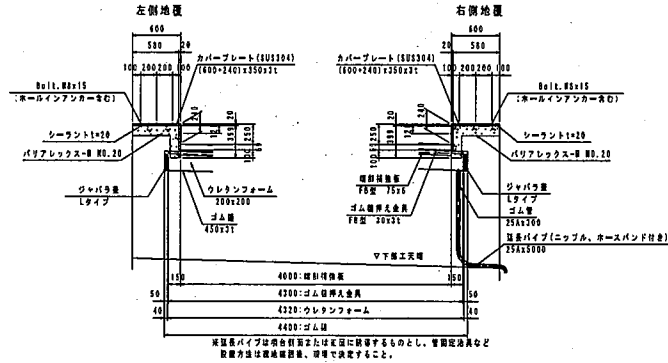
配置図 S=1:30



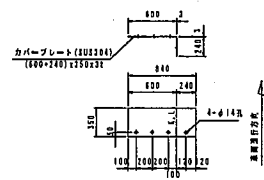
配筋図 S=1:30



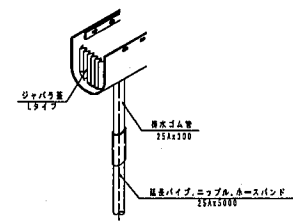
止水処理図 S=1:30



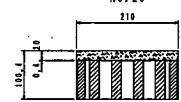
カバープレート加工図 S=1:30



ジャバラ蓋詳細イメージ図



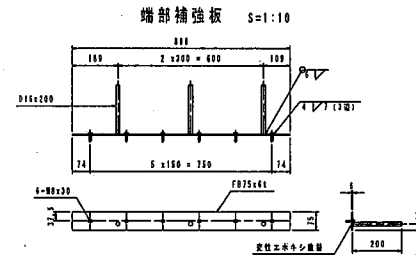
バリアレックス-M S=1:6



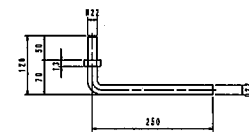
伸縮装置詳細図(その2)

A1, A2橋台部
(二次止水機能付き)

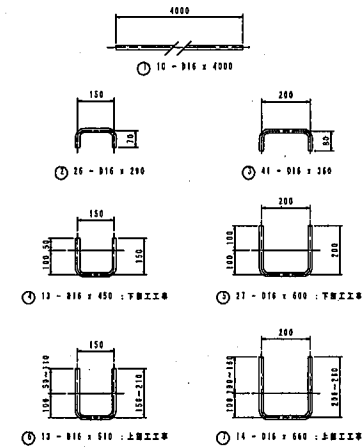
材料表							
品名	仕様、規格	単位	A1	A2	合計	備考	
コルジョイント	C9200 本橋長さ: 258.1kg/1.6m	m	4.000	4.000	8.000		
アンカーボルト	C鋼φ22	Set	24	24	52		
シーラント	ジョイント用	kg	22.0	22.0	44.0	2所シーラント 5.49kg/m	
管巻継ぎ目	FL135x200 (DB)	m	8.0	8.0	16.0		
鋼製補修板	F8型 75x45	m	8.0	8.0	16.0	φ16アンカーボルト	
ゴム継ぎ目金具	F8型 70x35	m	8.0	8.0	17.2		
止水装置 ジョイント部	ゴム板	400x2t (DB)	m	4.4	4.4	8.8	補修板入り
	ウレタンフォーム	200x200	m	4.2	4.2	8.4	
	ツヤバテ塗 1タイプ	桶	2	2	4	1タイプ	
	ゴム板 25A x 200	本	1	1	2		
	延長パイプ	25A x 1000	m	1	1	2	
ニップル、ホースバンド	Set	1	1	2	取付方法、数量は標準で決まること		
橋台基礎	① 10 - φ16 x 4000	kg	62.4	62.4	124.8	1.56kg/m	
	② 26 - φ16 x 200	m	11.8	11.8	23.6		
	③ 41 - φ16 x 200	m	22.0	22.0	44.0		
	④ 13 - φ16 x 450	m	8.1	8.1	16.2	下巻工事	
	⑤ 27 - φ16 x 600	m	25.3	25.3	50.6	下巻工事	
	⑥ 13 - φ16 x 510	m	10.3	10.3	20.6	上巻工事	
	⑦ 14 - φ16 x 600	m	14.4	14.4	28.8	上巻工事	
橋台基礎 合計		156.3	156.3	312.6			
磨耗コンクリート	φ55x300/mm2 磨耗	m ²	1.3	1.3	2.6		
保護塗料	7kg/m ²	kg	12.3	12.3	24.6		
止水装置 継ぎ目	カパープレート 1x2 (SUS304)	Set	2	2	4	(100x240)x10x2t	
	シーラント 1x20 パリアレックス-R No. 20	リットル	5.4	5.4	10.8	シーラント70	



アンカーボルト詳細図 S=1:5
C型アンカー(φ22)

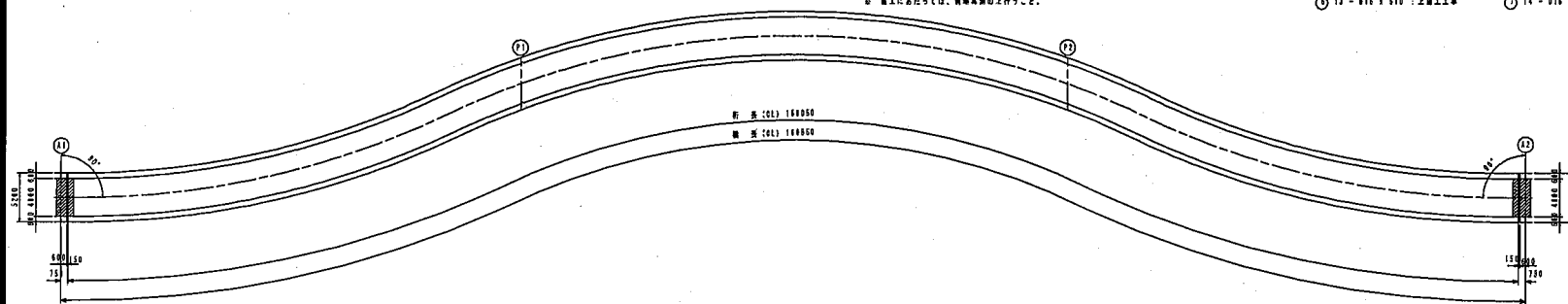


補強鉄筋加工図 S=1:10



位置図 S=1:250

※ 圖式にあたっては、標準取柄の上行うこと。

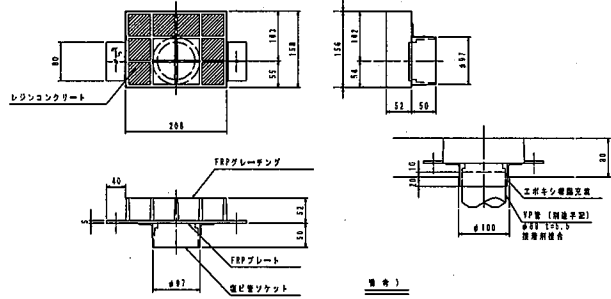


上部工排水装置(その2) S=1:10

排水柵詳細 S=1:5

DR1~DR28(型式:F15E)

製作数:20



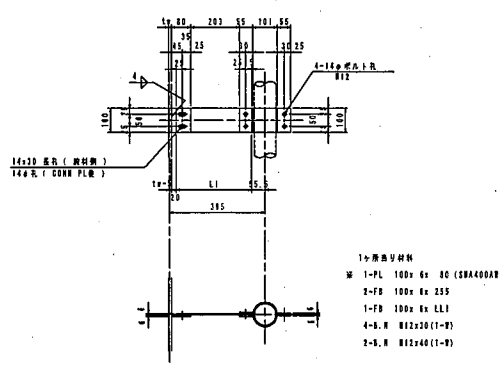
備考)

- 材質: FRP
- 重量: 2.7 kg/枚
- 表面処理: トップコート(黒色)
- 排水水管(VP管): 排水管支持金具にて固定すること

金具詳細 (S1)

DR1~DR28上

製作数:56

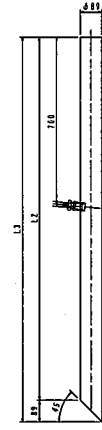


- 1ヶ所用材料
- W 1-PL 100x 6x 20 (SRA400A)
 - Z-FD 100x 6x 235
 - 1-FD 100x 6x 111
 - 4-S-N W12x30 (1-9)
 - 2-S-N W12x40 (1-9)

	Lw	L1	LL1
DR1, DR2, DR27, DR28	12	315.5	310
DR3~DR5, DR9~DR21, DR24~DR26	14	316.5	311
DR6, DR7	18	308.5	307
DR22, DR23	18	305.5	306

排水管詳細

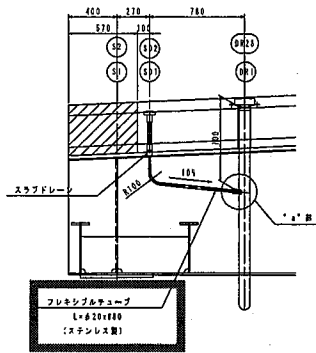
DR1~DR28上



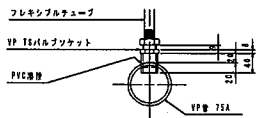
製作数:20
※ 1-PP 15x11L2

	L2	L1	L12
DR1	1585.5	1674.5	1675
DR2	2091.0	2180.0	2180
DR3	2146.5	2235.5	2236
DR4	2167.4	2256.4	2257
DR5	2165.3	2274.7	2275
DR6	2201.1	2280.1	2281
DR7	2211.8	2300.8	2301
DR8	2216.4	2305.6	2306
DR9	2221.7	2310.7	2311
DR10	2226.0	2315.0	2315
DR11	2228.4	2318.4	2319
DR12	2232.3	2321.3	2322
DR13	2234.1	2323.1	2324
DR14	2235.3	2324.3	2325
DR15	2235.3	2324.3	2325
DR16	2234.1	2323.1	2324
DR17	2232.3	2321.3	2322
DR18	2228.4	2318.4	2319
DR19	2226.0	2315.0	2315
DR20	2221.7	2310.7	2311
DR21	2214.5	2305.5	2306
DR22	2211.0	2300.0	2300
DR23	2201.0	2290.0	2290
DR24	2185.3	2274.3	2275
DR25	2184.8	2275.8	2276
DR26	2146.1	2235.1	2236
DR27	2108.2	2198.2	2199
DR28	1540.2	1629.2	1630

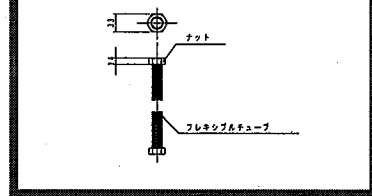
スラブドレーン排水詳細図 S=1:20



"a"部詳細 S=1:5

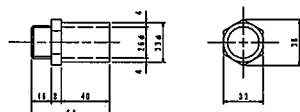


フレキシブルチューブ管詳細 S=1:5



VP TSバルブソケット S=1:2

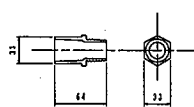
(20A) 製作数:2



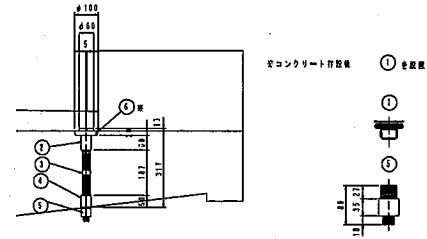
※JIS V (PFS/A) RDC JIS B 0202)

バルブソケット詳細 S=1:3

20A用 製作数:4



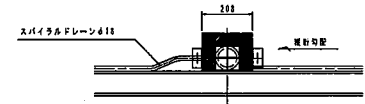
スラブドレーン詳細図



スラブドレーン材料表

部材名	寸法	備考
①	φ34.0x35	鋼管(裏面メッキ仕上げ)キャップ材(φ40x2.31)
②	φ42.3x60	鋼管(裏面メッキ仕上げ)
③	φ34.0x30	鋼管(裏面メッキ仕上げ)
④	φ42.3x50	鋼管(裏面メッキ仕上げ)
⑤	φ40.0x60	鋼管
SDキャップ	φ100x45	鋼製
自動リセットフィルター		スプリングフィルター(SR530A)

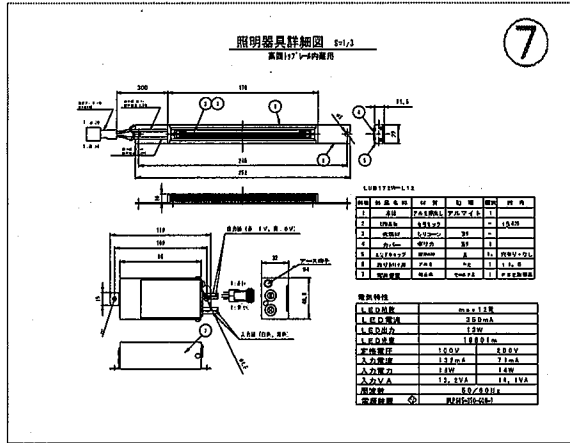
柵部スパイラル管処理



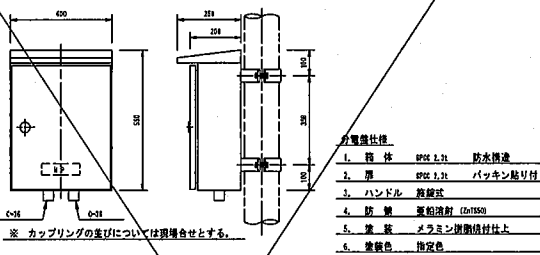
注意

1. 詳細な仕様書は全てS1400とする。
2. 本図以外の材料は全て標準規格メッキとする。
材質量はJIS H8461 2種SP255とする。
黒鉛ボルト、ナット類の材質量は DD235とする。

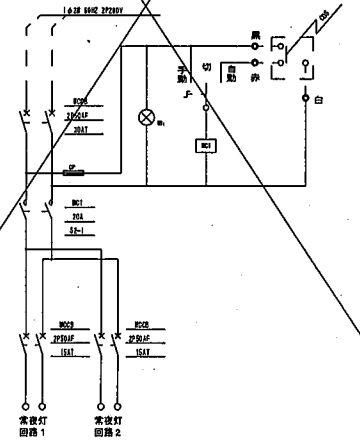
照明設備参考図(その2)



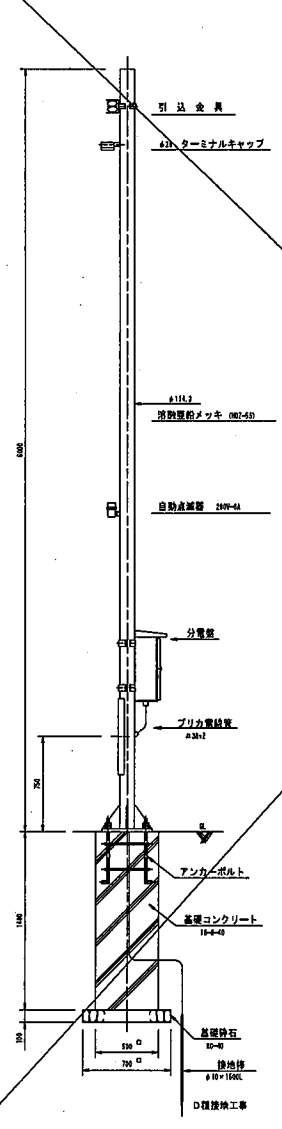
分電盤詳細図 S=1/10



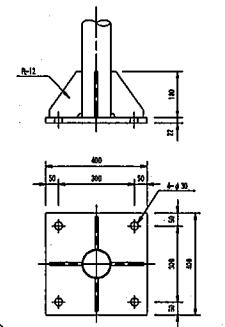
盤内結線図



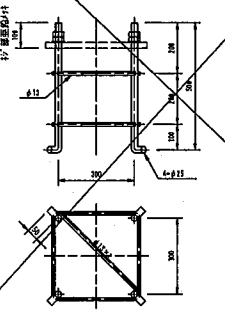
引込柱詳細図 S=1/20



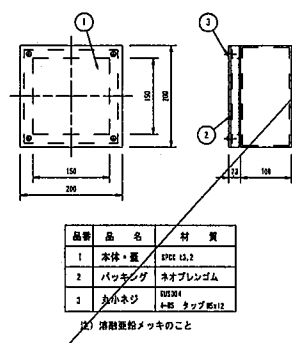
ベースプレート詳細図 S=1/10



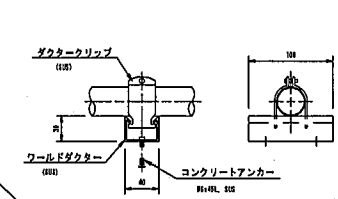
アンカーボルト詳細図 S=1/10



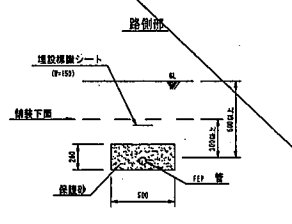
プルボックス詳細図 S=1/5



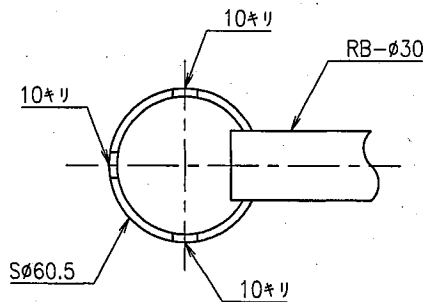
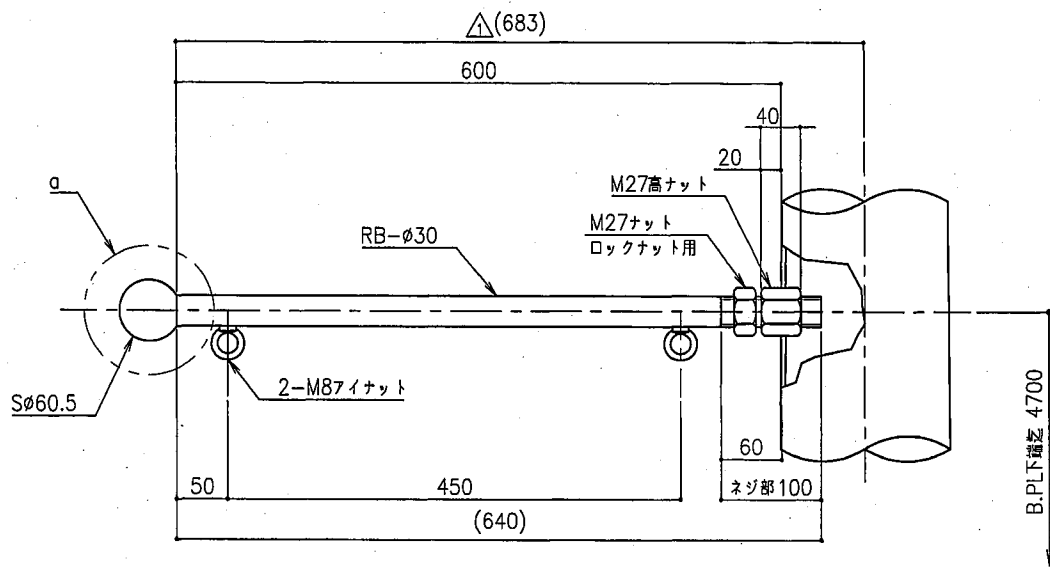
配管・配線支持金具詳細図 S=1/3



配管布設断面詳細図 S=1/20



平成 30 年度	図面番号	59 / 60
路線名	[Redacted]	
委託名	[Redacted]	
委託場所	[Redacted]	
図面名	照明設備参考図(その2)	縮尺 図示
事務所名	大阪府富田村土木事務所	



a部詳細図 S=1:2

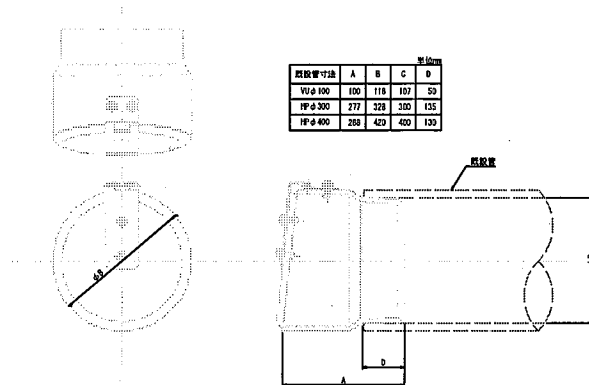
部 番		名 称		材 質	1組の 個 数	製 作 個 数	備 考
設 計	製 図	検 図	承 認	尺 度	フワッグアーム詳細図		
年 月 日	18 - 04 - 10			1:5			
				第 角 法			

MKZ-180028-01	△	18.05.18	径変更	大柳
部番	符号	年月日	訂正記事	印

08A3-005

参考図

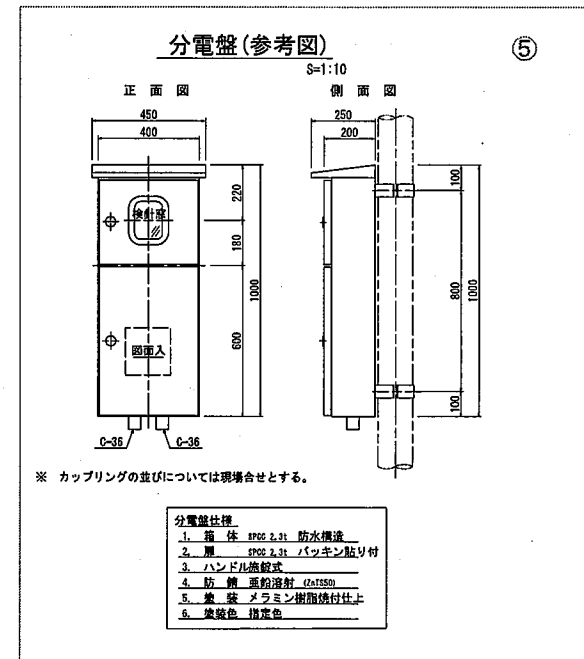
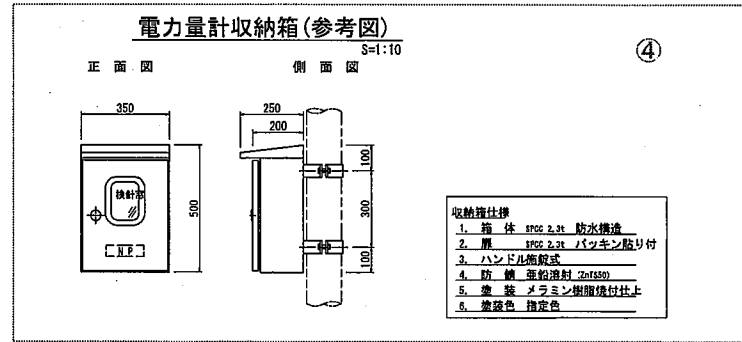
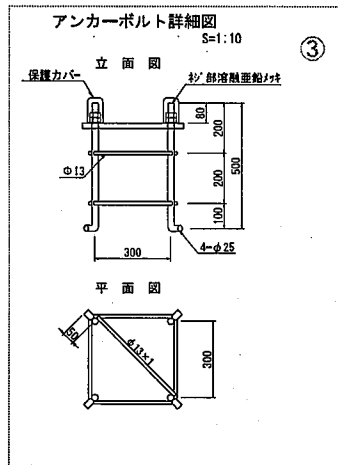
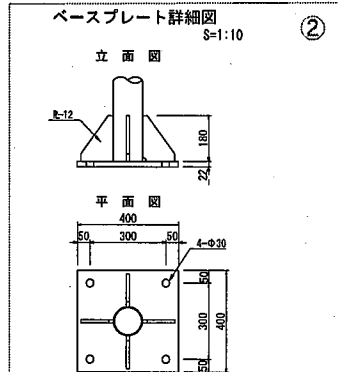
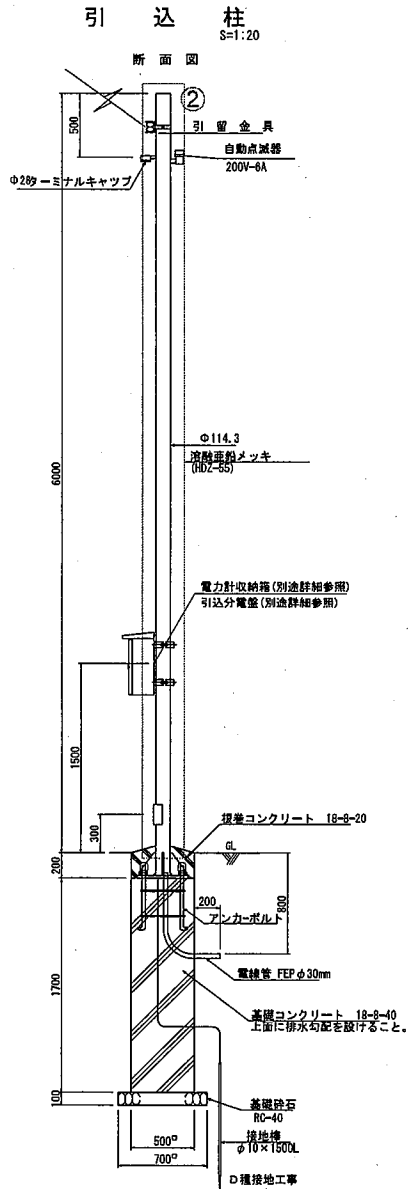
フラップゲート詳細図
S=1:3



フラップゲート寸法	A	B	C	D
VFφ100	100	118	107	52
VFφ200	217	228	210	115
VFφ400	288	420	420	132

年度	図面番号	1 / 1
河川名	[REDACTED]	
工事名	[REDACTED]	
所屬地名	[REDACTED]	
図面名	[REDACTED]	
縮尺	S=1:50, 20.3 作成年月	
大阪府富田林士本事務所		

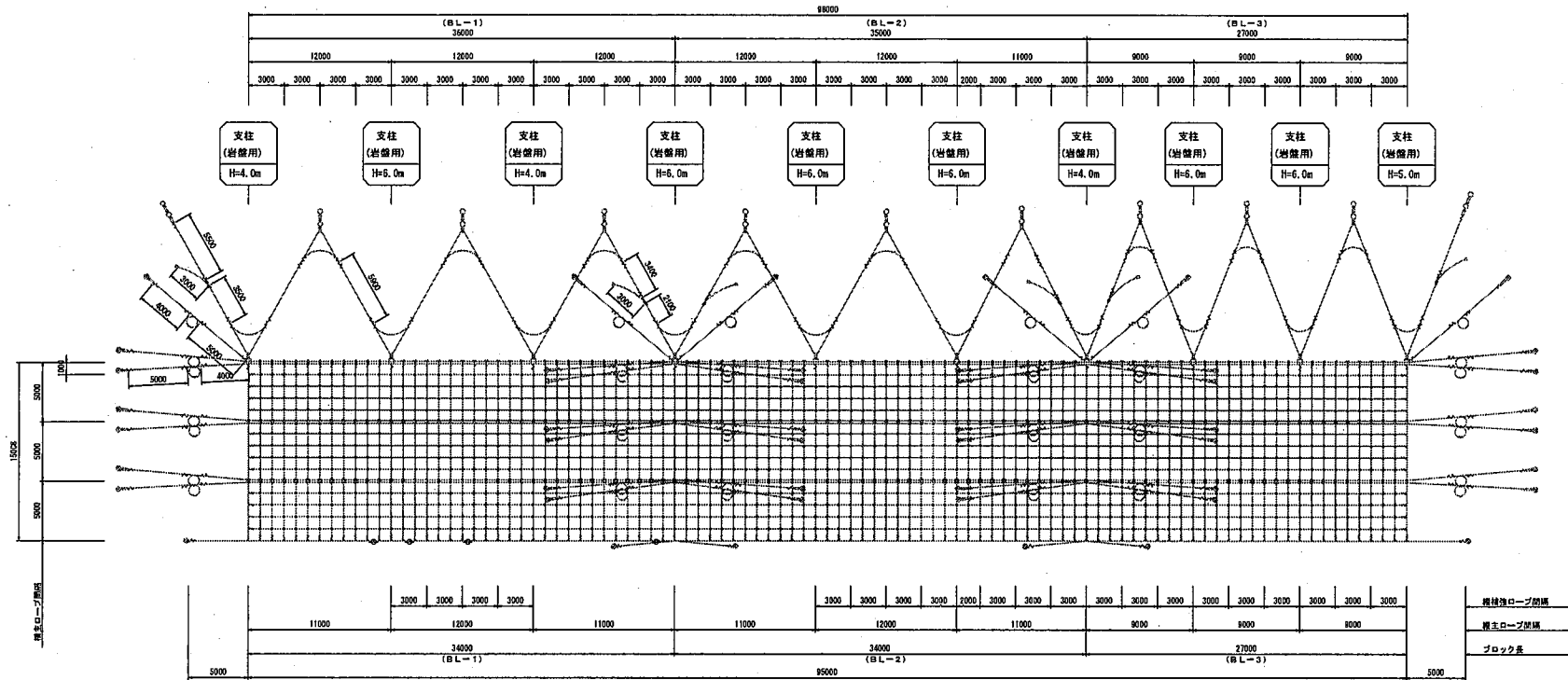
構造図 (1)



平成 30 年度	図面番号	4 / 7
路線名	[REDACTED]	
委託名	[REDACTED]	
委託場所	[REDACTED]	
図面名	構造図 (1)	縮尺 図示
事務所名	大阪府富田林土木事務所	

高エネルギー吸収型ポケット式落石防護網展開図

S=1:200



材料表

建設面積 1411.3 m²

記号	名称	規格	単位	数量
■	金網	AZ-300 4.0φ×50×50	m ²	1602.7
—	吊ロープ		m	140.6
—	縦主ロープ	3×70/0 16φ (黒メッキ)	m	150.0
—	横主ロープ		m	1031.0
—	縦補強ロープ		m	360.0
—	横補強ロープ	3×70/0 12φ (黒メッキ)	m	975.0
—	サイドロープ	3×70/0 16φ (黒メッキ)	m	54.0
✓	サポートロープ	3×70/0 16φ (黒メッキ)	m	114.0
✓	スライドロープ	6×24Z/0 16φ	m	19

記号	名称	規格	単位	数量
□	WRクリップ	L型 160×80	個	202
○	WRクリップ	明型 90×90	個	1184
▽	TWクリップ	90×50	個	68
△	Tクリップ-標準型	70×165	個	123
◁▷	Tクリップ-連結型	70×210	個	0
⊕	巻付グリッパ	16φ用 (AZ300)	m	230
⊖	巻付グリッパ	12φ用 (AZ200)	m	154
—	結合コイル	4.0φ×300 (AZ300)	m	4400
◎	B Rロックアンカー	Ø32×1500 (黒・サイドロープ用)	m	48
○	B Rロックアンカー	Ø28×1500 (吊ロープ用)	m	22

記号	名称	規格	単位	数量
⊙	弾丸用アンカー	Ø22×1000	m	4
□	B Rポケット支柱	H=150×150 高さ=4.0m	組	3
□	B Rポケット支柱	H=150×150 高さ=5.0m	組	1
□	B Rポケット支柱	H=150×150 高さ=6.0m	組	6
□	ターンバックル	7/8×12"	m	55
⊕	バランス器具	φ150	個	19
△	強力矢張りシャックル	25φ×200	個	65
*	アイガード	巻付グリッパ用	個	178
○	ビーズリング	φ900	m	42
—	K T変換	16φ用	個	6

記号	名称	規格	単位	数量
◇	ストッパー	16φ用	個	6
—	ワイヤクリップ	F20-22	個	30

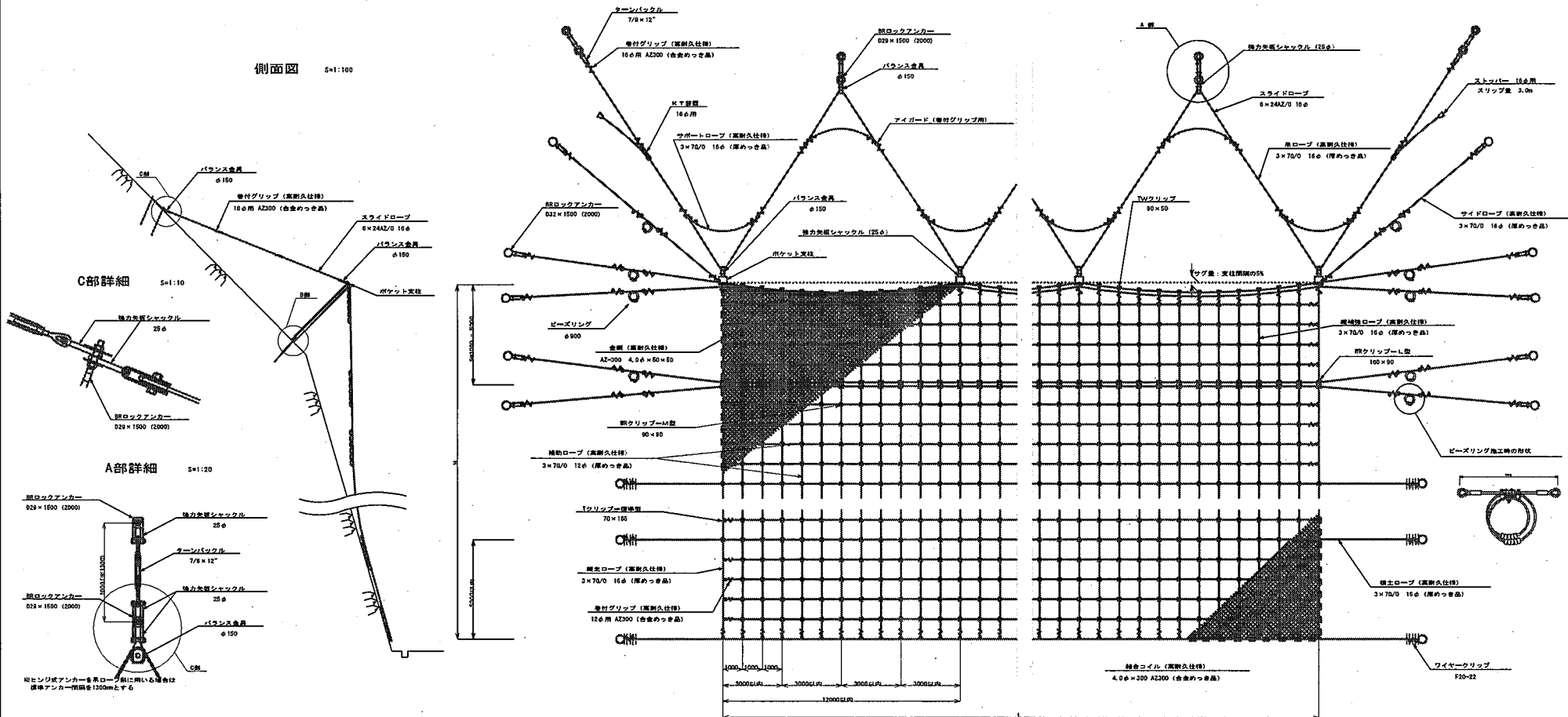
【注記】
 ・最終施工箇所、支柱高さは現地地工調査後に決定すること。
 ・アンカーについては、取付地質条件を確認の上、適切なアンカーを選択、施工すること。
 ・道路から見た図を表す。

年度	備考
	/
所属名	
工事名	
所属地名	
図面名	高エネルギー吸収型ポケット式落石防護網工展開図
縮尺	1:200 作成年月 令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所	

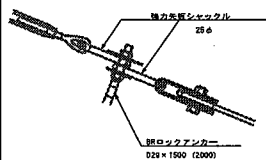
高エネルギー吸収型ポケット式落石防護網一般構造図

一般構造図 S=1:100

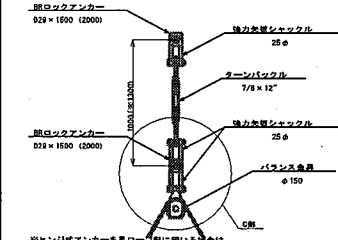
側面図 S=1:100



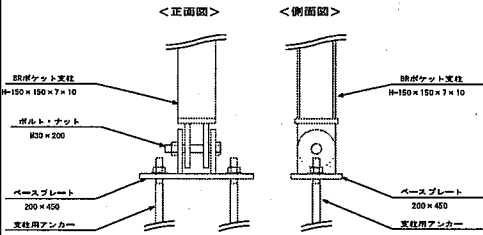
C部詳細 S=1:10



A部詳細 S=1:20



B部詳細 S=1:10



使用部材表

記号	名称	規格
■	金網	AZ-300 4.0φ×50×50
○	主ロープ	
○	補助ロープ	3×70/0 16φ (厚めつき品)
○	鋼クリップ	
○	補助ロープ	3×70/0 12φ (厚めつき品)
○	ワイヤークリップ	
○	サポートロープ	3×70/0 16φ (厚めつき品)
○	スライドロープ	8×244Z/0 16φ

記号	名称	規格
□	WRクリップ-L型	150×90
□	WRクリップ-M型	90×90
▽	TWクリップ	90×50 (天線用)
△	Tクリップ-標準品	70×185
◇	ターンバックル	16φ用
◇	ワイヤークリップ	16φ用 (F20-F22)
◇	アイガード	巻付グリップ用
◇	結合コイル	4.0φ×300 (AZ200)
◇	鋼ロックアンカー	H=150×150 高さ4-8m

記号	名称	規格
◎	鋼ロックアンカー	D28×1500 (2000)
◎	鋼ロックアンカー	D32×1500 (2000)
◎	鋼ロックアンカー	31.8φ×2000 (土径鋼絞鋼材)
◎	鋼ロックアンカー	31.8φ×2000 (ヒンジ式鋼絞鋼材)
○	ターンバックル	7/8×12"
○	バランス金具	φ150
○	強力緊張シェックル	25φ×200
○	ビーズリング	φ900 (AZ)
○	K T 鋼線	16φ用
○	ストッパー	16φ用

※補助鋼絞鋼を設けたい場合は主ロープの巻付グリップにはワイヤークリップを
取り付ける

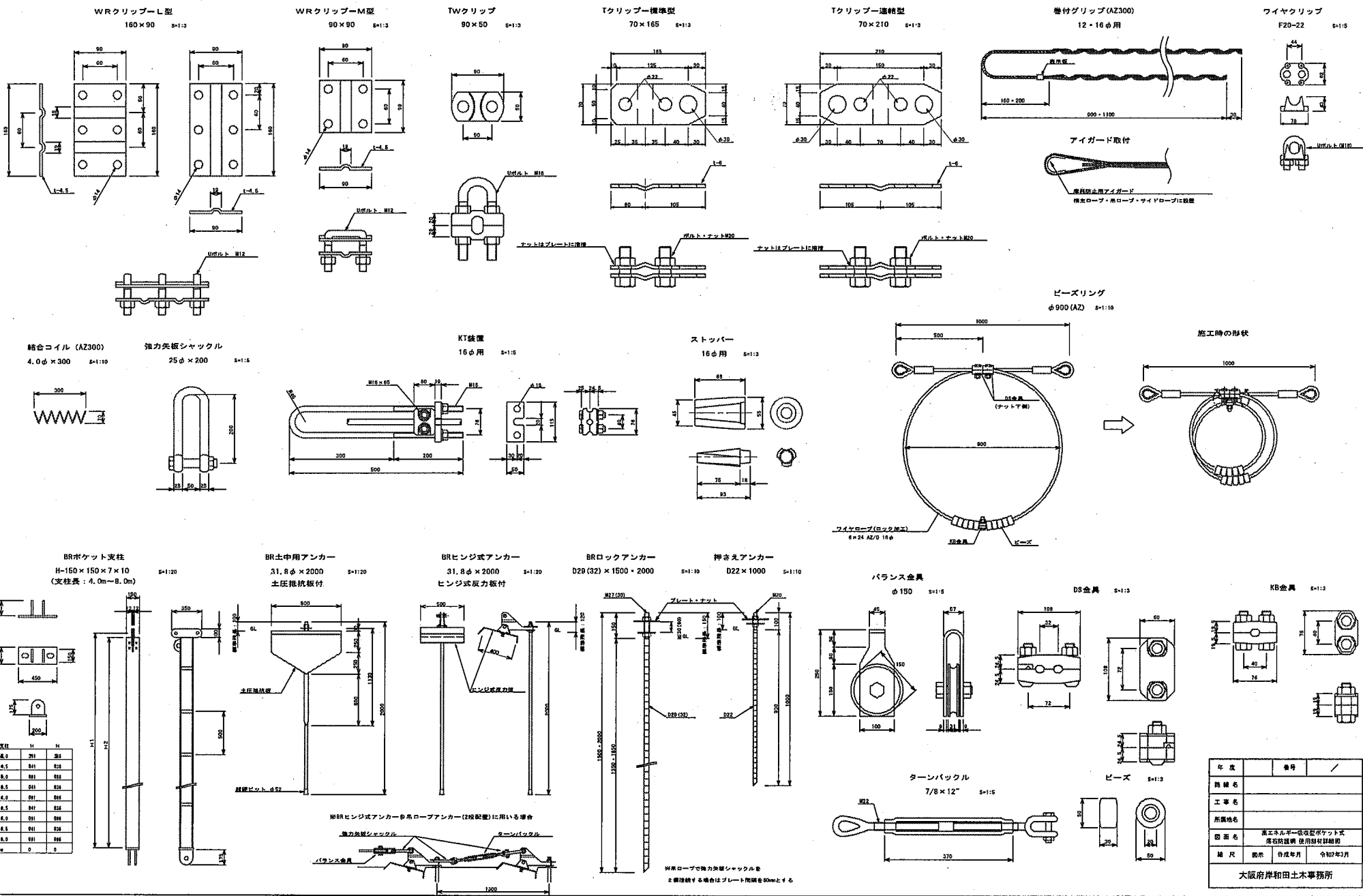
※アンカーについては現地地質条件を確認の上、適切なアンカーを選択し、施工すること
鋼絞鋼に設置する場合は、鋼絞鋼の厚さより防止するために鋼下段鋼絞鋼に押し込ま
れることを防ぐこと

【結合コイル取付け】
 最上鋼絞主ロープ 3個/1m
 鋼絞主ロープ 2個/1m
 鋼絞主・補助鋼絞主ロープ 2個/1m
 鋼絞主・補助鋼絞主ロープ 1個/1m

年度	番号	／
設計名		
工事名		
所在地名		
図面名	高エネルギー吸収型ポケット式 落石防護網一般構造図	
縮尺	図示	作成年月 令和2年3月

大阪府岸和田土木事務所

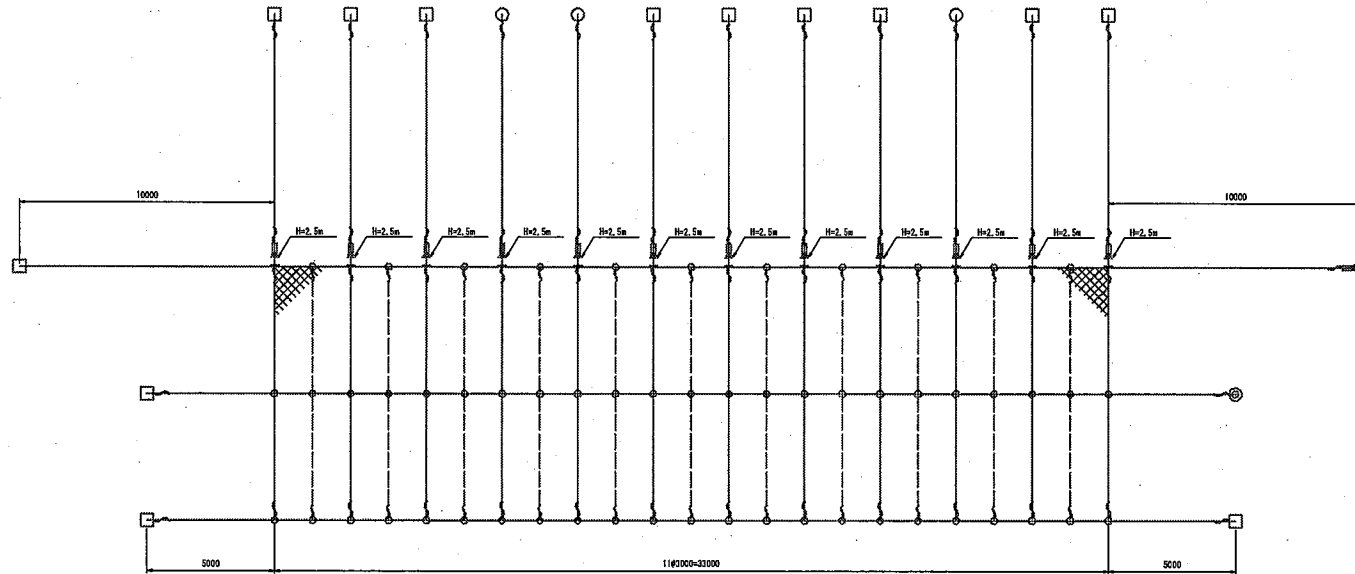
高エネルギー吸収型ポケット式落石防護網 使用部材詳細図



年度	番号	／
路線名		
工事名		
所属地名		
図面名	高エネルギー吸収型ポケット式落石防護網 使用部材詳細図	
縮尺	図示	作成年月 令和7年3月
大阪府岸和田土木事務所		

ポケット式落石防護網展開図

S=1:100



ポケット式落石防護網数量表

名称	仕様・寸法 (mm)	単位	数量	備考	記号
金網・ロープ	網目3.2mm Z-GS4	m ²	330		
岩射用アンカー	38φ×1200	箇所	11		
土砂射用アンカー	A型ポケットアンカー L=1.5m	箇所	2	横ロープ用	
土砂射用アンカー	土圧板付アンカー L=2.0m	箇所	3	吊ロープ用	
ポケット式支柱	支柱高2.5m 岩射用	箇所	7	H=100×100×6×8	
ポケット式支柱	支柱高2.5m 土砂射用	箇所	5	H=100×100×6×8	

(注) 数量、支柱、アンカーの個数は概算であり施工によっては
現地調査後、変更の上実施すること。
(設計は比尺にて計上 岩射用60% 土砂用40%)

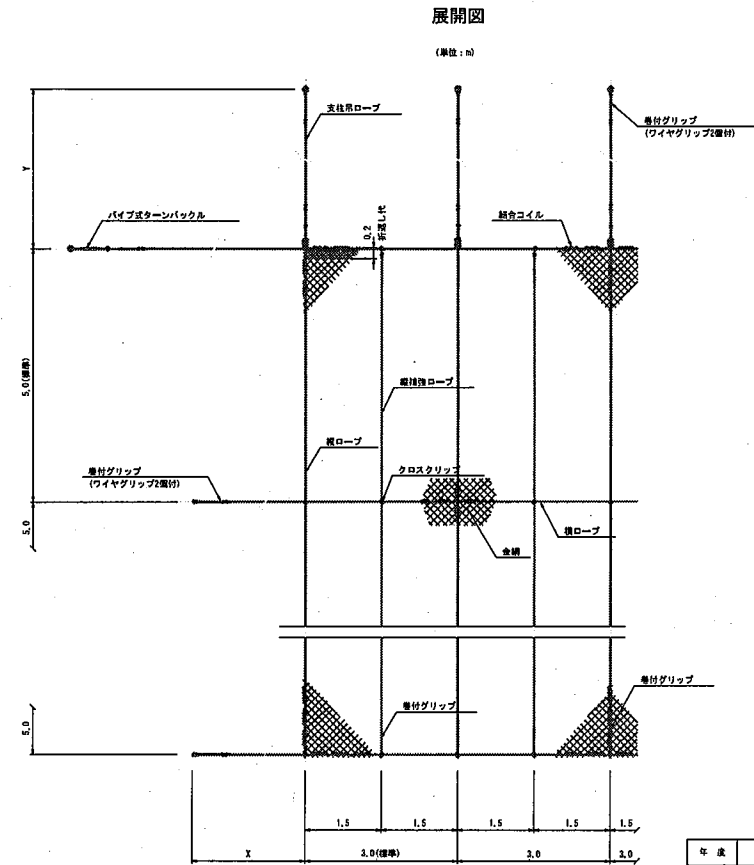
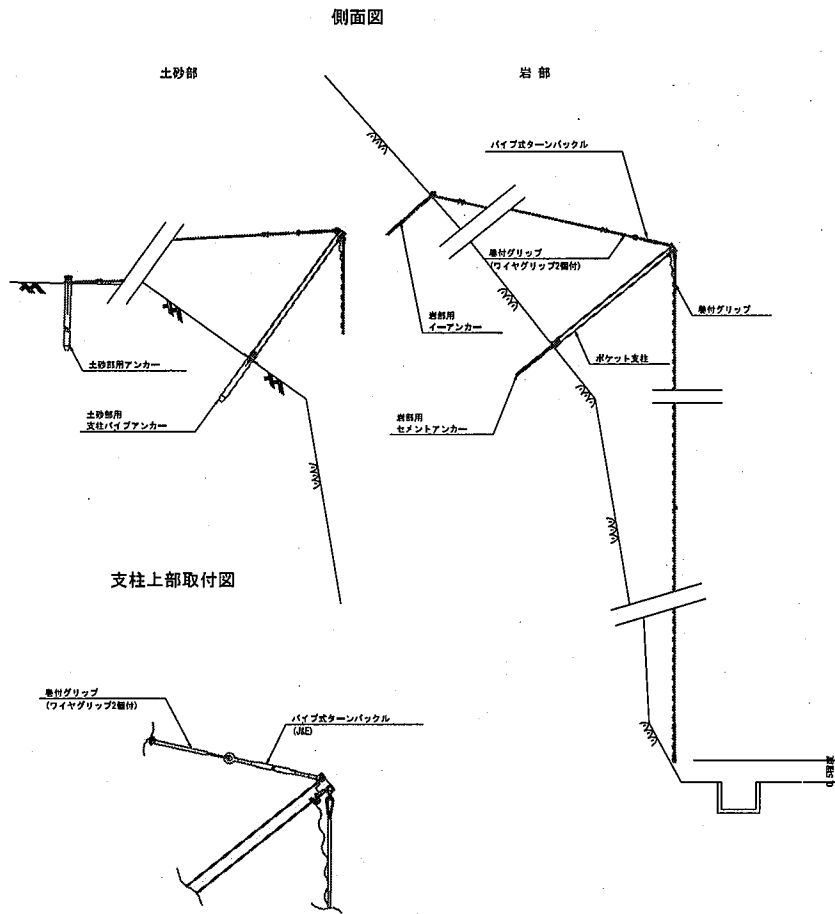
年度	番号	/
路線名		
工事名		
所属地名		
図面名	ポケット式落石防護網展開図	
縮尺	1:100	作成年月 令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所		

ポケット式落石防護網詳細図(1)

S=1:50

金網線径φ5.0

	金網	支柱用ロープ	縦ロープ	横ロープ	縦横用ロープ	イーアンカー	結合コイル	クロスクリップ	パイプ式ターンバックル
TPH-5.0	5.0φ×50×50	3×7 18φ	3×7 18φ	3×7 18φ	3×7 14φ	36φ×1200	4.0φ×70×300	(大) 4.5t×75×80	25φ×350



金網の採用数量	
金網	3.30
縦横用ロープ設置しだい	0.20

年度	番号	/
路線名		
工事名		
所屬地名		
図面名	ポケット式落石防護網詳細図(1)	
縮尺	1:50	作成年月 令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所		

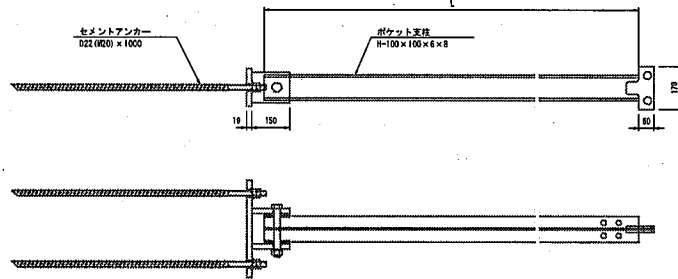
ポケット式落石防護網詳細図(2)

金網線径φ5.0

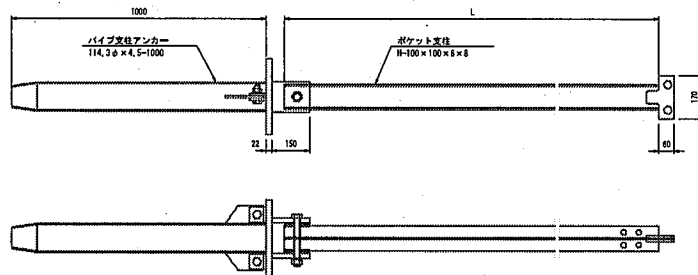
支柱

S=1:10

岩部用

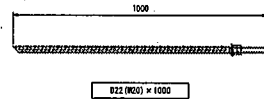


土砂部用



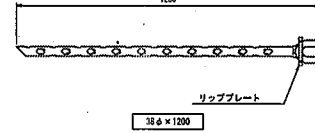
岩部用 セメントアンカー

S=1:10



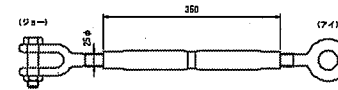
岩部用 イーアンカー

S=1:10



パイプ式ターンバックル(J&E) 25φ

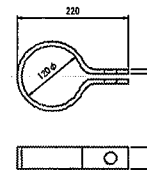
S=1:5



ターンバックル取付金具

(大) 土砂部用

S=1:5



ワイヤグリップ

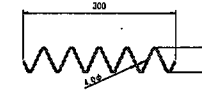
F-24

S=1:5



結合コイル 4.0φ

S=1:5

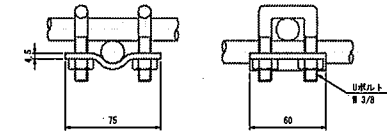


結合コイル使用数量	
最上段用ロープ	: 2ヶ所
横ロープ	: 3ヶ所
縦ロープ	: 5ヶ所
縦横用ロープ	: 5ヶ所

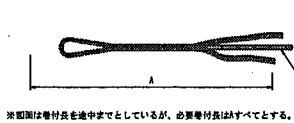
クロスクリップ

S=1:2

(大) 4.5t×60×75



巻付グリップ



※横ロープ・縦ロープに使用する場合は、巻付部両端をワイヤグリップにて十分に緊締すること。
*図面は巻付長を途中までとしているが、必要巻付長はすべてとする。

寸法表			
長さ	寸法	呼び寸法	A
巻付グリップ(左記)	18φ用-1350	1350	
	: 結束用	14φ用-1100	1100
巻付グリップ(右記)	18φ用-1550	1550	
	: φ42用		

【規格外仕様(FP)】 寸法表			
長さ	寸法	呼び寸法	A
巻付グリップ(左記)	18φ用-1500	1500	
	: 結束用	14φ用-1300	1300
巻付グリップ(右記)	18φ用-1710	1710	
	: φ42用		

年度	巻号	/
設計名		
工事名		
所属地名		
図面名	ポケット式落石防護網詳細図(2)	
縮尺	表示	作成年月 令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所		

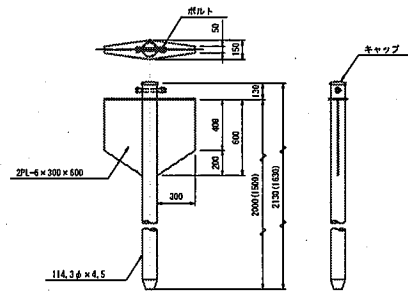
ポケット式落石防護網詳細図(3)

S=1:20

土砂部用アンカー

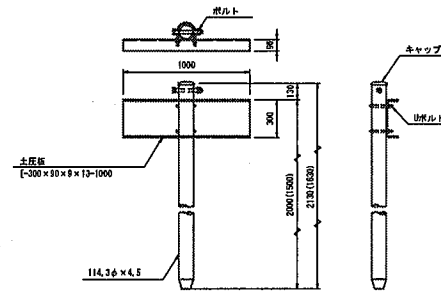
土砂部用
A型ロケットアンカー

114.3φ×4.5-2130
(114.3φ×4.5-1630)



土砂部用
土圧板付アンカー

114.3φ×4.5-2130
(114.3φ×4.5-1630)



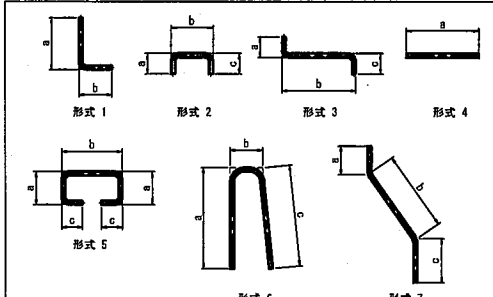
年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	ポケット式落石防護網詳細図(3)		
縮尺	1:20	作成年月	令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所			

剛性防護柵基礎工詳細図 (2)

(SC種)

剛性防護柵基礎工加工表 S=1:20

鉄筋加工表

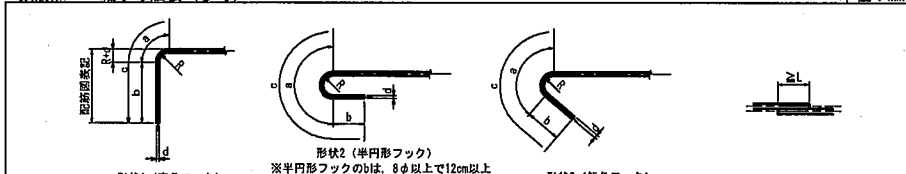


種別	径	鉄筋長 (mm)	鉄筋本数 (本)	形状番号	曲げ寸法 (mm)		
					a	b	c
(W1)	D13	930	41	1	757	202	
(W2)	D13	930	41	1	757	202	
(W3)	D13	640	41	2	202	288	202
(W4)	D13	9800	4	4	9800		
(F1)	D13	1540	41	3	202	1133	257
(F2)	D13	1480	41	2	202	1133	202
(F3)	D13	9800	12	4	9800		
(K1)	D13	2340	63	6	1137	110	1142
(K2)	D16	2520	18	6	1228	113	1234
(K3)	D13	1080	63	7	181	486	417
(K4)	D16	1210	18	7	222	487	507
(K5)	D13	9800	12	4	9800		
(S1)	D13	1400	19	5	289	539	196
(S2)	D13	660	16	2	196	314	196
(S3)	D13	660	4	2	196	317	196

※1 鉄筋の曲げ加工寸法表示は、平成15年版「土木製図基準」に準拠する。
 ※2 鉄筋長は、鉄筋の中心寸法を示す。

鉄筋加工・継手寸法表 (参考)

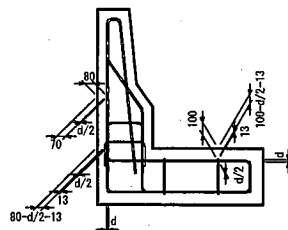
単位: mm



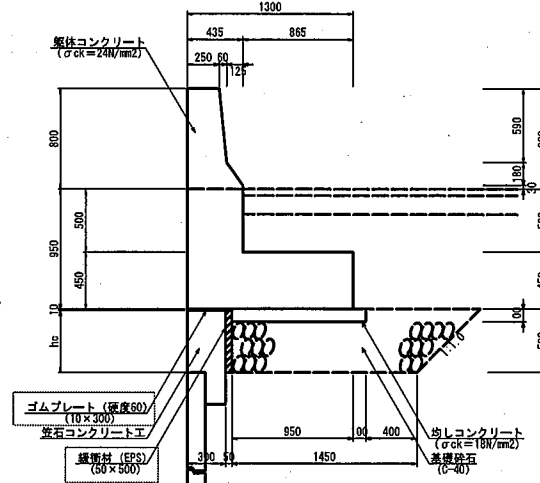
径	直角フック (形状1)			半円形フック (形状2)			鋭角フック (形状3)			継手の加工 (形状4)			L			
	a	b (12φ)	c	a	b (8φ)	c	a	b (10φ)	c	a	b (12φ)	c				
D13	62	156	218	39	123	243	39	92	130	222	39	52	156	208	33	410
D16	76	192	268	48	151	309	48	114	160	274	48	63	192	255	40	500
D19	90	228	318	57	180	366	57	135	190	325	57	76	228	304	48	600
D22	104	264	368	66	208	416	66	156	220	376	66	87	264	351	55	690
D25	118	300	418	75	236	472	75	177	250	427	75	99	300	399	63	790
D29	137	348	485	87	274	548	87	205	290	495	87	115	348	453	73	910
D32	151	384	535	96	302	604	96	227	320	547	96	126	384	510	80	1000

【注】表中の寸法は、鉄筋中心位置の寸法を示す。

鉄筋かぶり詳細図



剛性防護柵基礎 (L型擁壁) 工構造一般図 S=1:20 (SC種)



注記) 1. 躯体延長がL=10.00m以下となる場合については、別途安定照査を要する。

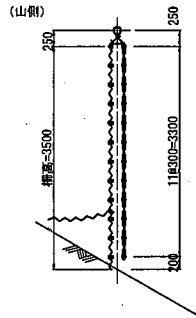
鉄筋質量表 (延長10.0m当り)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
(W1)	D13	930	41	0.995	0.93	38	L
(W2)	D13	930	41	0.995	0.93	38	L
(W3)	D13	640	41	0.995	0.64	26	□
(W4)	D13	9800	4	0.995	9.75	39	—
(F1)	D13	1540	41	0.995	1.53	63	—
(F2)	D13	1480	41	0.995	1.47	60	—
(F3)	D13	9800	12	0.995	9.75	117	—
(K1)	D13	2340	63	0.995	2.33	147	—
(K2)	D16	2520	18	1.560	3.93	71	—
(K3)	D13	1080	63	0.995	1.07	67	—
(K4)	D16	1210	18	1.560	1.89	34	—
(K5)	D13	9800	12	0.995	9.75	117	—
(S1)	D13	1400	19	0.995	1.39	26	□
(S2)	D13	660	16	0.995	0.66	11	□
(S3)	D13	660	4	0.995	0.66	3	□
				SD345	D13	752	kg
				SD345	D16	105	kg
				合計		857	kg

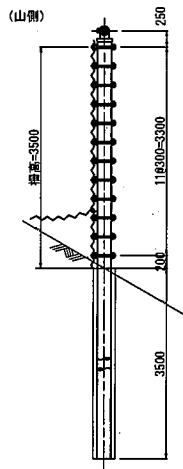
工事名	剛性防護柵基礎工詳細図 (2)
図面名	剛性防護柵基礎工加工表
作成年月日	平成31年1月
縮尺	S=1:20 図面番号 51/114
会社名	
事業者名	茨木土木事務所

落石防護柵一般図
(柵高 H= 3.5 m)

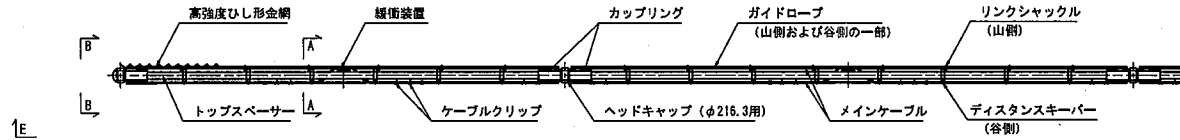
A - A 矢視図



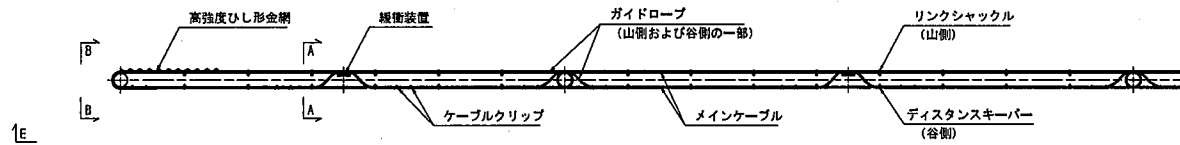
B - B 矢視図



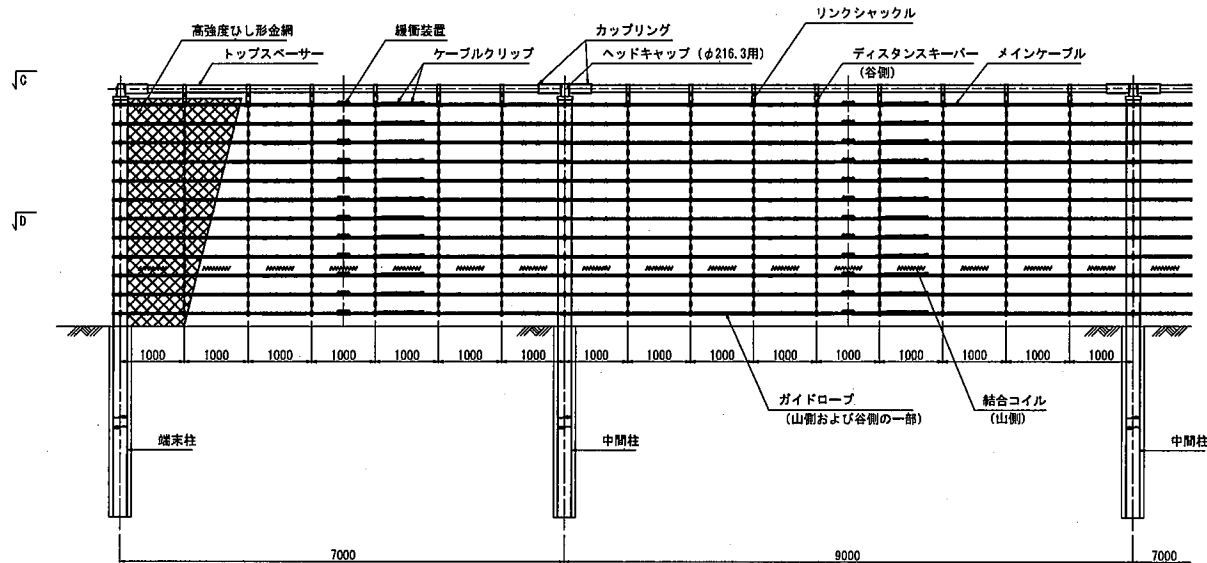
C - C 矢視図



D - D 矢視図



E - E 矢視図



スリップ余長概要図



主要部材仕様一覧

部材名称	仕様
端末柱 谷側 中間柱	φ=216.3mm t=8.2 mm (M=300 kN-m)
メインケーブル	L=3500+3500+120=7120 mm
ガイドロープ	φ=16mm 7×19
高強度ひし形金網	φ=4 mm 52×52mm

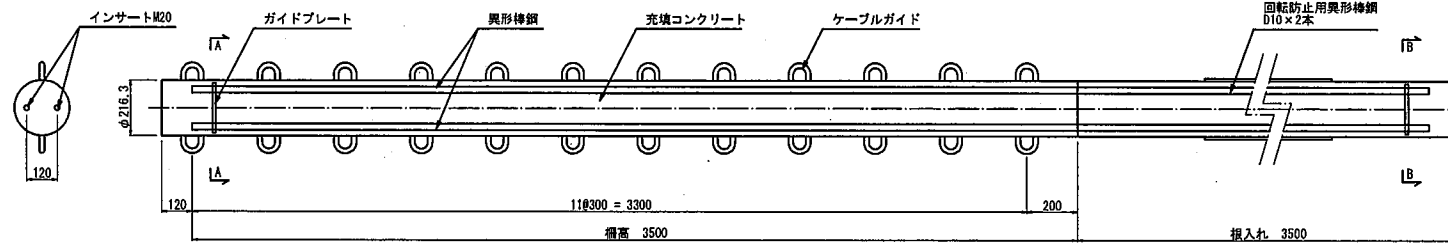
特記事項

- 塗装色はダークブラウン塗装とする。

年度	図表番号
路線名	
河川	
工業名	
所属地名	
図表名	落石防護柵一般図
縮尺	原形
図示	作成年月日 令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所	

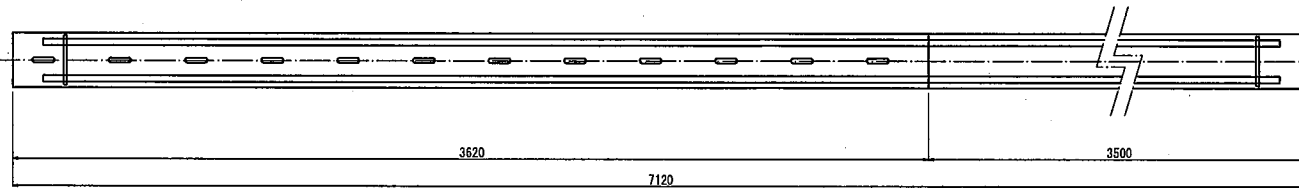
落石防護柵材詳細図(1)
 端末および中間柱
 LP500/柵高 H= 3.5 m

支柱平面図 S=1:10



支柱正面図 S=1:10

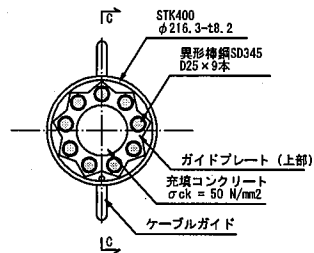
支柱側面図 S=1:10



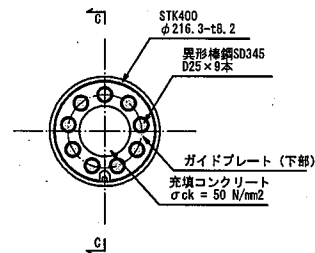
支柱断面図 S=1:5

ガイドプレート詳細図 S=1:5

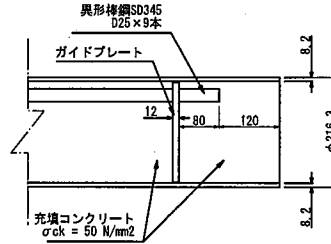
A-A 矢視図



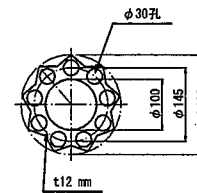
B-B 矢視図



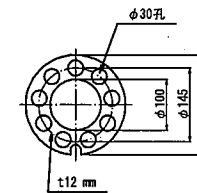
C-C 矢視図



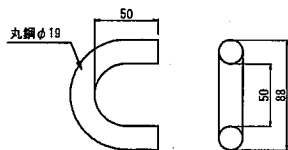
上部



下部



ケーブルガイド詳細図 S=1:2

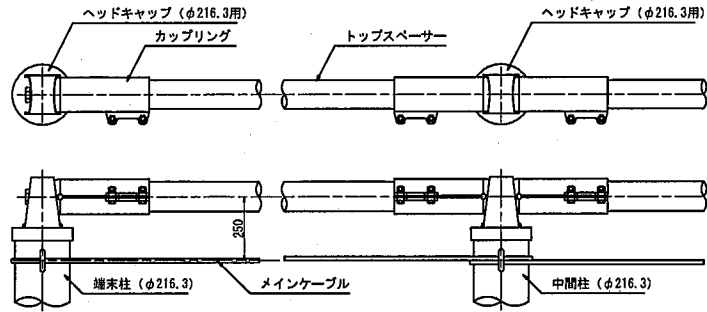


特記事項

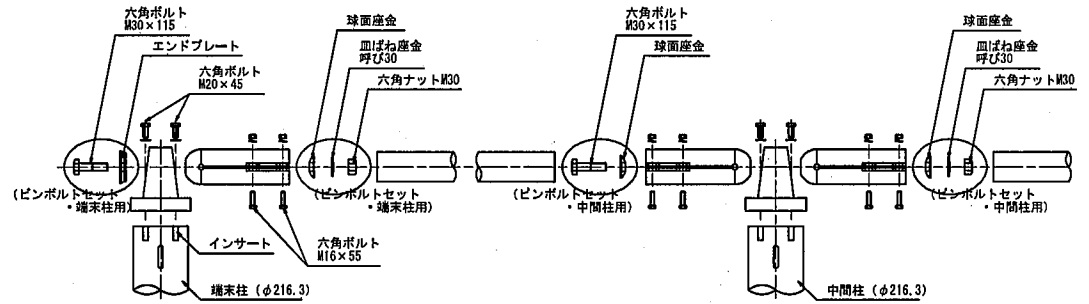
年度	調査番号
路線名	
区間	
工事名	
所属地名	
図面名	落石防護柵材詳細図(1)
縮尺	図示
図示	作成年月日 令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所	

落石防護柵詳細図(2) 上弦材

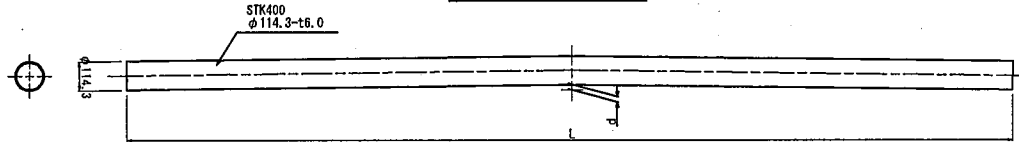
上弦材構造図 S=1:10



上弦材組立概要図 S=1:10



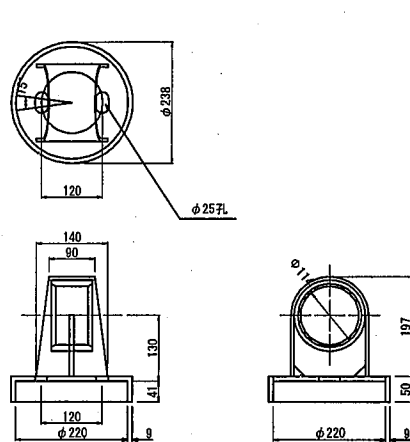
トップスペーサー詳細図 S=1:10



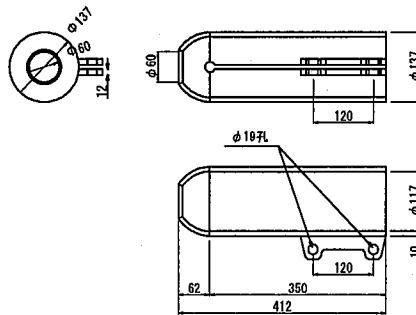
トップスペーサー仕様一覧

有効長 L (mm)	たわみ量 d (mm)	支柱間隔 (mm)	コンクリート充填の有無	備考
8500	(40)	9000	なし	
6500	(30)	7000	なし	

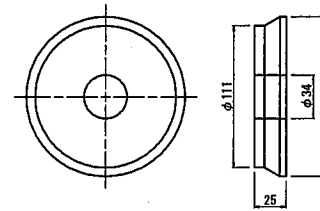
ヘッドキャップ (φ216.3用) 詳細図 S=1:5



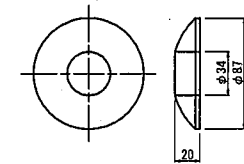
カップリング詳細図 S=1:5



エンドプレート詳細図 S=1:2



球面座金詳細図 S=1:2



トップスペーサーのたわみ量 (反り加工)

有効長 L (mm)	たわみ量 d (mm)
L ≤ 5600	(20)
5500 < L ≤ 7500	(30)
7500 < L ≤ 9500	(40)

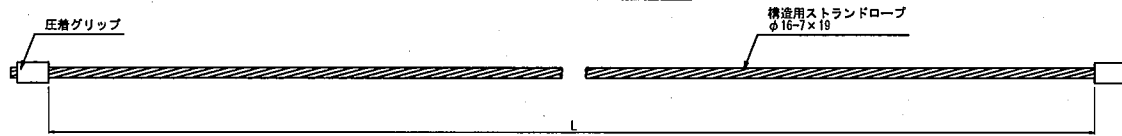
特記事項

年度	令和元年度	図面番号	14/20
発注者	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
所在地	[Redacted]		
図面名	[Redacted]		
縮尺	図示	作成年月日	令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所			

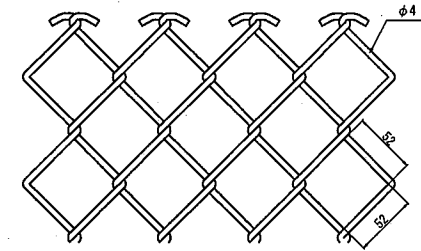
落石防護柵詳細図(3)
メインケーブルφ16等

大阪府建設局
建設部
土木部
土木課

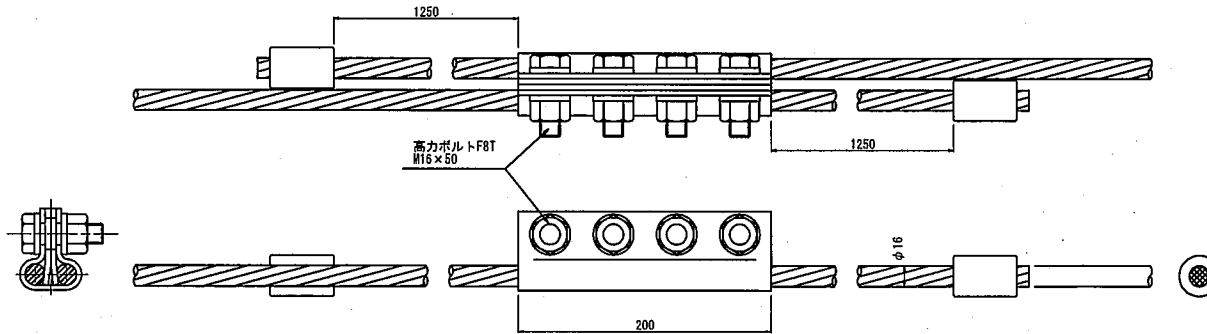
メインケーブル(φ16)概要図 S=1:4



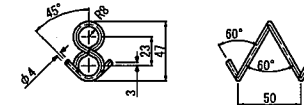
高強度ひし形金網詳細図 S=1:2



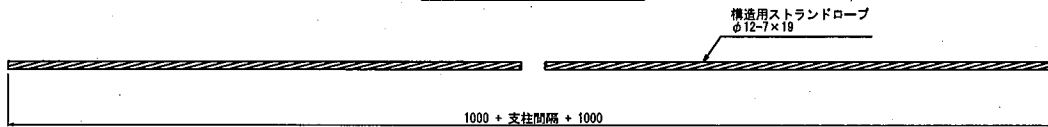
緩衝装置(φ16)構造図およびメインケーブル(φ16)図 S=1:2



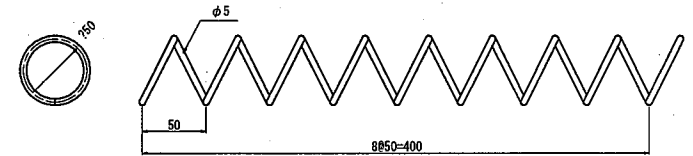
ケーブルクリップ(φ16用) 詳細図 S=1:2



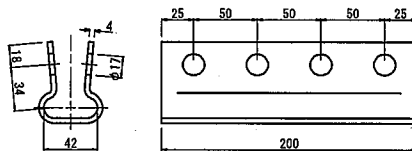
ガイドロープ(φ12)概要図 S=1:4



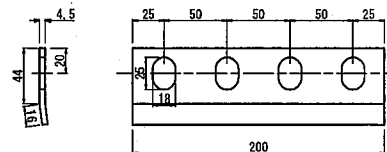
結合コイル(φ5)詳細図 S=1:2



ワイヤ用緩衝装置(φ16)詳細図(1) S=1:2



ワイヤ用緩衝装置(φ16)詳細図(2) S=1:2

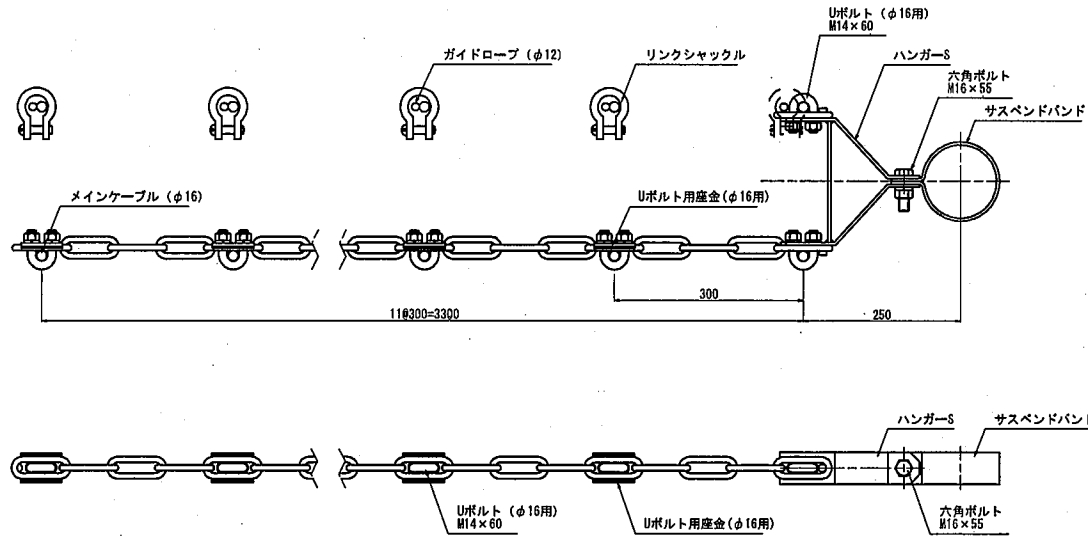


特記事項

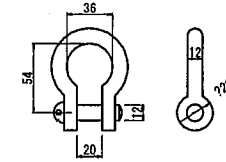
年度	令和元年度	図面番号	15/30
図名	落石防護柵		
工事名	〃		
所屬地名	〃		
図面名	〃		
縮尺	図示	作成年月日	令和元年3月
大阪府岸和田土木事務所			

落石防護柵詳細図(4)
 ディスタンスキーパー
 柵高 H=3.5m

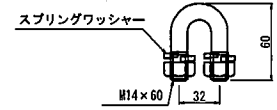
ディスタンスキーパー構造図 S=1:4



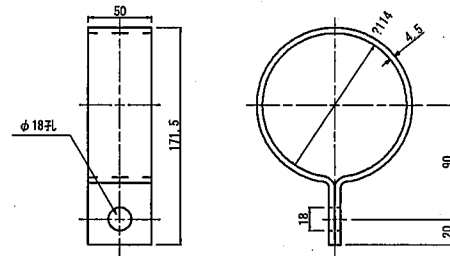
リンクシャックル 詳細図 S=1:2
 (BD型 呼び10)



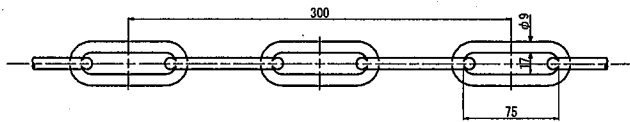
Uボルト (φ16用) 詳細図 S=1:2



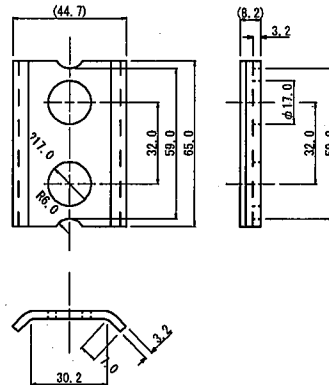
サスペンドバンド詳細図 S=1:2



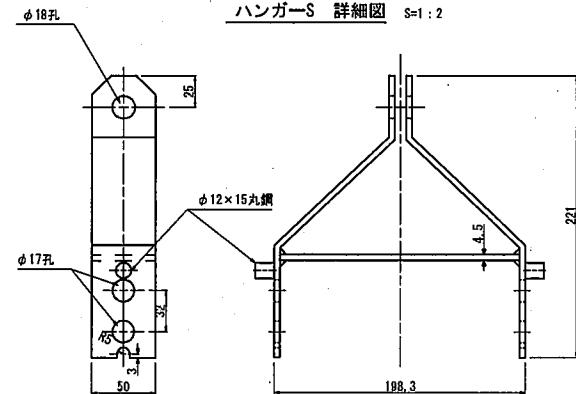
ディスタンスチェーン詳細図 S=1:2



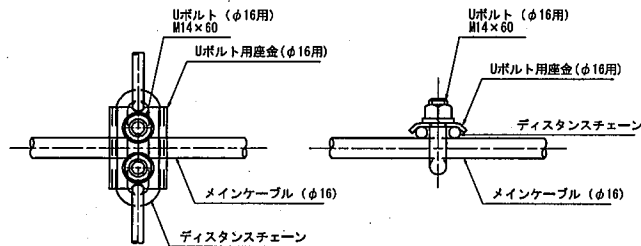
Uボルト用座金 (φ16用) 詳細図 S=1:1



ハンガー-S 詳細図 S=1:2



ディスタンスチェーン組合せ図 S=1:2



特記事項

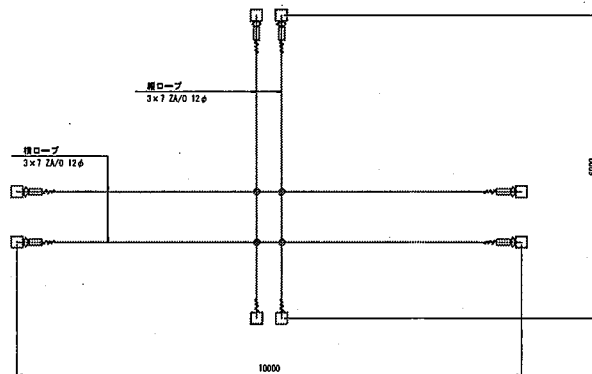
年度	令和6年度	図面番号	16/30
図面名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
所屬地名	[Redacted]		
図面名	[Redacted]		
縮尺	原寸	作成年月日	令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所			

ワイヤロープ掛展開図 (1)

S=1:50

No. 21

大阪府建設部
建設技術センター
建設技術センター
建設技術センター



数量表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	記 号
縦ロープ	3x7 ZA/O 12φ	m	12		
横ロープ	3x7 ZA/O 12φ	m	20		—
岩盤用アンカー	D22(φ20) × 1000	本	8		□
巻付グリップ	12φ用×800	本	8		⊕
十字クリップ	3.22×60×60	個	4		○
ターンバックル	22φ×32E	本	6		□
ターンバックル取付金具	岩盤用アンカー用	個	6		◇

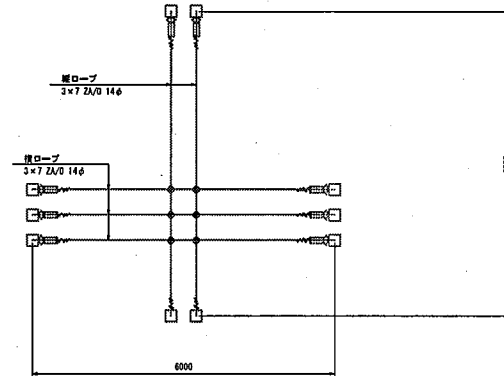
(注 記) ロープ長は概算であり施工に当たっては
現地調査後、設置の上実施すること。
(設計条件) 縦ロープ取付角度30°、吊孔径φ40
アンカーの必要定荷重は、取扱説明書に10t以上。

年度	番号	/
路線名		
工事名		
所属地名		
図面名	ワイヤロープ掛展開図 (1)	
縮尺	1:50	作成年月 令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所		

ワイヤロープ掛展開図 (3)

S=1:50

No. 57



数量表

1式通り

名 称	規 格	単位	数 量	備 考	記 号
縦ロープ	3x7 ZA/O 14φ	m	12		
横ロープ	3x7 ZA/O 14φ	m	18		—
岩盤用アンカー	025 (φ20 × 100)	本	10		□
巻付グリップ	14φ用 × 1100	本	10		⊗
十字クリップ	2, 2t × 50 × 60	個	6		○
ターンバックル	22φ × 32E	本	8		□
ターンバックル取付金具	岩盤用アンカー用	個	8		◇

(注 記) ロープ長は概算であり施工に合わせては
現地調査後、変更の上取捨すること。
(取付条件) 横ロープ取付角度30°、用孔径φ40
アンカーの必要定着長は、取捨相違にL=40cm以上。

年度	巻号	/
路線名		
工事名		
所屬地名		
図 名	ワイヤロープ掛展開図 (3)	
縮 尺	1:50	作成年月 令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所		

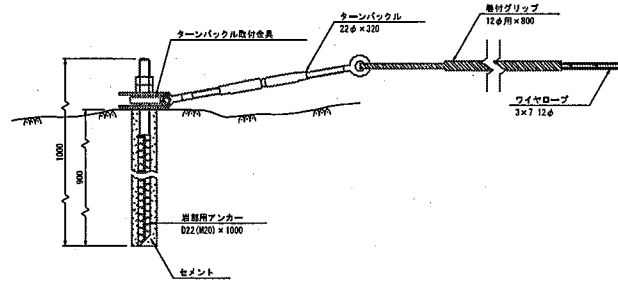
ワイヤロープ掛詳細図 (1)

(3×7 12φ)

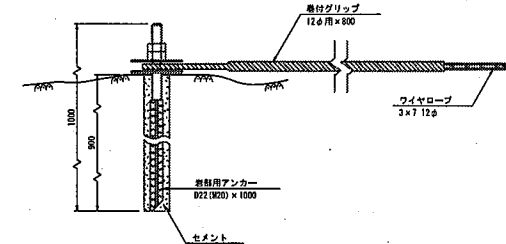
平面図



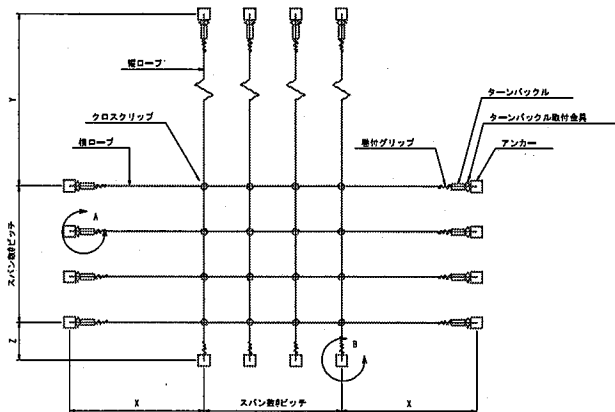
A部詳細図 S=1:5



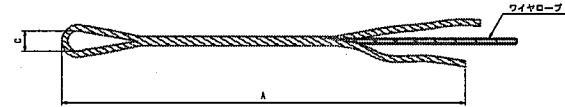
B部詳細図 S=1:5



標準構造展開図



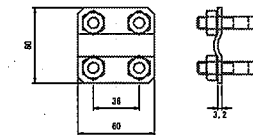
巻付グリップ S=1:5



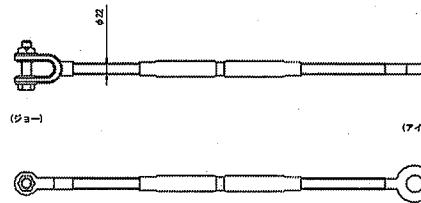
寸法表

呼び寸法	A	C
12φ用-800	800	40

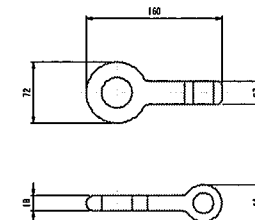
クロスクリップ S=1:2



ターンのバックル S=1:5



ターンのバックル取付金具 S=1:3



部品明細表

名称	規格	換算	記号
巻ロープ	3×7 8/0 12φ	亜鉛メッキ 165g/㎡以上	—
横ロープ	3×7 8/0 12φ	亜鉛メッキ 165g/㎡以上	—
岩盤用アンカー	D22 (R20) × 1000	亜鉛メッキ 350g/㎡以上	□
巻付グリップ	12φ用×800	亜鉛メッキ 245g/㎡以上	≡
クロスクリップ	3.2t × 80 × 60	亜鉛メッキ 350g/㎡以上	⊕
ターンのバックル	22φ × 325	亜鉛メッキ 350g/㎡以上	□
ターンのバックル取付金具	岩盤用アンカー用	亜鉛メッキ 650g/㎡以上	◇

年度	番号	/
路線名		
工事名		
所属地名		
図名	ワイヤロープ掛詳細図 (1)	
縮尺	表示	作成年月 令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所		

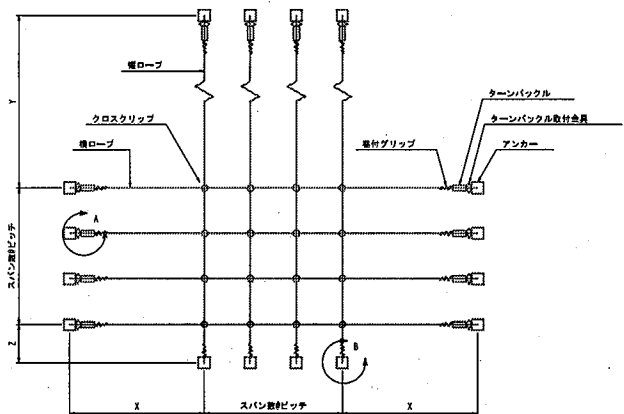
ワイヤロープ掛詳細図 (2)

(3×7 14φ)

平面図



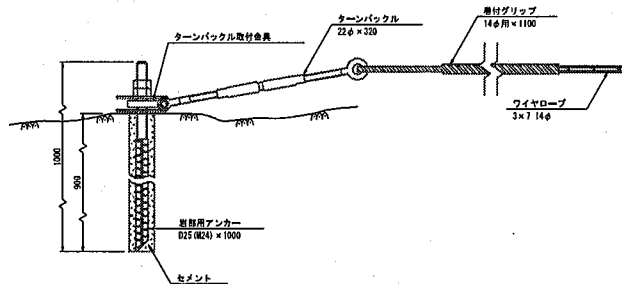
標準構造展開図



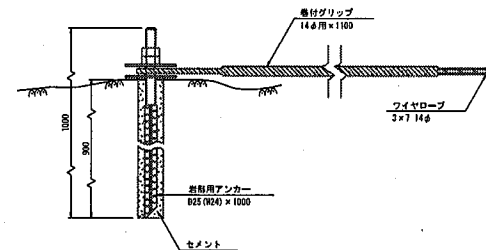
部品明細表

名 称	規 格	換 算	記号
纜ロープ	3×7 2A/0 14φ	直径743/分 210g/㎡以上	—
環ロープ	3×7 2A/0 14φ	直径741/分 210g/㎡以上	—
岩盤用アンカー	D25 (R24) × 1000	直径メッキ 350g/㎡以上	□
巻付グリップ	14φ用×1100	直径741/分 300g/㎡以上	≡
クロスクリップ	3.2t×60×60	直径メッキ 350g/㎡以上	≡
ターンバックル	22φ×325	直径メッキ 350g/㎡以上	□
ターンバックル取付金具	岩盤用アンカー用	直径メッキ 550g/㎡以上	◇

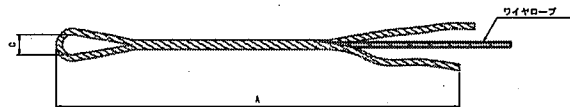
A部詳細図 S=1:5



B部詳細図 S=1:5

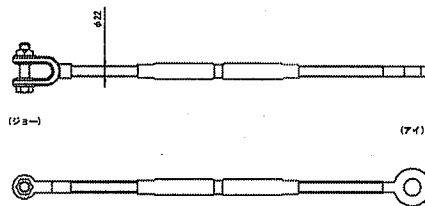


巻付グリップ S=1:5

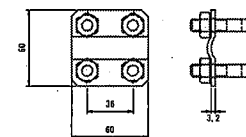


呼び寸法	A	C
18φ用-1350	1350	50
16φ用-1200	1200	50
14φ用-1100	1100	40
12φ用-800	800	40

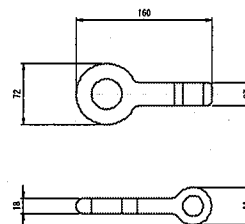
ターンバックル S=1:5



クロスクリップ S=1:2



ターンバックル取付金具 S=1:3



年度	番号	／
路線名		
工事名		
所属地名		
図面名	ワイヤロープ掛詳細図 (2)	
縮尺	標準	作成年月 令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所		

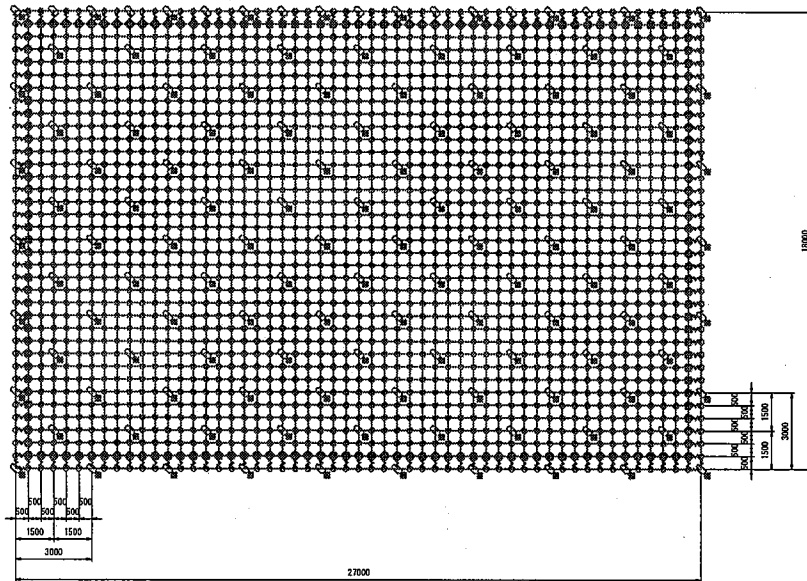
ロープ伏展開図

S=1:100

ロープ伏 (1)

No. 46

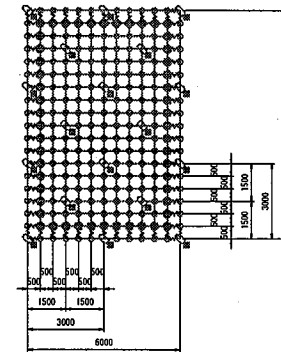
A=486.0m²



ロープ伏 (2)

No. 48

A=54.0m²



高耐久仕様
プラスチック相物品
PSA-12
材料明細表
A=486.0 m²

名称	仕様・寸法 (mm)	単重 (kg)	総重量 (kg)	数量	単位	記号
主ロープ	縦	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	171.0	342.0 m
	横	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	175.5	351.0 m
補強ロープ	縦	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	324.0	648.0 m
	横	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	324.0	648.0 m
巻付グリッパ (E型)	12φ用-800	ZA-300	0.6 kg/本	110.4	184	本
岩盤用TSKセメントアンカー	D22 (M20) × 1000	Znめっき	4.7 kg/本	347.8	74	本
土盤用TSKプレイクアンカー-25	114.3φ × 4.5-1100	Znめっき	23.4 kg/本	685.0	29	本
	D22 (M20) × 750	Znめっき	23.4 kg/本	685.0	29	本
土砂盤用TSKプレイクアンカー-25	114.3φ × 4.5-1400	Znめっき	25.3 kg/本	632.5	25	本
	D22 (M20) × 750	Znめっき	25.3 kg/本	632.5	25	本
十字アンカーグリッパ	12φ用 50×95	Znめっき	0.7 kg/個	85.8	124	個
Yグリッパ	(C) 4.01×109	Znめっき	0.3 kg/個	51.6	172	個
	(D) 3.21×92	Znめっき	0.2 kg/個	347.8	1738	個
プラスチック材料	合計			3156.4 kg		

※下図割合にて数量算出。
岩盤用アンカー：土砂盤用アンカー：土盤用アンカー = 60 : 20 : 20
※アンカーの型式は設置場所の土質状況により変更とする。
※施工寸法は現場にて調査調査し変更のこと。

高耐久仕様
プラスチック相物品
PSA-12
材料明細表
A=54.0 m²

名称	仕様・寸法 (mm)	単重 (kg)	総重量 (kg)	数量	単位	記号
主ロープ	縦	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	22.5	45.0 m
	横	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	21.0	42.0 m
補強ロープ	縦	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	36.0	72.0 m
	横	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	36.0	72.0 m
巻付グリッパ (E型)	12φ用-800	ZA-300	0.6 kg/本	38.4	64	本
岩盤用TSKセメントアンカー	D22 (M20) × 1000	Znめっき	4.7 kg/本	51.7	11	本
土盤用TSKプレイクアンカー-25	114.3φ × 4.5-1100	Znめっき	23.4 kg/本	70.2	3	本
	D22 (M20) × 750	Znめっき	23.4 kg/本	70.2	3	本
土砂盤用TSKプレイクアンカー-25	114.3φ × 4.5-1400	Znめっき	25.3 kg/本	101.2	4	本
	D22 (M20) × 750	Znめっき	25.3 kg/本	101.2	4	本
十字アンカーグリッパ	12φ用 50×95	Znめっき	0.7 kg/個	12.6	18	個
Yグリッパ	(C) 4.01×109	Znめっき	0.3 kg/個	15.6	52	個
	(D) 3.21×92	Znめっき	0.2 kg/個	35.4	177	個
プラスチック材料	合計		440.6 kg			

※下図割合にて数量算出。
岩盤用アンカー：土砂盤用アンカー：土盤用アンカー = 60 : 20 : 20
※アンカーの型式は設置場所の土質状況により変更とする。
※施工寸法は現場にて調査調査し変更のこと。

年度	番号	/
路線名		
工事名		
所属地名		
図面名	ロープ伏展開図	
縮尺	1:100	作成年月 令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所		

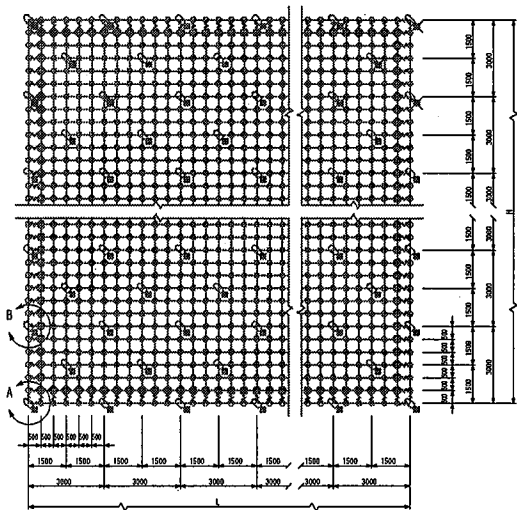
ロープ伏詳細図

高耐久仕様 「亜鉛-10%アルミ合金めっき (ジンカールめっき)」

ロープ、巻付グリップは、高耐久仕様として、亜鉛-10%アルミ合金めっきとしています。
ただし、アンカー、クリップ類 (めっき付数量350) は、溶融亜鉛めっきとしています。

標準構造展開図

S=1:200 (1:100)



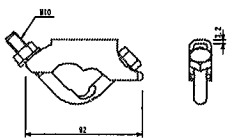
部品明細表

名称	仕様・寸法 (mm)	記号
主ロープ	3×7 24/0 12φ	ZA-180
補強ロープ	3×7 24/0 12φ	ZB-180
巻付グリップ (E型)	12φφ×400	ZC-200
岩部用TSKセメントアンカー	φ22 (φ20) × 1000	Zdめっき
土盛り部用TSKブレイクアンカー	φ14.3φ × 4.5-1100	Zdめっき
土砂部用TSKブレイクアンカー	φ14.3φ × 4.5-1400	Zdめっき
十字アンカーグリップ	12φφ 50×95	Zdめっき
Vクリップ	(20) 4.0×100	Zdめっき
	(30) 3.2×82	Zdめっき

※ 記載なき部材は全て亜鉛めっき仕様とする。

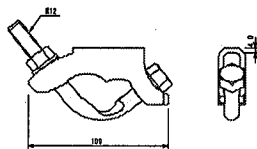
Vクリップ (小)

S=1:4 (1:2)



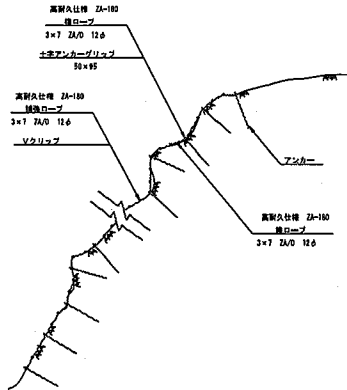
Vクリップ (大)

S=1:4 (1:2)



横断面

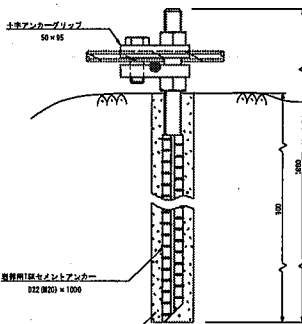
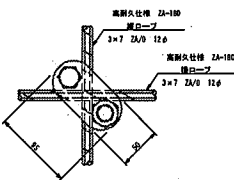
S=1:200 (1:100)



岩部用TSKセメントアンカー

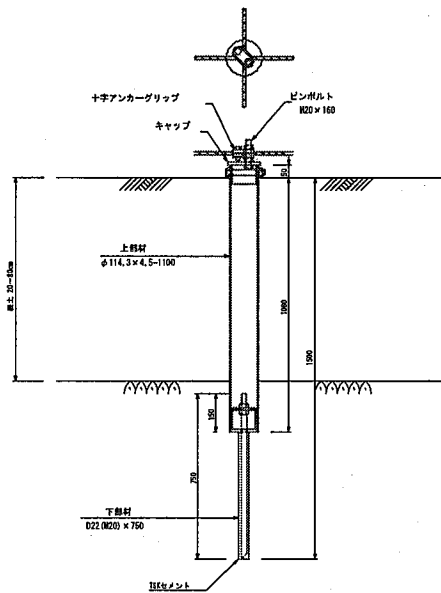
十字アンカーグリップ

S=1:6 (1:3)



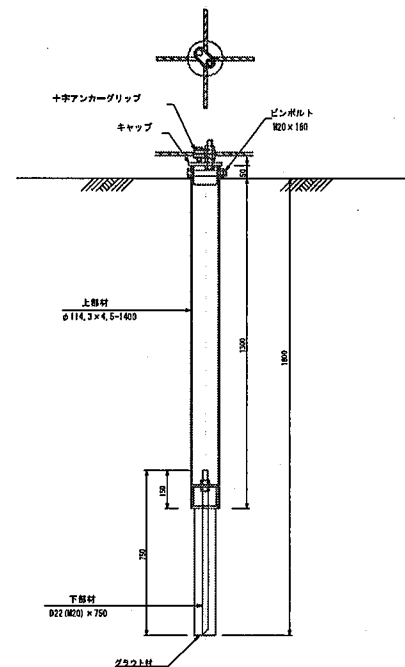
土盛り部用TSKブレイクアンカー

S=1:20 (1:10)



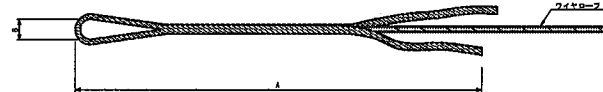
土砂部用TSKブレイクアンカー

S=1:20 (1:10)



巻付グリップ

S=1:10 (1:5)



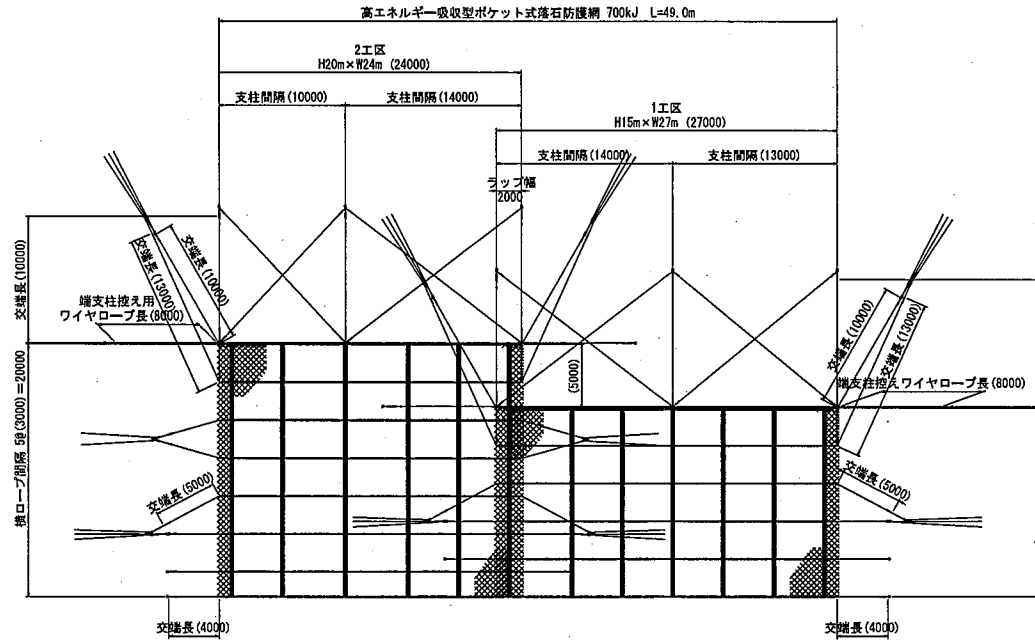
寸法表

巻付グリップ (E型)	名称	A	B
	12φφ×400	850	40

年度	番号	/
路線名		
工事名		
所属地名		
図面名	ロープ伏詳細図	
縮尺	作成年月	令107年3月
大阪府岸和田土木事務所		

ポケット式落石防護網全体展開図
700kJタイプ H15m~H20m×L49m

S=1:200



材料表 (885㎡ 当り)

名称	規格	単位	数量			摘要	名称	規格	単位	数量			摘要
			1区	2区	合計					1区間	2区間	合計	
● ロックアンカー	上部支柱控え型 SDタイプ、L=4.0m	組	3	3	6	■	特殊プレート	φ14用 (HDZ-55) (ワイヤクリップφ14用含む)	個	20	40	60	
	下部支柱控え型 SDタイプ、L=2.0m	組	3	3	6	■	特殊プレート	φ16用 (HDZ-55) (ワイヤクリップφ16用含む)	個	40	40	80	
	端支柱控え型 SDタイプ、L=4.0m	組	2	2	4	■	緩衝装置	スリッロープ(3×7、φ14、φ10、L=7.0m)含む (HDZ-35、55)	組	12	16	28	
	標準型 SDタイプ、L=2.5m	組	2	2	4	■	3連ブラケット	(HDZ-55)	組	4	6	10	
	標準型 SDタイプ、L=4.0m	組	2	4	6	■	シャックル	(HDZ-35)	個	18	20	38	
	標準型下端用 SDタイプ、L=4.0m	組	4	4	8	■	連結金具	テンションホルルト M27 L=350 HDZ-35 連結金具 HDZ-55 φ101.6、t=4、L=5000 (HDZ-45)	組	4	4	8	
■ 硬厚金網	φ4.0×48×48、SNWGH-4	㎡	438.8	514.8	953.6	+	支柱	φ101.6、t=4、L=5000 (HDZ-45)	本	3	3	6	
■ 高強度金網	φ5.0×50×50、SWG-2(青色仕様)	㎡	40.5	54.0	94.5	+	ターンバックル	(HDZ-35)	本	5	5	10	
■ ストップフック	4.0×70、SWG-4(青色仕様)	個	602	684	1286	■	巻付けグリッパ	φ14用	本	14	14	28	
■ 結合コイル	4.0×70×300、SWG-4(青色仕様)	個	700	792	1492	■	ワイヤロープ	山側控え用+谷側控え用 3×7、φ12、φ10	m	106.9	101.7	208.6	材料×ロス率1.08
■ 高強度ロープ	7×19、φ18、A2/0	m	172.8	159.8	332.6	■	ワイヤクリップ	φ12用	個	72	72	144	
■ ワイヤロープ	3×7、φ14、φ10	m	205.7	271.6	477.3	■						材料×ロス率1.08	
■ ワイヤクリップ	φ14用	個	40	56	96								
■ ワイヤクリップ	φ18用	個	68	68	136								

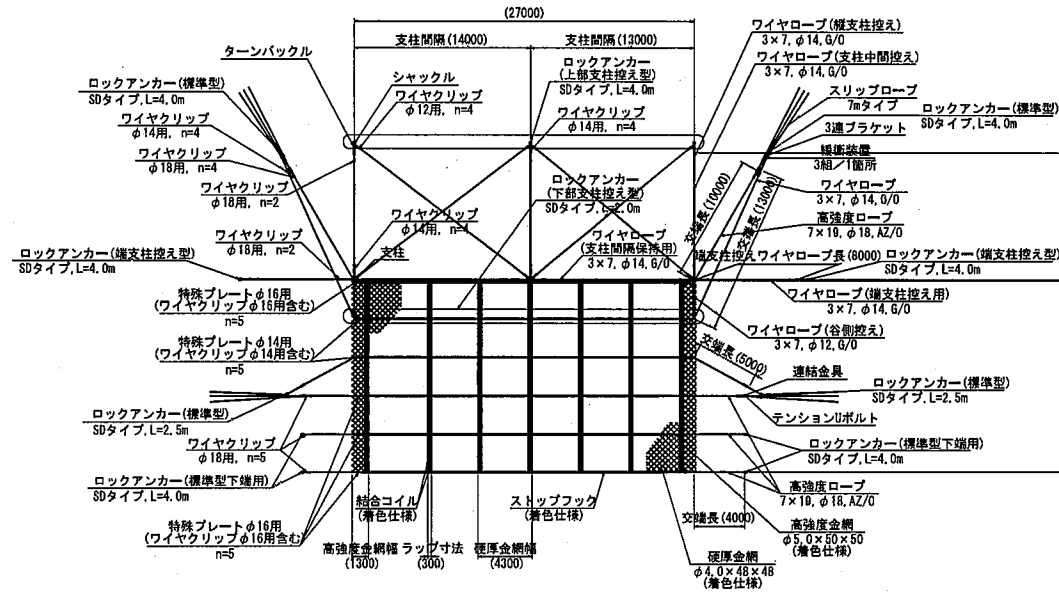
() 内は標準寸法であり、施工に際しては斜面状況・凹凸等を調査し、測量して決めることとする。

※ 施工時には現地状況に合わせアンカー打設を行うこと。
※ アンカー長については、現地地盤を確認し適宜変更を行うこと。
※ 支柱控え用ワイヤロープ長については、現地状況を確認し適宜変更を行うこと。

年度		図面番号	
図面名	ポケット式落石防護網全体展開図		
工事名			
所在地			
図面名	ポケット式落石防護網全体展開図		
縮尺	図示	作成年月日	令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所			

ポケット式落石防護網展開図(1)
700KJタイプ 1工区 : H15m×W27m

S=1:200



材料表 (405㎡ 当り)

名称	規格	単位	数量	名称	規格	単位	数量	
●	ロックアンカー	上部支柱控え型 SDタイプ, L=4.0m	組	3	特殊プレート	φ14用 (HDZ-55) (ワイヤクリップφ14用含む)	個	20
		下部支柱控え型 SDタイプ, L=2.0m	組	3	特殊プレート	φ16用 (HDZ-55) (ワイヤクリップφ16用含む)	個	40
		端支柱控え型 SDタイプ, L=4.0m	組	2	緩衝装置	スリップロープ(3×7, φ14, G/0, L=7.0m)含む (HDZ-35, 55)	組	12
		標準型 SDタイプ, L=2.5m	組	2	3連ブラケット	(HDZ-55)	組	4
		標準型 SDタイプ, L=4.0m	組	2	シャックル	(HDZ-35)	個	18
標準型下端用 SDタイプ, L=4.0m	組	4	連結金具	テンションUボルト M27 L=350 HDZ-35 連結金具 HDZ-55	組	4		
硬厚金網	φ4.0×48×48, SWMCGH-4	㎡	438.8	支柱	5.0mタイプ(黄色仕様) φ101.6, t=4.2 L=5000 (HDZ-45)	本	3	
高強度金網	φ5.0×50×50, SWGF-2(黄色仕様)	㎡	40.5	ターンバックル	(HDZ-35)	本	5	
ストップフック	4.0×70, SWGF-4(黄色仕様)	個	602	巻付けグリッブ	φ14用	本	14	
結合コイル	4.0×70×300, SWGF-4(黄色仕様)	個	700	ワイヤロープ	山側控え用+谷側控え用 3×7, φ12, G/0	m	106.9	
高強度ロープ	7×19, φ18, AZ/0	m	172.8	ワイヤクリップ	φ12用	個	72	
ワイヤロープ	3×7, φ14, G/0	m	205.7					
ワイヤクリップ	φ14用	個	40					
ワイヤクリップ	φ18用	個	68					

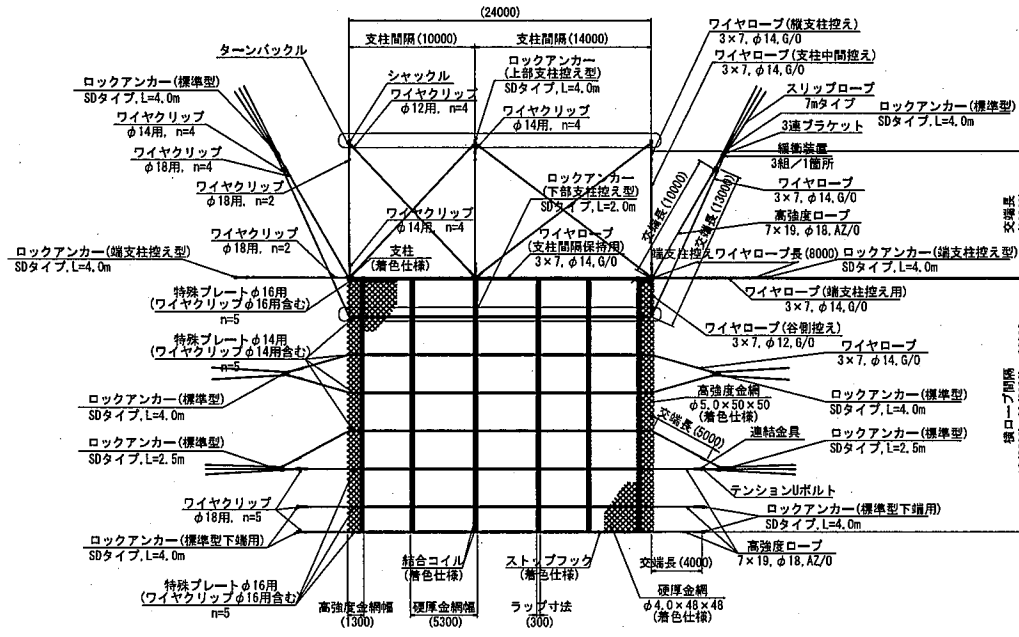
※ 施工時には現地状況に合わせアンカー打設を行うこと。
※ アンカー長については、現地地盤を確認し適宜変更を行うこと。
※ 支柱控え用ワイヤロープ長については、現地状況を確認し適宜変更を行うこと。

() 内は標準寸法であり、施工に際しては斜面状況・凹凸等を調査し、測定して決めることとする。

年度	図説番号
路線名	
工区名	
所屬地名	
図面名	ポケット式落石防護網展開図(1)
縮尺	図示
作成年月	令和2年4月
大阪府岸和田土木事務所	

ポケット式落石防護網展開図(2)
700KJタイプ 2工区 : H20m × W24m

S=1:200



材料表 (480㎡ 当り)

名称	規格	単位	数量	名称	規格	単位	数量	
●	上部支柱控え型 SDタイプ、L=4.0m	組	3	●	特殊プレート φ14用 (HDZ-55) (ワイヤクリップφ14用含む)	個	40	
	下部支柱控え型 SDタイプ、L=2.0m	組	3	●	特殊プレート φ16用 (HDZ-55) (ワイヤクリップφ16用含む)	個	40	
	端支柱控え型 SDタイプ、L=4.0m	組	2	—	緩衝装置	スリップロープ(3×7, φ14, G/0, L=7.0m)含む (HDZ-35, 55)	組	16
	標準型 SDタイプ、L=2.5m	組	2	▶	3連ブラケット	(HDZ-55)	組	6
	標準型 SDタイプ、L=4.0m	組	4	●	シャックル	(HDZ-35)	個	20
標準型下端用 SDタイプ、L=4.0m	組	4	⇒	連結金具	テンションUボルト M27 L=350 HDZ-35 連結金具 HDZ-55	組	4	
●	硬厚金網 φ4.0×48×48, SWHG4	㎡	514.8	+	支柱	5.0mタイプ(青色仕様) φ101.6, t=4.2 L=5000 (HDZ-45)	本	3
■	高強度金網 φ5.0×50×50, SWGF-2(青色仕様)	㎡	54.0	—	ターンバックル	(HDZ-35)	本	5
—	ストップフック 4.0×70, SWGF-4(青色仕様)	個	684	+	巻付けグリップ	φ14用	本	14
■	結合コイル 4.0×70×300, SWGF-4(青色仕様)	個	792		ワイヤロープ	山形控え用+谷側控え用 3×7, φ12, G/0	m	101.7
—	高強度ロープ 7×19, φ18, AZ/0	m	159.8	●	ワイヤクリップ	φ12用	個	72
	ワイヤロープ 3×7, φ14, G/0	m	271.6					
●	ワイヤクリップ φ14用	個	56					
●	ワイヤクリップ φ18用	個	68					

※ 施工時には現地状況に合わせアンカー打設を行うこと。
※ アンカー長については、現地地盤を確認し適宜変更を行うこと。
※ 支柱控え用ワイヤロープ長については、現地状況を確認し適宜変更を行うこと。

() 内は標準寸法であり、施工に際しては斜面状況・凹凸等を調査し、測量して決めることとする。

年度	図面番号
図面名	
工事名	
所在地	
図面名	ポケット式落石防護網展開図(2)
縮尺	図案 作成年月日 令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所	

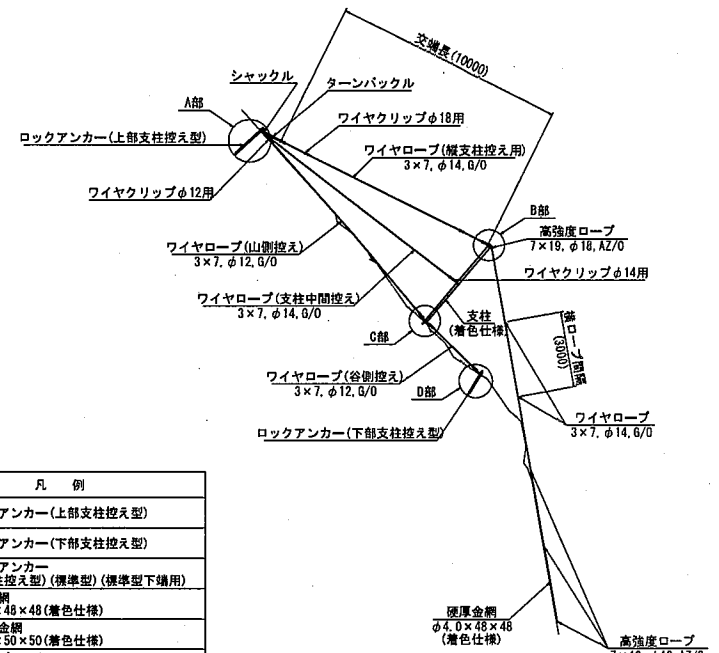
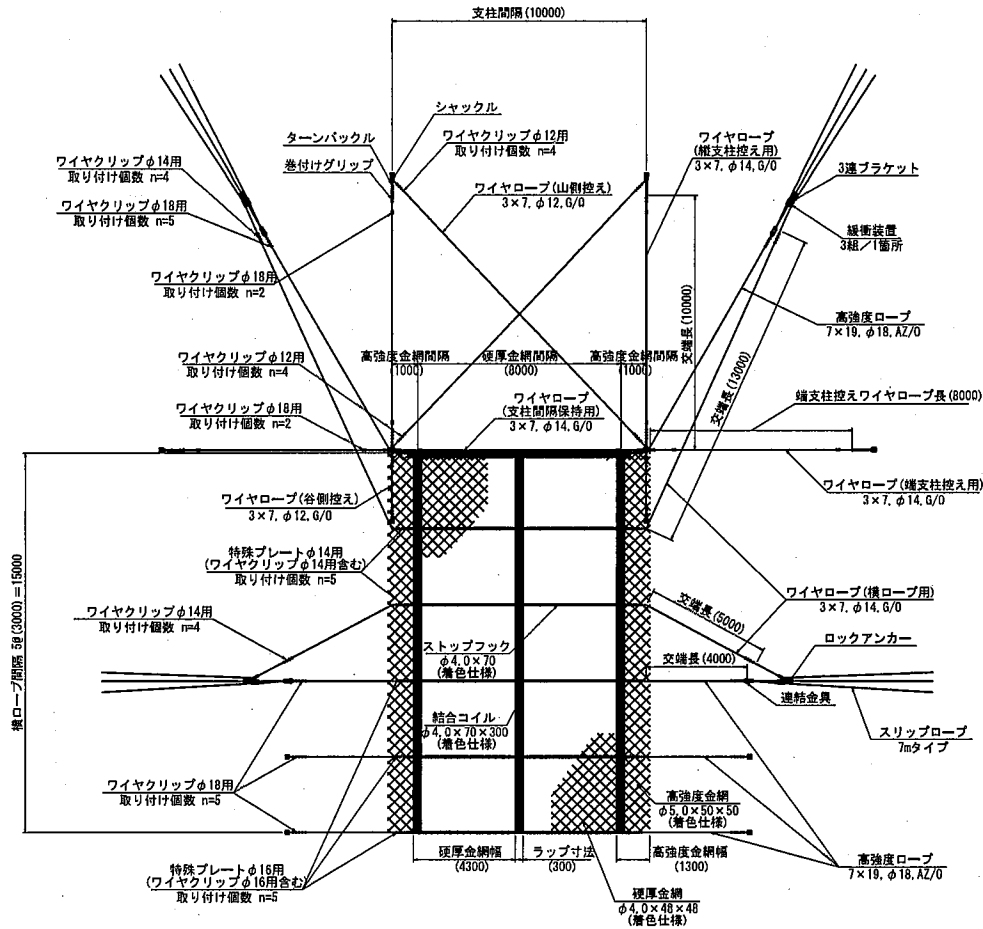
ポケット式落石防護網一般構造図

S=1:100

700kJタイプ

展開図

断面イメージ図



凡 例	
■	ロックアンカー (上部支柱控え型)
●	ロックアンカー (下部支柱控え型)
□	ロックアンカー (縦支柱控え型) (標準型) (標準型下端用)
□	頑厚金網 φ4.0x48x48 (着色仕様)
□	高強度金網 φ5.0x50x50 (着色仕様)
—	ストップフック φ4.0x70 (着色仕様)
I	結合コイル φ4.0x70x300 (着色仕様)
—	高強度ロープ 7x19, φ18, AZ/0
—	ワイヤロープ 3x7, φ14, G/0
Y	ワイヤロープ 3x7, φ12, G/0
+	支柱 STK400, φ101.6, t=4.2 (着色仕様)
—	ターンバックル
S	巻付けグリッ
■	緩衝装置+3連ブラケット
—	連結金具

()内は標準寸法であり、施工に際しては斜面状況・凹凸等を調査し、測量して決めることとする。

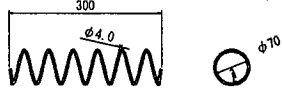
* 金網のラップ幅についてラップ幅は標準300mmとする。ただし、斜面状況・凹凸を考慮し、ラップ幅の規格は150mm以上とする。

年度	図面番号
図面名	
工号名	
所属地名	
図面名	ポケット式落石防護網一般構造図
縮尺	図示
作成年月日	令和2年2月
大阪府岸和田土木事務所	

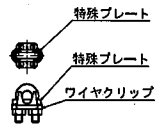
ポケット式落石防護網詳細図(1)
700kJタイプ

S=1:5

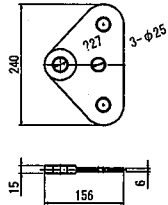
ストップフック
φ4.0×70 (SWG F-4) (着色仕様)



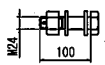
特殊プレート組立図
φ14・φ16共通



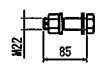
3連ブラケット
(HDZ-55)



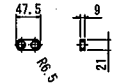
ピンボルト
F8-M24, L=100



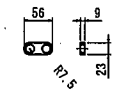
ピンボルト
F8-M22, L=85



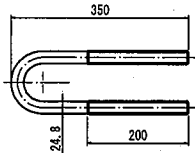
特殊プレート
φ14用 (HDZ-55)



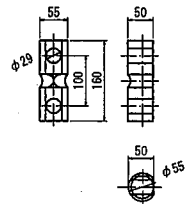
特殊プレート
φ16用 (HDZ-55)



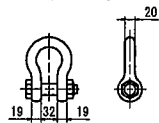
テンションUボルト
M27, L=350 (HDZ-35)



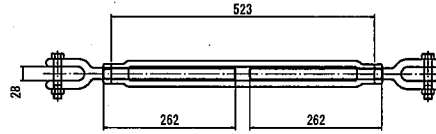
連結金具
(HDZ-55)



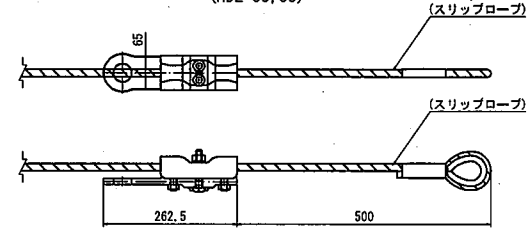
シャックル
(HDZ-35)



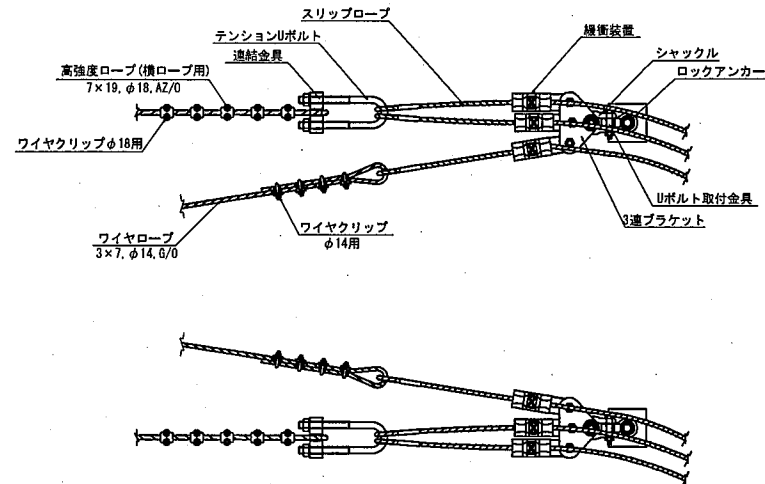
ターンバックル
(HDZ-35)



緩衝装置
スリップロープ (3×7, φ14, G/O, L=7.0m) 含む
(HDZ-35, 55)



3組緩衝装置+3連ブラケット 組立図 S=1:10



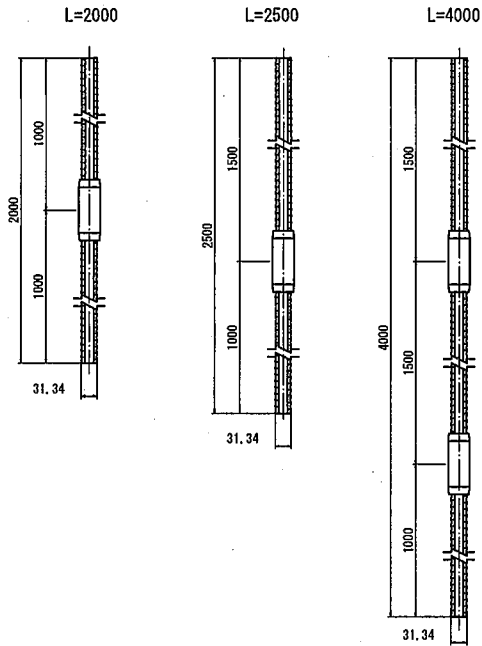
年度	図面番号
図種	
図名	
工率名	
所属地名	
図面名	ポケット式落石防護網詳細図(1)
縮尺	図原 作成年月日 令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所	

ポケット式落石防護網詳細図(2)

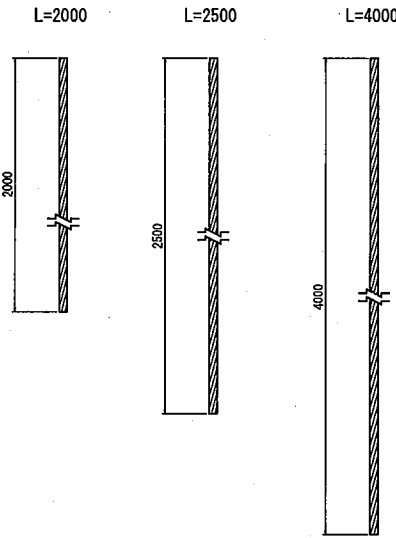
S=1:5

SDタイプ

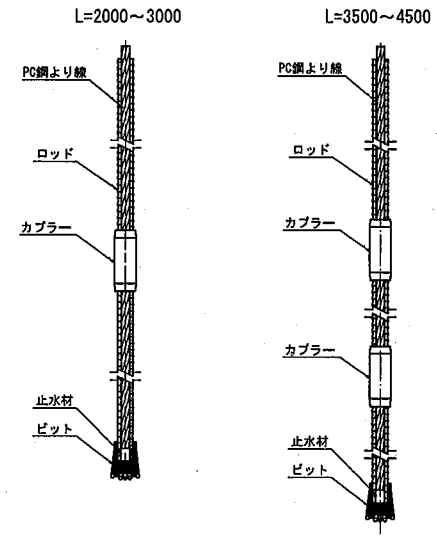
ロッド
SDタイプ, φ31.34, (HDZ-55)



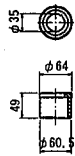
PC鋼より線
φ15.6



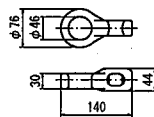
ロッド組立図



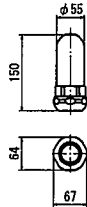
補強治具
(HDZ-55)



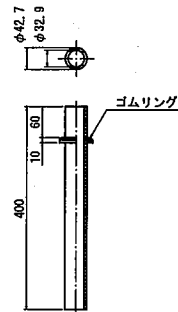
Uボルト取付金具
(HDZ-55)



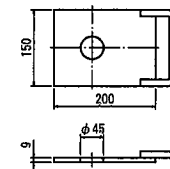
キャップ付ナット
SDタイプ
(HDZ-35)



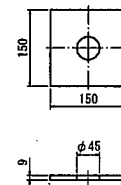
補強パイプ
L=400 (HDZ-55)
ゴムリング付



プレート(ポケット式)
9t × 200 × 150, φ45 (HDZ-55)



プレート
9t × 150 × 150, φ45 (HDZ-55)



ビット
ボタン付, φ55



カブラー
SDタイプ (HDZ-35)
φ42.4 L=120

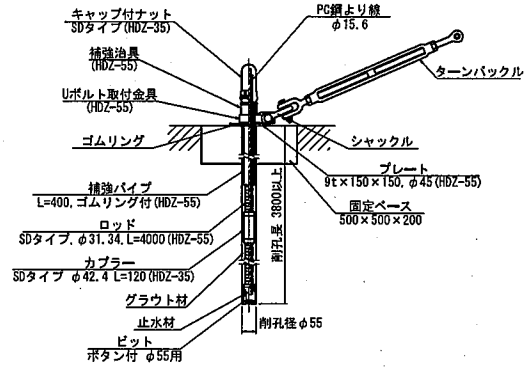


年度	図面番号
図面名	
工事名	
所屬地	
図面名	ポケット式落石防護網詳細図(2)
縮尺	図示 作成年月日 令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所	

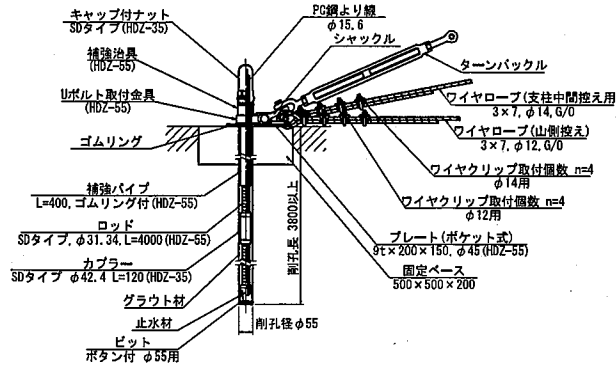
ポケット式落石防護網詳細図(3)
700kJタイプ

S=1:10

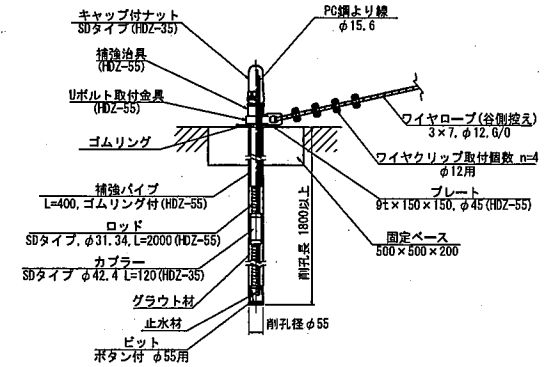
ロックアンカー
(端支柱控え型)組立図
SDタイプ



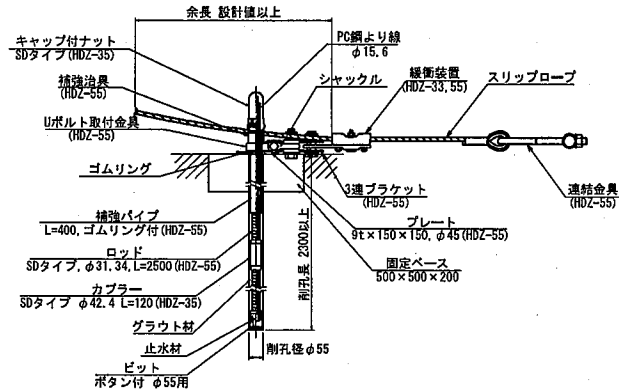
ロックアンカー
(上部支柱控え型)組立図
SDタイプ



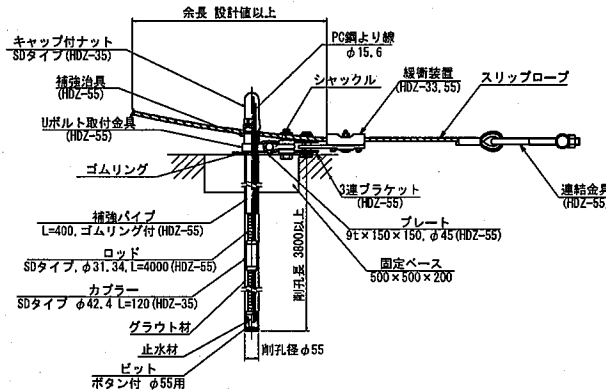
ロックアンカー
(下部支柱控え型)組立図
SDタイプ



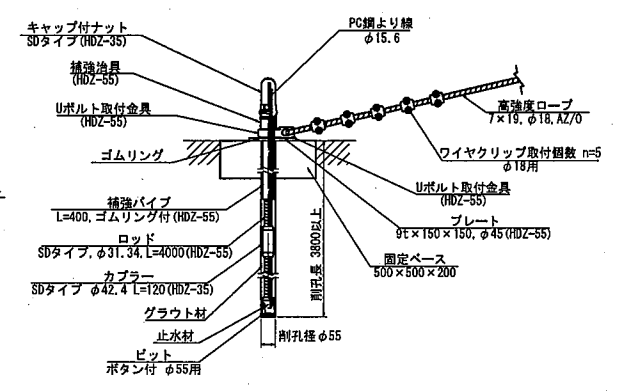
ロックアンカー(標準型)
+3組緩衝装置組立図
SDタイプ



ロックアンカー(標準型)
+3組緩衝装置組立図
SDタイプ



ロックアンカー(標準型)下端用
+高強度ロープ組立図
SDタイプ



	早強セメント (kg)	水 (kg)	湯和材 (kg)	W/C (%)
グラウト1m ³ 当り	1230	590.4	C x (2%)	48

試験科目	規格値	試験方法
コンシステンシー試験	2200以下	Pロート法 JHS A313-1992 繰り混ぜ開始前に1回/日
圧縮強度試験	σ ₇ =24N/mm ² 以上	JIS A 1108, 1132回 (午前・午後) / 日

試験科目	設計荷重	試験本数
確認試験	上部支柱控え型 端支柱控え型 標準型	65kN
	標準型下端用	175kN
	下部支柱控え型	10kN

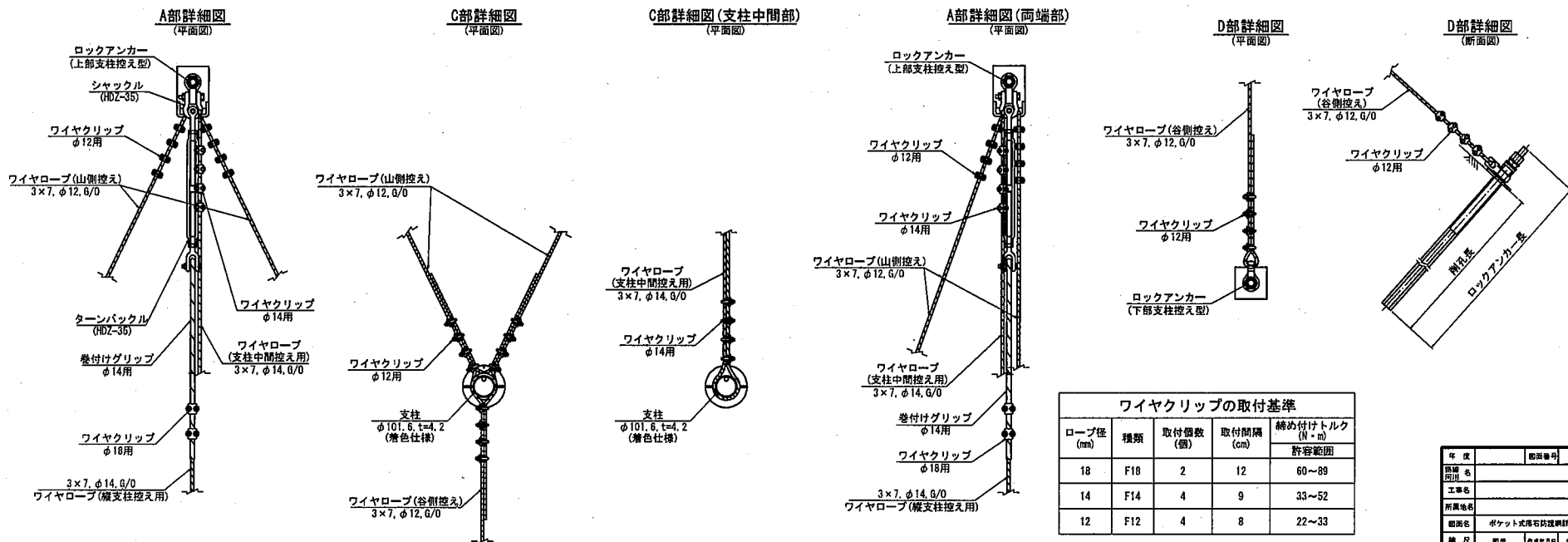
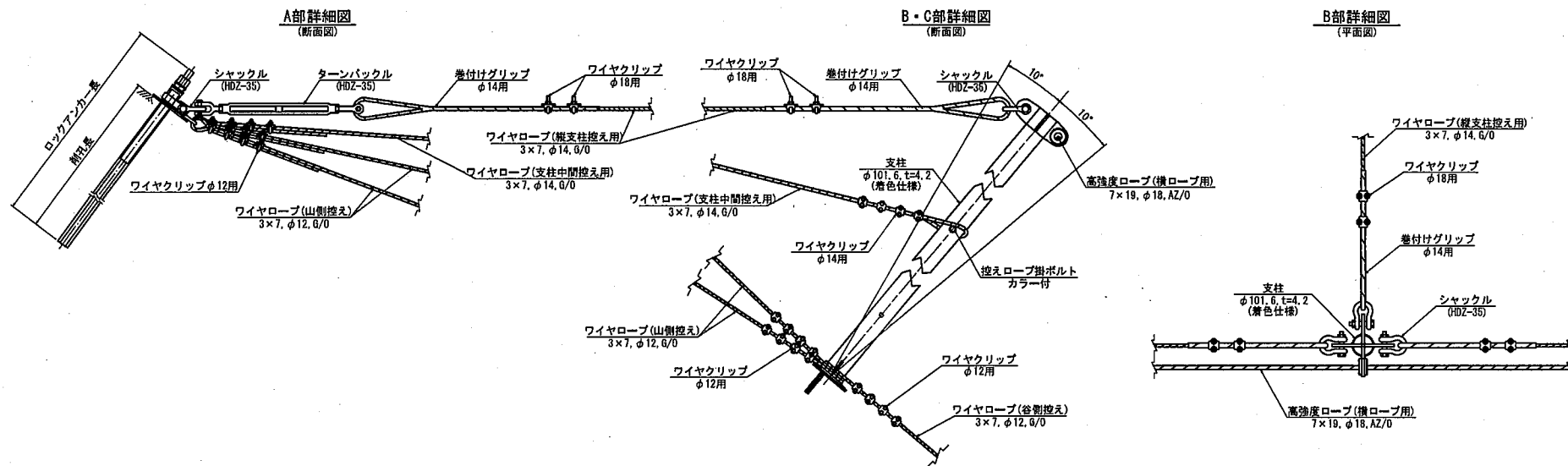
ロックアンカー全数量の3% または最低3本

※施工前にアンカー引抜試験または引張試験を行い、アンカー長を決定する。

年度	図面番号
図面名	
工事名	
所在地	
図面名	ポケット式落石防護網詳細図(3)
縮尺	図原 作成年月日 令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所	

ポケット式落石防護網詳細図(4)
700kJタイプ

S=1:10



ワイヤクリップの取付基準

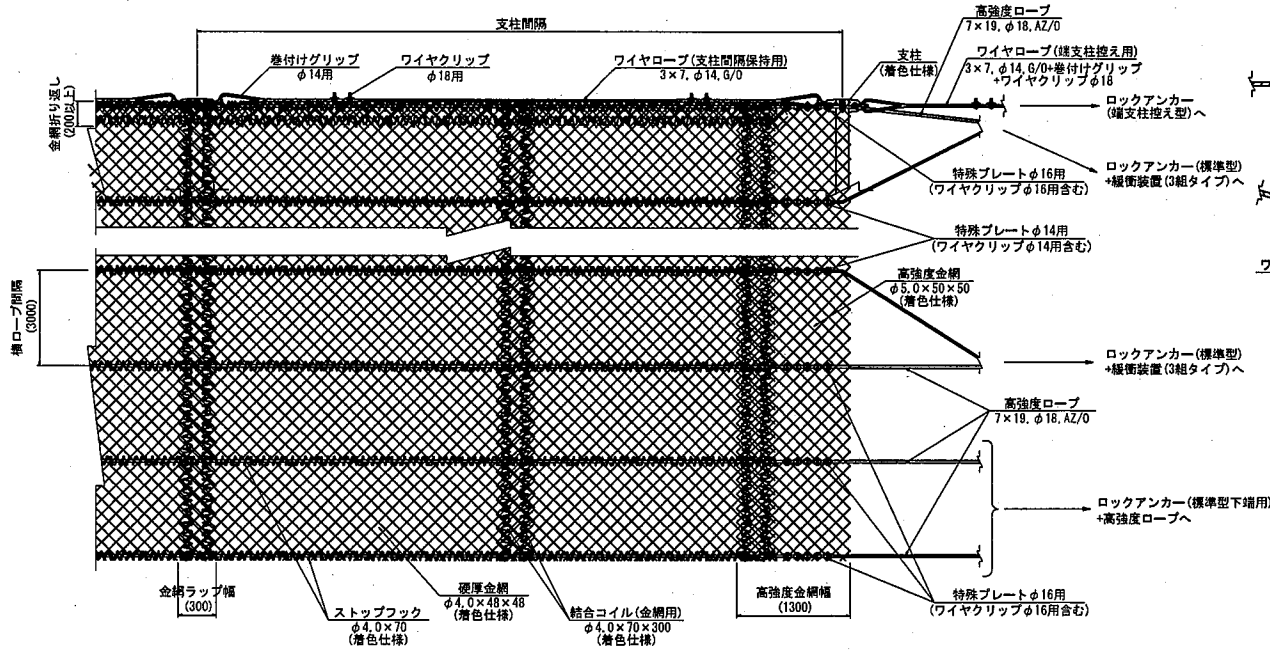
ロープ径 (mm)	種類	取付個数 (個)	取付間隔 (cm)	締め付けトルク (N・m) 許容範囲
18	F18	2	12	60~89
14	F14	4	9	33~52
12	F12	4	8	22~33

年度	図面番号
図面名	
工務名	
所属地名	
図面名	ポケット式落石防護網詳細図(4)
縮尺	原形
作成年月日	令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所	

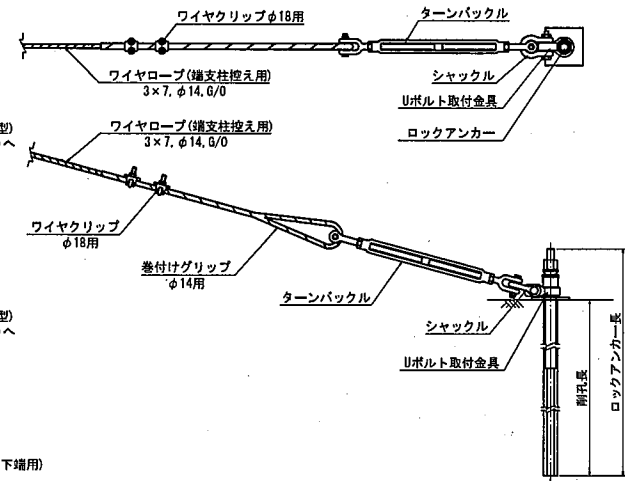
ポケット式落石防護網詳細図(5)
700kJタイプ

S=図示

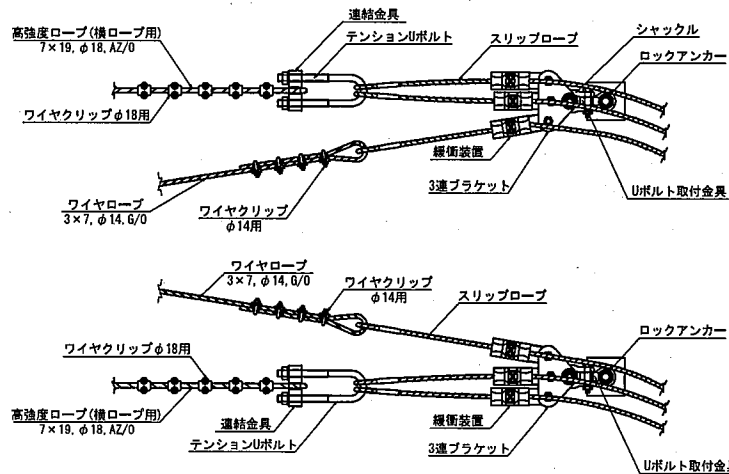
金網・高強度ロープ詳細図 S=1:20



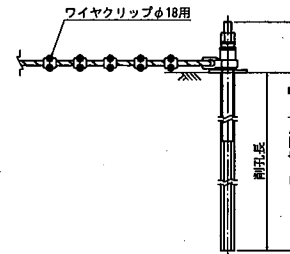
ロックアンカー(端支柱控え型)詳細図 S=1:10



ロックアンカー(標準型)+緩衝装置(3組タイプ)詳細図 S=1:10



ロックアンカー(標準型下端用)+高強度ロープ詳細図 S=1:10



ワイヤクリップの取付基準(端支柱控え型)

ロープ径 (mm)	種類	取付個数 (個)	取付間隔 (cm)	締め付けトルク (N・m)	
				許容範囲	
18	F18	2	12	60~89	

ワイヤクリップの取付基準(横ロープ端部)

ロープ径 (mm)	種類	取付個数 (個)	取付間隔 (cm)	締め付けトルク (N・m)	
				許容範囲	
18	F18	5	12	60~89	
14	F14	4	9	34~51	

ワイヤクリップの取付基準(高強度金網端部)

ロープ径 (mm)	種類	取付個数 (個)	取付間隔 (cm)	締め付けトルク (N・m)	
				許容範囲	
16	F16	5	-	47~72	
14	F14	5	-	34~51	

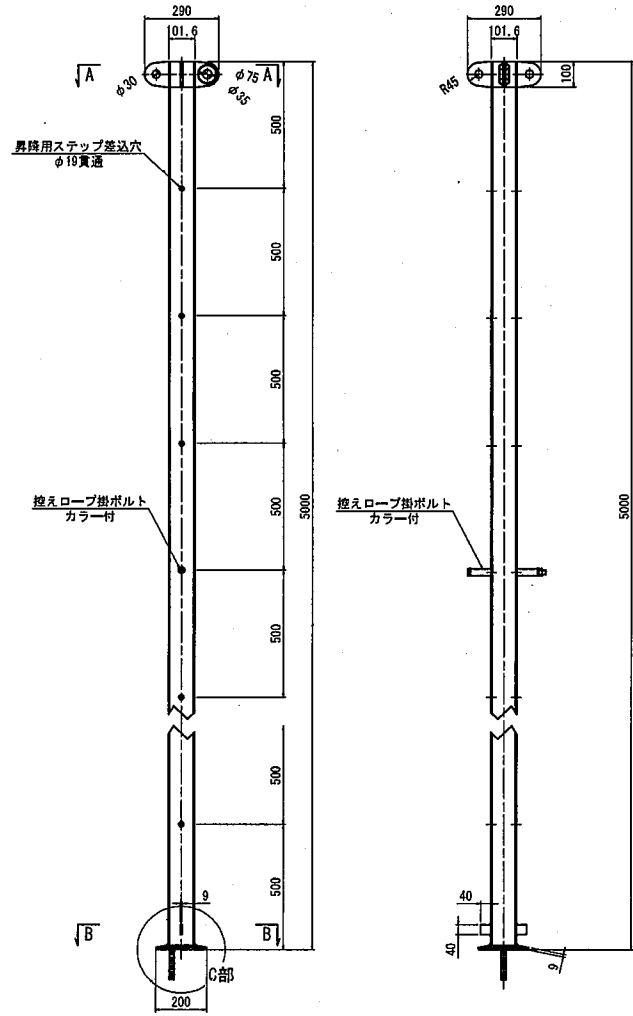
※取付間隔は、高強度金網間隔に準じる

年度	図面番号
図面名	
図面種別	
文庫名	
所属地名	
図面名	ポケット式落石防護網詳細図(5)
縮尺	図示
図示年月日	令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所	

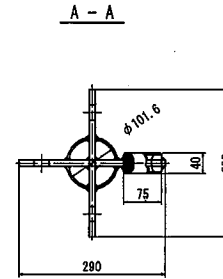
ポケット式落石防護網支柱構造図

5.0mタイプ

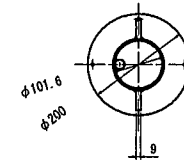
支柱組立図 S=1:10
 $\phi 101.6$, t=4.2 (HDZ-45)
 L=5.0mタイプ (着色仕様)



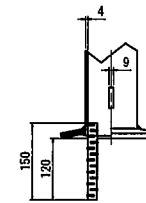
支柱断面詳細図 S=1:5



B - B



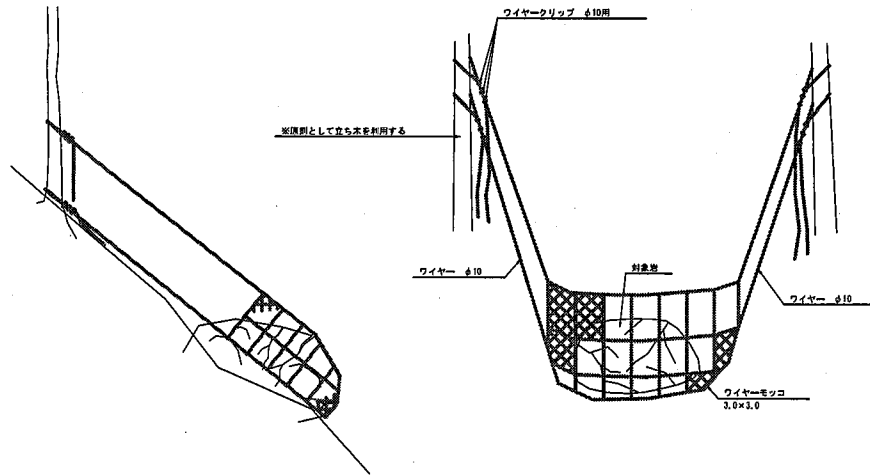
C部拡大図 S=1:5



年度	図面番号
図面名	
工事名	
所属地名	
図面名	ポケット式落石防護網支柱構造図
縮尺	勘定 方眼紙用日 令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所	

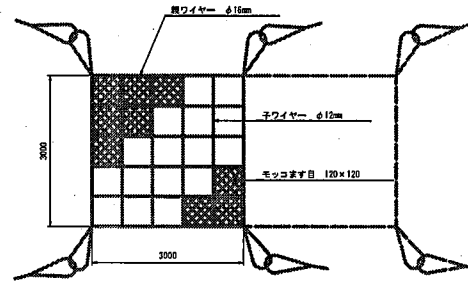
小割除去工施工要領図

仮設要領図



ワイヤーモッコ (3.0m角) 詳細図

5=1:50

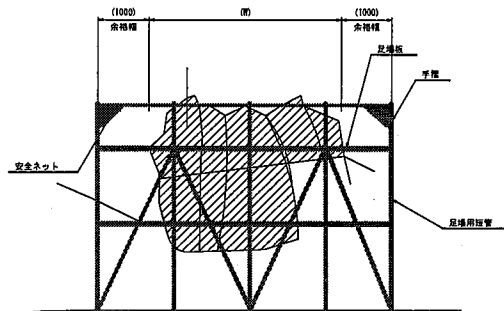


注) 対象物は現地確認の上、施工を行なうものとする。

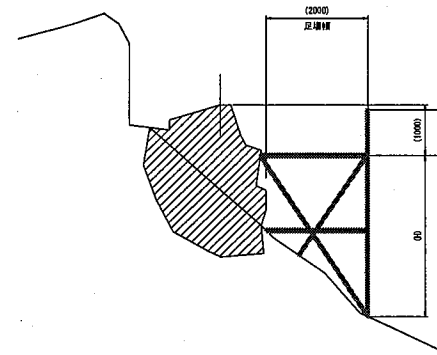
足場工

5=1:50

正面図



側面図



年度	番号	/
路線名		
工事名		
所属地名		
図名	小割除去工施工要領図	
縮尺	1:50	作成年月 令和2年3月
大阪府岸和田土木事務所		